日本大辭書

（第參卷）

山田美妙著

う 從…うちぎ 至…うんよう
え 從…え 至…えんをんのざ
お 從…か 至…ふんのじ

東京 日本大辭書發行所

873.1 Y157n

▲うちぎぬ（……）〔第二上〕名。〔打ち木〕
打ち直シノ綾出羽ノ方言。きぬノ一名。うつ

（……）〔……〕名。〔……藏〕　内ノ方ニ

（……）〔金平〕名。〔……聞き〕　（一）
クコト。＝聞イタコトバ。（二）聞

ヌモノ。　（三）聞イテ書イタオイ

ニ歌ヲ書ク帳ノ意紙。「若シ人トイヒカハシヌコエテホメラレ、うちぎぎナド

うちぎぬ（……）〔第三上〕名。〔打ち衣〕　服ノ名。ムカシノ婦人ガヒトヘノ上、又ハアコメノ上ニ着ヌ服。―女官飾抄、「うちぎぬノコト、紅ノアヤヲウツテカサネラレ候フヌ」。

△うちぎぬ（……）〔……〕名。〔……杵〕　タダノきぬトオナジモノ。―西鶴、若風俗、「米モオホカヌニシラムトキ、うちぎぬヲ投ゲステセハシク身ヲカクス」。

△うちきらす（金平自動四段。　空ガキリワタル。―萬葉集、「うちきらし、雪ハフリツツシカスカニワガイヘノ園ニウグヒスアナク」。

うちきん（第二上）名。〔内金〕　スベテノ金高ノ中ノオクラカノ金。

うちぎん（……）名。〔打ち金〕　オモニ商人ノイフ語。ヤスイ品ヲヌタカイノト易ヘルトキ、不足ダケノ價ヲツグナフ金。

▲うちぐし（第三ク）〔第二上〕名。　加賀ノ方言。蟲ノ名。うじノ一名。

うちくび（第三上）名。〔打ち首〕　ざんざいトオナジ語。

うちぐもり（第三ク）〔金平〕名。〔内曇り〕
（一）空ノくもりノこがみノ一種。上下ニ雲形ノスキ出シテアルモノ。（二）マタ、砥石ノ名。山城ノ國鳴瀧カラ出ル。玉子色デ、ムラサキノ摸様アルモノ。（三）かはらけノ一種。

うちこし（……）名。〔氏子〕　（一）氏神ノ支配ヲ超エテ、特別ニエランデ盃ヲサスコト。（二）うぶすなノ守護ノ下ニアル人。―近松、心中二枚繪草紙、「サレドモオカシマ大明神、うちこヲフビントモオボシメサズ」。（三）うぢこぢゆうノ略。

うちこし（……）名。〔打ち越し〕　連歌ノ語。さりきらひノ一ツ。テニハヲ前ノ句ノママニスルコト。

うちこし（……）名。〔……〕　酒ノミノ語。人ノウチニ非ル人。―浅井了意、東海道名所記、「セメテうちこ昼ナドガツカフ道具ノ名。桶ニツカフ板ノ類スベテ鄙曲シタモノヲクヅル一種ノかんな。外ヲケヅルノヲそゞぜんトイ

中ニクロイ摸様ノアルモノ。

○うちごら（……）〔……〕名。〔……藏〕
圍ッテツクツアル藏。―西鶴、若風俗、「うちごらノカタスミニ積ミカサネラレ」。

うちごり（……）〔第二上〕名。〔打ち裏〕　かぐりヲ燕シテ甘イ味ヲ付ケ、紙ヲアテガッテ打チツブシテ、平タクシタモノ。甲州カラ出ル。

うちごし（第四上）名。〔内樋〕　内側ヲ向イタ方ノくるぶし。

うちぐるわ（第三ク）〔第三上〕名。〔……廓〕
城ナドデイフ語。そとぐるわノ對。くるわ參考。

うちけし（金平）名。〔打ち消し〕　（一）ウチ消スコト。（二）語學ノ語。動詞ノアラハス意味ヲ反對ニコナスコト。行クヲ行カヌトシ、見ルヲ見ヌトスル類。

△うちけす（……）他動四段。〔……す〕　（一）消ス。＝無クナス。（二）ホロボス。＝タチヲチ

△うちすかす（第四カ）〔第五ウ〕（第四上）自動四段。〔……繰ふ〕　ウチツヅク。＝ヒキツヅク。

うちすぐめ（第三上）名。〔内雀〕　家ノ内ニ入ル故ノ名。雌ノひとりむし。カタチハ大キク、翼ハ茶色デヨク雀ニ似、腹ハ紅ヲツケタヤウニアカイ。モトハ毛蟲ノ化シタモノ。＝ザシキスズメ。

△うちすみ（金平）名。〔……住み〕　内裏ニ住マフコト。―源氏、「カク心ボソクテオハシマサンヨリハ、うちすみヲセサセタマヒテ」。

●うちすゑル（……）他動二。　うちすうノ語。さりきらひノ一ツ。テニハヲ前ノママニスルコト。

うちぜん（第三上）名。〔……鐵〕　オモニ桶ノ類スベテ鄙曲シタモノヲクヅル一種ノかんな。外ヲケヅルノヲそゞぜんトイ

国立国会
27. 3. 4
図書館
261008

ヒ、ソレニ對シテ内ヲクヅルノヲうちぜんト云フ。ぜん參考。

++うちだし（全平）名。〔打ち出し〕（一）ウチダスコト。―織場新話「藥屋ニテ總役者、狂言方、囃子町、淨瑠璃太夫、ミナミナソレゾレノ出シアヒニテ大振舞ヒアリ。うちだし後ナリ」。―同「サテ一番大皷ハ緑ヨリウチハジメ、うちだしノ大皷ハフチニテウチトメルナリ」。（二）スベテ、ウキアゲテコシラヘタモノ。―「うちだしノ印影」。

うちだす（……）他動、四段。〔……す〕（一）ウツテ出ス。（二）芝居ナドガヲハッテ大皷ヲウツテ見物人ヲ去ラセル。（三）スベテ、摸様モノナド、ウヲカヲウツテオモテヘ高クウキ上ラセル。（四）途地ノ竿ヲタテ、餘分ノ土地ヲ勘定シ出ス。

△うちだち（第二上）名。〔打ち大刀〕（一）大刀打ニ用ヰラレ得ベキ刀。（二）大刀打。

○うちたれ・がみ（第五ウ）（第四上）名。〔……垂れ髪〕ムカシノ婦人、小兒ノ髪ノ名。結バズニ垂レタモノ。―夫木集「信實、ウナ井コガうちたれがみヲフリソケテムカヒツヅケテ袖カザスナリ」。

○うちちがひ（第四ガ、第五イ）（全平）名。〔……違ひ〕アッチガヒ。

○うちつく（……）他動、下二〔……付く〕（一）ウチアテル。（二）サシモル。―「うちつけヲ言フ」。

△うちつ・くに（第三上）名。〔内つ國―うち（内）つ之くに（國）ノ義〕（一）諸道ニ對シテ五畿内。（二）外國ニ對シテ日本。

うちつけ（全平）根。〔打ち付け―うちつくヲ求メ語〕（一）ソッジ。―タウトッ。（二）アッツケ。

うちつけに（……）副。（……に）前ノ副詞體。

○文高用。●音高用。無印、音文兩用。††、又ハする・デ動詞ニナルモノ。△古語。▲方言、俚語。☆參考。

スベテ、ウチアテル。―シトメル。

●うちとめ（……）名。〔……留め〕ヲハリ。―クツキヨク。―ドンヅマリ。―「うちとめニ北ヲモタセル」。

●うちとめル（……）他動、二〔……る〕うちとむノ近體。

++うちとり（……）名。〔内取り〕角力ノセチ。―ノトキ、即チ七月二十六日、左ト左、右ト右ヲシアハセ、習禮ノタメメオコナハレタ儀式。―江家次第「うちとり御裝束」。

○うちなびく（……）就。〔打ち靡く〕くろかみくさかの山、峯ぁをやぎナドニカカル枕詞。―萬葉集「うちなびく春サリクラシ、シカスカニ天雲キリアヒ、雪ハフリツツ」。

△うちならし（……）名。〔鞭ち鳴らし―（聲）〕乘器ノ名。平タクテ曲リモノニカケテナラス。モトハ石、後世金屬デモツクル。―ケイ。―和名抄「宇知奈良之」。

++△うちならし（……）名。〔内習し〕シタグイコ。―ココロミ。―源氏「ゴランゼンうちならし」。

うちね（……）名。〔鞭ち根―ねハやのねノね〕兵器ノ名。敵ニナゲツケモノ。形ハしゆりけんニ似テ、フトク短クックッテアル矢。

●うちの・うち（第三上）名。〔家の内〕家ノウチ。―カナイ。―「うちのうちデ血デ血ヲアラフ」。

△うちの・ふとどき（第五上）名。〔内大臣〕うちのたほれみト同ジ語。

△うちの・ふほおみ（……）名。〔内大臣〕内大臣ノ一名。相當ハ從二位或ハ正二位。孝徳天皇ノ大化元年ニハジメテ左右大臣ヲ定メ、ソノ時ヤガテ大織冠鎌子ノ連ヲコレニ任ジタルニコロカラ始マッタ官名。位

ハ左右大臣ノ上ニアル。久シク絶エテ、ヤウヤク光仁天皇ノ御宇藤原良繼、魚名、ナドヲうちのおほおみニシテ、コレカラハ位階ガ轉倒シ、左右大臣ノ下トナリ、別ニコレヲトッテ職掌ノナイモノトナル。―ナイダイジン。

△うちの・かしはでの・かみ（……）名。〔……膳正〕うちのかしはでのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ上。數ハ一人。―ナイゼンノカミ。

△うちの・かしはでの・つかさ（……）名。〔……司〕ムカシノ中務省ノ被管ノ一ツカサノ名。宮内ノ藥ニ關スルコトヲトリ扱フ職。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ上マデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令一人、侍醫四人、藥生十人、使部十人、直丁一人。―職員令「内藥司」。

△うちの・くすり・の・かみ（……）名。〔……藥正〕うちのくすりのつかさノ長官。宮内ノ藥ヲツカサドルモノ。相當ハ正六位ノ上。數ハ一人。―職員令「内藥司、正一人」

△うちの・くすり・の・つかさ（……）名。〔……司〕ムカシ、中務省ノ被管ノ一ツカサノ名。宮内ノ藥ニ關スルコトヲトリ扱フ職。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ上マデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令一人、侍醫四人、藥生十人、使部十人、直丁一人。―職員令「内藥司」。

△うちの・くら・の・かみ（第五上）名。〔内藏頭〕うちのくらのつかさノ長官。相當ハ從五位ノ上。ママ四位デモ任ズル。唐名、倉部郎中、又ハ左右藏令、又ハ内府令。數ハ一人。―クラノカミ。―職員令「内藏寮、頭一人」。

△うち・の・くら・の・つかさ（……）名。〔……寮〕宮内ノ金銀、珠玉、寶器、綾錦ソノ他一切財寶ニ關シタコトヲトリアツカフ官ニハ從六位ノ上カラ少初位ノ上マデ。唐名、倉府、又ハ少府。所屬ノ人數、頭一人、助一人、允一人、大屬一人、少屬一人、大主鑑二人、少主鑑二人、藏部四十人、典履二人、百濟手部十人、使部二十人、直丁二人。―クラノツカサ。―職員令「内藏寮、掌金銀、珠玉、寶器、錦綾雜綵、氈褥、醫藥、貢獻

モロノウヂノ中デ本家ダルモノ。コレヲ上トシテ一族ノコトヲツカサドラセル。―ウヂノチャウジャ。―ウヂノヲサ。―日本紀「うぢのかみ（民部、家部）」。

△うちの・かもり・の・つかさ（第六上）名。〔内掃部司〕うちのかにもりのつかさトオナジモノ。

△うちの・くすり・の・かみ（……）名。〔……藥正〕うちのくすりのつかさノ長官。宮内ノ藥ヲツカサドルモノ。相當ハ正六位ノ上。數ハ一人。―職員令「内藥司、正一人」

△うちの・かもり・の・つかさ（第六ウ）（全平）名。〔内掃部司、正一人〕

●うちのぞく（……）他動、二〔……く〕（一）ソトヘノゾク。（二）ソトヘ出ル。―「うちのぞく人ハ、ヒトリモナシ」。

△うちの・ぞ・こと（第五上）名。〔内大臣〕うちのたほれみト同ジ語。

△うちの・ぞ・の・かみ（第五上）名。〔内掃部頭〕うちのかにもりのつかさノ長官。相當ハ從五位ノ上。ママ四位デモ任ズル。唐名、倉部郎中、又ハ左右藏令、又ハ内府令。數ハ一人。―クラノカミ。―職員令「内藏寮、頭一人」。

△うち・の・かに・もり・の・つかさ（第六ウ）（全平）名。〔内掃部司、正一人〕宮中ノ掃除ヲツカサドルコトヲトリアツカフ官ニハ從六位ノ上カラ少初位ノ上マデ。唐名、倉府、又ハ少府。所屬ノ人數、頭一人、助一人、允一人、大屬一人、少屬一人、大主鑑二人、少主鑑二人、藏部四十人、典履二人、百濟手部十人、使部二十人、直丁二人。―クラノツカサ。―職員令「内藏寮、掌金銀、珠玉、寶器、錦綾雜綵、氈褥、醫藥、貢獻

○うち・と（第一上）名。〔……外〕ウチトソトト。

うち・とく（全平）自動、下二〔打ち解く〕くノ近體。

△うち・とけ・ごと（第五ゴ）……名。〔……け言〕打チトケテ云フコトバ。―枕ノ草紙「オクノ方ニうちとけごとイフヲ」。

うちとけ・すがた（第六ガ）（第五上）名。〔……姿〕ウチトケタ姿―ジダラクナ姿―嵯峨日記「うちとけすがたニテイデテ見ルニ」。

○うちとけ・ぶみ（第四上）名。〔……文〕ウチトケタ文句ヲカイタ手紙。―源氏「うちとけぶみヲバ御覽ゼント」。

++△うちとけ・まさり（第五上）名。〔……優さり〕ウチトケテ却ッテ姿ナドガマサルコト。―源氏「うちとけまさりノイササカモアラバ」。

●うちとける（全平）自動、二〔……る〕うちとくノ近體。

うちとねり（第三上）名。〔内舍人〕中務省ニ屬スル職。古ヘ八公家ノ子弟ヲアゲ、禁裏殿上ノ事ヲナラフタメニ用ヰ、後ニハ源平二氏カラデモ然ルベキモノヲ取ッテモチヰタモノ。―ウチノトネリ。―ウドネリ。―ナイシャジン。

うちとの（全平）名。〔打殿〕裝束ヲウッチコロ。

△うちとの・の・ふみ（第一上）名。〔内外の書〕佛書ト儒書ト。

△うちとの・の・みや（……）名。〔……宮〕伊勢（外）ト加茂（内）トノ二ツノイツキノミヤ。

○うちとむ（全平）他動、下二〔打ち留む〕

奇瑋之物、年料供進御服及別勅相物事」。
△うちの・しるすつかさ（全平名）〔内記〕相當正六位ノ上カラ正八位ノ上ヤデ、中務省ノ所属。詔勅ヲックリ、ソノ外スベテ御書ノ記錄ノコトヲ司ル職。コレニ大中少ノ三段アリ。大ハ相當正六位ノ上（後世五位）、日野、南萱、江、清、中ナドノ儒門ノ中カラ文筆ニタヘルモノヲ擇ミヌイテ任ジタモノ。中及ビ少ハ同ジ儒門ノ學生カラ拔ク。中ノ相當ハ正七位ノ上、少ノ相當ハ正八位ノ上。コレヲ支那ニ配スレバ大内記ハ杜下起居郎、少内記ハ著作郎、今ノ官名ニ配スレバ書記官。數ハ大中少各二人ヅツ。―ナイキ。―職員令、「大内記二人中内記二人、少内記二人」。
△うちの・そめもの・の・かみ（第九上）名。〔内染正〕　うちのそめもののつかさノ長官、相當從六位ノ上。數ハ一人。―職員令、「内染正一人」。
△うちの・そめもの・のつかさ（全平名）〔内染司〕宮内省ノ被管、宮中ノモロモロノ染タモノノコトヲツカサドル職。相當ハ從六位ノ上カラ少初位ノ上。所属ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、染師二人、使部六人、直丁一人。―職員令、「内染司」。
△うちの・たくみ・の・かみ（第六上）名。〔内匠頭〕　うちのたくみのつかさノ長官、相當從五位ノ上。唐名、少府又ハ中匠令。數ハ一人。―タクミノカミ。―職源抄、「内匠寮…頭一人」。
△うちの・たくみの・つかさ（…）名。〔…寮〕　中務省ノ所属。宮中ノ道具ヲツクリ、ソノホカ齋院ナドノ裝飾ノコトヲツカサドルモノ。神龜五年ハジメテコノ寮ヲオカレタ。所属ノ人數、頭一人、助、樣助、大允、小允、大屬、少屬、二唐名、少府。―タクミレウ。―和名抄、「内匠寮」。
△うちの・ぬひの・つかさ（…）名。…司　ムカシ中務省ニ屬シタ前ノ名。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ下。宮内ノ禮儀ヲ主ドル。所属ノ人數ハ正一人、佑一人、令史一人、使部六人、直丁二人、―職員令、「内禮正」。
△うちの・ものやうじや（第五ノ）（第十上）名。〔氏の長者〕　うぢの後世トナッテハ王氏、源氏、藤原氏、橘氏ニイミダマハル號トナル。
△うちの・をさ（第四上）名。〔氏の長〕　うぢのかみトオナジモノ。
うちは（第三ノ）（第二上）名。〔囚扇〕　アフイラ風ヲ出ス道具ノ名。扇ト同ジックリナガラ、コレハ蠟メヌモノ。―和名抄、「團扇、宇知波」。
●うちば（全平）根。〔内端〕　ウチキデアルコト。―デスギヌコト。―ウチワ。―山山人、娘節用、「マコトヨロヅうちばニシテ」。―谷峨、傾城買二筋道、「色男ノ行キ過ギハブヲトコノうちばニハ尚及バザルガ如シ」。
△うちはし（…）名。〔移橋〕　「うつり移はし橋」ノ義。　假リニカケワタス橋。―日本紀、「うちはしヲックラシ」。―源氏、「うちはし、ワタドノナド」。
うちはだいこ（第三ノ）（第四上）名。〔團扇太鼓〕　太鼓ノ一種。革ハ一枚、マルク張リ、柄ガアッテ、團扇ノヤウニ拵ヘタモノ。兩面カラ叩キ得ラレル。主ニ法華宗ノ信者ガ題目ヲ唱ヘル時ニウツ。―ダイモクダイコ。
うちはたス（…）他動、四段。〔擊ち果たす〕　ウチ殺シテシマフ。―命ヲ斷ッテシマフ。
△うちは・ふく（第三上）自動、四段。〔打ち羽ふく〕　ハバタキヲスル。（鳴ク前ナドニ鳥ガスル働キ）―長明、「うちはふき今モ鳴カナンホトトギス卯ノ花ヅキヨサカリ更ケユク」。
△うちの・ねやの・つかさ（…）名。…司　ムカシ中務省ニ屬シタ前ノ名。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ下。宮内ノ禮儀ヲ主ドル。所属ノ人數ハ正一人、佑一人、令史一人、使部六人、直丁二人、―職員令、「内禮正」。
△うちの・ものやうじや（第五ノ）（第十上）名。〔氏の長者〕　うぢの後世トナッテハ王氏、源氏、藤原氏、橘氏ニイミダマハル號トナル。―今昔物語、「二郎ノ大臣ノ御ン流レハうぢのものやうじやヲッギテ」。
△うちの・つはものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら・の・かみ（……）第七、八合）第一上）名。〔氏の長者〕　うぢのつはものの長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。宮内ノ諸禮ヲッカサドル。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・つかさ（……）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。
うちのり（…）名。〔内乘り〕　測量ノ語。柱ナド、内面ニ向カフ側カラ他ノ同ジ側マデノサシフダシソノ外面ノ側マデノヲソノトリイフ。ソレ故ニ柱ヲ客五寸ヅツトシテうちのり一尺アルト言ヘバ、即チソノ断ッテシマフ。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ねり（…）名。〔内の舍人〕　うどねりトオナジモノ。
うちの・べ（全平）根。〔打ち延べ〕　ウッテ延バスコト。―「うちのべノキセル」。
△うちの・みこ（…）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。
うちのり（…）名。〔内乘り〕　測量ノ語。柱ナド、内面ニ向カフ側カラ他ノ同ジ側マデノサシフダシソノ外面ノ側マデノヲソノトリイフ。ソレ故ニ柱ヲ客五寸ヅツトシテうちのり一尺アルト言ヘバ、即チソノ断ッテシマフ。
△うちの・ものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら・の・かみ（……）第七、八合）第一上）名。〔氏の長者〕　うぢのつはものの長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。宮内ノ諸禮ヲッカサドル。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ねり（…）名。〔内の舍人〕　うどねりトオナジモノ。
うちのべ（全平）根。〔打ち延べ〕　ウッテ延バスコト。―「うちのべノキセル」。
△うちの・みこ（…）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。
うちのり（…）名。〔内乘り〕　測量ノ語。柱ナド、内面ニ向カフ側カラ他ノ同ジ側マデノサシフダシソノ外面ノ側マデノヲソノトリイフ。ソレ故ニ柱ヲ客五寸ヅツトシテうちのり一尺アルト言ヘバ、即チソノ断ッテシマフ。
△うちの・たくみ・の・かみ（第六上）名。〔内匠頭〕　うちのたくみのつかさノ長官。相當從五位ノ上。唐名、少府又ハ中匠令。數ハ一人。―タクミノカミ。―職源抄、「内匠寮…頭一人」。
△うちの・たくみの・つかさ（…）名。〔…寮〕　中務省ノ所属。宮中ノ道具ヲツクリ、ソノホカ齋院ナドノ裝飾ノコトヲツカサドルモノ。神龜五年ハジメテコノ寮ヲオカレタ。所属ノ人數、頭一人、助、樣助、大允、小允、大屬、少屬、二唐名、少府。―タクミレウ。―和名抄、「内匠寮」。
△うちの・ぬひの・つかさ（…）名。…司　ムカシ中務省ニ屬シタ前ノ名。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ下。宮内ノ禮儀ヲ主ドル。所属ノ人數ハ正一人、佑一人、令史一人、使部六人、直丁二人、―職員令、「内禮正」。
△うちの・ものやうじや（第五ノ）（第十上）名。〔氏の長者〕　うぢの後世トナッテハ王氏、源氏、藤原氏、橘氏ニイミダマハル號トナル。―今昔物語、「二郎ノ大臣ノ御ン流レハうぢのものやうじやヲッギテ」。
△うちの・つはものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら・の・かみ（……）第七、八合）第一上）名。〔氏の長者〕　うぢのつはものの長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。宮内ノ諸禮ヲッカサドル。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ねり（…）名。〔内の舍人〕　うどねりトオナジモノ。
うちのべ（全平）根。〔打ち延べ〕　ウッテ延バスコト。―「うちのべノキセル」。
△うちの・みこ（…）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。

うちはふく（第二ノ、第五ノ）（第四上）名。〔鯛扇河豚〕　魚ノ名。ふくノ一種。腹ノ皮ガヨク海少ノピルモノ。
△うちはへ（第四ニ）（全平）副。〔打ち延へ〕　ナガビイテ。―ウチハヘテ。―枕ノ草紙、「雨ノうちはへ降ルコロ」。
△うちはへて（……）副。〔……て〕　うちはへト同ジ語。―古今集、「咲キソメシ時ヨリノチハうちはへて世ハ春ナレヤ色ノツキナル」。
うちはらひ（第五イ）（…）名。〔打ち拂ひ〕
（一）塵ヲハラフ器ノ名。丁字形ノ擇ニ布ヲマトヒ付ケタモノ。神ヲヤシロデ用井ル。
（二）鐵砲、大砲ナドスベテ放射スルモノヲ他ヲ追ヒハラフコト。
うちはらフ（第五ウ）（第四上）他動、四段。〔……ふ〕
（一）ハラフ。―キレイニスル。
（二）鐵砲、大砲ナドスベテ放射スルモノヲ他ヲ追ヒチラス。
○うちび（第二上）名。〔打ち火〕　打ッテ出ス幾。
○うちひさす（第四上）枕。〔美日差す〕　みや、みやこカカル枕コトバ。「宮ナドニ朝日ノ影ノサス樣子ハ美シク、リッパデアル處カラ」
うちひも（第三上）名。〔打ち紐〕　二本以上ノ絲デ打ッテ組ンダ紐。―森山泰盛、「腰の小手卷、うちひもヲイクスデモ寄セテ搦ヘタルモアリ」
うちふところ（全平）名。〔内懷〕　最モ肌ヘ近イ部分ノフトコロ。（そとふところノ對）。ふところ參考。―西鶴、「若風俗、襦モ鼻ガミ袋ニヲサメ、モミノ脚布ヲうちふところニマクリアゲ」。―三世相錦繡文章、「投ゲ出ス財布、七郎助、コハゴハ取ッテうちふところ、大屬、少屬、二唐名、少府。―タクミレウ。―和名抄、「内匠寮」。
△うちの・ぬひの・つかさ（…）名。…司　ムカシ中務省ニ屬シタ前ノ名。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ下。宮内ノ禮儀ヲ主ドル。所属ノ人數ハ正一人、佑一人、令史一人、使部六人、直丁二人、―職員令、「内禮正」。
△うちの・ものやうじや（第五ノ）（第十上）名。〔氏の長者〕　うぢの後世トナッテハ王氏、源氏、藤原氏、橘氏ニイミダマハル號トナル。―今昔物語、「二郎ノ大臣ノ御ン流レハうぢのものやうじやヲッギテ」。
△うちの・つはものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら・の・かみ（……）第七、八合）第一上）名。〔氏の長者〕　うぢのつはものの長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。宮内ノ諸禮ヲッカサドル。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ねり（…）名。〔内の舍人〕　うどねりトオナジモノ。
うちのべ（全平）根。〔打ち延べ〕　ウッテ延バスコト。―「うちのべノキセル」。
△うちの・みこ（…）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。
うちのり（…）名。〔内乘り〕　測量ノ語。柱ナド、内面ニ向カフ側カラ他ノ同ジ側マデノサシフダシソノ外面ノ側マデノヲソノトリイフ。ソレ故ニ柱ヲ客五寸ヅツトシテうちのり一尺アルト言ヘバ、即チソノ断ッテシマフ。
△うちの・たくみ・の・かみ（第六上）名。〔内匠頭〕　うちのたくみのつかさノ長官。相當從五位ノ上。唐名、少府又ハ中匠令。數ハ一人。―タクミノカミ。―職源抄、「内匠寮…頭一人」。
△うちの・たくみの・つかさ（…）名。〔…寮〕　中務省ノ所属。宮中ノ道具ヲツクリ、ソノホカ齋院ナドノ裝飾ノコトヲツカサドルモノ。神龜五年ハジメテコノ寮ヲオカレタ。所属ノ人數、頭一人、助、樣助、大允、小允、大屬、少屬、二唐名、少府。―タクミレウ。―和名抄、「内匠寮」。
△うちの・ぬひの・つかさ（…）名。…司　ムカシ中務省ニ屬シタ前ノ名。相當ハ正六位ノ上カラ大初位ノ下。宮内ノ禮儀ヲ主ドル。所属ノ人數ハ正一人、佑一人、令史一人、使部六人、直丁二人、―職員令、「内禮正」。
△うちの・ものやうじや（第五ノ）（第十上）名。〔氏の長者〕　うぢの後世トナッテハ王氏、源氏、藤原氏、橘氏ニイミダマハル號トナル。―今昔物語、「二郎ノ大臣ノ御ン流レハうぢのものやうじやヲッギテ」。
△うちの・つはものの・のくら（第五ノ）（第十上）名。〔内兵庫〕　ムカシ御料ノ兵器ヲッカサドッタカカリノ名。相當ハ正六位ノ下ヤデ。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、使部十人、直丁一人、―職員令、「内兵庫」。
△うちの・つはものの・のくら・の・かみ（……）第七、八合）第一上）名。〔氏の長者〕　うぢのつはものの長官。相當ハ正六位ノ下。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ぬやの・かみ（第五上）名。〔……禮正〕　うちのぬやのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。宮内ノ諸禮ヲッカサドル。數ハ一人。―職員令、「内禮正」。
△うちの・ねり（…）名。〔内の舍人〕　うどねりトオナジモノ。
うちのべ（全平）根。〔打ち延べ〕　ウッテ延バスコト。―「うちのべノキセル」。
△うちの・みこ（…）名。〔内の親王〕　内親王ノ一名。

うちはふく（第二ノ、第五ノ）（第四上）名。〔鯛扇河豚〕　魚ノ名。ふくノ一種。腹ノ皮ガヨク海少ノピルモノ。
△うちはへ（第四ニ）（全平）副。〔打ち延へ〕　ナガビイテ。―ウチハヘテ。―枕ノ草紙、「雨ノうちはへ降ルコロ」。
△うちはへて（……）副。〔……て〕　うちはへト同ジ語。―古今集、「咲キソメシ時ヨリノチハうちはへて世ハ春ナレヤ色ノツキナル」。
うちはらひ（第五イ）（…）名。〔打ち拂ひ〕
（一）塵ヲハラフ器ノ名。丁字形ノ擇ニ布ヲマトヒ付ケタモノ。神ヲヤシロデ用井ル。
（二）鐵砲、大砲ナドスベテ放射スルモノヲ他ヲ追ヒハラフコト。
うちはらフ（第五ウ）（第四上）他動、四段。〔……ふ〕
（一）ハラフ。―キレイニスル。
（二）鐵砲、大砲ナドスベテ放射スルモノヲ他ヲ追ヒチラス。
○うちび（第二上）名。〔打ち火〕　打ッテ出ス幾。
○うちひさす（第四上）枕。〔美日差す〕　みや、みやこカカル枕コトバ。「宮ナドニ朝日ノ影ノサス樣子ハ美シク、リッパデアル處カラ」
うちひも（第三上）名。〔打ち紐〕　二本以上ノ絲デ打ッテ組ンダ紐。―森山泰盛、「腰の小手卷、うちひもヲイクスデモ寄セテ搦ヘタルモアリ」
うちふところ（全平）名。〔内懷〕　最モ肌ヘ近イ部分ノフトコロ。（そとふところノ對）。ふところ參考。―西鶴、「若風俗、襦モ鼻ガミ袋ニヲサメ、モミノ脚布ヲうちふところニマクリアゲ」。―三世相錦繡文章、「投ゲ出ス財布、七郎助、コハゴハ取ッテうちふところ、
うちまた（…）名。〔内股〕
●うちまた・がうやく（第五コ）（第五上）名。〔……膏藥〕　ウチマタノ一部分ニ付ケル膏藥ハ雙方ノ股ガ近イタメニ一方ニノミ附イテ居ズ、兎モスレバ他ノ一方ニモ附キタガルト云フ所カラ轉ジテ、ウチマタガルコト。―滋井了意、東海道名所記、「馬ニ乘レドモカラシリハ耻賀イクバクナラズ、うちまたげニ飛ビノリ赤坂マデ來サシメントテヒキタテ行ク」。
△うちまつ（第二上）名。〔打ち松火〕　タイマツ。
○うちまめ（……）名。〔……豆〕　大豆ヲ少シ煮テ敷シ、槌デ打チヒラメタモノ。多ク汁ナドニ入レテ煮ヲ食フ。
▲うちまる（全平）名。〔宇治丸〕　「まるハうなぎノ異名」　鰻ヲ酢ニシ、又ハヒモノトシタモノ。山城宇治ノ産。
△うちまゐり（…）名。〔内參り〕　サンダイ。―宮中（參上スルコト。―源氏、「うちまゐりヨリ外ノアリキナド」。
うちみ（第三上）名。〔打ち身〕　カラダニ起ルフヅラヒノヒトツ。身躰ヲウチ傷ツケナドシ、其後ニナリ、ヲリヲリ痛ミヲ出スモノ。―「うちみガ起ル」。
うちみず（全平）名。〔内御簾〕　芝居ニ云フ語。舞臺ノ方カラ八間ダケノシタサジキ。（そとみずノ對）。
△うちみだり（第五上）名。〔打ち亂り〕　うちみだりのはこノ略。
△うちみだりのはこ（全平）名。〔……の筥〕　（色色トリミダシテ容レルトノ義）　（一）普、手巾ナドヲ入レル箱。（二）後世轉ジテ、櫛、ソノ外コザコザシタ化粧ノ道具ヲ入レル箱。―和名抄、「巾箱…盛手布之器也俗云打亂筥」。―源氏、「オン櫛ノハコ、うちみだりのはこ」。
うちみづ（第二上）名。〔打ち水〕　大地ヘウッテシメス水。―ウタセミヅ。―西鶴、若風俗、「庭ニヒトムラノ萩サキテ、露ハ露ニモアラネニ、うちみづノ葉末ニトマリヲ大夫フカクアハレミ」。
うちむらさき（第四上）名。〔内紫〕　（一）

介ノ名。むらさきがひノ一名。(二)▲筑前ノ方言。肉ニ紫カカッタ色ノナルさばん。

うち・むろづくり　(第五上)名。(……室造り)家ノ建築ニ云フ語。昔ノ搾ヘカタ。屋根ワバ裏ヲ見セヤマヽ、天井ヲ張ラヌックリ。紫宸殿、清涼殿、ソノホカ神社、佛寺ナド二多ク用ヰル。

うちもの　(第二上)名。(打ち物)　(一)スベテウチキタヘタ武器。刀、鉾、鐵鉾ノ類。—「うちものヽ取ツタハ昔ノ義經モ及バズ」。(二)轉ジテ、ウチキタヘテ作ッタ金ノウツハ。(鑄物ノ對。　(三)糖デウチシメタ布。菓華物語「オリモノ、うちものヽ、ニシキ、ヌヒモノ」。(四)ミヂン粉ニ砂糖ヲ混ゼ、カタニ入レテウツタ菓子。らくがんノ一種。

(五)○手デ打ツテナラス樂器ノ總名。ツヾミノ類。

うちものし　(第四上)名。(……師)　刃物ヲキタヘル職人。—カタナかぢ。

うちもも　(第三上)名。　股ノウチガハノ部分。

うちやう　(第二上、第二三合)(第二三上)名。(有頂)　うちやうてんノ略。—近松、釋迦如來誕生會「上ハうちやう、下ハ大地ノソコマデモ君ガ爲ノニハ御ン供ト」。

うちやう・てん　(……天)　佛說ニ云フ語。九天ニアル中ノソノ極メテ限リノ天。てん參考。

うちやうてん　(……)(……)根。(……)(うちやうてんニキハマリ登ルト云フ所カラ轉ジテ)スベテ一心ソノコトニノミ浮カレカタムクコト。—淺井了意、東海道名所記、「三味線ヲ調ベテ一曲ヲ語ベバうちやうてんニナリテ」。—三世相錦繡文章、「オオ、アノ障子ガヤブレテ井ル。確カニアノウ

ツクル。—「假屋ヲうつ」。—「幕ヲうつ」。(十三)ヤチガクシバル。—「繩ヲうつ」。(十四)キヌベテタコシラベル。—「刀ヲうつ」。(十五)ヒロガルヤウニフリヤキ、又ハヒログル。—「水ヲうつ」。—「網ヲうつ」。(十六)組ミ編ム。—「ウチ紐ヲうつ」。(十七)勝負ゴトヲスル。—「バクチヲうつ」。—「碁ヲうつ」。—「將碁ヲウハイハヌ」。(十八)粉類ヲヤリカタメル。—「ウドンヲうつ」。—「蕎麥ヲうつ」。(十九)金箔ノウヘヤノイクブンカヲ隙メ保證チドニ差シ出ス。—「內金ヲうつ」。(二十)檢地ノ時、反別ヲハカル。—「檢地ヲうつ」。(二十一)スベテ興行モノヲコウギヤウスル。—「芝居ヲうつ」。—「見セ物ヲうつ」。(二十二)ニガイテオク(紋ヲ)。—「歌舞伎役者ノ紋ドコロヲうつたセヲサシタリ」。(二十三)ウツテ出ス(火ヲ)。—近松、心中二枚繪草紙「消エテモモチハ火バうたヌ」。(二十四)ソリカヘル(打チ刀ノ柄ヘナドガ)。—近松、博多小女郎浪枕「脇差ニ手ヲカクレバ「ヤ、ソリヲうつテオドシテモソリヲヌ取ラズニオカウカト」。(二十五)作リ搾ヘル(主ニ三味線ニイフ)。—國町ノ沙汰、「近江ガうちシ紫檀ノ三味線、金ノシトメアルカ無キカニ忍バセ」。(二十六)差シ出ス(枝ニ云フ)。—セイセイトシテ木ガ枝ヲうつ」。

○うツ　(……)自動下二。　ケオサレル。—マケテ負ケル。—著聞集「コノタビハ重光ラうてニケリ」。—源平盛衰記「ユユシク見エツルスルスミモ優サル池月ニ逢ヒタレバムゲニうてテゾ見エタリケル」。

△うつ　(全平、接頭)(盧＝窪)　ウツロデアル。—中ガミヤクボヌ。—古事記「うつセミ」。

うづ　(第一上)名。(淵)　(一)水ト水ト衝突スルイキホヒデ一ツノ場所ニ水ガ形チノ程マデモ見ン」。—後成ニミシメヒクうづきノイミヲサス日ヨリ心ニカカルアフセダサカナ」。

◎うづきノイミ　(うづきハ生ニ昔マツリノアッタ月ニテ、精進ヲシテ忌ミ籠ッテ井ルト云フ義モ現シ、又、卯月カラ夏ニカケル所カラ春ノカヘルノヲ引キトメタイト云フ心ニモナル。前ニ引イタ二種ノ歌ハ何レモ其意味ヲ現シタモノ)。

○うづき・の・はな　(……)名。(……の花)　うのはなノ一名。(歌ニノミ用ヰル)。

▲うづき・ばな　(第二上)名。(……花)　(うづき(四月)ニサク花トノ義)　伊勢ノ方言。木ノ名。しゃくなげノ一名。

○うつく　(全平)自動、下二。(盧く)　(一)中ガカラニナル。(二)轉ジテ心ガボンヤリトスル。—アハウデアル。—「うつけタル姫」。

うづく　(第二上)自動四段。(疼く)　(一)ウゴメクヤウデ、稍イタミヲ持ツヤウナ感ジヲ示ス語。ノボセテ齒ガ浮キダシ、何トナクヤガテ痛ミ出シデモシサウニ成ッタ時ノ感ジナドニイフ。(二)▲岡山ノ方言。イタム(齒ガ)。

◎此岡山ノ方言ノうづくハ普通ニ所謂うづく即ち第一解義ノ義ヲ持タズ、タダ何ガナシ齒ノイタミノ時ニ云フ。

○うつくし　(第三上)形。(愛くし)(いつくし)(愛)ノ轉　愛スベクアル。—イックシ。—萬葉集「アメッシノ何レノ神ニイノラバカうつくし母ニ又コト問ハン」。

○うつくし　(……)形。(美＝麗＝艶＝好＝妍＝孌＝妓＝娟＝姝＝妖＝嫣＝嬌＝靡＝綽)

くし〔前ノ語カラ轉ジテ〕 (一)愛スベクアル。＝程ノイイ。＝アテヤカデアル。＝ツルハシクアル。＝キレイデアル。—「うつくしき花」。—「うつくしき人」。—「うつくしきオモテ」。—枕ノ草紙「イミジウうつくしきチゴノイチゴ食ヒタル」。(二)〔轉ジテ〕ハツキリト心ヲノヨサズ未練ヲアラハサヌ。—三世相錦繡文章「キサンキサンモ開キアキタ。アキタニ由ツテうつくしう別カレテクダサンセ」。

●うつくしイ (第四上)形。〔…い〕 前ノ語ノ近體。

○うつくしげ (第五ゲ)(全平)根。〔…げ〕 スベテ、ウツクシクアルヤウス。＝ウツクシイグアヒ。

○うつくしげさ (第五ケ)(第五上)名。〔…げさ〕 ウツクシゲニアル度合ヒ。—源氏「うつくしげさ添ヘタマヘリ」。

うつくしげみ (…)(…)副。〔…に〕 うつくしげノ副詞體。

うつくしさ (第三上)名。〔…さ〕 スベテウツクシクアル度合ヒ。

○うつくしみ (全平)名。〔愛くしみ〕 いつくしみトオナジ語。

○うつくしむ (第四上)他動四段。〔…む〕 いつくしむト同ジ語。

▲うつくしもん (第三上)名。〔美くし者〕〔うつくしい(美)もの(者)ノ義〕 西京ノ方言。美人ノ一名。

○うづくまフ (第五ウ)(全平)自動、四段。〔蹲＝踞ム〕 うづくまるノ轉。

うづくまル (…)自動、四段。〔…る〕 (一)スヌテ前足ヲタテテスワル(ケモノガ)。「うづくまる虎」。(二)膝ヲ折ツテ井ル(人ガ)。—宇治拾遺「扇ヲ笏ニトリウツブシテうづくまり井タリ」。

うつけ (…)根。〔虛氣＝呆氣〕 (一)ウツケルコト。(二)スベテ心ノボンヤリトシタコト。—近松、釋迦如來誕生會「うつけノワザト思ヘドモ又コノ罰ノ增スベキカトイトド不便ゾマサリケル」。

▲うつげ (第三ゲ)(…)名。〔うつぎノ轉〕 土佐ノ方言。うのはなノ一名。

うつけもの (…)名。〔呆氣者〕 タハケモノ。＝ボンヤリシタモノ。＝バカモノ。＝チカン。(主ニ氣ノボンヤリシタ方ニイフ)。

●うつけル (…)自動、二。〔虛ける〕 うつくノ近體。—西鶴、一代女「うつけタル女郎ハセヌコトナリ」。

うつし (第三上)名。〔移し〕 (一)ウツスコト。—萬葉集「秋ノ露ハうつしナリケリミヅ鳥ノアヲ葉ノ山ノ色ツク見レバ」。(二)〔轉ジテ〕ノリカヘノクルマ、馬ナド。—「中將うつしニ乘リテ車ノ中ヘ近ウソヒテ立ツ」。(三)スベテ、他ノ形ニナゾラヘテ作ルコト、又其モノ。—「奈良ノ正倉院ノゴモツノうつし」。(四)たきものノ異名。＝カウ。＝ニホヒノモノ。(タイテニホヒヲ着物ナドニシメウツラセル所カライフ)。(五)うつしばなノ畧。

うつし (…)名。〔寫し〕 ウツスコト。＝又スベテ、ウツシタ書籍ノトナヘ。—蜀山人、奴師勞之、「俳諧師ノ作レルウミノサチト云フ書アリ、魚ノ正うつしナリ」。

うつし (全平)接頭。〔顯＝現し〕〔うつつ(顯)ノ義〕 スベテ現在或ハタシカデアルナドノ義ヲ持ツテ、他ノ語ニ續ク接頭語。—古事記、「うつしおみ」。—萬葉集、「うつしごころモワレハナシ」。

△うつしいろ (…)根。〔移し色〕 クレナ井色ノ又ノトナヘ。

うつしぐさ (第四グ)(第三上)名。〔移し草〕 草ノ名。はたるぐさノ一名。汁ヲ紙ヘ取ツテ模樣ナドニスル所カライフ。

○うつしごころ (第四ゴ)(第五上)名。〔顯心〕 マザマザトシタ心。＝ソトニ現ハレル心。—古今集「イデ人ハコトノミゾ好キ、月草ノうつしごころハ色ゴトニシテ」。

△うつしざま (全平)根。〔…樣〕 シカト現ハシタ有樣。—源氏「ココラ世ヲモテシヅメタマフ御心ミナ亂レテうつしざまニモアラズ」。

うつしのはひ (第六イ)(…)名。〔移しの灰〕 紅ヲオロストキ用井ル灰ノトナヘ。—仲實「白露ノうつしのはひヤ染メツラン、ヤシホノ岡ハ紅葉シニケリ」。

うつしばな (第三上)名。〔…花〕 (一)エノグノ稱ヘ。はたるぐさノ花ヲ摘ミ、紙ニウツシテオクモノ。あゐがみ參考。(二)▲筑前ノ方言。草ノ名。はたるぐさの一名。

△うづしほ (第四オ)(全平)名。〔渦潮〕 ウヅヲマク潮。—萬葉集「コレヤコノ名ニオフ鳴門ノうづしほニタマモカルトフアマヲトメドモ」。

うつしゑ (第三上)名。〔映し繪〕 光線ニ依ッテ繪ノ形ヲ更ニ光リトシテアラハスモノ。ガラスニ色色ナ物ノ形ヲ描キ、トモシビノ光リニ由ッテ繪ヲスキトヲラセテ障子、又ハ布ナドニ其ママ繪ヲ現ハス術。モトハおらんだ人カラ傳ハル。＝カゲヱ。＝ゲントウ。

◎かげゑトうつしゑトハ今日別段チガッタ意味モナイ。但シげんとうニ至ッテハ大キニチガフ。げんとうハ近頃ノ西洋風ノうつしゑデ、今日ノ意味デうつしゑハ、從來日本ニ用井ナラシタ風ノヲ云フコトニ成ッタ。

うつス (第三上)他動、四段。〔移＝遷＝徙す〕 (一)コレヲ彼ニカヘ、彼ヲコレニヒキナホス。—「風ヲうつし、俗ヲ換フ」。(二)ココカラムカフヘ置キナホス。—「家ヲうつす」。—「ヤドヲうつす」。(三)傳染サセル(病ヲ)。—「疱瘡ヲうつす」。(四)スゴス。—「時間ヲうつす」。

うつス (…)他動、四段。〔寫す〕 (一)光線ノ作用ニ由ッテ物ノ形チヲ寫眞ニトル。—「寫眞デ山ヲうつす」。(二)ホカニアル文字カ繪ヲ別ノ物ニ其通リニ書キトル。—枕ノ草紙「ナカニモ古今アマタ書キうつしナドスル人ハ皆覺エヌベキコトゾカシ」。—金葉集、顯季「我ガ戀ヒハカラス羽ニカク言ノ葉ノうつさヌホドハ知ル人モナシ」。

うつス (…)他動、四段。〔映す〕 照ラシテ影ヲアラハス。—「鏡ニうつす」。

うつせがひ (第四ガ、第五イ)(第三上)名。〔虛背貝〕〔うつし(虛)ノ義〕 (一)スベテ肉ノナイ介ノ名。海邊ナドニ漂着スル。—萬葉集「住ノ江ノ濱ニ寄ルテフうつせがひ、皆キコトモテ、ワレ戀ヒメヤモ」。(二)又、介ノ名。うづらがひノ一名。(三)又、介ノ名。うつぼがひノ一名。

○うつせみ (全平)名。〔顯身＝現身〕〔うつし(顯)み(身)ノ義〕 此世ニ現在スル身。—萬葉集「うつせみノイノチヲ惜ミ波ニヌレ、イラコガ嶋ノ玉藻刈リホス」。

○うつせみ (…)名。〔空蟬〕 (一)蟬ノヌケガラ。＝セミガラ。—源氏「うつせみノ身ヲカヘテケル木ノモトニ猶人ガラノナツカシキカナ」。(二)〔轉ジテ〕タダノ蟬。—夫木集、「うつせみノ聲ノハルカニ聞ユルハ高尾ノ山ニ鳴ケバナリケリ」。

○うつせみの (…)枕。〔…の〕 人、いのち、世、妹ナドニカカル枕コトバ。—萬葉集「うつせみの人メヲシゲミ岩橋ノマヂカキ君ニ戀ヒワタルカモ」。—同「うつせみのイノチヲ惜ミ波ニヒチ、イラコガ嶋ノ玉藻カリホス」。—同「トモシビノカゲニカカヨフうつせみの妹ガヱマヒシ、オモ影ニ見ユ」。—古今集「うつせみの世ニモ似タルカ花ザクラ咲クト見シマニカツ散リニケリ」。

△うつそみ (…)名。〔顯身＝現身〕 うつせみトオナジ語。

うづだいこん (第三上)名。〔渦大根〕 菜ノ名。さんごじゆなノ一名。(根ノ切リ口ニ紅白ノ渦ガアル處カライフ)。

●うづたかイ (第四上)形。〔堆い〕 うづたかしノ近體。

うづたかさ (第三上)名。〔…さ〕 ウヅタカクアル度合ヒ。

○うづたかシ (…)形。〔…し〕 モリアガッテ高クアル。—「うづたかきマデ飯ヲモリテ」。

○うつたひめ (…)名。水ヲ守ルメガミノ名。

○うつたへ (第四エ)(全平)根。〔一向〕 ヒタスラ。＝ヒトスヂ。

○うつたへに (…)(…)副。〔…に〕 前ノ副詞體。—萬葉集「神木ニモ手ハ觸ルテフヲうつたへに人妻トイヘバ觸レヌモノカモ」。

うづち (第一上)名。〔卯槌〕 うづゑトオナジモノ。—枕ノ草紙「ハカナキクスダマ、うづちナドモテアリクモノナドニモ」。—枕ノ草紙「五寸バカリナルうづち二ツヲウヅヱノ樣ニカシラ包ミナドシテ」。

うつつ (全平)名。〔現〕〔うつし(顯)ノ轉〕 (一)コノ世ニ現在シテアルコト。(夢、死ナドニ對シテイフ)。—「うつつヲモマボロシノゴトオモフ身ニマタ夢ヲサヘナニト見ルラン」。—枕ノ草紙「うつつノ人ノ乘リタルトナン」。(二)(夢うつつトツヅケテイフ處カラ轉ジテ)マボロシ。—源氏「闇ノうつつ」。

◎うつつヲヌカス。＝(ウチコンデ本心ヲウシナフ。＝ハマリコム(痴情カラ男或ハ女ニハマル場合ヒニツカフ))—近松、博多小女郎浪枕「ソリヤコソ、オテキトイロメイテ、毛剃ガツレドモうつつをぬかし、顔ニ餘念ハナカリケリ」。

△うつ・ツ (…)他動、下二。〔打捨つ〕〔うち(打)すつ(捨)ノ畧〕 ウチステル。—萬葉集「フルゴロモうつてシ人ハ秋風ノ立チクルトキニモノオモフモノゾ」。

▲うつな (…)名。伊豫ノ方言。木ノ名。くぬぎノ一名。

△うつ・なシ (第二上)形。〔疑無し〕〔うた(疑)なし(無)ノ義〕 ウタガヒガナイ。—日本紀、「ソノツミヲマタンコトうつなし」。

++○うづなひ (第四イ)(第三上)名。〔諾ひ〕 ウヅナフコト。＝承諾。

○うづなフ (第四ウ)(…)他動、四段。「うづハうつ(美)、なふハうべなふノなふ」 ショウチスル。＝ウベナフ。＝心ニウケイレル。—萬葉集「アメツチノ神アヒうづなひ」。

うつは (第三ワ)(全平)名。〔器〕〔うつ(空)ノ義〕 (一)中ガ空虛デ、ソレニモノヲ入レ得ベキモノ。(二)〔轉ジテ〕スベテ、道具ノトナヘ。(三)ヒキウケテ、ソレニ堪ヘ得ベキキリヤウ。—「大將タルベキうつは」。

うつはもの (…)(…)名。〔…物〕 マヘノ

語トオナジモノ。‖キブツ。—和名抄、「宇都波毛乃」。

△うつはり　(…)(…)名。　ウツルハコト。‖イツハリ。

うつばり　(…)名。(梁‖柄)〔うつ(顯)はり(梁)ノ義〕　棟ヲウケルはり。—和名抄、「宇都波利」。

△うつはりごど　(第三ワ、第五ゴ)(…)名。　ウソ。‖キヨゴン。—日本紀、「うつはりごど」。　◦うつはる參考。

△うつはル　(第三ワ)(第三上)他動、四段。　いつはるノ轉。

うつぶき　(全平)根。(俯向き)　うつむきトオナジ語。

うつぶク　(…)自動、四段。(…く)　うつむくトオナジ語。—宇治拾遺、「うつぶきテ見ルニ」。

うつぶし　(…)根。(俯伏し)　ウツブスコト。‖ウツムキ。

うつぶス　(…)自動、四段。(…す)　うつむくトオナジ語。‖ツップス。—源氏、「オホクヤハアルトテうつぶしタマヘバ」。

○うつは　(第三オ)(…)根。(空‖虛)(はハいはナドノは)　中ガカラデアルコト。‖ウツロ。‖クツキヨ。

うつぼ　(…)名。　(一)△(洞)(前ノ語カラ轉ジテ)中ガ空虛ニナッテ井ルトコロ。—宇津保物語、「嵯峨雄熊子ヲウミツレテスムうつぼナリ」。　(二)(靫)マタ、矢ヲ入レルウツハノ名。—著聞集、「うつぼヨリ一紙ノ文書ヲトリイデテ時秋ニ見セケリ」。　(三)(鱓)魚ノ名。はもニ似テ、黑斑ガアリ、目ハ甚ダ小サク、齒ハ極メテヌルドク、大キイノハ身ノ直徑三寸ニモナル。　(四)カサチノナイキヌ(衣)ノ名。—源氏、「山吹ノウケキノ袖口イタクススケタルヲうつぼニテ打チカケタマヘリ」。

うつぼいちご　(第六ゴ)(第四上)名。(枳苺)　草ノ名。ふくろいちごノ一名。〔袋ニナッテ丁度うつぼニ似タ處カライフ〕

うつぼがひ　(第四ガ、第五イ)(第三上)名。(…貝)　貝ノ名。形チハかたつぶりノ殼ニ似テ、薄茶色デ光リガツヨク、大キサハ一二寸ニナル。‖ツベタガヒ。‖ウツセガヒ。

うつぼかもん　(第四上)名。(空勘文)　ニヨウジヨ井(女叙位)ノ名目ノ一ツ。—江家次第、「空勘文自後朱雀院時不載可叙之者。只載例許。故稱空勘文(訓、ウツボカモン)」。

うつぼぎ　(第四ギ)(第三上)名。(…木)　柄チナドシテ、中ガウツロニナッタ木。—夫木集、信實、「フル枝ノフシノミノコルうつぼぎノタテルモサビシハタノヤケ山」。

うつぼぐさ　(第四グ)(…)名。(…草)　(一)〔クキノ中ガウツホデアル故ノ名〕ねぎノ異名。—七十一番職人歌合、「ヒトモジウリ、モミヂセデ秋モモエギノうつぼぐさ、路ナキ玉ト見ユル月カナ」。　(二)又、草ノ名。葉ハはくかニ似テヤヤトガリ、莖ハ四角デ高サ三四寸、五月紫色ノ花ガ咲ク。形チノ丁度矢ヲ入レルウツボニ似タ處カラツケタモノ。

うつぼづけ　(全平)名。(空穗附け)　角力ノ四十八手ノ中ノ一ツ。イキホヒツヨク振リアゲテ投ゲル手。ウハテヲクビルカ、或ハウハテカラ盧ノ方ノウシロミツヲ取リ、自分ノ右ノ方ヘ引キツケルト、盧ノ方ハ必ズヒキツケラレマイト爭ッテコトサラニオシカカッテ來ルノヲスグトヒキヨセテ左ノ方ニ振リマハシテ投ゲルモノ。

うつぼばしら　(第四上)名。(…柱)　棟ト棟トノ間ニタテテ、雨水ヲウケル柱ノ名。昔ハ柱ノ中ヲクリヌキニシタモノ。‖アマドヒ。‖ハコドヒ。‖タテドヒ。

うつぼぶね　(…)名。(…船)　大木ヲクッテコシラヘタ船。‖マルキブネ。

††うづまき　(第二上)名。(渦卷き)〔うづまくノ名詞體〕　(一)水ガウヅヲマクコト。—後撰集、「タキツセノうづまきゴトニトメクレド、ナホタヅチクル世ノウキメカナ」。　(二)スベテ、水ノうづまきノ形ヲシテ、筋ナドガ丸クグルグル卷キ廻ッタモノ。　(三)又、菓子ノ名。蒸羊羹ヲ中ニシ、ウドン粉、或ハ蕎麥粉ヲコロモトシ、グルグルマイテ横カラ小口切リニシタモノ。其切リ口ガ水ノうづまきニヨク似テ井ル處カラツケタ名。　(四)うづまきごもんノ略。—森山孝盛、賤ノ小手卷、「うづまきハ市村龜藏ガ着タリトテ龜藏小紋ト云フ」。

うづまきごもん　(第五ゴ)(第五上)名。(…小紋)　ウヅマキノ形チヲ摸樣ニシタ小紋。

うづまク　(第二上)自動、四段。(…く)　ウヅニナッテグルグルマハル。—源重之、「雲井ヨリうづまきオツル瀧ツ瀬ノ雪ト見エツツ千代ヲフルカナ」。

うづまめ　(全平)名。(渦豆)　草ノ名。葉ハへびいちごニ似、五葉、或ハ七、八、九葉ノモノガイロイロアル。春ノ末一尺アマリノ莖ヲダシ、五瓣ノ黄色イ花ヲツケル。花ハへびいちごノ花ヨリ小サイモノ。‖ウヅマメグサ。

うづまめぐさ　(第五グ)(第四上)名。(…草)　うづまめトオナジモノ。—延喜、典藥式、「蛇衜(訓、ウヅマメグサ)」。

△うづまル　(全平)自動、四段。(埋)まる)　うづもるトオナジ語。

○うづみび　(第三上)名。(埋み火)　灰ノ中ニウヅメテオク炭火。—隆源、「うづみびノアタリニ冬ハマトヰシテムツガタリスル事ゾ嬉シキ」。

○うづみび　(…)名。(…樋)　土中ニウヅメテ水ヲトホスとひ。‖カクレドヒ。‖フセドヒ。

○うづみもん　(…)名。(…門)〔カクシテオクもん(門)ノ義〕　ウラテニアル小門ノ名。—蒲生氏鄕記、「ソノ夜モシノビテうづみもんマデユキシニ」。

○うづむ　(全平)他動、四段、又他動、下二。(…む)　スベテ、物ノ内ニモノヲ入レテカクス。

▲うづム　(第二上)他動、二。　伊豫ノ方言。ダク。‖カカヘル。—「子ヲうづむ」。

うつむク　(全平)自動、四段。(俯向く)　下ヲムク。‖ウツブク。‖ウツブス。

○うつむク　(…)他動、下二。(…)　下ヲムカセル。

うつむけ　(…)根。(…け)　ウツムケルコト。‖ウツブシ。‖ウツブキ。

●うつむけル　(…)他動、二。(…る)　うつむくノ近體。

▲うづむし　(第二上)名。(蝸蟲)　蟲ノ名。山城加茂ノ方言。みづすましノ一名。水ニ渦ヲマカセル故ノ名。

うつむろ　(全平)名。(空室)　四方ヲ土デヌリコメ、戸ハマルデナクシタムロ。

●うづめル　(…)他動、二。(埋)める)　うづむノ近體。

○うつもも　(第三上)名。(内股)〔うつハうつまたナドノうつ〕　うちももノ轉。

○うづもル　(全平)自動、下二。(埋)もる)　物ノ中ニカクレテ掩ハレル。‖ウヅマル。‖ウマル。—枕ノ草紙、「うづもれ伏シテ聞クニ」。—俊頼、「ヌバタマノ黑髮山モ雪フレバ名モうづもるる物ニゾアリケル」。—千歲集、俊頼、「難波江ノ藻ニうづもるる玉ガシハアラハレテダニ人戀ヒメヤモ」。

●うづもれル　(…)自動、二。(…れる)　前ノ近體。

うづゆふ　(第四ウ)(第二上)名。　スベテ中ガカラニナッテ井ルまゆ(繭)。

うづら　(全平)名。(鶉)〔朝鮮語デもづら。或ハコレカラ來タモノカ?〕　(一)鳥ノ名。にはとりノ屬。多ク原ニスム。形チハにはとりノ雛ニ似テ、丸ク肥エ、尾ハ短ク、首ハ小サク、身ハ茶色デ黑ト白トノ斑(則チうづらふ)ガアリ、雄ハ足ガ長ク、雌ハ足ガ短イ。中ニ又一種斑ノナイ毛色ノモノモアル。コレヲふなしうづらト云フ。聲ハウルハシク、ヤヤモノサビテ、幽玄ナトコロカラ籠ニ入レテ鶩ノヤウニイロイロナ名ヲツケテ養フ。—俊成、「うづらナクマノノ入江ノ濱風ニヲバナ波ヨル秋ノユフグレ」。　(二)船ノ綱ノ一ツ。棕櫚ノ毛ト加賀苧トヲマゼアハセテ綱ッタモノ。うづらノ羽ノ斑ニ似テ井ル。　(三)又、芝居ノ下棧敷ノ稱ヘ。屋根ガヒククテウヅラ籠ニ似テ井ルトコロカライフ。

うづらいし　(第三上)名。(…石)　小サク丸クナッテ井ル瑪瑙。‖ツガルメナウ。

うづらいんげん　(第六ゲ)(第四上)名。(…隱元)　うづらまめトオナジモノ。

うつらうつら　(第一上)副。〔うつ(顯)ノ義〕　ネムリヲモヨホス姿ヲイフ語。‖ウトウト。—〔うつつ(現)ノ義〕—萬葉集、「ナデシコガ花トリモチテうつらうつらミマクノホシキ君ニモアルカナ」。

うづらがうし　(第四ゴ)(第四上)名。(鶉格子)　廓ノ女郎屋ニアル格子ノ一ツ。局女郎ノ居ル處ニツケルモノ。形チガうづらかごニ似タ處カライフ。—異本洞房語園、「オモテドホリハ横六尺ノうづらがうしナリ」。

うづらかご　(第五ゴ)(第三上)名。(…籠)　うづらヲカッテオク籠。コレニカギッテ方形デ、屋根ガキハメテヒクイ。トビアガルタチノアル鳥故コレニカギッテ又屋根ヲ絲ノ網デハル。

うづらがは　(第四ガ、第五ワ)(…)名。(…革)　ヨロヒニツカフ革ノ一ツ。うづらノ摸樣ヲアラハシタ革。オホク加賀カラデル。

うづらがひ　(第四ガ、第五イ)(…)名。(…貝)　貝ノ名。にしノ類。モトガ狹ク、末ガヒロク、全體ガマロク、大キイノハ三寸アマリ。ウヅラ斑ノヤウナ摸樣ガアル。‖ウツセガヒ。

うづらぐさ　(第四グ)(…)名。(…草)　草ノ名。かがみぐさノ一名。

うづらごろも　(第四ゴ)(第四上)名。(…衣)　敝レテ短クナッタ着物。褥ガヤブレテ、サガッタ處ガうづらノ毛ニ似タト云フ故ノトナヘ。

うづらたけ　(第三上)名。(…茸)　キノコノ名。まつだけノ上品ナモノ。カサノ上ガ松ノウロコノヤウデ全體ノ摸樣ガウヅラ斑ニナッタモノ。

うづらだひ　(第五イ)(…)名。(…鯛)　魚ノ名。ごまいしだひノ一名。

うづらどり　(…)名。(…鳥)　タダノうづらトオナジモノ。〔にはヲにはどりト云フ

類ヒ」―古事記、「うづらどりヒレトリカケテ」。

○うづらなく（金平）枕。〔……鳴く〕〔うづらハ荒野ニスムモノ故、ふる（古―振）ノ縁カラカカルトモイヒ、或ハうづらノ鳴キ聲ガフルフルト聞エルトテ云フ處カラトモイフ〕ふるニカカル枕詞。―萬葉集、「うづらなくフルシト人ハ思ヘドモハナダチバナノ匂フ此宿」。

○うづらなす（第四上）枕。〔……倣す〕〔うづらハ草ノ根ヲハヒメグルモノ故〕いはひもとほりニカカル枕詞。

○うづらの・とこ（金平名。〔……の床〕うづらガ臥ストコロ。

▲うづら・ひき（第三上）名。〔……蟲〔ハダノ擬様ガうづらニ似タ處カラ〕伊豫ノ方言。蟲ノ名。ゆかがへるノ一名。

うづら・ふ（第三上名。〔……斑〕（一）スベテ、茶色ニ黒白ノ斑ガマジッテ居ルモノ。（二）鷹ノ一種。身ハ小サク、羽ノ色ガうづらニ似テ居ルモノ。

うづら・まめ（……）名。（……豆）大豆ノ一種。オモニ茶色ニ赤、白ナドノ星ノアルモノ。又、黒イ處ニコマカイ白イ斑ノアルノモアル。コノ黒イノハくろうづらまめトイヒ、赤イノハあかうづらまめト云フ。―チリメンマメ。

うづら・もく（……）名。〔……木〕〔もくハもくめノ略〕木ノ名。葉モ幹モッチノ杉ニカハラズ、タダシ木ニ節ガオホクアル故、板ニシテウヅラ斑ノ模様ヲアラハシ、昔ダウツクシイモノ。蘭奢國屋久島カラ出ル。―ヤクスギ。―サツマスギ。

うづら・もち（……）名。〔……餅〕うづらノ毛並ミニ似セタ色ヲシタ餡餅ノ名。徳川時代ニコトニハヤル。―近松、吉野都女楠「ヤイ大名トハ白餅、フカクサトハうづらもち、大納言トハアヅキモチ」。―元祿三年板、人倫訓蒙圖彙「ササモチ、うづらもち、ヤラウモチ」。

うづら・やき（金平）名。〔……燒き〕スベテ、アブラデ鶉色ニイリツケタ食物。―「茄子ノうづらやき」。―「鉢ヤキ豆腐ノうづらやき」。

うづら（……）名。（移り）（一）ウツル（映）コト。（二）人カラ來タオクリモノニ對シ、スグニ返ス品ノ稱ヘ。多クハ御禮ノ「御」ヲ添ヘテうづらト云フ。普通デハシラ紙、或ハツドヲ用ヰル。

うつり（……）名。（映り）（一）ウツル（映）コト。（二）色ト色トノ取リ合セ。―ハイガフ。―「赤ト萠黄トノうつりガ」（第四ガ）（第三上）名。（移り香）物ニウツッテ殘ル香ヒ。―古八橋流琴曲、乙ノ曲、「ソデニ觸レシうつりがモ落ツル涙ニソンガレテ」。

○うつろ（金平）根。（空―虚）スベテ、中ガケガカラニナッテ居ルコト。―ウツホ。―ウロ。―クウキヨ。

うつろはす（第四ソ）（第四上）他動、四段。（移ろはす）ウツロフヤウニスル。―變化サセル。―オトロヘサセル。

うつろひぎく（第四イ）（第五ギ）（第三上）名。（……ひ菊）重ネノ色目ノ名。オモテガ濃ムラサキ、裏ガ青ノモノ。

うつろふ（第四ウ）（……）自動、四段。（……ふ）〔うつろノ延〕（一）場所ヲカヘル。（二）影、光ナドガウツル。―「朝日ニうつろふ山」。（三）變化スル。―異フ。―カハル。―褪メル。リヤスイセイシン。―ウハキ。―西鶴、若風俗、「シカモ其日ハキサラギツイタチ、其レヨリ此若衆ニうつりぎニナリテ」。

うつる（第二上）自動、四段。（移る）（一）カハル。―處ガカハル。―ココカラムカフヘ場所ガカハル。―夫木集、衣笠内大臣、「若ガ世ハ七ツノ星ヲダメシニテうつる程ヲソラニ知ルカナ」。（二）染マル。―ツク（色ナド）。―土御門天皇、「ツキクサノ花ノ心ヤうつるラン昨日ニモ似ヌ袖ノ色カナ」。（三）過ギユク。―「星うつり、物カハリ五十年」。（四）感ズル。―染マル。―デンセンスル。―續後撰集、太政天皇、「忘レズヨアサギヨメスルトノモリノ袖ニうつりシ秋ハギノ花」。―淺井了意、東海道名所記、「廣ヲうつりテイチゴヤマヒニナルモアリ」。

うつる（……）自動、四段。（映る）（一）コニアル影ガムカフニ現レル。―夫木集、俊成卿、「影キヨキ七重ノ上ニうつり來テ瑠璃ノトボソモ花カトゾ見ル」。（二）配合ガヨクアル。―ヨク出アフ（色ト色トノトリ合ハセ）。

うで（……）名。（……腕）（一）臂ト手クビトノ間ノ稱。―カヒナ。―和名抄、「臂、和名太太無岐、一云宇天」。（二）〔轉ジテ〕肩カラ手クビマデノ總名。―手。―シュワン。（三）ヲサヘ。―ワザマヘ。―ギリヤウ。―「うでノヨシアシヲタメス」。（四）〔うでノアル所カラ轉ジテ〕チカラ。―「うでガ」。

●うで・だて（……）名。（……立て）〔だてハあそびだてナドノだて〕スベテ、腕ヲッカフコト。（チカラヲザナド）。―「蟷螂ガ斧、張リ臂シテうでだてザンマイヨシニシヤ」。

●うで・づく（第四上）名。（……盡）〔づくハあそびづくナドノづく〕（一）腕ノカギリヲツクスコト。（二）腕ヲクラベルコト。―「イヤダト云ヘバうでづくデモ取ッテ見セル」。

うてな（金平）又（第二上）名。（一）（臺）屋根ノナイ高ドノノダイ。―和名抄、「臺榭、和名宇天奈」。（二）〔轉ジテ〕（臺）花ノヘタノハジニ四方ヘ出ル花ビラヲ受ケルモキ所。

◎ハスノうてな。―（ゴクラクナドニアルト云フ蓮臺）。

うで・ぬき（金平名。〔腕貫き〕（一）カヒナニ付ケル飾リノヒトツ。輪ニ捲ヘ腕ヲツラヌイテハメルモノ。（二）又、カヒナニ付ケル飾リモノ。輪ニ作リ腕ノマハリニ指輪ノヤウニハメルモノ。―ウデワ。（三）又、紐ノヒトツ。多ク刀、サアベルナドノツカガシラニ付ケル。大刀打チノ時腕ニ其紐ヲカラメテ置キ、萬一ノ時刀ヲトリ落サヌ用心ニスルモノ。

△うて・の・つかひ（第六イ）……名。〔討手の使ひ〕討手ニサシムケル使ヒ。―ツヰタウシ。

うで・まくり（第三上）名。〔腕捲くり〕腕ヲ覆フ着物ノ袖口ヲマクリ上ゲルコト。―「うでまくりスルテツカ肌」。

うで・まもり（……）名。（……守り）うでぬきノヒトツ。多ク神佛ノ守札ヲ入レタモノ。―ウデワ。―ウデヌキ。

―小町、「色ミエテうつろふモノハ世ノ中ノ人ノ心ノ花ニゾアリケル」。

うづわ（金平名。〔渦輪〕うづわがつをノ略。

うづわ・がつを（（第四ガ）（第四上）名。〔……鰹〕まぐろノ一種。長サハ一尺アマリ、普通ノ鰹トチガヒ、腹ニ筋ガナク、脊カラ尾マデノ間、ウツクシイウヅノ模様ガ現レテ非ル。味ヒハ上品デナイ。さうだがつをノヌグヒ。

○うづ・ゐ（第一上）名。〔蹲居〕〔うづくまり（蹲）ゐ（居）ノ義〕ウヅクマッテ居ルコト。

うづき（……）名。（卯杖）ムカシ、正月上ノ卯ノ日ニ長衛府カラ杖ヲ五尺三寸ニ切ッテ五色ノ絲デ卷イテ奉ツル其つるノ名。之ニ對シテうづち（槌）ト云フモノガアル。ソノ長サハ五寸バカリ、同ジヤウナ飾リヲ奉ツル。專ラ是ヲ以テ邪氣ヲ避ケル爲メノ祝ヒニシタト云フ。うづち參考。―日本紀、「三年正月乙卯大學寮獻杖八十枚」。―延喜、春宮式、「大夫差進啓曰、正月龍上卯日龍御杖供奉氏進良久登申給登申」。―爲家、「ミカマギニうづきトリソヘ、ケフコソハ君ガ爲メトヅ春イソグラメ」。―爲相、「ケフコトノ十杖ノうづきツキズシテ君ガワガナノヨロヅ世ノ壽」。

△うつを（金平根。（空―虚））うつはノ轉。

うつをはしら（第四上名。〔空柱〕中ノカラニナッタ柱。―夫木集、「ヨモスガラ衣うつをはしら浪ノウッカトヨソニ聞キアカスカナ」。…うつをはしらヲカクシ題ニテ讀メル。

△うて（第二上）名。〔討手〕〔うつて（討手）ノ約〕ウッテ。―征伐ニ向カフ人。

うで（……）名。（腕）（一）臂ト手クビトノ間ノ稱。―カヒナ。―和名抄、「臂、和名太太無岐、一云宇天」。（二）〔轉ジテ〕肩カラ手クビマデノ總名。―手。―シュワン。（三）ヲサヘ。―ワザマヘ。―ギリヤウ。―「うでノヨシアシヲタメス」。（四）〔うでノアル所カラ轉ジテ〕チカラ。―「うでガ」。

うで・だて（……）名。（……立て）〔だてハあそびだてナドノだて〕スベテ、腕ヲッカフコト。（チカラヲザナド）。―「蟷螂ガ斧、張リ臂シテうでだてザンマイヨシニシヤ」。

●うで・づく（第四上）名。（……盡）〔づくハあそびづくナドノづく〕（一）腕ノカギリヲツクスコト。（二）腕ヲクラベルコト。―「イヤダト云ヘバうでづくデモ取ッテ見セル」。

うてな（金平）又（第二上）名。（一）（臺）屋根ノナイ高ドノノダイ。―和名抄、「臺榭、和名宇天奈」。（二）〔轉ジテ〕（臺）花ノヘタノハジニ四方ヘ出ル花ビラヲ受ケルモキ所。

◎ハスノうてな。―（ゴクラクナドニアルト云フ蓮臺）。

うで・ぬき（金平名。〔腕貫き〕（一）カヒナニ付ケル飾リノヒトツ。輪ニ捲ヘ腕ヲツラヌイテハメルモノ。（二）又、カヒナニ付ケル飾リモノ。輪ニ作リ腕ノマハリニ指輪ノヤウニハメルモノ。―ウデワ。（三）又、紐ノヒトツ。多ク刀、サアベルナドノツカガシラニ付ケル。大刀打チノ時腕ニ其紐ヲカラメテ置キ、萬一ノ時刀ヲトリ落サヌ用心ニスルモノ。

△うて・の・つかひ（第六イ）……名。〔討手の使ひ〕討手ニサシムケル使ヒ。―ツヰタウシ。

うで・まくり（第三上）名。〔腕捲くり〕腕ヲ覆フ着物ノ袖口ヲマクリ上ゲルコト。―「うでまくりスルテツカ肌」。

うで・まもり（……）名。（……守り）うでぬきノヒトツ。多ク神佛ノ守札ヲ入レタモノ。―ウデワ。―ウデヌキ。

◎此語今日ハオホカタ漢語トナル。

●うてル　(第二上)自動、二。(一)蹴オサレル。＝マクル。＝氣ヲノマレル。「場所ガラニうてテ氣ガツカヌ」。(二)クサル。＝スエル。—「料理ガ暑サデうてる」。

●うでル　(……)他動、二。〔茹る〕　ゆでるト同ジ語。

うでわ　(全平)名。〔腕輪〕　うでまもりト同ジモノ。

●うで・つ・こ　(第二(遍))(第二上)名。〔……つこ〕〔こハくらべノ畧ノ轉〕　腕シダイ。—「うでつこデ天下モ取レル世ノ中」。

●うで・つ・こき　(……)(第五上)名。〔……扱き〕　うでこきノ轉訛。

うてん　(第一上)名。〔(雨天)〕　雨ノ降ルツラ。—「日日うてん鬱陶シク」。

うど　(……)名。(一)〔(土當歸)〕草ノ名。奥山ニ生ヘル。春フル根カラ生ヘタ其芽バヲ食用ニスル。葉ハ莖ヲ抱イテ互生シ、秋ノ頭傘ノ形ノ小サナ花ガ群ツテ咲ク。(二)〔(獨活)〕又、草ノ名。ししうどノ一名。＝ドククワツ。

●うどイ　(第二上)形。〔疎い〕　うとしノ近體。

うどう　(全平)名。〔(善知鳥)〕　鳥ノ名。うとうどりノ畧。

‡うど・うど　(第一上)副。〔昏昏〕　ネムリヲ催ホスアリサマヲ形容スル語。＝ツツラウツラ。＝ウトウト。

うどうど・と　(第一上)副。〔……と〕　前ト同ジ語。

○うとうとし　(第四上)形。〔疎疎し〕　キハメテウトイ。＝ムツマシク無イアリサマデアル。—源氏、「ヒトツ御腹ナラネバうとうとしく」。

●うとうとしイ　(第五上)形。〔……い〕　うとうとしノ近體。

うとうとし・さ　(第四上)名。〔……さ〕　ウトウトシクアル度合ヒ。

うとう・どり　(第二上)名。〔善知鳥〕　鳥ノ名。みづとりノ一種。うとうやすかたノ一名。

うとう・やすかた　(第六上)名。　鳥ノ名。水鳥ノ一種。大キサハ小鴨グラヰ。頸ハ長ク色ハ薄黒ク、クチバシノモトニ赤色ノコブガアリ、嘴ト足トハ共ニ樺色デ、オトガヒノ下カラシタ腹マデガマッ白ノモノ。陸奥國外ガ濱ニ井ル。＝ウトウ。＝ウトウドリ。

○うとく　(第一上)根。〔(有德)〕　(一)スベテ徳ガアッテ尊敬スベクアルコト。—「うとくノ高僧」。(二)元祿ノ頭ニ主ニ行ハレタ語。イウフク。＝ブゲン。—一九、馬鹿ニツケル藥、「ココニ常盤屋松右衛門ト云フうとくナルモノアリ」。—八文字屋、玉子酒、「うとくノ町人」。

うとさ　(……)名。〔(疎)さ〕　ウトクアル度合ヒ。

○うとシ　(……)形。〔……し〕　(一)シタシク無イ。＝疎遠デアル。—新敕撰集、「イツトナク戀ヒ駿河ナルウト濱ノうとくモ人ニナリマサルカナ」。—後撰集、「戀ヒテヌル夢路ニ通フタマムスビ、ナルルカヒナクうとき君カナ」。(二)アンナイガ分カラヌ。＝ヨク知ラヌ。—「學者政治ニうとし」。

うど・たらし　(第三上)名。　草ノ名。うどもどきノ一名。

△う・どねり　(第二上)名。〔内舍人〕　昔ノ官名。うちとねりト同ジモノ。—源氏、「昔コノうどねりト云フモノノユカリカケツ」。

うどの・の・あし　(第三上、及、第五上)名。〔鵜殿の葦〕＝〔碧蘆〕　葦ノ一種。攝津國鵜殿ニ生ヘルモノ。葉ハ厚ク、葦ノ中デハ極メテ上品ナモノ。此莖ヲバ篳篥ノ舌ニツクル。

○うとブ　(第二上)他動、上二。〔(疎)ぶ〕　うとむト同ジ語。

○うとまし　(第三上)形。〔……まし〕　ウトムベクアル。＝ウトウトシクアル。—源氏、「イトカタキ世カナトうとましうノミヨロヅニオボシナリヌルニ」。

うとみ　(全平)又(第二上)名。〔……み〕　ウトムコト。

うとム　(第二上)他動、四段。〔……む〕　(一)シタシマヌ。＝アハム。＝オロソカニスル。(二)忌ミキラフ。＝イヤニ思フ。—大和物語、「ユニシトモオモホエルカナ、人ゴトニうとまれニケル世ニコソアリケレ」。

○うとム　(……)他動、上二。〔……〕　前ノ語ト同ジモノ。

▲うどム　(全平)自動、四段。〔(澱)む〕　をどむノ轉訛。

うど・め　(第三上)名。　(一)〔土當歸芽〕草ノうどノ根ノ芽。色ハ紫、一寸ニモタラズ、多ク秋、冬ノ間料理デアヒシラヒニツカフ。(二)又、たらのきノ若芽。形ハふきのたうニ似タモノ。味噌ヤ酢デ味ヲ付ケテタベル。＝ウドモドキ。

うど・もどき　(第三上)名。〔獨活擬き〕　(一)草ノ名。莖モ葉モ實モ花モうどトチガハズ、タダ莖ノ節ガ濃イ紫色デアルモノ。山城國高尾山ニ生ヘル。—タカウド。＝ウドタラシ。(二)たらのきノ芽ノトナヘ。

う・どん　(全平)名。〔饂飩〕　うんどんノ略。—近松、心中二枚繪草紙、「道頓堀ノ水茶屋ノ、アルヒハうどんケンドンノ、ソバデキクサヘ笑止ナリ」。—西鶴、一代女、「カシバタナル表裏リ屋ニ恥ヲステテカケコミ、うどんスコシトイヒサマ、亭主ガ目ヅカヒミレバ」。

うどん・げ　(第四、ゲ)(……)名。〔優曇華〕〔うどんハ梵語、うどんばらノ略。瑞應ノ義〕　(一)天竺ニアルトイフ木ノ名。ツネニ實ガアツテ、花ハナク、三千年デハジメテ一タビ花ガ咲クトイヒ、コノ花ガ咲クトキハ非常ニ天下ニ喜ビゴトガアリ、或ハ又金色ノ花ガ咲クトキハ佛ガ世ニ出ルトモイヒ、スベテソノ花ヲメヅラシクテキハメテ貴イモノノタトヘニツカフ。佛說ニツタヘル所ニヨレバ芽ガ出テ一千年、蕾デ一千年、開イテ一千年、轉輪大王ノ出現ノトキニモ咲ク。花ニハ德ガ七種アリ。第一、天下ノ民ガユタカニヨロコブ、第二、天下アンノン、第三、國ガ豐年、第四、諸人ガ無病、第五、命終ルマデ皆シミガナイ、第六、天下ノ水ガ清淨ニナル、第七、モロモロノ花ガイヅレモ繁ルト云フ。—源氏、若紫、「うどんげノ花待チエタルココチシテ、ミヤマ櫻ニ目コソウツラネ」。(二)マタ、芭蕉ノ花ノ異名。寒イ國デハコノ花ガキハメテ少ナイユヱニイフ。—東鑑、「優曇華開散之由」。(三)▲マタ、加賀ノ方言。いちじゆくノ異名。「いちじゆくノ花ハ目ニフレヌトイフトコロカラ、メッタニナイト云フ義ニ轉ジテイフ」。(四)又、一種小サナ蟲ノ卵ノトナヘ。ソノ蟲ガ卵ヲ草木ノ枝葉或ハ家ノ中ノ器物、又ハ板ソノ他勝手ナトコロニツケタモノ。大抵長サハ四五分デ、キハメテホソク、色ハ練リ絲ノ白イノニ似テ、ツノサキニ白イ小サナ卵ガツク。蟲ハあぶノ類デ、後ニ足六本、翅四枚ノ蟲ニ羽化スルモノ。莖ノサキニ卵ノアルノガ、花ノカタチニサモヨク似タ處カラ、普通ニコレヲ花ト見立テタモノ。

うどん・こ　(……)名。〔饂飩粉〕　うどんのこノ畧。

○うどんズ　(第二上)他動、さ變。〔(疎)んず〕〔うとみすノ音便。漢籍ヨミカラ來タモノ〕　うとむト同ジ語。

うどん・どうふ　(第四上)名。〔饂飩豆腐〕　はちはいどうふノ一種。豆腐ヲホソクうどんノヤウニ切リ、湯煮ニシ、醬油ニ山椒ト胡椒トヲ入レテ味ヲツケテタベルモノ。

うどん・のこ　(……)名。〔……の粉〕　小麥ノ粉。オモニうどんニコシラヘル故、ツイタ名。

うどん・ぶるひ　(第六イ)(……)名。〔……篩〕　うどんのこヲフルフ篩。

▲うな　(第一上)名。　(一)魚ノ名。うなぎノ略。オモニ東京デイフ。(二)マタ、魚ノ名。ふなノ訛。

○うな　(全平)接頭。〔(項)〕〔うなじノ略〕　ウナジノ。＝アタマノ。—「うなダル」。—「うなヅク」。

△うな・がけル　(第三ガ)(第四上)自動、四段。〔……掛ける〕　(一)うなじニ手ヲカケル。(二)〔轉ジテ〕シタシミアフ。—萬葉集、「タツサハリ、うながけり井テ、オモホシキコトモカタラヒ」。

うながし　(……)(全平)名。〔(促)し〕　(一)ウナガスコト。(二)△ムカシノ官職ノ名。カシラダッテ、下下ヲ監督シ、ウナガスモノ。—日本紀、「令〔訓、ウナガシ〕一人」。(三)▲又、蟲ノ名。出雲ノ方言。糞ノ中ニ井ルうじ。＝カミサゲムシ。

うながス　(……)(第三上)他動、四段。〔……す〕　サイソクスル。＝イソガセル。＝モヨホシ立テル。—大和物語、「御車うながしテシントイフニ」。

△うな・がス　(……)(……)他動、四段。〔項掛す〕〔うな(項)かかす(掛)ノ義〕　ウナジニカケル。—萬葉集、「うながセルヒレモテルガニ」。

‡△うな・かぶし　(第三上)名。　アタマヲサゲルコト。

△うな・かぶス　(第四上)自動、四段。〔うな(項)かたぶかす(傾)ノ義〕　(一)ウナジヲカタムケル。(二)ウレフル。—古事記、「うなかぶしナガナカサマク」。—萬葉集、「ナツソヒクうなかぶしマケ、カリゴモノ」。

△うな・がみ　(第三ガ)(全平)名。〔項髮〕　たてがみトオナジモノ。

うながみ・ぜ　(……)(第四上)名。〔海上砥〕　下總ノウナガミ(海上)郡、銚子ノ邊、犬吠崎アタリカラ出ル砥石ノ名。キメノアライモノ。

う・なぎ　(第三ギ)(全平)名。〔鰻〕—〔鱺〕—〔鰻鱺〕〔古名、むなぎノ轉〕　淡水ニ産スル魚ノ名。形チハ蛇ニ似、腹ハ白ク、或ハ薄黃デ、斜メニウスイ縞ガアリ、鱗ハ無ク、ヌメリガアリ、身ハハナハダナメラカニ、脊ハ青黑ク、オトガヒガ少シフクレ、脂ガ多ク、ソダテバ尺餘ニナル。オホクハ蒲燒キニシテ食フ。味ハヤヤシツコイモノノ、ウマイ。皮ハ消化カワルイ。＝ムナギ。＝モナギ。＝ヲナギ。＝ツ。＝ウナ。＝ウヂマロ。＝ウナトト。

うなぎ・ざけ　(……)(第三上)名。〔鰻酒〕　(一)うなぎヲ肴ニシテ、飲ム酒。—「うなぎざけデオミツタ」。(二)マタ、うなぎノ蒲燒キニ

酒ヲカケタ、ソノ汁。
うなぎざる（…）（…）名。〔…笊〕　うなぎヲイレルざる。
うなぎのせのぼり（…）（全平）名。〔…の瀬登り〕　西京ノ方言。子供ノアソビノ名。子供ガアマタアツマリ、メイメイガ帶ニトリツキ、長クナランダソノ脊中ノ上ヲ一人ガ這ツテアルク遊ビ。―東海道名所記「うなぎのせのぼりトナヅケテ、戯レトス」。
うなぎのぼり（…）（第四上）根。〔…登り〕　スベテ、モトハ僅カデ、マタタク間ニ増加スルコト。多クハソレカラソレト倍數デ殖エテ行ク場合ニツカフ。＝ヂズミザン。―「賀ノ利モうなぎのぼりデ終ニハ ホホガヘシガツカズ」。
うなぎばり（…）（…）名。〔…針〕　うなぎノつりばりノ名。普通ノトチガツテ、多ク眞鍮デツクリ、且ツ直角ニカドダタセテ曲ゲタモノ。
うなぎめし（…）（全平）名。〔…飯〕　蒲燒キノうなぎヲ戴セタアタタカイ丼ノ飯。＝ウナドン。＝ウナギノドンブリ。＝ドンブリ。＝ドン。＝マムシ。
△うなぐ（第三グ）（全平）他動、四段。〔項ぐ〕〔ぐハかく（掛）ノ略〕　ウナジヘカクル。―「うなげル玉」。
うなこぶ（…）名。〔…瘤〕〔うなじ（項）こぶ（瘤）ノ義〕　牛ノ項ニアル一種ノ肉ノカタマリ。
△うなさか（全平）名。〔海境〕　海ノホトリ。〔さかハさかひ（界）ノ約〕
○うなさル（…）自動、下二。〔魘さる〕〔うなハうなるノうな〕　夢ニオソロシイコトナドニアヒ、オボエズ聲ヲタテル。＝オソハレル。

●うなされル（…）自動、二。〔…れる〕　うなさるノ近體。―不知足山人、聞キ上手「サッキカラうなされタガ、夢デモ見タカ？」。
○うなじ（…）名。〔項〕　頭ノ後ノ下ノ方。＝エリクビ。―和名抄「宇奈之」。
○うなだル（…）自動、下二。〔…低る〕〔うな（項）たる（低）ノ義〕　ウナジヲタレル。＝アタマヲサゲル。―日本紀「うなだれタグリ」。
▲うなだれ（…）名。〔鰻垂れ〕　オモニ東京デイフ語。ウナギノたれ。
うなづく（第三上）自動、四段。〔頷＝點頭〕〔うなじヲマヘヘツキダス（オモニ、承諾スルコヽロヲ含ム）。＝テントウスル。―源氏「サハ侍ラヌカトイヘバ中將うなづく」。
△うなて（…）名。　田ニヒク用水ノ溝。―日本紀「池溝（訓ウナテ）」。―夫木集「マスラヲガうなてノ道ニイグシタテミナクチマツルホドハキニケリ」。
▲うなとと（第一上）名。〔鰻魚〕　オモニ東京デ、子供ノイフ語。うなぎノ一名。
▲うなどん（全平）名。〔…丼〕〔どんハどんぶりノ略〕　うなぎめしトオナジモノ。オモニ、上品デナイ人ガモチヰル。
うなは（第三ワ）（…）名。〔鵜繩〕　（一）鵜飼ヒガ鵜ヲアヤツルタメニ鵜ノ首ヘツケル繩。（二）魚ヲオドロカセルタメニ鵜ノ羽ヲツケタ繩。漁リニツカフ。
○うなばら（全平）名。〔海原〕〔うな（海）はら（原）ノ義〕　海ヲソノヒロサカラ原ト見立テテイフ語。―兼昌「うなばらヤ、ハカタノ沖ニカカリタルモロコシ船ノトキツクルナリ」。
⁺⁺うなひ（第三イ）（…）名。　ウナフコト。

うなふ（第三ウ）（…）他動、四段。〔うね（畦）ヲハタラカセタモノ〕　鋤鍬ノ類デ田畠ノ土ヲホリカヘシ、うねヲコシラヘル。
うなめ（…）名。〔畦目〕　ヨロヒノカザリノ名。オドシ絲ノ並ンデ田畠ノうねニ似タ目ヲアラハシタモノ。
△うなや（全平）名。　ロウヤ。＝ヒトヤ。＝ゴクヤ。―日本紀「うなやノ中ニ入レ」。
うなり（第三上）名。〔唸り〕　（一）ウナルコト。（二）凧ニツケテ風ニウナラセルモノ。オモニ鯨ノヒレ、又ハ籐ヲ薄クシテ小サナ弓ニ掛ケタモノ。
うなりごゑ（第四ゴ）（第四上）名。〔…聲〕　スベテウナル聲。
うなル（第二上）自動、四段。〔…る〕〔うト鳴ルトノ義トイフ〕　（一）クルシミナドデうんうんトコヱヲダス。＝ウメク。＝呻吟スル。（二）モノノ音ガナガクナリワタル。―「凧がうなる」。―「サイホンがうなる」。（三）▲オモニ東京デイフ語。素人ナド、スコシバカリ淨瑠璃ヲカヂッテカタル。―手柄岡持、後著昔物語「スギシ年青樓ニテ五町モソノ淨瑠璃ヲうなりタリ」。
うなわく（全平）自動、四段。〔膿沸く〕　ウミガ出ル。―日本紀「うなわきウジナガル」。
△うなゐ（…）名。〔髫髮〕〔うな（項）ゐ（居）ノ義〕　（一）ムカシ、小サナ男女ノ小供ガ結ツタアタマノ髮ノ稱ヘ。ウナジニタレテオクモノ。（二）〔轉ジテ〕小サナ子供。＝ウナヰコ。―和名抄「髫髮、和名宇奈爲」。
うなゐこ（全平）名。〔…子〕　（一）△髮ヲうなゐニムスンダ子供。（二）〔轉ジテ〕スベテ、コドモ。（三）▲若狹ノ方言。草ノ名。れきなぐさノ一名。（四）鳥ノ名。はととぎすノ異名。―六帖、躬恒「モモチドリうなゐこヲヨブ聲キケバホトトギストモスダキヌルカナ」。

△うなゐばなり（第四上）名。〔…放り〕　（一）ウナヰ髮ヲアゲズ、バウバウト散ラシテオクコト。―萬葉集「タチバナノ寺ノナガヤニ我ガイネシうなゐばなりハ髮アゲツランカ」。（二）〔轉ジテ〕ヲサナナジミ。
△うなゐまつ（…）名。〔…松〕〔うなゐニ小兒トイフ義ノアル處カラ〕　小サナ松。
うなゐをとめ（…）名。〔…少女〕　髮ヲウナヰニシテヰル小サナ女。―萬葉集「アシノヤノうなゐをとめガオキツキヲ行キクト見テハネノミシナカル」。
うに（第一上）名。〔海栗＝雲丹＝（海膽）〕　（一）介ノ名。海ノソコノ石ニツク。殼ハ丸ク、ヒラタク、ソトニ黑イトゲガ多ク、僅カバカリアル腸ヲ摺ツテ、ヒシホニシ食ベル。―賦役令「棘甲蠃（訓ウニ）」。（二）〔轉ジテ〕ウニノ貝カラ取ツタヒシホノ名。茶又ハ樺色ノモノ。（三）▲伊勢、伊賀ノ方言。石炭ノ一名。
▲うにう（全平）名。　あいの人ノ譯。おつとせいノ一名。
うにこおる（第一上）名。〔英語、Unicornヲ讀ミ誤マツタモノ〕　いつかく（一角）ト同ジモノ。
うにつぼ（第二上）名。〔海丹壺〕　ウニノ殼。＝カブトガヒ。
うにのす（第一上）名。〔…の巣〕　うにつぼト同ジモノ。
▲うにやざくら（第二三合）（第四上）根。　芝居モノノ語。物ヲウチステニスルトノ義ヲ現ハスカクシ語。―「アノ若衆ハうにやざくらデドウモナラヌエ」。

▲うぬ（全平）代。〔己〕〔おのれノ轉〕　人ヲ指シテ極メテフカクノノシル時ニ云フ。下等人ノ語。
▲うぬぼれ（…）根。〔自惚れ〕　ワレト我身ヲイイト思ヒスギルコト。＝ワレト自分ニ惚レコムコト。＝ジフ。―谷峨、傾城買二筋道「マタ、オメヘサンノヤウニうぬぼれヲ出シキツテイヤラシイコトヲイヒナンスヲ」。
●うぬぼれかがみ（第六か）（第五上）名。〔…鏡〕　（一）ホンモノヨリハヨク見セルタチノ鏡〔ソレカラシテ大イニウヌボレサセルト云フ所カラ付ケタ名〕。（二）〔轉ジテ〕スベテがらすかがみノ一名。〔ガラスカガミハ得テ實物ヨリハ色ナド白ク見セル所カラ〕。（三）又〔轉ジテ〕スベテノウヌボレ。―曲山人、娘節用「十九文屋ノ店先キノヤウニうぬぼれかがみガ澤山ダヨ」。
▲うぬら（第三上）名。〔己等〕　うぬト同ジ語。多クハ複數ニシテカズ多イ人ヲノノシル時ニツカフ。―谷峨、傾城買二筋道「ナンダ此スリコギメラ。うぬらニポチポチノ、チヤキチヤキノト、鼠ガ氷ピツヲカジリヤシメエシ、…うぬらニ、カキマハサレテナルモノカ！」
▲うぬれ（全平）代。〔己〕〔おのれノ轉訛〕　人ヲノノシル語。田夫ノ語。
うね（…）名。〔畦＝（隴）〕　畑ナドノ中ニ土デコシラヘタ畷ノヤウナモノ。―和名抄、「畝、和名宇禰」。
▲うねう（…）名。　あいの人ノ語。おつとせいノ一名。
⁺⁺うねうね（…）又（第一上）副。　波ノ立ツノヲ形容スル語。＝ウチウチト。〔うねるカラ來タモノ〕。

うねうねと（第一上）副。　前ト同ジ語。
うねおび（第三上）名。〔畦帶〕　帶ノ一種。昔元祿ノ頃オモニ行ハレタモノ。縫ヒ分ケジマデ拵ヘタモノ。畑ノウネニ似テ見エルト云フ所カラ此名ガ付ク。
うねおり（全平）名。〔…織り〕　畑ニアルうねノヤウニタカビクヲ拵ヘテ織ツタオリ物ノ名。
●うねくね（…）根。〔うねハうねるノうね、くねハくねるノくね〕　スベテ、ウネル形チニナツテヰルコト。
●うねくね（第一上）副。〔…〕　ウネウネト。
●うねくル（第三上）自動、四段。〔くるハねぢくる、いぢくるナドノくる〕　うねるノ轉訛。
●うねくれル（第四上）自動、二。〔…〕　うねくるト同ジ語。
うねこ（全平）名。〔うなゐこノ轉訛〕　草ノ名。れきなぐさノ一名。
うねざし（…）名。〔畦刺し〕　からげぬひノ一種。絲ヲ浮カセテ、カクシ、又ツカセ、カクシテ、丁度田畑ノウネノヤウニキレイニ刺シタモノ。今云フイシダタミノ類。主ニ元祿頃コノ風デ足袋ヲサス。コノ類ノ足袋ノ名殘リハ明治以後二三年ノ間ハ殘ツテヰタ。―鬼尾庵、我衣「天和ノ頃ヨリ木綿ノうねざしノ足袋ハヤル」。―天和笑委集「イトタクマシキ丸グケノ紐、白キうねざし、フクロ足袋」。
うねざしたび（第五上）名。〔…足袋〕　ウネザシニシタ足袋。＝ウチタビ。
うねたび（第三上）名。〔畦足袋〕　うねざしたびノ畧。―淺井了意、東海道名所記「先ヅ此馬場ニサシカカリテ小袖ノ襟、スソノ亂レヲツクロヒ、うねたびノツツノタ

ヌクレヲナホシ」。—西鶴、一代女、「比丘尼ハ大カタ淺黄ノモメン布子ニ…深紅ノ阿七ザシノ加賀笠、うねたびハカヌト云フコトナシ」。—同、「野郎ヒモノうねたび」。

△うね・べ (全平)名。うねめト同ジモノ。

△うね・め (…)名。〔采女〕昔、後宮デ御膳ノコトニ預ッタ女官ノ稱ヘ。郡ノ少領以上ノ姉妹、娘ナドヲ撰ミ、姿カタチノミニクク無イ者カラトリ上ゲタモノ。‖ウネベ。—日本紀、「凡采女者貢郡少領以上姉妹及子女形容端正者」。—後宮職員令、「采女六人、…采女六十人」。

△うねめ・の・かみ (第三上)名。〔…正〕うねめのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ下。唐名、采女令。‖ウネメノシヤウ。‖ウネメノツカサ。—職員令、「采女司、正一人」。

△うねめ・の・しやう (第六ヨ、第五、六合)(…)名。〔…〕前ト同ジ語。

△うねめ・の・つかさ (…)名。〔…司〕(一)宮内省ニ屬スル昔シノツカサノヒトツ。スベテうねめヲ撿校スルコトヲ主ドル。相當ハ正六位ノ下カラ大初位ノ下マデ。唐名、采女署。所屬ノ人數、正一人、佑一人、令史一人、采部六人、使部十二人、直丁一人。—職員令、「采女司」。(二)ウネメノカミ。

うねり (…)名。〔蜿蜒〕ウネルコト。—「波ノうねり」。—「山ノうねり」。

うねル (第二上)自動、四段。〔うねヲ働カセタモノ〕或ハ上下、或ハ左右ニ彎曲スル。‖ウネクル。‖ウネクレル。

うの・あし・がひ (第五カ、第六イ)(第四上)名。〔鵜の脚貝〕介の名。よめがさらノ類。形ハ鵜ノ足ノミヅカキニ似タモノ。

うの・け (第一上)名。〔兎の毛〕(一)ウサギノ毛。(二)スベテ極メテ小サイ物ニイフタトヘ。「うのけホドモ知ラズ」。

う・の・はな (第二上)名。〔卯の花〕〔うづき(卯月)の花ノ畧〕。(一)ウツギ。‖ウツゲ。‖ハツミグサ。‖ユキミグサ。‖カキミグサ。—萬葉集、「時ナラズタマヲゾヒケルうのはなノサツキヲ待タバヒサシカルベニ」。(二)カサネノ色目ノ名。表ガ白ク、裏ガ青イモノ。(三)とうふのからノ一名。少シ上品ニツカフ協合ヒニイフ。〔色ガ白クテコマカク丁度うのはなニ似タトテ〕

うのはな・いり (全平)名。〔…煎り〕料理ノ語。烏賊ヲコマカク切リ、薄イ味付ケノ醬油デ煮タモノ。

○うのはな・くたし (第五上)名。〔…朽し〕〔くたし(朽)ノ義〕入梅ノ雨。‖バイウ。‖ウノハナクダシ。〔降リツヅイテ卯ノ花モクサレルト云フ所カラ云フ〕—基俊、「イトドシク賤ガイホリノイブセキニうのはなくたしサミダレゾ降ル」。

○うのはな・くだし (…)名。〔…降し〕うのはなくたしノ誤リ。

○うのはな・づき (第四上)名。〔…月〕四月ノ異名。卯ノ花ガ咲ク故ニ云フ。‖ウヅキ。—近松、釋迦如來誕生會、「飛ブガ如クニ年月ノ行クアシ早キキノエトラ、御產ニアタルうのはなづき」。

うのはな・づきよ (第六上)名。〔…夜〕(一)卯ノ花ノ白クナツタノヲ月ニ見立テタモノ。‖ウノハナヅクヨ。—萬葉集、「サツキヤマうのはなづきよホトトギス聞ケドモアカズマタ鳴カンカモ」。

うのはな・づくよ (…)名。〔…〕うのはなづきよノ轉。

うのはな・やき (全平)名。〔卯の花燒き〕鮒ヲ燒イテ酢ヲカケ、卯ノ花(第三解義)ヲフリカケタモノ。

○うのはな・やま (第四上)名。〔…山〕卯ノ花ノ咲キソロッタ山。

うのはな・おどし (第五上)名。〔…威し〕鎧ノ全體ノオドシ毛ヲ白ノ絲デオドシタモノ。

う・の・ふえ (第一上)名。〔竽の笛〕笛ノ一種。笙トヨク似タモノ。木デ作リ、中ヲウルシヌリニシ。クダハ二十六本、竽ノ長サハ四尺二寸ノモノ。

う・の・み (第三上)根。〔鵜呑み〕〔鵜ハ貪亂デ物ヲ譯モナク呑ミ込ムト云フ所カラ轉ジテ〕スベテ物ヲソノママ呑ミ込ムコト。‖マルノミ。‖ヲノミ。

◎うのみトまるのみト相違スル點ダケイヘバ、うのみハ主ニ食物ノミニカカリ、まるのみハ食物以外ノモノニモカカル。—「飯ヲうのみニスル」。—「學問ヲまるのみニスル」。

うのめ・がへし (第四カ、第五エ)(第四上)名。〔畦目返し〕〔うなめ(畦目)かへし(返)ノ轉訛〕、布帛ナドノ縫ヒカタノヒトツ。ウラオモテカラ混ゼテウナメニ縫ヒ出シタモノ。—我衣、「享保ノ頃將軍吉宗公御鷹野遊バサレ、うのめがへしノ御股引キ、紺ノサシタビヲ召シタリ」。

う・の・め・たか・の・め (第一上)根。〔鵜の目鷹の目〕〔鵜又ハ鷹ハ極メテ目ノ鋭イト云フ所カラ轉ジテ〕キハメテ目ヲスルドクスルコト。—近松、釋迦如來誕生會、「𩿡特ガコト問ハントスレド朋輩ノうのめたかのめ」。

うのめ・ゆわう (第五ヲ)(第四上)名。〔…硫黃〕ゆわうノ一種。黃色クテ赤ミノアルモノ。

うは ((第二ワ)(全平)接頭。〔(上)〕〔うへ(上)ノ轉〕他ノ名詞ノ上ニ付キ、ウヘ、ハジメナドノ義ヲ現ハス語。—「うはカハ」。—「うは目」。—源氏、「うはヅツミバカリヲ見セ奉ラセタマフ」。

うば (第一上)名。(一)〔姥〕〔おばノ轉〕オホバ。‖祖母。—隨信、「うばニテ侍リシ人ミマカリテ」。(二)〔姥〕〔轉ジテ〕スベテ老イタ女。‖ラウヂヨ。(三)〔乳母〕〔又、轉ジテ〕オンバ。‖チノモ。‖メノト。‖バアヤ。‖ニウボ。

うば (…)名。〔豆腐皮〕〔とうふ(豆腐)ノうば(姥)ノ畧。シワガアル故ニうばト名付ケタト云フ〕豆腐ノ汁ニアクヲ少シ入レテ皮ヲ形チヅクラセ、此皮ヲ取ッテ乾シタモノ。稍黃イロデ皺ガアル。食用ニナル。‖ユバ。

▲うば (…)名。土佐ノ方言。木ノ名。あぶらぎりノ一名。

うば・あいさ (第三上)名。〔姥秋沙〕鳥ノ名。形ハあいさト同ジク、タダ目ノ上ニ黑イ筋ガアリ、ツバサノ上ニモ黑イ羽ガマジッテ非ルモノ。

うは・あご ((第二ワ、第四ゴ)(全平)名。〔上腭〕上ノ部分ノあご(したあごの對)。

うば・い (第一上)名。〔烏梅〕モト漢語。梅ノ實ヲ燻ベタモノ。色ハ黑ク、香ヒガ強ク、染メ物或ハ藥ニツカフ。‖フスベウメ。

うばい (全平)名。〔優婆夷〕※うばそく參考。

++●うは・うは ((第二及第四ヲ)(第一上)副。〔上上〕スベテ、氣ガウハツイテ落チ付カヌノヲ形容シテ云フ語。‖ウハツハト。—「うはうはスル」。

うはうは・と ((…)(…)副。〔…と〕前ト同ジ語。

++うは・おほひ ((第二ワ、第四オ、第五イ)(第三上)名。〔上覆ひ〕スベテ、物ノ上ヘカケテ其物ヲオホフモノ。‖ウハッパリ。‖グワイヒ(外被)。

++○うは・おそひ (…)(…)名。〔…襲ひ〕着物ナドノ上ニ着テ中ノ着物ヲヨゴサヌ爲メニスルオホヒノウハギ。‖ウハッパリ。—枕ノ草紙、「ワラハノアコメノうはおそひハ何イロニツカフマツルベキト申スヲ」。

++うは・がき (…、第三カ)(全平)名。〔…書き〕スベテ書狀、ハコ、書物ナド其外スベテ色色ノ物ノ上ニ文字ヲ書クコト。—伊勢物語、「うはがきニムサシアブミト書キテ」。

▲うば・がしら (…)(第三上)名。〔姥頭〕松前ノ方言。草ノ名。おきなぐさノ一名。〔色ノ白イ花ガ咲イテ、姥ノアタマノ白髮ニ似タ所カラ云フ〕

うは・がすみ ((第二ワ、第三カ)(…)名。〔上霞〕コトニ薄ク見エルカスミ。—拾玉集、「カタヲカノシダリ柳ノうはがすみ霜ニ書クモノカ、コレカアラヌカ」。

▲うば・がち (…)(全平)名。佐渡ノ方言。草ノ名。をどりこさうノ一名。

うばがね・さう (…、第五ソ)(…)名。うばがねもちト同ジモノ。

うばがね・もち (…)(第四上)名。灌木ノ名。莖ハ細クテ長サ三四尺。葉ハ梨ニ似テ冬モ枯レズ、秋、ねぢのきノ花ノヤウナ、小サナ白イ花ガ咲ク。實ハ丸ク、二分バカリ、紫ノタテスヂガ有ル。

うは・かは ((第二、及、第四ワ)(全平)名。〔上皮〕(一)皮ノ上ニマタ有ル皮。(二)スベテ、モノノ上ノオホヒ。

うは・かは (…)(…)名。〔…側〕ウヘニナツタ方ノ面。‖ヘウメン。‖ウハツラ。

△うは・がひ ((第二ワ、第三カ、第四イ)(…)名。〔…交ひ〕〔かひハかはし(交)ノ義〕おくみノ古言。

うば・がひ ((第三カ、第四イ)(第一上)名。〔姥貝〕介ノ名。あかがひノ一種。タヌスヂガ最モホソク、一枚ノ殼ハフツリアヒニ短イモノ。肉ヲナマ、或ハホシテ食用ニスル。オモニ常陸カラ出ル。

○うは・がへ ((第二ワ、第三カ、第四エ)(全平)名。〔上換へ〕うはつぱりノ古言。ウヘニナル着物。—西鶴、一代女、「御前樣ノうはがへノツマニトリツキシヲヤウヤウニヒキワケ」。

▲うばが・ゆり ((第三ガ)(第二上)名。伊勢ノ方言。草ノ名。かばゆりノ一名。

●うは・き ((第二ワ)(全平)根。〔上氣=浮氣〕ウハツイタ氣性デアルコト。‖カロガロシクアルコト。‖ウツリヤスク、カハリヤスクアルコト。—忍夜戀曲者、「うはきナ蝶モ色カセグ」。

うは・ぎ (…、第三キ)(全平)名。〔上着=表着〕スベテ表面ニ着スルキモノ。‖(上衣)—泉式部、「ヌレギヌト人ニハイハジ紫ノネスリノ衣うはぎナリトモ」。

△う・はぎ ((第三キ)(…)名。草ノ名。よめなノ古言。※よめな參考。—萬葉集、「妻モアラバ採リテタゲマシサミノ山、野ノヘノうはぎ過ギニケラズヤ」。—同、「春日野ニケムリ立ツ見ユヲトメラシ春野ノうはぎツミテ煮ラシモ」。「はぎハ秋草ノはぎトオナジタグヒニ名ヅケタ語」。

●うはき・しやう ((第二ワ、第五ヨ、第四五合)(全平)根。〔上氣性=浮氣性〕ウハキデアル性質。

●うはきもの　(第二ワ)(…)名。(…者)　ウハキデアル人。
▲うはきつぼい　(…、第四遍)(…)形。(…つぽい)　ウハキデアル。
▲うはきつぽさ　(…)(…)名。(…さ)　ウハキッポクアル度合ヒ。
▲うばぐち　(…)名。(姥鯢)　筑後ノ方言。鯢ノ名。にべノ二三寸ノモノ。※いしもち參考。
うはごと　(第二ワ)(…)名。(上言)‖浮言‖(譫言)　熱病ナドニツカサレテ、心ガ混亂シテシャベルワケモナイコトバ。‖ゴト。
◎うはごとトねごとトスコシチガフ。うはごとハねごとノ一部分デハアル。但シねごとハうはごとノ一部分デナイ。スベテ、ネムリナドシテ、精神ガタシカデナイトキニ、ワケモナクイフ言葉ガ總名ノねごとデ、うはごとハ必ズ熱トカ、怖レトカ、異常ナ激動カラ來タモノニノミイフ。ソレ故ニねごとハ目ノサメテ井ル場合ヒニハイハヌ。タダシうはごとハ目ノサメテ井ル場合ヒニモイフ。
うはさ　(…)(…)名。　フウセツ。‖世間ノイヒフラシ。‖セヘウ。‖フウブン。
うはざうり　(…、第三ア)(…)名。(上草履)　家ノ中デハクざうり。(地面ノ上デ用井ルざうりニ對シタ語)―河東節、神樂獅子、「王昭君ガオヒサガリ、又李婦人ガヒトツマヘ、西施ガハケルうはざうり、花ノ鼻緒ヲフミシダク」。
うはさぎ　(第四キ)(全平)名。(姥鷺)　鳥ノ名。あをさぎノ一種。全身ガウスアカク、カツ小サイモノ。

うばざくら　(第三上)名。(…櫻)　さくらノ一種。形チハひがんざくらニヨク似タモノ。花ハ八重デ大キク、莖ハミジカク、花ガ散ルマデ葉ガナイ。葉ガ無イト云フノヲ齒ガ無イトヒカケ、ソレカラうばト名ヲツケタモノ。
うはざし　(第二ワ)(全平)名。(上差し)　(一)エビラニ矢ヲ盛リ、別ニ儀式トシテ、エビラノ左ノ方ニサス二筋ノ矢ノ名。オモニコレニハ鏑箭カ雁股ノ二種ヲツカフ。ナカザシニモ、うはざしノ矢ハアリ。コノ矢ニカギッテ羽ヲバ四枚ツケル。―大平記、「矢一ツマ井ラセン。ウケテ御覽ゼヨトテうはざしノカリマタヲヌキ出シ」。(二)カリヤス、ヒタタレナドノ袴ノヒモナドニ組ミ緒、或ハ丸緒デヌフ、ソノ縫ヒ方ノ名。
うばざめ　(第二上)名。(姥鮫)　さめノ類。皮ニ皺ガアリ、口ニ齒ガナク、體ハ鼠色ノモノ。大キイノハ六七ヒロアル。‖ウバブカ。
うはしき　(第二ツ)(全平)名。(上敷き)　(一)蓙ノ上ニ布ク布。‖クラシキ。(二)子ドモノ上ニシク布。トコニヨゴレ目ナドノツルノヲ防グモノ。
うばしぎ　(第四ギ)(第三上)名。(姥鷸)　(一)鳥ノ名。しぎノ一種。カラダハ紫ガカッタウス鼠デ、處處ニ黑イ斑ガアリ、嘴ハ黑クテ長ク、脚ハ鼠色ノモノ。(二)又、しぎノ一種。腹白ク、頭カラ尾マデ黑クテ、白イ羽根ガマジリ、嘴ガカバ色デ、足ハ三本指デ赤イモノ。
うはしる　(第二ツ)(…)名。(上液)　(一)スベテ、流動物ノ上ニ浮クしる。‖ウハズミ。(二)(轉ジテ)オモニ、ウハマヘ。人ガ骨ヲ折ツテ、手ニ入レタモノナドヲ横アヒカラ、努セズニソノウハマヘヲハネルトキナドニモチ井ル語。―近松、心中二枚繪草紙、「茶碗ヒキヨセツギケレバ、コリヤドウヂヤ。酒ノ中ヨリ一分ガワク。寶ノ泉カ、アリガタイト、ミナ打チアケテ、コレハ夢カ、ウツツカ、三寶荒神ノ御利生カ、死シタル母ノ御投ケカト、嬉シイヤラコハイヤラ、分別ニ能ハチドモ、久久デ金氣ニアフタ、マヅ目出度ウ一分ノうはしる吸ヒマシヤウト、イタダキ、イタダキ、グット呑ミ」。
うはずみ　(…)(全平)名。(…澄み)　スベテ、流動物ノ上ノ方ノ部分ニアッテ、スンデ見エル流動物。
●うはずル　(…)(第三上)自動、一。(…擦る)　ウハッツベリガスル。‖カロガロシク浮クグアヒニナル。―「調子ガうはずる」。
うばそく　(全平)名。(優婆塞)　(さんすくりつと語デ、ウバ即チ近ヅクトノ義)　俗デアッテ、佛門ニハイッタ男子ノトナヘ。女ヲバうばいト云ヒ、コレヲ支那ノ譯ニ對スレバ近事女ト云フ。‖コンジナン。‖シンジナン。―源氏、「うばそくガオコナフ道ヲシルベニテ、コン夜モフカキ契リタガフナ」。―翻譯名義集、「義名信士男、信士女…唐言近事男…唐言近事女…近事者親近承奉諸佛法故…中華翻爲近住」。
うばたま　(…)名。(烏羽玉)　蒸シ菓子ノ名。牛皮ニ上等ナ餡ヲツツミ、三盆ノ砂糖ヲフリカケタモノ。砂糖ハ白ノママデモ、又ハ赤、緑ナドノ色ヲツケテモ用井ル。コノ菓子ニカギッテ、味ヒハキハメテ甘クスル。
○うばたまの　(全平)枕。(…の)　ぬばたま

のノ轉訛。
▲うばちこ　(…)名。　草ノ名。陸前ノ方言。うつぼぐさノ一名。「うばハうつぼノ約、ちハ添ヘ字、こハくさノ約ノ轉」。
△うはちどり　(第二ワ)(第三上)名。(上千鳥)　鳥ノ名。みやこどりノ一名。「うはハうき(浮)ノ轉」。
●うはつく　(…)(全平)自動、一。(上つく)‖浮つく　「つくハあだつく、むかつくナドノつく」。　ウハキニナル。‖ウハウハスル。―「春風ニ人ノ心モうはつく」。
‡うはづつみ　(…)(…、又、第三上)名。(上包)　スベテ、物ノ上ノオホヒ。‖ウハオホヒ。
うはつら　(…)(全平)名。(…面)　ウハベ。‖ウハカハ。‖ヘツメン。
うはて　(…)(…)名。(…手)　(一)スベテ、上ノ方。(二)風ノ吹イテ來ル方。‖カザカミ。(三)水ノ流レテ來ル方。‖ミナカミ。‖ジャウリウ。―大津繪、「うはてカラセンド(船頭)サン、ミサヲデ流シテギッチラコ」。
●うはて　(…)(…)根。(…)　スベテ、技藝、智力ナドガ優ッテ井ルコト。―「うはてノウデマヘ」。
●うはてうし　(…、第三チヨ合)(…)名。(上調子)　ウハズッテ井ル音色。‖オチツカヌテウシ。‖ウハデウシ。
●うはてうし　(…)(…)根。(…)　ウハツイタ性質デアルコト。‖ウハデウシ。―「うはてうしノ女」。
◎オモニ、口マヘバカリデソノ實ナドノ無イトキナドニツカフ。うはきトハスコシチガフ。うはてうしデアッテ、うはきデナイ場合ヒモアリ、うはきデアッテうはてうしデナイ場合ヒモアル。一口ニイヘバうはてうしハ心ヨリムシロ口マヘノ方ニカカリ、うはきは口マヘヨリムシロ心ノ方ニカカル。

●うはでうし　(第二ワ、第三チヨ合)(…)名。(…)　うはてうし(名)トオナジ語。
●うはでうし　(…)(…)根。(…)　うはてうし(根)トオナジ語。
うはてなげ　(第二ウ、第五ゲ)(…)名。(上手投げ)　角力ノ四十八手ノ一ツ。スベテ、上手カラ攻メテカカッテナゲルコト。‖相撲傳書、「うはてなげ」。
うばな　(第一上)名。(鵐花)　草ノ名。ふおさはぎくノ一名。
△うはなだら　(第二ワ)(第三上)根。(上滑)「うは(上)なだら(滑)ノ義」　ウハベハ優シサウデ心ガヤサシク無イコト。―「トクヂドモうはなだらナル人カトヨ、名ハ氷室ニテ下ハ凍レル」。
●うはなほし　(…、第四オ)(全平)名。(…治し)　ウハベダケナホシテ置クコト。‖外面ダケツクロフコト。―三世相錦繡文章、「阿園ガムシハナホルマイ。ドウセ持病ハうはなほし」。
○うはなみ　(第二ワ)(…)名。(…波)　水面ニタツ波。
△うはなり　(…)(…)名。(後妻)「うはハいま(今)、なりハのめ(之女)ノ轉」　後ニ娶ッタツマ。‖ノチゾヒ。‖コウサイ。‖ゴサイ。―和名抄、「後妻、和名宇波奈利」。
△うはなりうち　(…)(…)名。(…打ち)　昔、ヲットガ妻ヲ離緣シテ直チニ後妻ヲ入レタ時ニ、先妻ガ親族ノ女ドモト一處ニ後妻ノ家ヲオソヒニ來タコト。
‡うはぬり　(…)(…)名。(上塗り)　(一)壁ナドノ最モ上ニ現レル表面ヲ塗ルコト。(なかぬり、したぬりノ對)。(二)(轉ジテ)更ニマタ付ケ加ヘルコト。―近松、博多小女郎浪枕、「親ヘハ不孝ノうはぬりト思ヒ定メテノ自害」。
うはに　(…)(…)名。(…荷)　馬ノ上ニ付ケル荷。
○うはにぶね　(…)(第四上)名。(…船)　舟ノトナヘ。ハトバヘ着ク時ニ荷物ダケヲ積ンデ岸ニツケル小舟。‖ハシケブネ。
●うはのそら　(…)(…)根。(上の空)　ウチヤウテン。
うばのち　(第一上)名。　草ノ名。うつぼぐさノ一名。
‡うはのり　(第二ワ)(全平)名。(上乘り)　舟ノ荷ノ上ナドニツキ添ッテ其荷ヲ守ッテ送ル人。
うはは　(…)(…)名。(…端)　(一)スベテ物ノ上ニナッテ居ル部分。(二)上ニナッテ井ルハシタノ數。(一圓十五錢ト云ヘバ、十五錢ガ一圓ノうはは、六十壹錢ト云ヘバ、一錢ハ六十錢ノうはは)。
うはば　(…)(…)名。(…齒)　上ノ齒グキニ付イテ井ル齒。
‡うはばひ　(…、第四イ)(…)名。(…這ひ)　表面ニ出テ這ヒアルクコト。―「虱ノうはばひ蚤ノカルワザ」。
うはばみ　(…)(…)名。(蟒)「おほ(大)ノ轉、うは、へみ(蛇)ノ轉はみ」　(一)スベテ大キナ蛇ノトナヘ。‖ダイジヤ。‖ヲロチ。(二)「うはばみハヨク人ヲ呑ムト云フ所カラ其ノのむトイフ緣ヲ取ッテ」酒ヲ好ム人ノ異名。
◎うはばみノ實體ハヨク分カラヌ。晉海ナド、和名抄ノ解ニヨリ、やまかがちトオナジヤウニ解シタモノノ、コレモ心得ガタイ。思フニコレハ唯ドノ蛇デモ

掃ハズ、スベテ大キナ形ヲヲシタ、即チ大蛇ヲサシテイフ語デハ無カラウカ？私カニ與ヘタ語原ナガラ、前ニ本文ニ出シタ語原ヲイクラカ當タッタトスレバ、則チ大キナ形チノ蛇ノ總名ト解シテ差シ支ヘハアルマイ。三才圖會、本草綱目ナドノ説ハ取ルニ足ラヌ。

うはばみ・さう　(……、第五ソ)……名。(……草)　草ノ名。くちなはじやうごノ一名。

うは・ばり　(……)……名。(上張り)　着物ナド、ヨゴレルノヲ厭ッテウハギノ上ニ更ニヒッカケテ着ルカリギ。—ウハッパリ。—ウハオンヒ。—西鶴、一代女、「源ハフルカタビラうはばりニシテ、少シハ近所ヲ忍ブフリニテ走リ行ク」

うは・ひ　(……)……名。(外障眼)　眼ノ病氣ノ一種。そこひノ類。瞳孔ノ上ニ雲ノヤウナモノガアラハレ、ソレガ爲メニ見エナクナルモノ。

うは・ひげ　(……、第四ゲ)……名。(鬚)　クチビルノ上ニアルひげ。—西鶴、若風俗、「吉瀬カミソリ取リ持チテ此男ノうはひげハ殘シテ物ノ見事ニ左ノ方ノ髮剃リテ」

うはフ　(第三ウ)(第二上)他動、四段。(喪ふ)　(一)ムリヤリニ掠メ取ル。—フンダクル。　(二)ヌスミトル。

うば・ふか　(……)名。(姥魚)　魚ノ名。うばざめト同ジモノ。

うは・ぶち　(第二ワ)(全平)名。(上扶持)　タダノふち(扶持)ト同ジモノ。徳川時代ニ行ハレタ語。

○うは・ぶみ　(……)(第二上、又、全平)名。(……文)　ヘツダイ。—ゲダイ。—ダイモク。

うは・べ　(……)(全平)名。(……部—(裏面))　(一)スベテ表面ニナッタ所—オモテ。—ヘテ物(主ニ布帛)ノ上ニ染メタ色ノクマドリノ上ヲ更ニ繪ノ具デ書キ添ヘタ繪—「半襟ノうはべ。

うはべかき　(……)(第三上)名。(……書き)　ウハエヲ描ク人。—ウハエヤ。—ウハエシ。

うは・や　(……)(全平)名。(……屋)　ウハエカキ。—マタ上繪ヲスル家。

△うは・を　(……)(……)名。(後夫)　ノチノヲットノ。(うはなりノ對)—和名抄、「後夫、宇波乎」。

▲うは・つ・かは　(……、第三逼、第五ヲ)(……)名。(上つ皮)　うはかはノ轉訛。

▲うは・つ・つら　(……)(……)名。(……面)　うはつらノ轉訛。

▲うは・つ・ばり　(……)(……)名。(……張り)　うはばりノ轉訛。

▲うは・ん・まへ　(……、第五エ)(……、又、第四上)名。(……ん前)　うはまへノ轉訛。

うひ　(第二イ)(全平)根。(初)　ハジメテアルコト。「うひノ子モチ」

うひ　(……)(……)接頭。(……)　ハジメテノ。—源氏、「イハケナきうひゴト」。

○うひうひし　(……、第四イ)(第三上)形。(……初し)　ハジメテラシイ。—初心ラシイ。—サモ物ナレナイ姿デアル。—源氏、「オクザマヘ井ザリ入リタマフ樣イトうひうひしくアリ」。

●うひうひしイ　(……)(第五上)形。(……い)　うひうひしノ近體。

うひうひし・さ　(……)(第四上)名。(……さ)　ウヒウヒシクアル度合ヒ。

△うひ・かうぶり　(……、第二コ)(全平)名。(初冠り)　(一)ゲンブクシテ始メテカムリヲ付ケルコト。　(二)ゲンブク。　(三)初位。

人、醫師一人、番長四人、兵衛四百人、使部卅人、直丁二人。—職員令、「右兵衛府。……モト唐名。うだいじん一名。

●うぶ　(……)根。(初)(うひ(初)ノ轉)　カザリノ無イコト。—ショシン。—ウヒウヒシクアルコト。—「うぶノキムスメ」。

うぶ　(全平)接頭。(産)(うむ(産)ノ轉)　ウマレタ時ノママノ。—「うぶぎ」。—「うぶげ」。

○うぶ・がみ　(第三カ)(……)名。(……髮)　うぶげト同ジモノ。

○うぶ・がみ　(……)(……)名。(……神)　うぶすながみノ略。—河東節、助六後日道行、「ツマグル珠數ノタモトガハ、水サカヅキハ醉ヒモセズ、京ノ吉田ノ神帖ニカホダシモセヌうぶがみハヤボケンジンカ、ウッチンカ」。

うぶ・ぎ　(第三ギ)(……)名。(……着—次)　生マレタ子ニ始メテ着セルキモノ。—ウブギヌ。—西鶴、一代女、「涙ハ袖ニノコルモツラキトテアガリモノノ小袖ヲうぶぎヨト、ナルホド惜シマズ」。

○うぶ・きぬ　(……)(第三上)名。(……衣)　うぶぎト同ジモノ。

うぶ・げ　(第三ケ)(全平)名。(……毛)　生マレタ子ノ始メテノ髮。—ウブガミ(産髮)。

うぶ・ごゑ　(第三ゴ)(……)名。(……聲)　子ガ生マレテ始メテ出ス聲。

うぶ・すな　(……)名。(産土)　(一)人ノ生マレタ本土。(二)轉ジテうぶすながみノ略。

うぶすな・がみ　(第五ガ)(第四上)名。(……神)　ウブスナヲ鎭護スル神。—四季物語、「うぶすながみニ仕フマツリ」。

うぶすな・まゐり　(第五上)名。(……詣り)　子ガ生マレテ百ケ日ニアタル日ウブスナ

ノ神ニ奏請スルコト。後世、オモニ男ハ卅日、女ハ三十三日ニアタル日ニ行フ。═ミヤマヰリ。ふみやまゐり参考。

うぶ・ち（金平）名。〔産血〕　小児ヲ生ム時ニ出ル血。

う・ぶね（第一上）名。〔鵜舟〕　鵜カヒニツカフ舟。ホンク出來タモノ。═ウカヒブネ。

△うぶ・の・かみ（第一上）名。〔産の神〕　神ノ名。むすぶのかみノ一名。

うぶ・め（金平）名。〔……女〕〔うむ（生）め（女）ノ義〕（一）ハラミヲンナ。═和名抄、「孕婦、和名、宇牟女」。（二）轉ジテサンプ。═産ヲスル女。（三）鳥ノ名。うぶめどりノ略。

うぶめ・どり（第三上）名。〔……鳥〕　想像ノ鳥ノ名。其實體ハ知レズ、形ハかもめニ似テ、大キク、聲モかもめニ似ルトモイヒ、或ヒハ又形ハ鷲ニ似テ聲ハ子供ノ泣キ聲ニ似タナドトモ云フ。一說ニハうぶめ即チ産婦ガ死ンデ共ニ念カラ此鳥トナッタトノ趣キ。素ヨリ是レモ附會ノ說デアル。

うぶ・や（金平）名。〔産室〕　（一）ムカシ、ソコデ子ヲ産ムタメ新ニツクル家。═枕ノ草紙、「チゴノナクナリタルうぶや」。═同、「將トリテ四五年マデうぶやノサワギセヌトコロ」。（二）後世、轉ジテ産ヲスルヘヤ。

△うぶ・やしなひ（第六イ）（第三上）名。〔……養ひ〕　ムカシ、産ガアッテカラ第三日目ノ晩、及ビ五日目ノ晩ナドニ祝儀ニ贈ルオクリモノノトナヘ。外ニ七日目、五十日目、百日目ニモアル。═源氏、「ミコカンダチメ、ノコリナきうぶやしなひドモノメヂラカニイカメシキ」。═枕ノ草紙、「うぶやしなひ、馬ノハナムケナドノッカヒニ祿ナドトラセヌ」。

△うぶ・やしなひ（第六イ）（第三上）名。〔……養ひ〕　ムカシ、産ガアッテカラ第三日目ノ晩、及ビ五日目ノ晩ナドニ祝儀ニ贈ルオクリモノノトナヘ。外ニ七日目、五十日目、百日目ニモアル。═源氏、「ミコカンダチメ、ノコリナきうぶやしなひドモノメヂラカニイカメシキ」。═枕ノ草紙、「うぶやしなひ、馬ノハナムケナドノッカヒニ祿ナドトラセヌ」。

うぶ・ゆ（金平）名。〔……湯〕　ウマレタ子ニハジメテ湯アミサセ、ケガレヲ洗ヒオトスヨロ、川浪ダカク聞ヨユナルカナ」。（十四）ソレニ關シ及ブ處ノ結果。═「ワガ身ノうへニ及ブ」。═「人ノうへトハ言ヒナガラ」。（十五）（轉ジテ）ソレカラノ結果。═「酒ノうへ」。═「酒狂ノうへ」。

△うぶ・ね（第二上）名。〔……非〕　うぶゆノ水ヲクミトル井戸。

うへ（第二上）名。〔上〕　（一）モット高イ部分。═カミ（したノ對）。═萬葉集、「スメロギハ神ニシマセバ天雲ノイカヅチノうへニイホリセルカモ」。（二）ヘウメイ。═ウハツラ。═和名抄、「裏、宇閉」。═匡房、「フカミドリイハホガうへニムス苔ヤソラニノボラヌ烟リナルラン」。（三）轉ジテ、スベテ、スグレタモノ。═マコトニサウアリサウデ。═ムベ。═「フクカラニ秋ノ草木ノシヲルレバうべ山風ヲ嵐トイフラン」。

△うべ（第四上）形。〔……宜し〕　（一）マコトニサウアリサウデアル。═トリカヘバヤ物語「アルベキサマニうべうべしう」。（二）轉ジテ、ママメシイ。═トクシッデアルラシイ。═モットモラシイ。═枕ノ草紙、「うべうべしき處」。

▲うべ・うり（第二上）名。　山城ノ方言。草ノ名。きからすうりノ一名。

△うへ・さま（第二ヱ）（第二上）名。〔上樣〕　徳川幕府ノコロ、徳川氏ノ幕下ガ將軍ヲサシテイッタ語。

△うべ・しこそ（第二上）副。〔宜しこそ〕　「しハ休メ字、こそハ天爾波ノこと」。モット モデ。═ダウリデ。

うへ・だ（第二ヱ）（金平）名。〔上田〕　うへだじまノ略。

うへだ・じま（……）（……）名。〔……縞〕　信濃ノ國小縣郡上田ニ産スルシマノ織物ノトナヘ。オモニつむぎニスル。

うへだ・すがい（……）（第二上）根。〔……條〕　帖、貫之、「行ク水ノうへニイハヘル川ヤシロ、川浪ダカク聞ヨユナルカナ」。（十四）ソレニ關シ及ブ處ノ結果。═「ワガ身ノうへニ及ブ」。═「人ノうへトハ言ヒナガラ」。（十五）（轉ジテ）ソレカラノ結果。═「酒ノうへ」。═「酒狂ノうへ」。

うへ（……）（……）名。〔上〕　（一）モット高イ部分。═カミ（したノ對）。═萬葉集、「スメロギハ神ニシマセバ天雲ノイカヅチノうへニイホリセルカモ」。（二）ヘウメイ。═ウハツラ。═和名抄、「孕婦、和名、宇牟女」。（三）轉ジテ、スベテ、スグレタモノ。═マコトニサウアリサウデ。═ムベ。═「フクカラニ秋ノ草木ノシヲルレバうべ山風ヲ嵐トイフラン」。

△うべ（第四上）形。〔……宜し〕　（一）マコトニサウアリサウデアル。═トリカヘバヤ物語「アルベキサマニうべうべしう」。（二）轉ジテ、ママメシイ。═トクシッデアルラシイ。═モットモラシイ。═枕ノ草紙、「うべうべしき處」。

▲うべ・うり（第二上）名。　山城ノ方言。草ノ名。きからすうりノ一名。

△うへ・さま（第二ヱ）（第二上）名。〔上樣〕　徳川幕府ノコロ、徳川氏ノ幕下ガ將軍ヲサシテイッタ語。

△うべ・しこそ（第二上）副。〔宜しこそ〕　「しハ休メ字、こそハ天爾波ノこと」。モット モデ。═ダウリデ。

うへ・だ（第二ヱ）（金平）名。〔上田〕　うへだじまノ略。

うへだ・じま（……）（……）名。〔……縞〕　信濃ノ國小縣郡上田ニ産スルシマノ織物ノトナヘ。オモニつむぎニスル。

うへだ・すがい（……）（第二上）根。〔……條〕　

モノ毛色ノ一ツ。うへだじまノヤウナ毛ナミノモノ。「オモニ狩ニイフ」

うへ・うがた（……）（第四ガ）（金平）名。〔上つ方ニつハの之ノ義〕　身分ノ貴イ人。身分ノヒクイ人カラ對シテイフ語。═西鶴、一代女、「うへうがたノゴセンザマ〳〵一夜ヅツ御ナグサミニアゲケル」。

うへ・つぼね（第二ヱ）（第二上）名。〔……局〕　殿上ニタマハッタ局ノトナヘ。ツヂノ局ノホカニ主人ノ御座ノ近イアタリ、別ニ休息所トシテマウケラレタ局。═源氏、「後涼殿ニモトヨリサブラヒタマフ更衣ノザウシヲホカニウツサセタマヒテ、うつぼねニタマハス」。

●うへ・なし（……）（第二上）根。〔……無し〕　最上ノモノ。═ソレヨリ上ノナイモノ。═「馬鹿ノうへなし」。

○うへ・なし（……）（……）形。〔……〕　ソレヨリ上ニナルモノガナイ。═カギリガナイ。═「うへなき御ナサケヲカウムリテ」。

△うべ・なフ（第四ウ）（第三上）他動、四段。〔うべ（宜）ヲハタラカセタモノ〕〔肯ふ〕ショウチスル。═諾スル。═ウベガフ。═日本紀、「ソノうべなはヌモノハ」。

△うべ・なム（……）他動、四段。〔……む〕　うべなフトオナジ語。

△うへ・の・きぬ（第二ヱ）（第四上）名。〔表の衣〕　はう（袍）トオナジモノ。═和名抄、「袍、和名宇倍乃岐沼。ほうノ袍參考。

△うへ・の・はかま（……）（金平）名。〔……袴〕　束帶ノトキ、上ニツケル襟ノ名。おはくちトハチガフ。摸樣ハイロイロアリ、下役ニナレバ白ノヒラギヌヲモチ非、裏ハ上下トモオシナベテ、クレナ非ヲツカフ。夏冬ノ差別ナク天子、上皇、親王ナドノコノはかまノ御紋ハくわにあられ（タダシ神事ニハ白ノヒラギヌ）又攝家、中將、少將、大臣大將ニナレバ、弱年ノトキニハ綿線綾ノくわにあられノ浮キ紋ニ、紅ウチノ平絹ノ裏。又大納言、大臣等デモ大將ヲ兼ヌルノハ藤ノ丸ノ摸樣ノモノヲ用非、十五歳マヘノこいしやうぞくニハこきうちノ裏ヲツカフ。（二）マタ、ママれはくちノ一名。═大口袴ト云表袴」。

うへ・の・はかま（第二上）名。〔上ノ袴〕　

うへ・の・ひと（第二上）名。〔殿上人〕　

うへ・の・ふだ（第二上）名。〔……臥し〕　禁中ノトノ非。═平家物語、「院ノ御所法住寺殿ニうへのふだシテ」。

うへ・み（……）（第七エ）（第五上）名。〔……宮仕へ〕　禁中ニミヤヅカヘスルコトヨリオシナベテノうへみやづかへ（……宮仕へ）ノトナヘ。═源氏、「ハシメヨリうへみやづかへシタマフベキキハニハアラザリキ」。

△うへ・もなシ（第二上）句。〔宜も無し〕　マコトデナイ。═ワケモ無イ。═道理デモナイ。

うへ・わらは（……）（第二上）名。〔……童〕　殿上ニデッカハレル童子。═源氏、「オントモニ候フうへわらはノヲカシキ」。

○うぼく（第一上）名。〔烏木〕　（一）烏ノ名。うばせだひノ一名。　魚ノ名。うぼせだひノ一名。

うぼせ・だひ（第三上）名。　魚ノ名。いぼだひノ一名。

△うぼんさい（第二上）名。〔盂盆齋〕　うらぼんノ一名。═事物紀源、「今世七月十五日營僧尼供、謂之盂盆齋」。

うま（第二上）名。〔馬〕　（一）家畜ノ一ツ。モットモ役ニ立ツケモノ。力ガアリ、足ガハヤク、物ヲハコビ、又ヨク車ヲヒク。高サハ四尺以下ヲこまトイヒ、四尺以上ハき（寸）デハカル、顔ハナガク、タテガミガフサフサトアリ、ヒヅメハ丸クテ地ニ向フ面ノ中ガクボミ、尾ノ長サハ大抵身ノ高サトオナジク、毛ハ一本ゴトニ根カラハヘテ長ク房ニナリ、齒ハ上下各各六枚、ソノ齒ノ數ニヨッテ老少ヲハカル。毛ノ色ハサマザマ、粟毛、ツキゲ、アシケ、ナド其他カズカズ。各ソレゾレノ處デトク。═マア。═ヲマ。（二）又、双六ノサイノ名。═枕ノ草紙、「ツレヅレナルモノ、うまオリヌ双六」。（三）スベテ、ツヂヨリモ大キイモノノトナヘ。═「うまゼリ」。═「うまビル」。

うま（……）名。〔午〕〔前ノ語カラ轉ジテ〕　（一）えとノ名。巳ノツギ未ノマヘ。☆えと參考。（二）又、ムカシノ時ノ名。今ノ晝ノ十二時。（三）又、方角ノ名。南ノ方。

うま（……）接頭。〔旨═貴〕　（一）モノノ味ヒノ口ニ適スル、或ハ物事ノタクミデアルノヲ形容スル語。必ズ名詞ト相トモナッテ熟語トナル。═日本紀、「うまサケノ三輪」。（二）△〔轉ジテ〕貴イト云フ義ヲアラハス語。═萬葉集、「アサリスルアマノコドモト人ハイヘド見ルニ知ラエヌうまビトノ子ト」。

うま・あぶ（第三上）名。〔馬虻〕　牛ヤ馬ニツクあぶ。

うま・い（金平）名。〔熟寢〕〔うま（熟）シ（寢）ノ

義」　フカクキイルコト。═ココロヨク
キイルコト。═ジユクス非。
●うまイ（第二上）形。　うましノ近體。
○うまいくさ（第三上）名。〔馬軍〕　騎馬デ
ノタタカヒ。
うまいしや（第四、五合）（第二上）名。〔……醫
者〕　馬ノ醫者。═ウマクスシ。═バイ。
うまうど（第三上）名。〔……獨活〕　草ノ名。
ししうどノ一名。
▲うまうま（第四上）名。〔旨旨〕　オモニ東
京デ子供ノイフ語。ウマイモノ。═タベモ
ノ。
●うまうま（第三上）副。〔……〕　タクミニ。═
マンマト。═アタリサハリナク。═手際ヨ
ク。═ウマウマト。═「うまうまダシヌク」。
●うまうまと（……）副。〔……と〕　マヘトオナ
ジ語。
うまふひ・むし（第四イ）（……）名。〔馬追ひ蟲〕
蟲ノ名。くだきノ類。ナクコエハ絲車
ヲマハスヤウニブンブント云フ。═ツム。
○うまかけ（金平）名。〔……駈け〕　ケイバ。
△うまかし（……）名。〔……貸し〕　馬ヲ貸ス人。
═シヤクバヤ。═下學集「うまかし」。
うまかた（第四上）名。〔……方〕　駄馬ヲ曳
クノヲ職業トスルイヤシイモノ。═マゴ。
═バクロ。═淺井了意、東海道名所記「センド
ウ、うまかた、ウシッカヒ」。
うまかた（……）名。〔……形〕　ウマノカタチ
ニコシラヘタモノノ。═コシラヘモノノ馬。
═延喜陰陽寮式「うまかた五十匹」。
△うまかひ（第四イ）（第三上）名。〔……飼ひ〕
馬ヲ畜フ人。═日本紀「新羅ノ人ヲモテうま
かひトス」。
うまがは（第三ガ、第四オ）（第二上）名。〔……
頭〕　馬ノヤウニナガイカホ。═ウマグ
ラ。═西鶴「一代女」「女ノサカリハ過ギ行ク
女モ香モナキ人、シカモうまがはニシテ
横ヘヒロガリシ面影」。
うまき（第一上）名。〔鞠巻き〕　鞠ナドガ
アツマリ、魚ヲトリマキ、ダンダント岸ヘ
オシヨセルコト。
うまきたし（第三上）名。〔……醫
者〕　馬ノ醫者。═ウマクスシ。═バイ。
うまきうど（第三上）名。〔……獨活〕　草ノ名。
しししうどノ一名。
▲うまきうま（第四上）名。〔旨旨〕　オモニ東
京デ子供ノイフ語。ウマイモノ。═タベモ
ノ。
●うまきうま（第三上）副。〔……〕　タクミニ。═
マンマト。═アタリサハリナク。═手際ヨ
ク。═ウマウマト。═「うまうまダシヌク」。
●うまうまと（……）副。〔……と〕　マヘトオナ
ジ語。
うまふひ・むし（第四イ）（……）名。〔馬追ひ蟲〕
蟲ノ名。くだきノ類。ナクコエハ絲車
ヲマハスヤウニブンブント云フ。═ツム。
○うまかけ（金平）名。〔……駈け〕　ケイバ。
△うまかし（……）名。〔……貸し〕　馬ヲ貸ス人。
═シヤクバヤ。═下學集「うまかし」。
うまかた（第四上）名。〔……方〕　駄馬ヲ曳
クノヲ職業トスルイヤシイモノ。═マゴ。
═バクロ。═淺井了意、東海道名所記「センド
ウ、うまかた、ウシッカヒ」。
うまかた（……）名。〔……形〕　ウマノカタチ
ニコシラヘタモノノ。═コシラヘモノノ馬。
═延喜陰陽寮式「うまかた五十匹」。
△うまかひ（第四イ）（第三上）名。〔……飼ひ〕
馬ヲ畜フ人。═日本紀「新羅ノ人ヲモテうま
かひトス」。
○うまかひ・もの（……）枕。〔馬飼ひ物〕「ものの
いはじものはナドノ」。
うまがは（第三ガ、第四オ）（第二上）名。〔……
頭〕　馬ノヤウニナガイカホ。═ウマグ
ラ。═西鶴「一代女」「女ノサカリハ過ギ行ク
女モ香モナキ人、シカモうまがはニシテ
横ヘヒロガリシ面影」。
うまき（第一上）名。〔鞠巻き〕　鞠ナドガ
アツマリ、魚ヲトリマキ、ダンダント岸ヘ
オシヨセルコト。
うまきたし（第三上）名。〔……醫
者〕　馬ノ醫者。═ウマクスシ。═バイ。
うまきうど（第三上）名。〔……獨活〕　草ノ名。
ししうどノ一名。
▲うまきうま（第四上）名。〔旨旨〕　オモニ東
京デ子供ノイフ語。ウマイモノ。═タベモ
ノ。
●うまうま（第三上）副。〔……〕　タクミニ。═
マンマト。═アタリサハリナク。═手際ヨ
ク。═ウマウマト。═「うまうまダシヌク」。
●うまうまと（……）副。〔……と〕　マヘトオナ
ジ語。
うまふひ・むし（第四イ）（……）名。〔馬追ひ蟲〕
蟲ノ名。くだきノ類。ナクコエハ絲車
ヲマハスヤウニブンブント云フ。═ツム。
○うまかけ（金平）名。〔……駈け〕　ケイバ。
△うまかし（……）名。〔……貸し〕　馬ヲ貸ス人。
═シヤクバヤ。═下學集「うまかし」。
うまかた（第四上）名。〔……方〕　駄馬ヲ曳
クノヲ職業トスルイヤシイモノ。═マゴ。
═バクロ。═淺井了意、東海道名所記「センド
ウ、うまかた、ウシッカヒ」。
うまかた（……）名。〔……形〕　ウマノカタチ
ニコシラヘタモノノ。═コシラヘモノノ馬。
═延喜陰陽寮式「うまかた五十匹」。
△うまかひ（第四イ）（第三上）名。〔……飼ひ〕
馬ヲ畜フ人。═日本紀「新羅ノ人ヲモテうま
かひトス」。
○うまかひ・もの（……）枕。〔馬飼ひ物〕「ものの
いはじものはナドノ」。
うまがは（第三ガ、第四オ）（第二上）名。〔……
頭〕　馬ノヤウニナガイカホ。═ウマグ
ラ。═西鶴「一代女」「女ノサカリハ過ギ行ク
女モ香モナキ人、シカモうまがはニシテ
横ヘヒロガリシ面影」。
うまき（第一上）名。〔鞠巻き〕　鞠ナドガ
アツマリ、魚ヲトリマキ、ダンダント岸ヘ
オシヨセルコト。
うまきたし（第三上）名。〔……醫
者〕　馬ノ醫者。═ウマクスシ。═バイ。
うまきうど（第三上）名。〔……獨活〕　草ノ名。
ししうどノ一名。
▲うまきうま（第四上）名。〔旨旨〕　オモニ東
京デ子供ノイフ語。ウマイモノ。═タベモ
ノ。
うまきうま（第三上）副。〔……〕　タクミニ。═
マンマト。═アタリサハリナク。═手際ヨ
ク。═ウマウマト。═「うまうまダシヌク」。
●うまうまと（……）副。〔……と〕　マヘトオナ
ジ語。
うまふひ・むし（第四イ）（……）名。〔馬追ひ蟲〕
蟲ノ名。くだきノ類。ナクコエハ絲車
ヲマハスヤウニブンブント云フ。═ツム。
○うまかけ（金平）名。〔……駈け〕　ケイバ。
△うまかし（……）名。〔……貸し〕　馬ヲ貸ス人。
═シヤクバヤ。═下學集「うまかし」。
うまかた（第四上）名。〔……方〕　駄馬ヲ曳
クノヲ職業トスルイヤシイモノ。═マゴ。
═バクロ。═淺井了意、東海道名所記「センド
ウ、うまかた、ウシッカヒ」。
うまかた（……）名。〔……形〕　ウマノカタチ
ニコシラヘタモノノ。═コシラヘモノノ馬。
═延喜陰陽寮式「うまかた五十匹」。
△うまかひ（第四イ）（第三上）名。〔……飼ひ〕
馬ヲ畜フ人。═日本紀「新羅ノ人ヲモテうま
かひトス」。
○うまかひ・もの（……）枕。〔馬飼ひ物〕「ものの
いはじものはナドノ」。
うまがは（第三ガ、第四オ）（第二上）名。〔……
頭〕　馬ノヤウニナガイカホ。═ウマグ
ラ。═西鶴「一代女」「女ノサカリハ過ギ行ク
女モ香モナキ人、シカモうまがはニシテ
横ヘヒロガリシ面影」。
うまき（第一上）名。〔鞠巻き〕　鞠ナドガ
アツマリ、魚ヲトリマキ、ダンダント岸ヘ
オシヨセルコト。
うまきたし（第三上）名。〔……醫
者〕　馬ノ醫者。═ウマクスシ。═バイ。
うまきうど（第三上）名。〔……獨活〕　草ノ名。
ししうどノ一名。
▲うまきうま（第四上）名。〔旨旨〕　オモニ東
京デ子供ノイフ語。ウマイモノ。═タベモ
ノ。
うまきうま（第三上）副。〔……〕　タクミニ。═
マンマト。═アタリサハリナク。═手際ヨ
ク。═ウマウマト。═「うまうまダシヌク」。
●うまうまと（……）副。〔……と〕　マヘトオナ
ジ語。
うまふひ・むし（第四イ）（……）名。〔馬追ひ蟲〕
蟲ノ名。くだきノ類。ナクコエハ絲車
ヲマハスヤウニブンブント云フ。═ツム。
○うまかけ（金平）名。〔……駈け〕　ケイバ。
△うまかし（……）名。〔……貸し〕　馬ヲ貸ス人。
═シヤクバヤ。═下學集「うまかし」。
うまかた（第四上）名。〔……方〕　駄馬ヲ曳
クノヲ職業トスルイヤシイモノ。═マゴ。
═バクロ。═淺井了意、東海道名所記「センド
ウ、うまかた、ウシッカヒ」。
うまかた（……）名。〔……形〕　ウマノカタチ
ニコシラヘタモノノ。═コシラヘモノノ馬。
═延喜陰陽寮式「うまかた五十匹」。
△うまかひ（第四イ）（第三上）名。〔……飼ひ〕
馬ヲ畜フ人。═日本紀「新羅ノ人ヲモテうま
かひトス」。
○うまかひ・もの（……）枕。〔馬飼ひ物〕「ものの
いはじものはナドノ」。

イテ、蔓ニナッテノビ、長サ八二三尺、葉
ハ萩ノ葉ニ似テ、小サク鋸齒ニナリ、花ハ
黃イロク、萩ニ似テ、小サク、春ノ末三三五
五アツマッテサク。═モクシユク。═マゴ
ヤシ。
○うまごり・の（……）……枕。〔美織りの〕〔ごりハ
れり（織）ノ義、即チウックシイオリカタノ
義〕　あやニカカル枕詞。
うまさ（第一上）名。　スベテ、ウマクアル
度合ヒ。
うまさく（金平）名。〔馬作═青箱〕　草ノ
名。けいとうノ一種。高サ八二三尺、葉ハ
ホソク長ク、枝ハ澤山アリ、夏、マルクホソ
ナガイ、つ〳〵シノ穗ノヤウナ三四寸ノ花
ヲツケル。花ハ白イノモ桃色ノモ黃色イ
ノモアル。═イヌゲイトウ。
△うまざくり（第三上）名。　ドロナドノ中
ニノコル馬ノアシアト。
△うまざけ（第二上）名。〔美酒〕　ウマイ
酒。
○うまざけ・を（……）枕。〔……を〕　みわ、みむろ、
かみなひナドニカカル枕詞「かもす（釀）ノ
縁カラかみなひトカカリ、ソノかみノか
ヲ省イテみニカカッタモノ」═萬葉集「う
まざけをミワノハフリガイム杉ニ手觸レ
シ罪カ君ニアヒガタキ」。
○うまシ（第二上）形。〔美═旨═巧。═好シ〕
（一）スベテ、五官ニフレテ、ココロヨイ感
ジヲオコサセル。═「味うまし」。═「關子う
まし」。（二）タクミデアル。═ジユクレンデ
アル。═シャウズデアル。═テギハガイイ。
（三）時期ガイイ。═運命ガイイ。═「うまい
シアハセ」。
△うましくに（金平）名。〔美し國〕「うまし
うまし（美）ノ義」　ムカシ大和ノ國ヲホ

メタイッタ語。
○うましもの（第二上）枕。〔旨し物〕「うまし
ものハうまいものノ義」　味ヒノイイト
コロカラまへたちばなニカカル枕詞。═
萬葉集「ワキモコニアハデヒサシクうまし
ものノアヘタチバナノ苦ムスマデニ」。
○うまじ・もの（……）枕。〔馬じ物〕「じものハい
ぬじものナドノじもの」　なは、つまづ
きナドニカカル枕詞。
うまじるし（第三上）名。〔……章〕　ムカシ
ノ武具ノ一ツ。大將ノ馬ノソバニタテ、軍
中ノ目ジルシトスルモノ。多クハ上ニ定
紋、又ハ由緒ノアル品物ノ形ヲヨコッ
クヤウナ色（オモニ金色）ナドニシタモノ。
ソノ據ノ方ヘハ今イフマトヒノヤウナ垂
レ下リノ筋ヲツケル。中古シ天正アタリ
カラデキタモノ。
△うますめ（第二上）名。〔不產女═石婦〕
子ヲウマヌ女。═セキデヨ。═セキフ。═八
犬傳「雨笠ハヨニイフうまずめナレバ」。
△うませ（金平）名。〔馬堰〕〔せハせき（堰）ノ略〕
馬ヲ飼ッテオク處ニコシラヘルヤライ。
═マセ。
うまぜみ（第二上）名。〔……蟬〕　蟲ノ名。
せみノ一種。くまぜみトオナジモノ。
うませり（……）名。〔……芹〕　（一）草ノ名。や
まぜりトオナジモノ。（二）△又、草ノ名。
實物不詳。
△うまだひ（第四イ）（第三上）名。〔……添ひ〕
馬ノクチトリ。乘馬ニツイテ行クトモヒ
ト。═ウマツキ。═桑花物語「御ンうまぞひ
マデシックサセタマフ」。
○うまたて（第四上）名。〔……立て〕　ウマッ
ナギ。
++△うまたはけ（第四ワ）（第三上）名。〔……
馬ト姦淫スルコト。
うまだらひ（第五イ）（第四上）名。〔……
ばだらひトオナジモノ。
△うまつき（金平）名。〔馬付き〕　ウマアヒ。
うまつぎ（第四ギ）（……）名。〔……繼ぎ〕　ス
ベテ、馬ヲツギカヘルトコロ。ウマヤ。═
うまつなぎ（第五キ）（……）名。〔……繫ぎ。═狼
牙〕　草ノ名。高サ一二尺。へびいち
ご ニ似テ黃イロク、且ッ小サクテ五瓣ノ北
加比」。
うまのかみ（……）名。〔馬頭〕　（一）めれう
ノ長官。（二）皇太子ノ馬ヲツカサドルモ
ノノ名。═うまのつかさ參考。
△うまのき・ぼね（第四上）名。〔……の牙骨〕
馬ノ下アゴノトナヘ。═和名抄「食槽和名
宇麻乃岐保禰」。
△うまのくぼ・がひ（第六イ）（第五
上）名。〔……陰貝〕　介ノ名。こやすがひ
ノ古言。═和名抄「紫貝、和名宇高乃久保
加比」。
うまのす（金平）名。〔……尾毛〕　馬ノ尾ノ
毛。
うまのすずさ（第六ウ）（……）名。〔……鈴草
═馬兜鈴〕　野原ニ多クハヘル蔓草ノ
名。本古根カラ芽ヲ出ス。葉ハやまのい
もニ似、夏、紫ガカッタ綠色ノ花ガサク、花
ハモトガあさがはノヤウナッツデ、末ハ
二瓣ニワカレテマガル、實ハにれノサヤ
ニ似テ白ク、形チハ玉子ニ似タモノ。
うまのたま（第五上）名。〔……玉〕　うしの
たまノタグヒ。馬ノ腹ノ中ニアル一種ノ
石ノヤウナモノ。鉄ノカケ、石灰質ノモノ
ナドアヤマッテクヒ、ソコニイロイロノ
モノガカタマリツイテデキタモノ。色ハ
黑或ハ茶、斷チ覺レバ渦ノ模様ガアル。═
ヘイサラバサラ。═ドウサラバサラ。═セ
キフン。═マンタマ。
△うまのつかさ（第二上）名。〔……寮〕　ムカ
シノツカサノ一ツ。相當ハ從五位ノ下カ
ラ從八位ノ下マデ。兵衛府ニ屬シ、馬ヲカ
ヒナラシ、ソノ他一切馬ニ關係スルコト
ヲツカサドル。左馬ト右馬トノ二ツニワ
カレ、オノオノ頭一人ヅツコレニ附屬シ
テ、助一人、大允一人、少允一人、大屬一人、

少属一人、馬醫二人、馬部六十人、使部二十人、直丁二人、飼丁。唐名、典廐。—職員令、左右馬寮。

○うまの・つめ（全平）枕。〔……の爪〕〔馬ハ爪ヲ衝イテ歩クモノト云フ處カラ〕つくし ニカカル枕詞。

△うまの・つめ（……）名〔……〕 ばフトオナジモノ。

うまの・はこぼれ（……）名。 草ノ名。せんにんさうノ一名。

△うまの・はなむけ（……）名。〔馬ノ餞別〕 ワカレルトキ馬前デスルセンベツノ古言。—桃ノ草紙、「ウブヤシナヒ、うまのはなむけナドノツカヒニ」。

▲うまの・はね（第五上）名。〔……骨〕 スジャウモ知レヌモノトノ義デ、人ヲアザケツイフ語。オモニ東京ディフ。—バコツ。—「ドコノうまのはねカ知レモシヤセニ」。

●うまの・みみ（……）名。〔……耳〕 ソラツンボノ操子デアルコト。—人ニ意見ナドニ云ハレテ更ニトリアハヌコト。「うまのみみニ念佛ト云フ諺カラ起ツタ語」—近松、心中二枚綿草紙、「人ノ意見モうまのみみ、ヨソ吹ク風ノゴウブウニテ」。

◎うまのみみニネンブツ（念佛）。—（馬ナドハ念佛ヲ聞イテモ更ニ會得セズ、平氣デアルト云フ意味カラシテ」スベテ人ニ云ハレタコトヲ更ニウケツケヌ場合ヒニ適用シテ云フタトヘ。

うまの・め（全平）名。〔……目〕〔寶ノ形ヂカラツケタ名〕 草ノ名。あをかづらノ一名。

○うまの・のり（第四上）名。〔……騎り〕（一）馬ニ乘ル人。

うまの・のり（……）根。〔……〕 スベテ、馬ニ乘ルヤウナグアヒニ物ニマタガルコト。—近松・釋迦如來誕生會、「馬將軍ガタブサヲツカンデマッ遊サニハヤカヘシ、うまのりニドウト乘リ」。

うまの・りめ（全平）枕。〔……の爪〕〔馬ハ爪ヲ始メテ乘馬シテ見ルコト。—ヒメハジメ。

うまの・りばおふ（第五上）名。〔……羽織り〕 羽織リノ一種。馬ニ乘ルトキ着スルモノ多クウシロヲアツサキニシタモノ。

うまの・りばかま（……）名。〔……袴〕 馬ニ乘ル時ノ袴。十番ノ袴ヨリハマチガ高ク、且ツ裾ヲヒロク拵ヘ、ヒロガツタ體ノヨクヒロク拵ヘ、ヒロガツタ體ノヨク機ニシタモノ。—森山孝盛、賤ノ小見エル機ニシタモノ。—森山孝盛、賤ノ小手袋、「常ノハカマモ今ノ如クニツノヒダヲ開クナドイフコトハ無ククうまのりばかまノ如ク手ヲイレテ左右ヘヒロゲテスワリタリ」。

△うまのり・びと（第四上）名。〔……人〕 騎兵ノ古言。—日本紀、「うまのりびとス」。

うまの・ば（全平）名。〔馬場〕 （一）△馬ヲ乘ルトコロ。—ババ。—伊勢物語、「昔右近のうまばノ真弓昔ガヒカバうまびとサビテ否ト云ハンカモ」。

△うまの・びゐ（……）名。〔馬覓〕 草ノ名。すべりひゆノ古名。—和名抄、「馬莧、宇萬比由」。

うまの・びる（第三上）名。〔……蛭〕 ひるノ一種。長イノハ二四寸アル。梅雨ノ候多ク出ル。すバリガ極メテ濃イモノ。—クマヒル。

△うまフ（（第三ウ）（全平）他動、四段。（産まふ） フヤス。—多クスル。—ハンショクサセル。—萬葉集、「其子うまはン」。

△うまぶね（第二上）名。〔馬槽〕 馬ニカヒバヲヤル桶。—カヒヲケ。—蜻蛉日記、「うまぶねモナシト聞コエサセタマヘ」。（二）スベテ、大キナ桶。—淺井了意、東海道名所記、「コトノ外ニアツキ湯イデテハシルヲ筧ニテ家家ニ取リ、うまぶねニタタヘテ人ビトニ入ラセ侍ル」。

△うまふぶき（第三上）名。〔……路〕 草ノ名。こばうノ古言。—和名抄、「悉實、和名岐太岐須。又、宇末不不木」。

うまへん（全平）名。〔……偏〕 漢字ノ偏ニアル馬ノ字。騒駛ノ類。

うまやはり（（第四ウ）（第三上）名。〔……周り〕 昔、武家デッカツタ語。主君ノ馬ノマハリニツキンフサムラヒノ稱ヘ。

うまや（全平）名。〔……屋〕 （一）〈廐〉馬ヲ飼ツテ置ク小屋。—萬葉集、「アカゴマノうまやヤ建テ」。（二）〈驛〉スベテ旅路ノ便利ヲハカツテ馬ヤ人足ナドヲ備ヘテ置ク所。—シユクバ。—シユク。—ウマツギ。—源氏、「うまやノ長」。（三）△又人ヲイマシメテ置ク所。—ヒトヤ。—ゴクヤ。—後拾遺集、「宇治大政大臣ノうまやニ來リタルト聞キテ」。

○うまやぢ（第三上）名。〔驛路〕 馬屋ノアル道。—街道。—エキロ。

△うまゆみ（全平）名。〔馬弓〕 馬ニ乘ツテ弓ヲ射ルコト。—キシヤ。—和名抄、「宇末由美」。

△うまら（……）根。〔旨ら〕 うま（旨）ト同ジモノ。「らハ助字」

△うまら（……）名。 昔ノアヅマナマリ。うばらノ轉訛。—萬葉集、ミチノベノうまらノウレニ、ハホマメニ」。

●うまれ（……）自動、四段。〔……付く〕 生マレタ日。—生マレタ時。—ウマレツキ。

○うまれ（……）名。〔生まれ〕 （一）生マレルコト。（二）スベテ生マレ出タトコロ。—「うまれハ奥州信夫郡」（三）スジャウ。—「うまれガイイ子」。（四）ハジメカラアルコト。—「うまれノ地」。

△うまれう（（第三リョ合））（第二上）名。〔右馬寮〕 うまのつかさト同ジモノ。

うまれ・がはり（（第四カ、第五ワ））（全平）名。〔生まれ代り〕 （一）生マレカハルコト。（二）生マレカハッタモノ。—ウイセイ。—西鶴、若風俗、「ノラ犬ノうまれがはり」。

うまれ・かはる（（第五ワ））（第五上）自動、四段。〔……る〕 佛說カラ出タ語。動物ノ死ンダコンパクガ再ビ他ノ動物ト生ヲ變ヘテ此世ニ出現スル。

△うまれ・こ（全平）名。〔生まれ子〕 生マレタ子。（多ク嬰兒ニイフ）。—近松、釋迦如來誕生會、「アノうまれこハ甥ナガラ妹ノカタキ」。

●うまれ・ときやう（（第六ヨ。第五、六合））（第四上）名。〔……故郷〕 生マレタフルサト。

○うまれ・つき（全平）名。〔……付き〕 生マレツキ。—ウマレツキ。—セイシツ。—生マレツイタ有リ樣。—シャウト。—生マレツイタ性。—テンシツ。—天性。—テンセイ。

うまれ・つき（……）根。〔……〕 自然ニソナハリ身ニ得タコト。—生マレナガラ身ニ得タコト。—テンビン。

うまれ・び（……）名。〔……日〕 生マレタ日。—誕生日。

うまれ・る（……）自動、二。〔……る〕 うまる（生）ノ近體。

○うまれ（第五上）自動、四段。〔……付く〕 予ガ母ノ腹カラソトヘ出ル。—出生スル。

うまれ（……）名。〔生まれ〕 （一）生マレルコト。（二）スベテ生マレ出タトコロ。—「うまれハ奥州信夫郡」（三）スジャウ。—「うまれガイイ子」。（四）ハジメカラアルコト。—「うまれノ地」。

△うまれう（（第三リョ合））（第二上）名。〔右馬寮〕 うまのつかさト同ジモノ。

うまれ・がはり（（第四カ、第五ワ））（全平）名。〔生まれ代り〕 （一）生マレカハルコト。（二）生マレカハッタモノ。—ウイセイ。—西鶴、若風俗、「ノラ犬ノうまれがはり」。

うまれ・かはる（（第五ワ））（第五上）自動、四段。〔……る〕 佛說カラ出タ語。動物ノ死ンダコンパクガ再ビ他ノ動物ト生ヲ變ヘテ此世ニ出現スル。

△うまれ・こ（全平）名。〔生まれ子〕 生マレタ子。（多ク嬰兒ニイフ）。—近松、釋迦如來誕生會、「アノうまれこハ甥ナガラ妹ノカタキ」。

●うまれ・ときやう（（第六ヨ。第五、六合））（第四上）名。〔……故郷〕 生マレタフルサト。

○うまれ・つき（全平）名。〔……付き〕 生マレツキ。—ウマレツキ。—セイシツ。—生マレツイタ有リ樣。—シャウト。—生マレツイタ性。—テンシツ。—天性。—テンセイ。

うまれ・つき（……）根。〔……〕 自然ニソナハリ身ニ得タコト。—生マレナガラ身ニ得タコト。—テンビン。

うまれ・び（……）名。〔……日〕 生マレタ日。

うまれ・る（……）自動、二。〔……る〕 うまる（生）ノ近體。

○うまれ（第五上）自動、四段。〔……付く〕 予ガ母ノ腹カラソトヘ出ル。—出生スル。

うまれ（……）名。〔生まれ〕 （一）生マレルコト。（二）スベテ生マレ出タトコロ。—「うまれハ奥州信夫郡」（三）スジャウ。—「うまれガイイ子」。（四）ハジメカラアルコト。—「うまれノ地」。

△うまれう（（第三リョ合））（第二上）名。〔右馬寮〕 うまのつかさト同ジモノ。

うまれ・がはり（（第四カ、第五ワ））（全平）名。〔生まれ代り〕 （一）生マレカハルコト。（二）生マレカハッタモノ。—ウイセイ。—西鶴、若風俗、「ノラ犬ノうまれがはり」。

うまれ・かはる（（第五ワ））（第五上）自動、四段。〔……る〕 佛說カラ出タ語。動物ノ死ンダコンパクガ再ビ他ノ動物ト生ヲ變ヘテ此世ニ出現スル。

△うまれ・こ（全平）名。〔生まれ子〕 生マレタ子。（多ク嬰兒ニイフ）。—近松、釋迦如來誕生會、「アノうまれこハ甥ナガラ妹ノカタキ」。

●うまれ・ときやう（（第六ヨ。第五、六合））（第四上）名。〔……故郷〕 生マレタフルサト。

●うまれ・つき（……）名。〔……付き〕 ＝故郷ノ義ヲヨメタライフ語。

うまれ・つき（全平）名。〔……付き〕 ＝生マレツキ。—セイシツ。—生マレツイタ有リ樣。—シャウト。—生マレツイタ性。—テンシツ。—天性。—テンセイ。

うまれ・つき（……）根。〔……〕 自然ニソナハリ身ニ得タコト。—生マレナガラ身ニ得タコト。—テンビン。

うまれ・び（……）名。〔……日〕 生マレタ日。

うまれ・る（……）自動、二。〔……る〕 うまる（生）ノ近體。

●うまれル（……）自動、下二。〔生＝産まる〕 ＝天成＝テンセイ。

△うまれ・び（……）名。〔……日〕 生マレタ日。

タンジャウビ。

●うまれル（……）自動、下二。〔生＝産まる〕 ノ近體。

うまれ・つく（第五上）自動、四段。〔……付く〕 生マレナガラ身ニ備ヘル（德、量ナド）。

うまれ（……）名。〔生まれ〕 （一）生マレルコト。（二）スベテ生マレ出タトコロ。—「うまれハ奥州信夫郡」（三）スジャウ。—「うまれガイイ子」。（四）ハジメカラアルコト。—「うまれノ地」。

△うまれう（（第三リョ合））（第二上）名。〔右馬寮〕 うまのつかさト同ジモノ。

うまれ・がはり（（第四カ、第五ワ））（全平）名。〔生まれ代り〕 （一）生マレカハルコト。（二）生マレカハッタモノ。—ウイセイ。—西鶴、若風俗、「ノラ犬ノうまれがはり」。

うまれ・かはる（（第五ワ））（第五上）自動、四段。〔……る〕 佛說カラ出タ語。動物ノ死ンダコンパクガ再ビ他ノ動物ト生ヲ變ヘテ此世ニ出現スル。

△うまれ・こ（全平）名。〔生まれ子〕 生マレタ子。（多ク嬰兒ニイフ）。—近松、釋迦如來誕生會、「アノうまれこハ甥ナガラ妹ノカタキ」。

●うまれ・ときやう（（第六ヨ。第五、六合））（第四上）名。〔……故郷〕 生マレタフルサト。

うみ（（第二カ））（第一上）名。〔……海〕 （一）△スベテ、タクサン水ヲタヽヘテアル所ヲ云フ古語。谷峨、傾城買二筋道、「生得ハタラキノ手モ口モつきデ三文ノクメンモ六カシウ御座ル」。（二）地球ノ表面ニアル大キナ水ノタマリ。必ズ鹽氣ヲ含ム。—「茅渟ノうみ」。（三）スベテ、水ノタマッタモノ。—「神ノうみ」。

うみ（……）根。〔……〕 自然ニソナハリ身ニ得タコト。—生マレナガラ身ニ得タコト。—テンビン。

うみ（……）名。〔……日〕 生マレタ日。—誕生日。

うみ（……）自動、二。〔……る〕 うまる（生）ノ近體。

うみ（第五上）自動、四段。〔……付く〕 生マレナガラ身ニ備ヘル（德、量ナド）。

うみ（……）名。〔生まれ〕 （一）生マレルコト。（二）スベテ生マレ出タトコロ。—「うまれハ奥州信夫郡」（三）スジャウ。—「うまれガイイ子」。（四）ハジメカラアルコト。—「うまれノ地」。

△うみ（（第二カ））（第一上）名。〔海〕 （一）△スベテ、タクサン水ヲタヽヘテアル所ヲ云フ古語。谷峨、傾城買二筋道、「生得ハタラキノ手モ口モつきデ三文ノクメンモ六カシウ御座ル」。（二）地球ノ表面ニアル大キナ水ノタマリ。必ズ鹽氣ヲ含ム。—「茅渟ノうみ」。（三）スベテ、水ノタマッタモノ。—「神ノうみ」。

△うみ（（第二カ））（第一上）名。〔海〕 （一）△スベテ、タクサン水ヲタヽヘテアル所ヲ云フ古語。谷峨、傾城買二筋道、「生得ハタラキノ手モ口モつきデ三文ノクメンモ六カシウ御座ル」。（二）地球ノ表面ニアル大キナ水ノタマリ。必ズ鹽氣ヲ含ム。—「茅渟ノうみ」。（三）スベテ、水ノタマッタモノ。—「神ノうみ」。

△うみ・がつき（（第二カ））（第三上）名。〔海所〕〔がハヒところ所ノ義〕 海ノ邊。—海ノアタリ。—海ト云フ所。—古事記、「うみが行ケバコシナツム」。

うみ・がめ（（第四カ））（第一上）名。〔……龜〕 南海ニ產スル一種ノ海產動物ノ名。甲ハ二枚、マルクテ、龜ノヤウデ、中ハ甚ダ滑ラカニ、日ニウツル樣子ハ鹹ニウルハシイモノ。—和漢三才圖絵、「海龜、訓、ウミカメ」。龜女、瑣珀、膏藥囊」。

△うみ・が・つき（（第二カ））（第三上）名。〔產み月〕 ウミヅキ。—ウムガツキ。

うみ・がに（……）名。〔……〕（第一上）名。〔海蟹〕 貝ノ

名。しまがにノ一名。

うみ・かむろ　(…)名。〔…禿〕　海獸ノ名。あしかノ一名。

うみ・がめ　(第三ガ)(…)名。〔…龜〕　龜ノ名。しやうがくばうノ一名。

うみ・がも　(…)(…)名。〔…鳧〕　鳥ノ名。うがもノ一名。

うみ・がや　(…)(…)名。〔…萱〕　草ノ名。なぎノ一名。

うみ・がらす　(…)(…)名。〔…鴉〕　(一)介ノ名。いがひノ一名。(二)▲又、魚ノ名。安藝ノ方言。ちぬノ一名。(三)▲又、魚ノ名。大坂ノ方言。あぶらだひノ一名。

うみ・ぎぎ　(…)名。〔…黃顙〕　魚ノ名。オモニ攝津ニアル。ぎぎノ一種デ、海ニ棲ム。形ハ河ニ棲ムノト大抵同ジク、タダチガフ所ハ白、黑ノタテスヂガアル。長サハ三寸カラ五寸マデ。

うみ・ぎは　(第三ギ)(全平)名。〔…際〕　海ノホトリ。

うみ・くちなは　(第六ワ)(第四上)名。〔…蛇〕　(一)魚ノ名。えらぶうなぎノ一名。(二)マタ、魚ノ名。形ハはもニ似テ丸ク長ク、背ハウスネズミデ腹ハ淡赤ク、尾ハ尖ツテ鱗ガナク、口ハヒロクテ、ヌルドイ齒ガアル。アゴノ骨ハ甚ダ大キクテ麗シイ紅色ヲアラハス。＝トウジウミヘビ。

うみ・ごめ　(第三ゴ)(第一上)名。〔…米〕　草ノ名。こうばふむぎノ一名。

うみ・ざうめん　(第三ゾ)(第一上)名。〔…素麪〕　海草ノ名。形ハさうめんノヤウニホソ長ク、色ハ極メテウルハシイ綠色デ、鹽漬ケニシ、又ハ乾シテ食用ニスル。

△うみ・さち　(第一上、又、第三上)名。〔…幸〕〔うみのさいはひノ義〕　スナドリヲシテ利ノアルコト。

うみ・ざめ　(第一上)名。〔…鮫〕　魚ノ名。かいめノ一名。

うみ・しか　(…)名。〔…鹿〕　蟲ノ名。あめふらしノ一名。

うみ・じか　(…)名。〔…〕　蟲ノ名。アメフラシ。

うみ・しじみ　(…)名。〔海蜆〕　介ノ名。しじみノ一種。海ニ產スルモノ。大キイノハワタリ二寸バカリ、殼ノ外面ハ茶色ヲフクンダ黑、或ハクチバ色ノモノ。

▲うみ・しやうが　(第四ヨ、第三、四合、第六ガ)(…)名。〔…薑〕　石ノ名。能登ノ方言。しやうがいしト同ジモノ。

うみ・しる　(第二上)名。〔膿汁〕　動物ノ體ノ一部分ガ、生キナガラ腐レテ一種ノ腐敗シタ液トナツタモノ。＝ウミ(膿)。―「瘡ノうみしる」。

うみ・すぎ　(第四ギ)(第一上)名。〔海杉〕　海ニ生ヘル一種ノ植物性ノ蟲ノ巢ノ名。うみひばノタグヒ。葉ハシゲク、杉ノ葉ニ似テコマカク、色ハ淡グロイモノ。

うみ・すずき　(…、又、第三上)名。〔…鱸〕　魚ノ名。海ニ產スルすずき。(かはすずきノ對)。

うみ・すずめ　(第一上)名。〔…雀〕　(一)魚ノ名。すずめふぐノ一名。(二)▲マタ、魚ノ名。阿波ノ方言。かはごふぐノ一名。(三)マタ、蟲ノ名。かいつぶりニ似テ、ツバサガ小サク、尾ガ無イモノ。(四)又、鳥ノ名。鹽鹹ノ浦ナドニ井ルモノ。形ハセキレイヨリ大キク、脊中ハ黑ク腹ハウスネズミデむくどりニ似タモノ。

うみ・すひ・いし　(第四イ)(第三上)名。〔膿吸石〕　石ノ一種。小サク丸クヒラタイモノ。膿ヲスハセル特功ガアル。膿ノ出ル所ヘ此石ヲオシツケテ置ケバヨク膿ヲスヒトル。龍骨ノ類ト云フ。

うみ・そ　(…、又、第一上)名。〔績み麻〕　ウンダ麻イト。

うみ・たけ　(第一上、又、第二上)名。〔海竹〕　介ノ名。九州邊ノドロ海ニアル。殼ハどぶがひニ似テ、モロク、且ツ丸ク、常ニ肉ヲ上ニ出ス。肉ハ長イノデ一尺バカリ、色ハ黑ク。全體ノ形チハ殆ンドタケノコニ似タモノ。ハラワタヲ捨テテ食用ニシ、鹽漬ケニシテ貯ヘモスル。

うみ・たなご　(第五ゴ)(第一上)名。〔…鰤〕　魚ノ名。かいづニ似テ、ヒロク平タク、長サハ五寸バカリ、色ハ黑ク、或ヒハ黑色ニ稍赤味ヲフクム。此魚ニ限ツテ胎生スル。

うみ・たびら　(…)名。　魚ノ名。しかくだひノ一名。

うみ・ち　(第二上)名。〔膿血〕　(一)膿ト血。(二)血ノ混ツタ膿。―東海道名所記、「うみちノ流レタマヒシトナリ」。

○うみ・ぢ　(…)名。〔海路〕　海ノ上ノ道。(くがぢノ對)。

うみ・づき　(全平)名。〔產み月〕　リンゲツ。＝ウミガツキ。＝ウムガツキ。

○うみ・つく　(…)他動、下二。〔…附く〕　(一)生ンデ物ニ附着サセル。(二)生ンデ天質ヲウケ得サセル。―「愚鈍ニうみつく」。

●うみ・つけル　(第四上)他動、下二。〔…ける〕　うみつくノ近體。

△うみ・つ・ぢ　(第二上)名。〔海つ路〕　海ノ上ノフナミチ。＝カイロ。

うみ・づら　(全平)名。〔…面〕　海ノ上。＝海ノ表面。

うみ・て　(…)名。〔…手〕　海ノ方。〔てハやまてナドノて〕。

▲うみ・てふてふ　(第三、及第五チヨ合、第四、及第六ウ)(第一上)名。〔…蝶蝶〕　伊豫國松山ノ方言。魚ノ名。とびのうをノ一名。

うみ・どうがめ　(第五ガ)(…)名。　蟹ノ名。かぶとがにノ一名。

うみ・どぢやう　(第四、五合)(…、又、第三上)名。〔海泥鰌〕　魚ノ名。ぎんぼうノ一名。

▲うみ・どんがん　(第五ガ)(…、又、第三上)名。〔どんがんハどうがめノ轉〕　讃岐高松ノ方言。蟹ノ一種。かぶとがにノ一名。

うみ・どり　(第二上)名。〔海鳥〕　(一)海草ノ名。うみはほづきト同ジモノ。(二)又、介ノ名。ながにしノ一名。

うみ・にな　(第一上)名。〔…蜷〕　介ノ名。海ニ產スルにな。眞水ニ產スルノトヨク似タモノ。

うみ・の・おきな　(…)名。〔…の翁〕　えびノ異名。

うみ・の・ふすま　(第一、及、第六上)名。〔…衾〕　海ノヒロビロトシタノヲ衾ニ見立テタ語。―「ヒキカフル うみのふすまモアルモノヲ月ヨトコネノ須磨ノアカツキ」。

うみ・の・みやこ　(第一上)名。〔…都〕　龍宮トオナジ語。

うみ・ばうず　(第三ボ)(…)名。〔海坊主〕　(一)▲筑前ノ方言。龜ノ名。しやうがくばうノ一名。(二)海上ニ現レルト云フ化ケ物ノ名。

うみ・ばた　(第四上)名。〔…端〕　ウミベ。

うみ・ひば　(…、又、第二上)名。〔…檜葉〕　珊瑚ノタグヒノ蟲ノ巢ノ名。海ノ底ノ石ニ生ヘル。枝ハ甚ダ多ク、平タク石ニ着イテ、網ノ目ノヤウニシゲル。外ハヤハラカク、中ハカタク、色ハ紅、黃、朱、白、青、黑、茶ナドサマザマアリ、ソノ中紅ト黃トノ二種ハ骨ガ珊瑚ノヤウニ見エル。

うみ・べ　(第三上)名。〔…邊〕　海ノホトリ。＝ウミバタ。＝ウミベタ。

うみ・べた　(…)名。〔…端〕〔べたハはた(端)ノ轉〕　うみばたトオナジモノ。

うみ・へちま　(第一上)名。〔…絲瓜〕　うみわたトオナジモノ。

うみ・へび　(…)名。〔…蛇〕　海產動物ノ名。形チハ蛇ニ似テ、色ガ黑ク、尾ノサキ一寸バカリノ所ガワレテ房ニナル。色ハ赤イノト白イノト二ツアル。

うみ・ほほづき　(第四オ)(…)名。〔…酸漿〕　にしの卵ノ名。形チハ巾着ニ似、大キサハ一寸ヲトマリトシ、平タク丸クテ卵色、皮ハコハク、中ニ一種ノ液ガ充チ、各イクツモ列ツテ石ニツク。にしノ居ル所ニハ必ズアリ、中ノ液ヲ出シ、一方ノ表面ニ小サナ孔ヲアケ、べニ(紅)ナドデ染メ、普通ノほほづきノ樣ニシテ、女子供ナドガ鳴ラス。＝ウミドリ。

うみ・ほつす　(第四遁)(第一上)名。〔…拂子〕　ほつすがひノ一名。

うみ・まつ　(…)名。〔…松〕　(一)スベテ、海邊ニアル松。(二)みるノ一名〔みるノ漢名、海松トアルノヲソノママ訓讀シタモノ〕。(三)又、うみひばノ類。枝ハ少ナクテ、平タクナク、黑クウルハシク光ル。マレニハ枝ニ杉ノヤウナ葉ガアリ、扇ニハ細カイ孔ガアル。＝クロサンゴ。

▲うみ・みやうじん　(第四ヨ、第三、四合)(…)名。〔…明神〕　三河ノ方言。蟲ノ名。あめふらしノ一名。

▲うみ・みやうじ　(…)(…)名。　三河ノ方言。前ノ語ノ轉。

▲うみ・やうじ　(…)(…)名。〔海楊枝〕　伊豆ノ國大嶋ノ方言。あめふらしノ一名。

うみ・やなぎ　(第五ギ)(…)名。〔…柳〕　(一)海藻ノ名。あまもノ一名。(二)又、珊瑚ノ類。海邊ノ砂ノ中ニ棲ム。形チハ箸ノヤウデ長ク、身ハみみずノヤウデ、末ガヒロクテ少シクマガリ、モトノ方ニたこノ疣ノヤウナモノガアル。＝オトヒメノカンザシ。＝ウミカンザシ。

△うみ・わた　(…)名。〔…綿〕　海產動物ノ名。すぽんじノ古言。＝カイメン。＝ミズワタ。＝ウミヘチマ。＝スポンジ。

うみ・を　(第三上)名。〔績み苧〕　ウンダ麻。―萬葉集、「ワガセコガうみをカクテフカセノ山時ノユケレバ都トナリヌ」。

▲うみ・つ・ぱた　(第三遁)(第五上)名。〔海つ端〕　うみばたノ轉訛。

う・む　(第一上)名。〔有無〕　アルコトトナイコト。＝イヤトオウト。―八犬傳、「うむノコタヘモナカガキニ」。―三世相錦繡文章、「オモシロイ夢ノ同腹等、うむヲイハズニ飛ビコンダ狼藉者」。

うむ　(…)自動、四段。〔倦む〕　イヤニナル。＝アキル。＝タイクツスル。

うむ　(…)自動、四段。〔熟む〕　(一)充分ニ生長シテ、ツユナドガ出ルヤウニナル(オモニ果ニイフ)。(二)スベテ、ウミシルガ出ルヤウニナル。―「腫物ガうむ」。

うむ　(全平)他動、四段。〔生＝產む〕　(一)腹ノ子ヲ出ス。＝子ヲ誕生サセル。＝ハラミゴヲ出ス。―枕ノ草紙、「博士ノ女子うまセタル」。―六帖、「鶯ノ冬ゴモリシテうめる子ハ春ノムツキノ内ニコソ鳴ケ」。(二)轉ジテ)フヤス。―「金ガ利足ヲうむ」。

うむ　(第一上)他動、四段。〔績む〕　麻ヤ苧ノ類、細イノヲヨクアハセテ長クノバス。

—六帖、「タテヌキニ身ヲバうむトモ麻ハタノオリヲハ君ニアハジトゾオモフ」。

○うム (全平)他動、下二。〔(埋)む〕 (一)うづむ(他動)トオナジ語。 (二)水ヲ入レテ湯ヲヌルクスル。‖ウメル。

△うむがし (第三ガ)(第三上)形。 おむがしトオナジ語。—續日本紀、「ソノ人ノうむがしきコト」。

△うむかしム (…)自動、四段。 おむかしむトオナジ語。

△うむ・が・つき (第三ガ)(…)名。〔産むが月〕 うみづきトオナジ語。

△うむき (第一上)名。 蛤ノ類ノ總名ノ古言。—日本紀、「うむきヲナマストシテ」。

△うむきな (…)名。 草ノ名。 いかりさうノ古言。

うめ (全平)名。〔(梅)〕〔うみ(熟)み(實)ノ轉ト云フ〕 (一)木ノ名。木モ葉モあんずニ似テ痩セ、初春ノ頃、多クハ白イ花ヲツケル。花ハ五瓣デ丸ク、六瓣ノモノモアリ、瓣ノトガツタモノモアリ、香ヒハ甚ダタカク、キハメテユカシク、色ハ紅、薄紅、シボリ、黄、ナドイロイロアル。種類ノ多イノハ多クノ木ノ中デモホトンド屈指ノ方デ總數三百餘種。花ガ咲イテカラ後、圓クテキハメテ酸イ實ガナル。コレヲ干シテうめぼしトシ、汁ヲトツテうめずトシ、イロイロノ用ニツカフ。材ハ又キメゴマカナタメ諸道具類ニツクル。 (二)カサネノ色目ノ名。オモテガ白ク、裏ガ濃イスハウノモノ。

△うめ (…)副。〔宜〕 うべトオナジ語。

○うめ・あはス (第四ワ)(第四上)他動、下二。〔埋め合はす〕 コレト彼トヲ平均サセル。

++うめ・あはせ (…)(全平)名。〔…せ〕 ウメアハセルコト。‖ウメクサ。

●うめ・あはセル (…)(第五上)他動、二。〔…る〕 うめあはすノ近體。

うめ・うつぎ (第五ギ)(第三上)名。〔梅楊櫨〕 灌木ノ名。やまうつぎノ一種。葉ハ短ク花ハうめニヨク似タモノ。

うめがえ・でんぶ (第三ガ)(第五上)名。〔…が枝田麩〕 鰹節デ製シタでんぶヲ美クシク言ヒナシタモノ。—寛天見聞記、「長谷川町ニうめがえでんぶ、源氏茶漬」。

うめ・がさね (…)(第三上)名。〔…襲ね〕 カサネノ色目ノ名。表ヲコイクレナヰニシ、裏ヲ紅梅ニシタモノ。

うめ・がへし (…、第四エ)(…)名。〔…返し〕 元祿ノ頃行ハレタ染メ物ノ名。紅梅色ニソメタモノ。主ニ羽織ノ裏ナドニツカフ。—西鶴、若風俗、「うめがへしノアハセバオリニ、ムナダカニ紐ヲツケ」。

++うめ・き (全平)名。〔埋め木〕 (一)材木ノ板ナドノスキマニウメル木。 (二)うめきざいくノ畧。

++うめき・ざいく (第四上)名。〔…細工〕 うめきデイロイロノ人物花鳥ナドノ形チヲコシラヘ出シタ細工。ハコ、又ハ額ニホドコス。‖ヨセギザイク。

うめク (第二上)自動、四段。〔(唸)く〕 (一)ウナル。‖苦シサニフトイ聲ヲ出ス。‖カヲ入レテ聲ヲ出ス。—源氏、「うめきタル氣色モイブカシゲナレバ」。 (二)〔轉ジテ〕ワメク。‖ヲメキサケブ。

●うめ・くさ (全平)名。〔埋め草〕〔くさハいひぐさノくさ〕 スベテ、ウヅメルタネ。—「時間ノうめくさ」—「借金ノうめくさ」。

うめ・ず (…)名。〔梅酢〕 梅ノ實カラ取ッタ汁。多クハ梅ヲ鹽ニツケテシボル。紫蘇ノ葉ヲ加ヘテウツクシイ赤イ色ヲツケタモアリ、味ヒハキハメテ酸ク、コレデ生姜ナドヲ漬ケ、又ハ銀トギソノ他金屬ノ細工ナドニツカフ。

うめ・その (…)名。〔…園〕 梅ヲオホクウヱタ園。

うめ・ぞめ (…)名。〔…染め〕 カサネノ色目ノ名。オモテハ白ク、裏ハコイスハウノモノ。

△うめ・ぞめ (…)梘。〔…〕 梅ノ木ノ皮デ染メタ染メ色。茶色ニ似タモノ。

○うめ・たツ (第三上)他動、下二。〔埋め立つ〕 埋メハジメル。

++うめ・たて (全平)名。〔…〕 ウメタテルコト。

●うめ・たてル (第四上)他動、二。〔…る〕 うめたつノ近體。

うめ・だな (第二上)名。〔梅棚〕 日本ノ建築術ノ語。四十八棚ノ一ツ。床板ノヒロサ六尺トスレバ、三分シテ左リカラ二尺ノ處ニ二尺五寸ノ足ヲタテ、コノ足ヲ上一尺六寸五分、下四寸ニワケ、各ノ處カラ、二枚ノ板ヲツケ、又三分シタ右ノ方ノ下カラ一尺一寸五分ヲ隔テテ、一枚ノ板ヲツリ、ソノ棚ノ上ニ一尺八寸ヘダテテ、又一枚ノ棚ヲツリ、コノ一尺八寸ノ棚ト一尺一寸五分ノ棚トヲツナゲルササヘヲタテ、ソノ支ヘカラ左ノ一尺六寸五分ノ足ヘ一枚ノ棚ヲカケワタス。コノ棚ノ高サハ床板カラ一尺七寸ノハナレ。スベテ、床板ノ數ハ五枚。フクロダナハ附屬スル。棚數ノ多イ處、又ハツガダノ閣ナドニ適シ、高尚デ風流ナモノ。

うめ・ちや (第三、四合)(…)名。〔…茶〕 うめちやおよらうノ略。

うめちや・およらう (…、第五、六合、第七ロ)(第五、六上)名。〔…女郎〕 ムカシノ吉原ノ廓ニアツタおよらうノ一種。さんちやおよらうニ對シテイフ語。さんちやハ粉ニヒイタ茶デ、スナハチ湯ニハナシテ入レ、フラヌトイフココロ。ソレカラうめちやハソノ薄茶ノ濃イノヲウメルトイフココロダイフトナヘ。ソレユヱさんちやヨリハ一段オトツタ娼妓。—洞房語園、「サンチヤ、うめちや」。 さんちや參考。

うめちや・づくり (第三、四合)(第五上)名。〔…造り〕 ムカシノ吉原ニモチヰタ女郎屋ノ中ノツクリカタノ名。コレモ前ノ語トオナジク、さんちやづくりニ對シテノトナヘ。元祿年中、つぼねトイフコトガスタリ、ソノ頃カラシテ、さんちやづくり、うめちやづくりノ二ツガハジマル。表テヲ總格子ニシテ、見世ハ壁ノ方トアトジリノ方トニ二カハニ女郎ガナラビ、マガキノ方ニ妓夫ガ同座スルヤウニツクツタモノ。

うめ・づけ (全平)名。〔梅漬け〕 うめずニツケタ野菜モノノ總名。—谷峨、傾城買二筋道、「ヨシヤタトヘ總菜ノアラメニ百ガうめづけヲクラツテ」。

うめ・つぼ (第二上)名。〔…壺〕 ムカシノ禁中ニツクラレタ六殿舍ノ一ツ。弘徽殿ノ北、飛香舍ノマタ北ニアタル。本名ハ凝華舍。—和名抄、「凝華舍、牟倍豆保」。—拾芥抄、「西二梅壺。飛香舍北、五間四面」。

△うめ・つ・みち (第三上)名。〔海つ道〕〔うめハうみ(海)ノ轉〕 東海道ノムカシノ異名。

うめ・どひ (第四イ)(…)名。〔埋め樋〕 フセドヒ。‖ウヅミヒ。

△うめ・の・はな・のみ (全平)名。〔梅の花飲み〕 酒ノノミカタノ一種。實際ノ仕方ハワカラヌ。—酒飯論、「シメノミ、アレノミ、ヒトクチノミ、初春ハマヅ香フナルうめのはなのみイトヤサシ」。

うめ・ばたけ (第五上)名。〔…畠〕 梅ヲウヱタ林。‖ウメゾノ。

うめ・ばち (全平)名。〔…鉢〕 紋ドコロノ名。單瓣ノ梅花ノカタチヲ正面カラ見タカタチ。菅公ノ紋ナド、スナハチ是。

うめばち・さう (第五ソ)(…)名。〔…草〕〔花ノ形チカライフ〕 草ノ名。いちりんさうノ一名。

△うめ・はつ・づき (第四上)名。〔梅初月〕〔はつハハジメテ咲クトノ義〕 陰暦ノ十二月ノ異名トイフ。

うめ・びしは (第五オ)(第三上)名。〔…醬〕 梅ノ實カラ製シタひしはノ名。梅干ノ肉ヲヨクスリ、ヤハラカクシ、砂糖ヲマゼテ味ヲツケタモノ。

うめ・ぼし (全平)名。〔…干〕 多クハ梅ノ實ノマダ充分ニ熟セズ、ナカバ熟シテガリガリイフ樣ナノヲツカフ。ソノ梅ノ實ヲ鹽ニツケ、數日間日ニサラシ、紫蘇ノ葉ヲ加ヘテ赤イ色ヲツケタモノ。久シクタクハヘ得ラレル。

▲うめぼし・ばばあ (第六上)名。〔…婆〕 顏ガシナビテうめぼしノヤウニナツタ老女。多クハノノシツテイフ。

○うめ・みぞ (全平)名。〔埋め溝〕 うめどひトオナジモノ。

うめみ・づき (第三上)名。〔梅見月〕〔此ノ月ニ梅ガヨク咲ク故、梅ヲ見ルベキ月トノ義〕 陰暦ノ二月ノ異名。

うめ・もどき (全平、又、第三上)名。〔…擬き〕‖〔落霜紅〕 木ノ名。高サ一丈バカリ、枝ハホソク、莖ノヤウニマガリクチリ、葉ハ梅ノ葉ニ形チダケ似テ光リハ無ク、夏、ウス赤ノ五瓣ノ小サナ花ガサク。冬ニ近ヅクニ從ヒ、實ハ熟シテ赤クナル。中ニハ實ノ白イノモ黃イロイノモアリ、イヅレモハナハダ堅クテ、插花ナドニツカツテ、ヨク保ツ。‖ラクサウコウ。

うめ・ゆ (全平)名。〔和め湯〕 水ヲ入レテヌルクシタ湯。‖インヤウスヰ。

●うめル (…)他動、二。 うむ(埋)ノ近體。

△うも (第二上)名。〔いも(芋)ノ轉〕 さといもノ古言。—萬葉集、「うもノ葉」。

○うもル (全平)自動、下二。〔(埋)もる〕 うづもるト同ジ語。

うもれ (…)名。〔…れ〕 ウモレルコト。

◎△うもれイタシ。‖〔思フコトガサツパリハレヌ〕—源氏、「知ラヌ國ノココチシテイトうもれいたく」。

うもれ・ぎ (第四ギ)(…、又、第三上)名。〔…木〕 木ノ幹ガ太古ヨリ水中又ハ泥ノ中ナドニウヅマリ稍化石ノヤウニナツタモノ。色合ヒハこくたんニ似テ目方モ甚ダ多ク、年代ハ泥炭ト石炭トノ間ニアルモノ。—新古今集、家隆、「君ガ世ニ阿武隈川ノうもれぎハコホリノ下ニ春ヲ待チケリ」。—同、同、「春日山、谷ノうもれぎ朽チヌトモ君ニ告ゲコセ、峰ノ松カゼ」。

●うもれル (全平)自動、二。〔(埋)もれる〕 うもるノ近體。

△うや (第二上)名。〔(禮)〕〔ゐやノ轉〕 禮義サハフ。—日本紀、「無禮(訓、ウヤナシ)」。

○うやうやし (第四上)形。〔禮禮し〕 (一)〔うやヲ重子タモノ〕 ウヤマフ有リ樣デアル。‖インギンデアル。 (二)〔轉ジテ〕仰山デ

アル。

●うやうやしイ（第五上）形。〔……い〕前ノ際（第一解義）ノ近體。

うやうやしさ（第四上）名。〔……さ〕ウヤウシクアル度合ヒ。

うやく（第二上）名。〔鳥類〕漢語。鴨來ノ變ノ一ツ。色ハ黒ク、一種ノニホヒガアリ、モト木ノ根ノ古ルイモノト云フ。

うやス（第二上）他動四段。〔飢—饑—餓—餓—餓—やす〕腹ガヘルヤウニスル。—ウエルヤウニスル。

○うやまひ（（第四イ））（全平）名。〔敬ひ〕ウヤマフコト。

うやまフ（（第四ウ））（第三上）他動、四段。〔……ふ〕〔うやハうや（禮）、まふハ動詞體ニスル變化ノ語〕ツツシンデ接スル。—タフトビアガメル。—ソンケイスル。—禮ヲ以テ對スル。

○うユ（第一上）自動、下二。うう（飢）ノ訛リ。

○うユ（第二上）自動、下二。うう（植）ノ訛リ。

○うよ（第一上）名。（雨餘）漢語。雨ノチ。—アマアガリ。—ウゴ。—〔うよノ山色〕。—〔うよノ花〕。

○うよ（……）名。（紛餘）漢語。マハリドホクアルコト。

うよう（全平）根。（有用）（うハいう（有）ノ異音）漢語。ヤクニタツコト。—用ノアルコト。—イウエウ。—イウヨウ。—〔うようノ人物〕。

●うよ・うよ（第一上）副。（蟲蠕）小サナ物ガ多ク集マリ、ウゴメク體デアル樣ナドヲ形容シテ云フ語。—ウジャウジャ。—ウザウザ。

◎青海ニコレヲ　タダウゴメク狀ノ形容トシタノハ極メテ當ヲ得ナイ。

●うようよと（……）副。（……と）前ト同ジ語。

うよく（全平、又、第一上）名。（羽翼）（一）漢語。羽トツバサト。（二）又、漢語ダスケ。—ココウ。

うよめ（第一上）名。（う鵜）よめ（嫁ノ義）ノ一名。

▲うよめ（第一上）名。〔う鵜〕よめ（嫁ノ義）ノ一名。尾張ノ方言。にはノ一名。

うよらう（（第三ロ））（第二上）名。（禹餘糧）漢語。いしのちノ一名。

うら（第二上）名。（裏—裡）（一）おもてノ對。—ウチ。—ナカ。—ナイブ。—リメン。（二）着物ノオモテニ對スル一方。內面ニトアツケイ。—〔羽織ノうら〕。（四）ハンダル切ノ稱ヘ。—全クチガイ。（五）（轉ジテ）ロ細イミチ。—寬永見聞記「新和泉町ニ玄治店ト云フオホキナ神田白壁町ノうらニ住居ス」。◎うらヲカク。—（ダシヌク。—敵ノ計畧ヲ先キクグリヲスル）。◎うらヲカヘス。—（女郎買ヒナドニ、始メテカラ二度目ニ行ク）。

うら（……）名。（……）（一）前ノ語カラ轉ジテ心ノ中。（此語ハ單獨ニ用井ナサレル、必シモ接頭語トナラヌ）—後撰集「流レテハ行ク方モナシナミダ川ワガ身ノうらヤ限リナルラン」。（二）（轉ジテ）心ノ中ニアツテ用井ラレル）—伊勢物語「ハツダサノナド珍ラシキ青ノ葉ヲ、うらナク物ヲ思ヒケルカナ」。

うら・いた（全平）名。〔裏板〕（一）ヤチウラニ張リ付ケル板。（二）（轉ジテ、マレニ）大井。

うら・うち（第四上）名。〔……打ち〕（一）○裏ヲツケタキモノ。—ウラツケ。（二）スベテ物ノ裏面ニ糊ナドデ他ノ薄イモノヲハリツケルコト。

うら・うづがひ（（第五カ、第六イ））（第三上）名。〔……渦貝〕介ノ名。にしノ類。大キサ一寸バカリ形ハとしたがひニ似テ上ガトガリ、下ガヒラタク、外面ハザラツキ、所所ニ黒斑ガアル。處ニ細イ紋ガアツテ、ウヅヲ卷ク。

○うら・うへ（（第四エ））（第四上）根。（裏表—反對）ハンタイ。—ウラハラ。—ヘウリ。

うら・うめ（第二上）名。〔……梅〕紋ドコロ

ノヒトツ。梅ノ花ヲ蔔ノ見エル後ロノ方カラ見タ體ニ象ドツタモノ。

○うら・うら（第三上）副。（朗—朗）〔うららヲ重ネテノ畧。ノドカ。—ホガラカ。—土佐日記、「舟出シテ行ク。うららト照リテコギユク」—「うららカスム春ノイトユフ。うららヲ參考。

うら・えり（全平）名。〔裏襟〕着物ノ襟ノ裏ニ縫ヒツケルキレ。—總川春町、楠無益委記、「大通ノ羽織ナガキコト三尺八寸五六分。紐ハカカトヘ屆キうらえり白クハケサキハソリザヲノ如ク」。

うら・がき（（第三カ））（第四上）名。〔……書き〕（一）スベテ、紙ノ裏ヘ文字又ハ文言ヲ書クコト。—「銀行爲替ノうらがき」。—「證書ノうらがき」（二）マタ卷キ物ナドノ裏ニ書キツケル文章。後世とぢはんガ行ハレテおくがきトナル。

○うら・かく（第三上）自動、四段。〔……欲く〕（一）矢ガ當ツテ防禦ノ服、衣裝裏マデモツキトホル。—「メダマト矢ニ兜ヲうらかかれテ」。（二）（轉ジテ）スベテ兵器ノ類ガうらかく（第一解義）（主ニ馬琴ナドガツカフ）—「うらかくマデニキリコンダリ」。

△うらがス（（第三カ））（……）他動、四段。〔うらぐノ使役體〕タノシマセル。—愉快ニ思ハセル。

△うら・がしや（（……））（……）名。〔裏貸し屋〕ウラダナノカシイヘ。—西鶴、一代女「此アタリノうらがしやニスメル女ノ物見ダケクテ」。

うら・かぜ（第二上）名。〔浦風〕浦デ吹ク風。

うらかぜ・ぐさ（（第五ク））（第四上）名。〔……草〕草ノ名。かはらさいこト同ジモノ。

△うら・かた（第四上）名。〔占象〕うら（占）カラ見タ體ニ象ドツタモノ。

○うら・うら（第三上）副。（朗—朗）〔うららヲ重ネテノ畧。ノドカ。—ホガラカ。—土佐日記、「舟出シテ行ク。うららト照リテコギユク」—「うららカスム春ノイトユフ。うららヲ參考。

うら・えり（全平）名。〔裏襟〕着物ノ襟ノ裏ニ縫ヒツケルキレ。—總川春町、楠無益委記、「大通ノ羽織ナガキコト三尺八寸五六分。紐ハカカトヘ屆キうらえり白クハケサキハソリザヲノ如ク」。

うら・がき（（第三カ））（第四上）名。〔……書き〕（一）スベテ、紙ノ裏ヘ文字又ハ文言ヲ書クコト。—「銀行爲替ノうらがき」。—「證書ノうらがき」（二）マタ卷キ物ナドノ裏ニ書キツケル文章。後世とぢはんガ行ハレテおくがきトナル。

○うら・かく（第三上）自動、四段。〔……欲く〕（一）矢ガ當ツテ防禦ノ服、衣裝裏マデモツキトホル。—「メダマト矢ニ兜ヲうらかかれテ」。（二）（轉ジテ）スベテ兵器ノ類ガうらかく（第一解義）（主ニ馬琴ナドガツカフ）—「うらかくマデニキリコンダリ」。

△うらがス（（第三カ））（……）他動、四段。〔うらぐノ使役體〕タノシマセル。—愉快ニ思ハセル。

△うら・がしや（（……））（……）名。〔裏貸し屋〕ウラダナノカシイヘ。—西鶴、一代女「此アタリノうらがしやニスメル女ノ物見ダケクテ」。

うら・かせ（第二上）名。〔浦風〕浦デ吹ク風。

うらかぜ・ぐさ（（第五ク））（第四上）名。〔……草〕草ノ名。かはらさいこト同ジモノ。

△うら・かた（第四上）名。〔占象〕うら（占）カラ見タ形ニ據ヘタ蔔ノ花。—甲胄製作辨、「其次ヲうらぎくカ、スカシギク、セツバ、タマブチト四重ニシテ」。（二）又、草ノ名。蔔ノ一種。はまぢをんノ一名。

++うら・ぎり（……）（第四上）名。〔裏切り—反應〕味方ヲソムキ敵ニ通ズルコト。—ナイオウ。—ハンオウ。

△うらグ（（第三ク））（第二上）自動、下二。〔嬉ぐ〕〔うらハれし（嬉）ノうれト異體同種〕タノシム。—ヨロコビウキタツ。

うら・ぐち（……）（全平）名。〔裏口〕家ノウシロノ出入リノ口。—西鶴、一代女「シバシアリテうらぐちヨリ雪踏ノオト聞コエシガ」。

うら・こし（第二上）名。〔浦越し〕浦ノ方カラ陸ヘフキアゲテ來ル風ノ一名。—「うらこしノ明石ノ松ニ音ヅレテイホサカブチモ出ルトヲ思フ」。

++△うら・さだめ（第三上）名。〔占定め〕ウラナヒデ物ゴトヲ決定スルコト。

うら・ざと（第二上）名。〔浦里〕浦近クニアル里。

△うら・さブ（第三上）自動、上二。〔心寂ぶ〕內心ガ寂入ルヤウニナル。—イウウツニナル。—氣ガ滅キサウニナル。

うらしまさう（（第五ソ））（全平）名。〔浦島草〕—〔虎掌〕。てんなんしやうノ一種。葉ハツヤガ無ク少シザラザラシテ形ハはたるぐさニ似テ長サ一寸餘、一寸五分以下。莖ハ丸クテ中ガ空ヒトヘ。色ハ始メ黃バミヲ持チ、漸赤デ段段日ニ照ラレテ花ノ形モ大キクナルト同時ニ色モヨクナリ、雨ナドニ逢ツタ時ナドハヒトシホノナガメヲ添ヘル。暑サヲ好ンデ裏サヲオソレ、ソ

シテ其花ハ少ナクモ一週間以上ヨク保ツ處カラ、古傳ノ浦嶋太郎ノヤウニ長クイキルト云フ義デ、此名ガ付ク。‖マヒヅル テンナンシヤウ。

うら・じやく (第三、四合)(第二上)名。 ものさしノ名。うらがねノ一名。

うらじろ (全平)名。(裏白) (一)草ノ名。葉ノ裏ガ白イ故コノ名ガ付ク。菌ハぜんまいニ似、葉ハ向ヒ合ヒ。種ニハ大小ノ二種ガアル。多クハ正月ノカザリニツカフ。‖シダ。‖ホナガ。‖モロムキ。 (二)又、草ノ名。かはらさいこノ一名。 (三)又、草ノ名。いぶきよもぎノ一名。 (四)マタ木ノ名。ゆづりはニ似テ秋アカイ實ヲ結ブモノ。 (五)▲又、草ノ名。美作ノ方言。はまたかなノ一名。 (六)▲又、草ノ名。播磨ノ方言。ちやんぱぎくノ一名。 (七)▲又、魚ノ名。若狹ノ方言。もがれひノ一名。

うらじろ・いちご (第七ゴ)(第五上)名。(…莓) 草ノ名。いちごノ一種。えびかづらニ似テ葉ウラノ白イモノ。‖エビカヅライチゴ。‖ツルイチゴ。

うらじろ・がし (第五ガ)(第四上)名。(…樫) 木ノ名。しらかしノ一名。

うらじろ・ぎく (第五ギ)(第四上)名。(…菊) (一)草ノ名。しらやまぎくノ一名。 (二)マタ草ノ名。いはこぎくノ一名。

うらじろ・しだ (第五上)名。(…羊齒) 草ノ名。しだノ一種。葉ウラノ殊ニ白イモノ。‖ヒメウラジロ。

うらじろ・の・き (…)名。(…の木) 木ノ名。何レノ國ノ山ニモ生ヘル。葉ハはしばみニ似テ鋸齒ガ稍アラク、背ニ白イ毛ガ生ヘ、五月頃小サナ花ガ簇ツテ咲ク。實ハさくらんばうニ似テ赤ク熟シテ甘クナル。

うらじろ・たで (第四上)名。(…蓼) 草ノ名。たでノタグヒ。葉ニ毛ガアリ、葉ウラガ白ク見エルモノ。‖ケイハタデ。

うら・たけ (第二上)名。(…茸) きのこノ一種。

うらだな (全平)名。(裏店) ウラナガヤ。‖ウラヤ。—谷峨、傾城買二筋道「女房、子マデアツテ、ズツトハカチエうらだなズマヒノ食フヤクハズノ御旦那サマダゼ」。

うら・ぢ (…)名。(…地) 裏ニ縫ヒツケルベキキレヂ。

○うら・ぢ (第二上)名。(浦路) ウラワノミチスヂ。

うらつき・ざうり (第五ゲ)(第五上)名。(裏附き草履) ざうりノ一種。裏ヲ付ケタざうり。或ハ一枚、或ハ二枚、多イノハ五六枚ニ至ル。元祿ノ頃始メテ相州ノ邊カラ出ル。

○うら・つけ (第四上)名。(…け) ウラウチ。

うらて (全平)名。(…手) (第一解義)。スベテ裏ノ方。‖リメン。‖ハイメン。(多クハ土地ナド、最モ廣イ處ニイフ)。

うら・て (…)名。(古手) 相撲、又ハ歌合ハセナド、スベテ勝負ゴトニ云フ語。最初第一番ノツガヒ。

△うら・ど・く (第三上)自動、下二。(心釋く) 心ガトケル。‖腹ガ癒ル。

うら・なし (第二上)名。(…無し) 裏ヲ付ケテナイざうり。うらなしぞうりノ略。

‡うらなひ (第四イ)(第三上)名。(占なひ)‖(卜筮) (一)ウラナフコト。‖ウラカタヲ考ヘ定メルコト。 ※うら(占)參考。 (二)うらなひヲスル人。‖ウラナヒシヤ。

うらなひ・しや (…、第五、六合)(全平)名。(…

者) ウラナヒヲ業トシテ錢ヲ取ル人。‖ハッケオキ。‖ウラヤサン。‖バイボクシヤ。

うらなフ (第四ウ)(第三上)他動、四段。(…ふ)「うら(占)ヲ働カセタモノ」 うら(占)ニ依ツテ吉凶ヲ考ヘ定メル。—萬葉集、「玉鉾ノ道行クウラニうらなへバ、妹ニ逢ハント吾ニノリツル」。

△うら・の・かみ (第二上)名。(陰陽頭) 昔ノ官名。うらのつかさノ長官。相當ハ從五位ノ下。唐名、司天監、又、大史監、又、五行尹。

△うら・の・つかさ (…)名。(…寮)「うらハうらなひノうら」 昔中宮ニ屬シタツカサノ一ツ。スベテウラナヒノコト、天文、暦數、風雲ノコトヲ考ヘ、其吉凶ヲ奏聞スルコトヲ取リ扱フ。相當ハ從五位ノ下カラ從七位ノ下マデ。唐名司天臺、又、大史局。所屬ノ人數、頭一人、助一人、允一人、大屬一人、少屬一人、陰陽師六人、陰陽博士一人、陰陽生十八人、暦博士一人、暦生十八人、天文博士一人、天文生十八人、漏剋博士二人、守辰丁二十人、使部二十人、直丁二人。‖オンヤウレウ。‖オミヤウレウ。

うら・ば (全平)名。(裏葉) 草木ノ末ノ葉。—「藤ノうらば」。—「クズノうらば」。

うら・はず (第二上)名。(末筈) 矢ノ名ドコロ。弓ヅルヲカケル上ノ部分ノトナヘ。(もとはずノ對)。

△うらはひ (第四イ)(第三上)名。(兆ひ) うらかたト同ジモノ。—日本紀、「兆(訓、ウラハヒ)」。

△うら・はみ (第四上)名。(占食み) うらかたノ裂ケ目。

うら・はら (全平)根。(裏腹)‖(表裏) うらうへトオナジ語。

うら・はん (…)名。(…判) 文書ノ裏ニ保證ノタメニ捺ス判。

△うら・びル (第三上)自動、下二。(心詫る)「うら(心)わびる(詫)ノ略」 ツラクアル。‖カナシクアル。‖ワビシクアル。—古今集、「秋萩ニうらびれヲレバアシビキノ山シタドヨミ鹿ノナクラン」。

うらば・やなぎ (第六キ)(第四上)根。(裏葉柳) 柳ノ葉ウラニ似タ色。

△うらフ (第三ウ)(第二上)他動、四段。(占ふ) うらなふノ略。—萬葉集、「アフベシトうらへル君ヲ」。

△うらフ (…)(…)他動、下二。(…) マヘトオナジ語。—日本紀、「ヨキ日ヲうらへテ」。

△うら・ぶル (第三上)自動、下二。(心詫る) うらびるト同ジ語。憂クオモフ。‖ツラクオモフ。—甚俊、「サヲシカノ今朝うらぶれテ鳴クナヘニ野原ノ小萩花散リヌベシ」。—「梅ガ枝ニ袖ナツカシク手折レトテうらぶれテナク鶯ノ聲」。

‡△うらへ (第三エ)(全平)名。(占へ) ウラナフコト。‖ウラナヒ。

△うら・べ (第一上)名。(占部) 昔シノ官職ノ一ツ。神祇官ニ屬シ、スベテうらなひノコトヲツカサドツタモノ。數ハ二十人。

△うらべ・かたやき (第一、及、第四上)名。(…肩燒き) 日本ノムカシノウラナヒ。鹿ノ肩骨ヲヌキトリ、ソレヲ燒イテ、ソノ圖ヲ見テ吉凶ヲ定メタ、ソノコトノトナヘ。神部ノツギ、使部ノマヘ。

△うらべ・すゑ (第三上)名。 うらべトオナジモノ。

うら・ぼし (第二上)名。(裏星) 筑前ニアル草ノ名。ガケナドニハヘル。草ノヒロサ四五分、長サ二三寸、色キハメテ濃ク、葉

ウラニ金色ノ星ガアリ、冬モ枯レズ、中ニハ葉ガ三マタニワレタノモアル。

うら・ぼん (…)名。(盂蘭盆)「うらんハ梵語解倒懸ノ義。即チ倒サニツルサレルヤウナ苦シミヲ解クトノ義。ぼん(盆)ハ漢語。物ヲ盛ルウツハ」 陰暦ノ七月十五日ニ行ナフ大キナ佛事ノ唱ヘ。盂蘭盆經ニヨレバコノ日百味ノ飲食ヲ盆ニ盛ツテ佛ニ供養スレバ、倒ニカケラレタヤウナ苦患モマヌカレルト云フ。‖シヤウリヤウマツリ。‖タママツリ。‖ボン。—續日本紀、「天平五年秋七月甲午始令大膳職備盂蘭盆供養」(二)(誤ツテ)俗間デ陰暦ノ七月廿四日ヲサシテ云フ語、十五日ノヲオモテトシ、コレヲウラトスル義。

△うら・ま (全平)名。(浦間) うら(浦)ノグルリ、四方。

△うら・まさ (第四上)名。(古正)「まさハまさしくノまさ」 ウマクアタツタウラナヒ。

うら・まさり・の・こうばい (第三上)名。(裏優りの紅梅) カサネノ色目ノ名。オモテハ紅梅色、ウラハ紅非ノモノ。

うら・まち (全平)名。(…町) ウラドホリノ町。‖トホリ町ノウシロ。

うらみ (第三上)名。(怨み) ウラムコト。—千歳集、「朝夕ニミルメヲカヅク海人ダニモうらみハ絶エヌモノトコソ聞ケ」。

うらみ (第三上)名。(浦間)「うらまノ轉」 浦ノアタリ。—萬葉集、「由良ノ崎シホヒニケラシ白神ノ磯ノうらみヲアヘテコギトヨム」。

△うらみ・うた (第三上)名。(怨み歌) ウラミノココロヲフクンダ歌。—狹衣物語、「うらみうたヲハヤクヨミカケヨトサザメク」。

うら・みち (第二上)名。(裏道) 街道ノホカノ道。‖カンダウ。‖コミチ。

うらム (…)他動、四段、又、他動、上二。(怨む)「うら(心)みる(見)ノ義」 (一)ココロニ不滿足マタハ不平ガ有ツテイキドホル。 (二)(轉ジテ)他ノシムケヲ不快ニオモツテ、ニクミオモフ。—源氏、「六條ワタリニモイカニオモヒミダレタマフラン、うらみラレシモクルシウ」。 (三)●ウラミヲ自分ガ含ンデ居ル趣キヲソノウラミヲフクマセタ相手ニムカツテイフ。

○うらむ・らくは (第六ツ)(第三上)副。(…らくは)「らくはハおそらくはナドノらくはトオナジタグヒノモノ」 (一)ウラムテハ。‖ウラムヤウ。 (二)怨メシイコトニハ。—「うらむらくは大擧セザリシヲ」。

うら・むらさき (第四上)根。(裏紫)「うらハうら(末)ノ義」 タダノむらさきトオナジ語。オモニ歌ナドニツカフ。—三世相錦繡文章、第二段、「イクヨ子ザメノ閨モナク、今ハ身デ身ヲうらむらさきノツマニろしヲ反古染メニ、鹿悟モ對ノハレ小袖」。

○うらめし (第三上)形。(怨めし) ウラムベクアル。—「うらめしき人」。

●うらめしイ (全平)形。(…い) うらめしノ近體。

うらめし・さ (第三上)名。(…さ) ウラメシクアル度合ヒ。

○うら・もと・なさ (第四上)名。(心許無さ) ウラモトナクアル度合ヒ。

○うら・もと・なシ (第四上)形。(…し) ココロモトナイ。‖氣ガ氣デナイ。

うら・もやう (第四ヨ)(第三上)名。(裏模樣) 着物ナドノウラヂノモヤウ。

うらもん（全平）名。（……門）　スベテ屋敷ナドノウラテノモン。（おもてもんノ對）。

うらや（……）名。（……屋）　人家ノウラテニ建テテアル家。═ロジノ中ニタテタ家。═ウラダナ。═ウラナガヤ。

うらやぐら（第四グ）（第三上）名。（第三上機）ムカシ深川仲町ノ女郎屋ニアッタ稱ヘ。おもてやぐらニ對シテイフ語。オモテノ女郎屋ノウラカハニアル女郎屋。═寛天見聞記、「うらやぐら、スソツギハ子供ウチニアリ。イヅレモ藝者ハ別ニアリ」。

うらやさん（第二上）名。（占や第二）（やはたは（又）ノ義）（一）△ウラナフコト。（二）▲オモニ京坂ディフ語。うらなひしやノ一名。

△うらやすのくに（……）名。（浦安の國）（うら（心）やす（安）ノ義）　日本國ヲホメテイフ異名。

○うらやまし（第四上）形。（美ましし）（うら（心）やまし（病）ノ義）　ウラヤムベクアル。═伊勢物語、「イトドシクスギユク方ノコヒシキニうらやましくモカヘル波カナ」。

●うらやましイ（第五上）形。（……い）　うらやましノ近體。

うらやましさ（第四上）名。（……さ）　ウラヤマシクアル度合ヒ。

うらやまぶき（……）名。（裏山吹）　カサネノ色目ノ名。オモテガ黄、ウラガ紅、又ハオモテガ黄、ウラガ萠黄ノモノ。

うらやむ（第三上）他動、四段。（心）やむ（病）ノ義）　（一）人ノスグレテ井ルノヲ見テ、サウナリタイトヲガフ。═日本紀、「姨姫（訓ウラヤミヲタム）」。（二）轉ジテ」人ノスグレテ居ルノヲ見テ、ソノ人ヲニクク思フ。═ヤッカム。

△うらら（第二上、又、全平）根。（朝═庭）ノドヤカデアルコト。═ウラウラ。═ウララカ。═ホガラカ。═源氏ニ春ノ日ノうららニサシユク舟ハ棹ノシヅクモ花トチリケリ」。═堀川院百首、「春ノ日ノうららニ照ラス垣根ニハ友待ツ雪ハ消エガテニスル」。

うららか（第二上）根。（……）（かはばらかナドノ如）　うららトオナシ語。═源氏、「ウヱシ若木ノ櫻ホノカニ咲キソメテ、空ノケシキうららかナルニ」。

うららかに（……）副。（……に）　マヘノ副詞體。

△うららけシ（第四上）形。（……けし）　ウラカナアリサマデアル。

△うららに（全平）副。（……に）　うららノ副詞體。

○うらら（……）名。（……）　日本國ヲホメテイフ續千歳集、「ナニハガタユフ波高クうらわノ千島アトモトドメズ」。

うらわさ（第三上）名。（……さ）　ウラワカクアル度合ヒ。

○うらわかシ（……形。（……し）　ガワカイ。（オモニ草木ニイフ）。═伊勢物語、「うらわかみヲヨリゲニ見ユル若卿ヲ人ンコトヲシアオモフ」。（二）轉ジテ」ガ少ナイ（人ニイフ）。═「マダうらうヨニクク思フ」。═ヤッカム。

イフ語。シロウリ、或ハ胡瓜ノ略。（三）▲又京都ノ方言。あさうりノ略。

うり（全平）名。（寛り）　ウルコト。═うりカヒ。

○うりあグ（第四グ）（第三上）他動、下二。（……上ぐ）　寛ッテシマッテ錢ヲトリアゲル。

うりあげ（第四ゲ）（全平）名。（……上げ）　ウリアゲルコト。═寛ッテシマッタコト。═「うりあげノカンヂャウ」。

うりあげかんぢやう（……、第八ヨ、第第七、八合）（第五上）名。（……勘定）　ウリアゲデスル勘定。

うりあげぢやう（第四ゲ、第六ヨ、第五、六合）（第四上）名。（……帳）　ウリアゲタ品物ノ直段ナドヲシルス帳面。

●うりあげル（……）（……）他動、二。　うりあぐノ近體。

▲うりい（全平）名。（鳴ク聲カラ付ケタ名）　常陸ノ方言。蟲ノ名。いねつきこまろノ一名。

▲うりいとど（第三上）名。（うりいとうりノうり、いとどハ蟲ノ名）　上野ノ方言。蟲ノ名。いねつきこまろノ一名。

うりいへ（第四ニ）（全平）名。（寛り家）　ウルベキ家。═ウリヤ。

△うりかけ（……）名。（……掛け）　品物ナドヲウラセタ、ソノカケ。═西鶴、一代女、「うりかけ取レナドイヒテ十四五人ノ手代等モノヌヒヤ（行クコトヲアランヒケル」。

うりかは（第四ワ）（……）名。（瓜皮）　草ノ名。おもだかノタグヒ。ヨクくわゐニ似タモノ。═オホボシサウ。

++うりかひ（第四イ）（第二上）名。（寛買ひ）　寛ルコトト買フコトト。═バイバイ。

クイ═サバクコト。

◎うりかき（……）名。（……）　ガ由來ル）。

うりかし（第四上）名。（瓜刺し═瓜戰）　瓜ヲサシ貰イアスル遊ビトイフ。

うりかね（全平）名。（瓜核）　（一）瓜ノタネ。（二）轉ジテ」うりざねがほノ略。（第五カ、第六オ）（第四上）ヌッペリト圓ク、色ナド白キ顔。形ガ瓜ノタネニ似タ所カラ云フ。

うりかはづ（全平）名。（寛り捌き）　寛ッテアルク。（第四上）他動、四段。（……く）

うりかへし（第四上）他動、四段。（……）　ウレクチ。═ハククチ。═カタヅキ。

うりかひ（（第三カ、第四イ）（……）名。（……食ひ）　品物ナドヲ寛リ、ヘラシニヘラシテ、食ヒカセギヲスル。═西鶴、若風俗、「尾羽ヲカラセシ浪人モノ。若イトキヨリ泰公ノノアミダエテ、タクハヘシ諸道具ヲうりかひニ一日ヲクラシケル」。

○うりかんじやう（（第六ヨ、第五、六合）（第三上）名。（……勘狀）　コケン。

うりかど（全平）名。（……予）　商家ナドデカフヤヲコ。アルキナガラ物ヲ寛ルモノ。

うりかみ（……）名。（……込み）　ウリコムコト。

うりかへ（第三上）他動、四段。（……む）（一）先方ヘ寛リ入レル。（二）轉ジテ」寛ルコトニ付イテ信用ヲ得ルヲイフ。═「うりかんだ店」。

うりかき（第四上）名。（寛り先）　品物ヲ寛リ付ケルベキアヒテ。═ウリカチ。═トみせびらき又ハ名。かへでノ類。═シラハシノキ。

うりかへし（……）他動、四段。（……切る）　寛リックス。

うりきれ（全平）名。（……切れ）　ウリキレルコト。

●うりきれル（第四上）他動、二。（……る）　うりきるノ近體。

○うりぐすり（（第三グ）（全平）名。寛り藥）　バイヤク。═西鶴、若風俗、「和中散ノうりぐすりアリ」。

うりくさ（……）名。（瓜草═瓜草毋草）　草ノ名。ぬぜたうがらしノ類。

うりくち（全平）名。（……口）　ウリサキ═ウレクチ。═ハククチ。═カタヅキ。

うりぐひ（（第三グ、第四イ）（……）名。（……食ひ）　品物ナドヲ寛リ、ヘラシニヘラシテ、食ヒカセギヲスル。═西鶴、若風俗、「尾羽ヲカラセシ浪人モノ。若イトキヨリ泰公ノノアミダエテ、タクハヘシ諸道具ヲうりぐひニ一日ヲクラシケル」。

○うりけんじやう（（第六ヨ、第五、六合）（第三上）名。（……勘狀）　コケン。

うりこ（全平）名。（……子）　商家ナドデカフヤヲコ。アルキナガラ物ヲ寛ルモノ。═新聞ノうりこ」。

うりこみ（……）名。（……込み）　ウリコムコト。

うりこむ（第三上）他動、四段。（……む）（一）先方ヘ寛リ入レル。（二）轉ジテ」寛ルコトニ熟練スル。（三）又轉ジテ」寛ルコトニ付イテ信用ヲ得ルヲイフ。═「うりこんだ店」。

うりさき（第四上）名。（寛り先）　品物ヲ寛リ付ケルベキアヒテ。═ウリカチ。═トみせびらき又ハ名。かへでノ類。═シラハシノキ。

うりざね（全平）名。（瓜核）　（一）瓜ノタネ。（二）轉ジテ」うりざねがほノ略。（第五カ、第六オ）（第四上）ヌッペリト圓ク、色ナド白キ顔。形ガ瓜ノタネニ似タ所カラ云フ。

うりざねがほ（（第五カ、第六オ）（全平）名。（寛り捌き）　寛ッテアルク。（第四上）他動、四段。（……く）

うりしろ（第四上）名。（瓜刺し═瓜戰）　瓜ヲサシ貰イアスル遊ビトイフ。

うりすぢ（全平）名。（寛り掘え）　（一）ソコデガフ。（二）轉ジテ」寛ルコト。（三）轉ジテ」寛ルモノ。═「うりするノフダ」。

うりだし（……）名。（……出し）　（一）ウリダスコト。═ウリハジメル。═ハツバイ。（第三上）他動、四段。（……す）　寛ル景氣ヲツケルタメ日ヲキメテ寛ルコト。

うりだし（第二解義）トみせびらき又ハ名。かへでノ類。═シラハシノキ。

うりだす（……）他動、四段。（……）　ウリアゲテ錢ノシロトスル。

うりだす（全平）名。（寛り掘え）　（一）ソコデガフ。（二）轉ジテ」寛ルコト。（三）轉ジテ」寛ルモノ。═「うりするノフダ」。

うりだし（……）名。（……出し）　（一）ウリダスコト。═ウリハジメル。═ハツバイ。（第三上）他動、四段。（……す）　寛ル景氣ヲツケルタメ日ヲキメテ寛ルコト。

うりだし（第二解義）トみせびらき又ハ名。かへでノ類。═シラハシノキ。

うりだす（……）他動、四段。（……）　ウリアゲテ錢ノシロトスル。

うりて（全平）名。（寛り手）　スベテ物ヲ寛ル人（かひてノ對）。═うりぬし參考。

うりぬし（……）名。（……主）　スベテ物ヲ寛ルベキ性質ノ人（かひぬしノ對）。

◎うりて（……）名。（……）　うりぬしトハ用ヰ場合ニ於テヂカフ。うりぬしハ其うりてノ一部分デアル。オモニ家邸、地所ナドヲ寛ル類ノ人ヲ意味スル。ソレ故地所ノうりぬしト云フ文ニ於テ之ヲ地所ノうりてトシテモ甚シク差シ支ヘハナシ、但シ小間物ノうりてトハ云ヘヌ。ヒキクルメテ云フ時ハうりぬしトハオモニ不動產、或ハ不動產ノヤウニ少シクオモオモシイモノヲ寛ルタチノ人トノ意味ニナル。

うりね（……）名。（……値）　客ニ寛ルベキアタヒ。（もとねノ對）。═バイカ。

▲うりね（第一上）名。（瓜根）　紀伊或ハ大和ノ方言。きからずうりノ一名。取ッテ食用ニスル。

うりの・き（……、又、第三上）名。（……の木═八角楓）（葉ガかへでニ似タ故ノ名）　木ノ名。さんしゆゆノタグヒ。葉モ幹モまくはうりニ似、マタ一種瓜ニ似タニホヒガアル。ミキノ甘皮ヲムイテ宿場馬ニカケ、蠅ヨケニスル。═ウリバカヘデ。

うりばかへで（（第五ニ）（第四上）名。（……葉楓）（葉ガかへでニ似タ故ノ名」　うりのき同ジモノ。

うりばへ（（第四ニ）（第二上）名。（……蠅）　蟲ノ名。形ハはたるニ似、瓜マタハかぼちやナドニ居テ葉ヲ食フ。

うりばらひ（（第五イ）（全平）名。（……拂ひ）

ウリハラフコト。
うり・はらフ（《第五ウ》）（第四上）他動、四段。〔……ふ〕（一）賣ル。（二）ヌオモニ賣ツテ、テバタキニスル。＝ウリキル。
○うり・ひろム（……）他動、下二。〔賣り弘む〕ヒロク賣ル。
++うり・ひろめ（金平）名。〔……め〕賣リヒロメルコト。
●うり・ひろめル（第五上）他動、二。〔……る〕うりひろむノ近體。
うり・べらし（第五上）名。〔賣り家〕賣ツテ減ラスコト。
うり・へらス（第四上）他動、〔……す〕品物ヲ賣ツテ數ヲ少ナクスルコト。
△うり・まろび（……）名。〔瓜轉び〕瓜ノコロゲルヤウニコロガルコト。
うり・もの（金平）名。〔賣り物〕スベテ賣ルベキ品物。＝バイヒン。
うり・もみ（第四ヒ）名。〔瓜揉み〕きうり又ハしろうりヲ薄クキザミ、サンバイズデ味ヲツケタモノ。食用ニスル。
うり・や（金平）名。〔賣り家〕うりいへト同ジモノ。
うり・よね（第二上）名。〔……米〕賠ヘテアル米ヲ賣リ出スコト（かひよねノ對）。
うり・りん（金平）名。〔羽林〕このえふノ唐名。
うりん・け（第二上）名。〔……家〕公卿ノ家ノ格ノ一ツ。侍從カラ近衛ノ中將及ヒ少將ヲ經テ、ノボルベキ家ガラ。
うる（金平）名。〔糙〕スマラ稻、粟、黍ナドヨリモ一ト回リ大キクテ、ノギノ無イモノ。＝ウルチ。（もちノ對）。＝「うるキビ」。＝「うるアハ」。＝「うるキビ」。（金平）他動、四段。〔賣＝售＝沽る〕

（一）其物ヲケノアタリト其品ト交易スル。
うる・さシ（……）形。〔鷹さし〕うるせしト同ジ語。＝源氏、「タナバタノ手ニモ劣ルマジク其カタモ具シテうるさくナン侍リシ」。
うるし（金平）名。〔漆〕（一）〔うるはし（潤）ノ義〕（一）うるしのきノ略。（二）うるしのきカラ取ツタヤニノ名。皮ニ鎌目ヲ入レ、ソコニ流レ出ルヤニヲ取ツテ製スル。スリモノザイクニ必用ノ品。＝和名抄、「漆、宇流之」。
うるしいし（第二上）名。〔……石＝（烏石）〕（一）石ノ名。黒クヒカッテ漆ヲヌッタヤウナ石。北國ニ多クアル。＝カラスイシ。
（二）▲又、越後ノ方言。せきたんノ異名。其色ノうるしニ似タ所カラ云フ。
うるしかぶれ（第四上）名。〔……風れ〕（一）うるしノ毒ニ感シテ出來タ皮膚病。非常ニカユイモノ。＝和名抄、「漆瘡、和名宇流之加不禮」。
うるしきび（……）名。〔穢〕うるきびト同ジモノ。
うるしけし（第二上）名。〔漆消し〕草ノ名。ひよどりじやうごノ一名。
うるし・こし（……）名。〔……漉し〕ウルシヲ漉ス紙。オモニ吉野紙。
++うるしざいく（第四上）名。〔……細工〕スベテ漆デ拵ヘタサイクモノ。＝ウルシヌリ。
うるしぬり（金平）名。〔……塗り〕（一）うるしデ塗ルコト。（二）スベテ、ウルシデ塗ツタモノ。（三）うるしヲツカフ人。
うるし・ね（……）名。〔粳稻〕ウルチ。＝ウルゴメ。
うるしの・き（第四上）名。〔漆の木〕木ノ名。高ク大キクハナラズ、漸ク高クテ六七

間、葉のぬるてニ似テ鋸齒ガナク、精圓形デナメラカナモノ。夏枝ノサキカラ長イ穗ガ出テ玉子色ノ、同ジクぬるてノヤウナ小サナ花ガ咲ク。雌ノ木ニハ茶色ノ實ガ生リ、煮レバ上品ナ蠟ガ出來ル。此木ニキサミメヲ付ケ、ソコカラジクジク出ルヤニヲ製シタノガ塗リ物ノウルシトナル。＝夫木集、「クレナヰノオノガ身ニ似ヌうるしのき、ヌルトシグレニ何變ハラン」。
うるしばけ（第二上）名。〔……刷〕漆ヲ塗ルトキニ用ヰル刷毛。
うるしばたけ（第四上）名。〔……畠〕うるしのきヲシタテルハタケ。
++うるしまけ（金平）名。〔……負け〕うるしかぶれ第一解義ト同ジモノ。
うるしむろ（……）名。〔……室〕うるしデ塗ツタ器物ヲ入レテ、カゲボシニスベキ所、又箱。
うるしゑ（……）名。〔……繪〕うるしデ書イタ繪。
△うるせシ（第二上）形。〔鷹せし〕〔うるはし（潤）ノ義〕（一）ウルハシイ。（二）轉ジテ〔ダクミデアル。＝ヨクアル。
うるち（金平）名。〔糙〕うるしねト同ジモノ。
うるもち・ごめ（《第四ニ》）（……）名。〔……米〕前トオナジモノ。
△うる・の・こめ（第一上）名。〔……の米〕前ト同ジモノ。
○うるはし（《第三ウ》）（第三上）形。〔鷹はし〕〔うるはは（潤）ノ義〕（一）艶艶シテ、ウルホヒガアッテ、ウックシイ。（二）轉ジテアイラシイ。＝イックシムベクアル。＝イトホシイ。＝シヌシムベクアル。＝源氏、「う

うるはしキオンアリサマノ解ケガタク、ハヅカシゲニ思ヒシヅマリタルヲ」。
●うるはしイ（……）（第四上）形。〔……ふ〕うるはしノ近體。
うるはしさ（……）（第二上）名。〔……さ〕うるはしキ度合ヒ。
△うるはしま（……）（第四上）他動、下二。〔……む〕うるはしノ語カラ轉ジテ、ウルホフコト。＝ウルホヒ。＝色ノツヤヤカデアルコト。＝新撰六帖、「イケ水ニマヅうるはしまけ（金平）名。〔……負け〕うるしかぶれ第一解義ト同ジモノ。
うるしむろ（……）名。〔……室〕うるしデ塗ツタ器物ヲ入レテ、カゲボシニスベキ所、又箱。
うるしゑ（……）名。〔……繪〕うるしデ書イタ繪。
△うるせシ（第二上）形。〔鷹せし〕〔うるはし（潤）ノ義〕（一）ウルハシイ。（二）轉ジテ〔ダクミデアル。＝ヨクアル。
うるち（金平）名。〔糙〕うるしねト同ジモノ。
うるもち・ごめ（《第四ニ》）（……）名。〔……米〕前トオナジモノ。
△うる・の・こめ（第一上）名。〔……の米〕前ト同ジモノ。
○うるはし（《第三ウ》）（第三上）形。〔鷹はし〕〔うるはは（潤）ノ義〕（一）艶艶シテ、ウルホヒガアッテ、ウックシイ。（二）轉ジテアイラシイ。＝イックシムベクアル。＝イトホシイ。＝シヌシムベクアル。＝源氏、「うるはしキ人ノ御ケハヒ」。
●うるはしイ（……）（第四上）形。〔……ふ〕うるはしノ近體。
うるはしさ（……）（第二上）名。〔……さ〕うるはしキ度合ヒ。
△うるはしま（……）（第四上）他動、四段。〔……ふ〕うるはしノ語カラ轉ジテ、ウルホフコト。＝ウルホヒ。＝色ノツヤヤカデアルコト。＝新撰六帖、「イケ水ニマヅうるはしまけ（金平）名。〔……負け〕うるしかぶれ第一解義ト同ジモノ。
うるしむろ（……）名。〔……室〕うるしデ塗ツタ器物ヲ入レテ、カゲボシニスベキ所、又箱。
うるしゑ（……）名。〔……繪〕うるしデ書イタ繪。
△うるせシ（第二上）形。〔鷹せし〕〔うるはし（潤）ノ義〕（一）ウルハシイ。（二）轉ジテ〔ダクミデアル。＝ヨクアル。
うるち（金平）名。〔糙〕うるしねト同ジモノ。
うるもち・ごめ（《第四ニ》）（……）名。〔……米〕前トオナジモノ。
△うる・の・こめ（第一上）名。〔……の米〕前ト同ジモノ。
○うるはし（《第三ウ》）（第三上）形。〔鷹はし〕〔うるはは（潤）ノ義〕（一）艶艶シテ、ウルホヒガアッテ、ウックシイ。（二）轉ジテアイラシイ。＝イックシムベクアル。＝イトホシイ。＝シヌシムベクアル。＝源氏、「う

ゴトニ二月ノ末ノ日ニ一日組ミ入レテ平均サセル。
△うるフ（……）（第二上）自動、四段。〔潤ふ〕うるはふノ古言。＝千載集、「オホヅラノ雨ハヲキテモソノチドうるふ草木ハオノガサマザマ」。
△うるフ（……）（……）他動、下二。〔……〕＝シメラセル。＝ウルホス。
うるふ・づき（……）（……）名。〔閏月〕うるふ（閏）ノアル月。
うるふ・どし（第二上）名。〔……年〕閏ノアル年。
うるほス（《第三オ》）（第三上）他動、四段。〔潤はす〕（一）水氣ヲモタセル。＝シメス。＝ヌラス。（二）轉ジテ〔ユタカニスル。＝利分ヲアタヘル。＝德ヲツケル。＝「富ハ屋ヲうるはし德ハ身ヲうるはす」。
うるはひ（……）（第四イ）（……）名。〔……ひ〕シメリ。（二）マウケ。＝利分。＝德分。＝リジュン。＝リエキ。
うるはフ（《第三オ、第四ウ》）（……）自動、四段。（一）水氣ヲモツ。＝シメル。＝ヌレル。（二）マウカル。＝利益ヲエル。
△うるま（第一上）名。〔宇留麻〕古ヘ琉球國ヲ呼ンダコトバ。＝ウルマノシマ。
△うるま・の・しま（第二上）名。〔……の島〕前トオナジモノ。＝千載集、公任、「オホツカナ、うるまのしまノ人ナレヤワガコトノ葉ヲシラズガホナル」。
うるみ（……）名。〔潤み〕ウルムコト。＝ニゴリ。＝クモリ。＝カスミ。
うるみ・しゐ（《第四、五合》）名。〔……柴〕ウルシヌリノ語。黒ノカカッタ朱。
うるム（第二上）自動、四段。〔……む〕（一）透明デナクアル。＝「玉がうるむ」。（二）クモ

リガアル。═始リガウスイ。═「漆ノ」ヨリ色ガウルむ」。(三)ハッキリトシナイ。═色ガサテヌ。═「苗木綿ノ色ガうるむ」。(四)シブル。═クモル。═ウレヒヲフクム。═「涙ニうるむ」。(五)△ウタレテ悲ニナル。═和名抄「潰字洗無」。

うるめ　(金平)名。〔潤目〕　うるめいわし

ノ略。

うるめいわし　(第四上)名。〔……鰯〕「うるめ(潤)め(目)いわし(鰯ノ義)」　魚ノ名。いわしノ一種。身ハマルク、脆ガアカクウルンダモノ。脂ガスクナク、味ガカルク、多クハ干物ニシテ食ベル。

うるりこ　(金平)名。(一)△ムカシイッタ小サナ魚。寶物不詳。═和名抄「細魚、宇留里古」。(二)▲又、魚ノ名。越前ノ方言。足羽川ニ産スルいさざノ一名。

△うれ　(第二上)名。〔来〕　スエ。═ウラ(草木ナド。ニイフ)。═萬葉集、秋ノ野ノ尾花ガうれヲオシナベテ、コシタモシルクアヘル君カモ」。

うれ　(金平)名。〔實れ〕　實レルコト。═ウレルダケヒ。═ウレルイキホヒ。═「うれガヨイ」。═「うれガワルイ」。

●うれくち　(……)名。〔……口〕　うりくちノ轉。

●うれこみ　(……)名。〔……込み〕　うりこみノ轉。

●うれこむ　(第三上)自動、四段。〔……込む〕　ウレクチガ付ク。

●うれさき　(第四上)名。　うりさきノ轉。

○うれし　(第二上)形。〔嬉し〕　ヨロコバシイ。═「アフ瀬うれしき玉川ノ水」。

○うれしげ　(第四ホ)(第四上)形。〔……氣〕　ウレシサウデアルコト。

△うれしけシ　(……)形。〔……けし〕　ウレシクアル。═萬葉集、「コヨヲンモアヤニタフトミうれしけば」。

うれしなみだ　(……)名。〔……涙〕　ウレシサノアマリニ出ル涙。═カンルル井。

△うれしむ　(第三上)自動、四段。〔……む〕　ウレシクオモフ。═ヨロコブ。

●うれだか　(金平)名。〔實れ高〕　品物ノ實レタ高。

△うれたシ　(第三上)形。〔うれ(憂)いたし(甚)ノ轉〕　ウレハシイ。═ナゲカハシイ。═カヒガクマレル。═日ナシイ。═心ニウレヒガアル。═「ナゲカハクマレル。═日本紀「ヲヌケビシテノミマハク、うれたシ、マスラヲイ」。═伊勢物語「ムグラオヒテアレタル宿ノうれたきハカリニモ鬼ノスダクナリケリ」。

●うれだち　(……)自動、四段。〔……立ち〕　ウレレバシイ。═「熱サデ氷リガうれる」。

うろ　(……)名。〔……虚〕　うつろ(虚)ノ轉。

(一)ウツロ。　(二)アナ。

○うろ　(第一上)名。〔雨露〕　漢語、うハあめ、ろハつゆ」　雨ト露ト。═「うろノ恩」。

うろ　(金平)名。〔有漏〕　佛教カラ出タ語。世間一般ノ凡人。「むろノ對」。═新勅撰集「うろノ身ハ草葉ニカカル露ナルヲヤガテ還ニ宿ラザリケン」。═「うろヨリモ無漏ニ入リヌル道ナレバココデ佛ノミモトナリケル」。═「うろノ身ノカリノアヤメノ草枕、コノ世ノ旅ノ夢アカナシキ」。

うろうろ　(第一上)副。〔彷徨〕　「うろハうろ(虚)ノ義、スナハチ、コレグト定マッテ居ヌ義」　マヨッテ、ソノ分カラナクナッタ狀ヲイフ語。═ウロウロト。═淀鯉出世瀧徳、「新町橋ノ橋ノ上擂鉢慶ガ薙刀ノ鞘オトシタル如クニテうろうろトシテ立ツタリシガ」。

うろうろと　(……)副。〔……と〕　マヘト同ジ語。

△うろうろと　(第三上)副。

○うれフ　(……)(第二)リヨ合、「第三ウ四段。〔憂═愁ふ〕　ナゲキ悲ム事ヲ「泣きうれひシカバ」。

◎コノ語ヲ近頃上二段ノ說ガアル。

○うれひ　(……)(第三イ)(金平)名。(……)他動、下二。〔……〕　(一)ワガウレハシクオモフコトヲ他ニ告ゲル。═源氏、「ソナタニテ見レバミダレうれふるコトヤアラン」。═續後撰集、定家、「ヨモスガラ月ニうれへテ音ヲノナク、命ニムカフモノオモフトテ」。(二)病ム。═ヲヅラフ。

(四)アンジル。

うれへ　(第三ニ)(金平)名。(……)(一)ウレフルコト。　(二)心配。═「火難ノうれへ」。

△うれへふみ　(……)(第二上)名。〔……文〕　ダングワンノフミ(文)。═シウソジャウ。

●うれル　(金平)自動、二。〔實═售れる〕　アキナヒガウマクユク。═ハケル。═ヨク買ハレル。═「熱サデ氷リガうれる」。

うろ　(……)名。〔……虚═空═洞〕　(一)ウツロ。　(二)アナ。

○うろ　(第一上)名。〔雨露〕　漢語、うハあめ、ろハつゆ」　雨ト露ト。═「うろノ恩」。

うろ　(金平)名。〔有漏〕　佛教カラ出タ語。世間一般ノ凡人。「むろノ對」。═新勅撰集「うろノ身ハ草葉ニカカル露ナルヲヤガテ還ニ宿ラザリケン」。═「うろヨリモ無漏ニ入リヌル道ナレバココデ佛ノミモトナリケル」。═「うろノ身ノカリノアヤメノ草枕、コノ世ノ旅ノ夢アカナシキ」。

うろうろ　(第一上)副。〔彷徨〕　「うろハうろ(虚)ノ義、スナハチ、コレグト定マッテ居ヌ義」　マヨッテ、ソノ分カラナクナッタ狀ヲイフ語。═ウロウロト。═淀鯉出世瀧徳、「新町橋ノ橋ノ上擂鉢慶ガ薙刀ノ鞘オトシタル如クニテうろうろトシテ立ツタリシガ」。

うろうろと　(……)副。〔……と〕　マヘト同ジ語。

轉。═河東節、松ノ後、「障子マバユキアサアケニ見オロスヨモもうろうろとハダケ、畑ノシヅガワザ」。

うろおぼえ　(金平)名。〔空覺え〕　未熟ニアルコト。

○うろくづ　(第二上)名。〔鱗〕　いろくづノ轉═ウロコ。═未木集「男山秋ノケヨヤ霽リクレ川瀬ニハナッ四方ノうろくづ」。

うろこがた　(金平)名。〔……形〕　(一)魚ノ皮ノ上ニ順順ニカサナッテ、附イテヰル一種ノ硬イ骨ノヤウナモノ。═コケ。═イロコ。═イロクヅ。═ウロクヅ。(二)ズベテ摸様、又ハ紋所ナドニイフ語。三角形。(三)又、魚ノ名。もろこノ一名。

うろこ　(……)名。〔マヘノ語カラ轉ジテ〕　ムケテ頭ニツク一種ノコマカイ皮。═ブク。

うろこがた　(第四カ)(第二上)名。〔鱗形〕　模様ノ名。うろこ第二義ノ形ヲデコシラヘタ模様。

△うろたへ・ばう　(第四ニ、第五ホ)(第四上)名。〔狼狽坊〕　ウロタヘルヤツノ人ヲアザケッテイフ語。═用捨箱「トチメク輩ハうろたへばうトイフホドノコトナリ」。

●うろたへル　(第四ニ)(金平)自動、二。〔……る〕　狼狽スル。═アワテマヨフ。

うろたへもの　(……)(……者)名。〔……者〕　ウロタヘルヤツノ人。═近松評、「如來誕生會、「惡魔ノ所爲カ、うろたへものが親コロシハ五惡ノ第一」。

うろち　(……)名。〔有漏路〕　うろ(有漏)ノミチ。═コノ世。═シャバ。═「うろぢヨリ無漏路ニカヘル道ナレバオモヒシルベキ行ク方モナシ」。

●うろつク　(……)自動、四段。〔つくハむかつくナドノつく〕　ウロウロトアルク。═サマヨヒ歩ク。

うろぬク　(……)又、第二上「(虚)ぬく(拔)ノ義」　スノ中カラ、オノオノ間ヲヘダテテ引キぬク。═ヲロヌク。═マビクぬく」。

▲うろうろこ　(金平)名。　魚ノ名。

うろん　(……)形。〔胡亂ノ慶音ト云フ〕　ヌベテ、アヤシクアルコト。═ウサンクサイコト。═合點ノユカヌ事物。═「手物簡持、後者昔物語、「コノ助五郎ガ役モシ、漏邊伊賀守ナリシャ、チトうろんナリ」。

うわうざわう　(第二、及第五ヲ)第一及第四上)他動、四段。〔うろ(虚)ぬく(拔)ノ義〕　佛教ノ語。ウキヨノ物ゴトガウツリ變ハルコト。═「うねてんぺんノ世ノ中ニコソ」。

うねらうぐすり　(第三ロ)(金平)名。(外郎)　(一)うねらうもちノ略。

うねらうぐすり　(……)(第五ク)(第五上)名。〔……藥〕　「うねらうハ「外郎」ノ支那音」。═小田原デ有名ナ藥。ムカシカラ今日マデアルモノ。═トウチンカウ。═ところちんかう參考。═淺井了意、東海道名所記「名物ニハ小田原イシ、小田原下駄……又宿ノ右ノ方ニうねらうアリ」。

うねらうまめ　(第三ロ)(第二上)名。〔……豆〕　四上「狼。若往左往二字ノ濁音」。═ユキ、左ヘユクコト。═シサンスルコト。

うねらうもち　(……)(……)名。〔……餅〕　(一)菓子ノヒトツ。餅デックリ、米ノ粉ヲ黃色ナドニ染メ、砂糖ヲ加ヘ、しんとノヤウニ蒸シタモノ。形モ色モうねらうぐすりニ似タ所カラ云フ。(二)又、蒸シ菓子ノ名。とうばいもちノ一名。

うね　(第一上)名。〔飢═饑〕　(一)ヨンカラ移シテ來テ植エタ木。═夫木集、花山院「アダニ散ル花ミルダニモアルモノヲタカラノうゑき思ヒコソヤレ」。(二)又、ばんさいノ一名。

うねき　(金平)接頭。(植)ゑ)　植エタモノノ義ヲ現ハシテ他ノ名詞ニ結ビ付ク語。═「うゑ木」。═「うゑツキ」。═「うゑビト」。

うゑき　(……)名。〔……木〕　(一)ヨンカラ移シテ來テ植エタ木。═夫木集、花山院「アダニ散ル花ミルダニモアルモノヲタカラノうゑき思ヒコソヤレ」。(二)又、ばんさいノ一名。

うゑき　(第四ヨ、第二上)名。　モノ。

うゑ・きやう　(第四ヨ、第二上)名。〔苗═植ノ名。春ヌル根カラ生ヘル。葉ハ細ク長ク蜜氣ガアリ、莖ハ圓クテザラザラシ、夏枝ニ細カイ五瓣ノ黃色ノ花ガアマタ咲ク。

うゑきばち（第二上）名。〔……鉢〕植物ヲ植ウル鉢。

うゑきや（全平）名。〔……屋〕植物ヲ植ヘ又ハ賣ナドヲ業トスル人ノ家。

△うゑくさ（……）名。〔植ゑ草〕植ウル草。同ジモノ。

うゑごみ（第三コ）（……込み）名。〔……込み〕草木ヲシゲク植ヱタル所。

△うゑじ（……）名。〔……字〕活字。＝活版。＝ショクジ（植字）。

++うゑじに（第四上）名。〔餓ゑ死に〕飢ヱテ死ヌコト。＝ガシ。

うゑじばん（全平）名。〔植ゑ字版〕ウヱジノ版。＝イチジバン。＝クワンバン。

うゑだけ（第二上）名。〔……竹〕植ヱタ竹。

○うゑつく（第四上）他動下二。〔……付く〕植ヱトメル。＝「稻ヲうゑつく」＝草ヲうゑつく」。

++うゑつけ（全平）名。〔……け〕（一）植ヱツケルコト。（二）（轉ジテ）ウヱイチバ。

●うゑつける（第四上）他動二。〔……る〕うゑつくノ近體。

++うゑばうさう（第三ホ。第五ソ）（第五上）名。〔植ゑ瘡瘍＝種瘡〕疱瘡ノ膿シルヲ人ノカラダニウツスシカタ。コレデ天然痘ヲフセグ。主ニ今ハ牛ノヲ取ル。＝ギウトウ。＝シュトウ。＝イレバウサウ。

△うゑびと（第二上）名。〔……人〕物ヲ植ヱル人。＝ウヱキヤ。＝今昔物語「うゑびとナド屋ヒグシテ」。

△うゑめ（全平）名。〔……女〕草木ナド植ヱルベキ女。

うゑもの（……）名。〔……物〕ショクブツ。

うゑもんぶ（第一二合）（第三上）名。〔右衛門府〕ムカシノツカサ。右ノゑもんふ。今ノ近衛。＝日本後紀「弘仁二年十一月左右衛士府爲左右衛門府」。ゑもん参考。

うゑや（全平）名。〔……屋〕植物ヲ賣リ、又ハ庭ナドヲ掃ヘル職業ノモノ。＝ニハトンテイ。＝ダクボク。

●うゑる（第二上）自動二。〔植ゑる〕うゑ（飢）ノ近體。

●うゑる（全平）他動二。〔植ゑる〕うゑ（植）ノ近體。

うゑん（……）根。〔迂遠〕アルコト。＝スグト役ニタタヌコト。＝テヌルイコト。

うを（第二上）名。〔魚〕古言いをノ轉。脊骨ノアル動物ノ一ツ。ヨク水中ニ棲ミツテ呼吸シテ、血ハヒヤヤカデ、特殊ノ心臟ヲソナヘタ動物ノ總名。脊骨ノアル動物ノ中、水中デ呼吸シ得ルノハタダ是其多クハ卵生シ、多クハ鱗ガ有リ、旦多クハ肉食スル。＝サカナ。＝ナ。＝トト。＝和名抄「魚和名宇乎」。

○うを（第三上）名。〔……市〕魚ヲウリカヒスル市場。＝ウヲガシ。＝ウヲイチバ。カヒイチバ。＝サカナイチバ。

○うを（……）名。〔……場〕前ト同ジ語。

○うを（全平）名。〔……賣り〕魚ヲ賣ルコト。＝ウカウリ。＝サカナヤ。

うを（第三ガ）（……）名。〔魚河岸〕（一）魚ヲウリカヒスル土地。多クハ水ノ岸ニアル。（二）（轉ジテ）ウヲイチバ。＝魚市場ノうをがし。

うを（第三ク）（全平）名。〔……串〕魚ヲ燒クトキ用ヰル串。竹マタハ鐵、銅ナドデックル。＝イヲグシ。

うをたか（全平）名。〔魚鷹〕鳥ノ名。みさごノ一名。〔好ンデ魚ヲ取ル所カラ云フ名〕

うをだな（……）名。〔……棚〕（一）魚ヲ賣ル棚。（二）魚ヲ賣ルイヘ。＝ウヲヤ。＝サカナヤ。＝「うをだなノ鯛ノ齒白キ師走ガナ」。

△うをのたな（……）名。〔……の店〕スベテ、サカナヤノ數多クアル町。

うをのめ（第四上）名。〔……目〕〔形ガ魚ノ目ニ似タ所カラ云フ〕（一）仕事ヲシタタノ手足ナドト多ク物ニ觸レタ所ニ出來ル肉ノカタマリ。＝マメ。＝タコ。（二）多ク魚類ナド多クタベタタメ手足（オモニ足ノウラ）ニ出來ル一種ノ肉ノカタマリ。中ニ心ガアツテいぼニ似、いぼヨリ硬イモノ。＝イボノメ。＝ヨノメ。

うをばち（全平）名。〔魚蜂〕蟲ノ名。蜂ノ一種。大キサ三寸バカリ形ハくまばちニ似テ稍小イ。大隅ノ國ニ多ク居ル。

○うをや（……）名。〔……屋〕スベテ魚ヲ賣ル家。＝ウヲダナ。＝サカナヤ。

●うつかり（第二遍）（第三上）根。バウゼントシテアルコト。＝心ガタシカニナツテ井ヌコト。＝ウカリ。

◎うつかりとうつをとりとノ相違ヲイヘバ、うつかりハ物ニ引キ入レラレル意味ハ無ク、之ニ反シテうつをとりハ何カ非常ニ心ヲ奪フモノニ逢フ義ヲモツ。＝「うつかりシテ居テ相手ヲ逃ガス」＝「うつをとり見トレル」。

++●うつかり（……）副。ウカリト。＝ウカト。＝バウゼント。＝一九「馬鹿ニツケル藥、モウモウ人ノ云フコトニハうつかり乘ルモノデハナイ」。＝近松、博多小女郎浪枕、一町ノタバヲヲスル年寄、即チ家主、うつかりシテ居ルコト。＝「アノ人ノ腕前デハアノ役ニハうつてつけダ」。

▲うつてん・ばつてん（第二、及第六遍）根。うんでいばんりノ訛リ。

●うつとしイ（……）（第四上）形。うつたうしいノ轉。

●うつとしさ（……）（第二上）名。ウットシクアル度合ヒ。

●うつとり（……）（第三上）根。〔うとりノ轉〕茫然。＝ウカリ。＝氣ガヒキイレラレルヤウニボンヤリトシテ居ルコト。＝うつかり參考。

●うつとり（……）副。前ノ副詞體。

▲うつとり（……）（第一上）名。ウットリトシテ井ル人。

●うつとりと（……）（第三上）副。うつとり（副）ト同ジ語。

うつぶん（……）名。〔讃嘆〕漢字音。ツモリツモツタウラミ。＝「うつぶんヲ晴ラス」。

うつぶるひのり（……。第五イ）（第四上）名。〔十六島海苔〕出雲ノ國うつぶるひノ島カラ出ル一種ノあまのりノ稱ヘ。海ノ

りトシテ井ヤウカ」。

●うつ・かり（……）（……）副。（……と）前ト同ジ語。

▲うつかりばう（……）（……）名。〔ばううたへばうナドノばう〕ウッカリトシテ居ル人。

▲うつかりぼん（……）（……）根。〔ぼんハぼんつくノぼん〕うつかりト同ジモノ。

うつ・き（……）（全平）名。〔讃第〕漢語。フサグ心。＝サバケヒラカヌ心＝「うつきヲ散ラス」。

うつ・さん（……）（第三上）名。〔……散〕鬱氣ヲ散ラスコト。＝キバラシ。＝ウサハラシ。＝ココロヤリ。

○うつス（……）（全平）自動。四。〔鬱す〕氣ガフサグ。

▲うつすら（……）（第三上）副。〔うす（薄）カラ來ヌ語〕うつすりノ轉。

●うつすり（……）（第二上）副。〔……〕ウスウスト。＝ボンヤリト。＝「うつすり見ヱルトホヤマ」。

●うつスル（……）（全平）自動。六。〔鬱する〕うつす（鬱）ノ近體。

○うつたうし（……）（第三上）形。〔……陶し〕（一）心ガフサグ。＝心ガハレヌ。＝「梅雨うつたうし」。（二）ウルサイ。＝ワヅラハシクアル。

○うつたうしさ（……）（……）名。〔……さ〕ウツタウシクアル度合ヒ。

○うつたフ（第二遍。第三ト。第四ウ）（全平）他動下二。（訴＝愬）ふ（ヘ）メニ、始末ヲ政府、マヘ目ウヘ（ナドヌベテ權力ノ有ルモノニ告ゲル。（二）（轉ジテ）意中ヲ他ニ告ゲシラセテソノ人カラアハレミヲ求メル。＝

ハ七夕ノ牛、待ツ宵ハ三味線、酒ハアト、漁師ハ網ウツ、うつついアヒエノ袖ヲマハヒクテアマダアロワイナ」。

うつて（……）（第三上）名。〔討つ手〕〔うち（討）て（手）ノ音便〕敵ヤ賊マタハ罪人ナドニ打チ向カフ兵隊。＝ウテ。＝「うつてヲムケル」。

●うつてがへ（……。第四ガ。第五エ）（全平）根。〔打つて代へ〕イリカハリ。＝タチカハリ。＝「うつてつけ（……）（……）根。〔……附け〕丁度ソノ儘ヨク合フコト。＝正ニヨク適當スルコト。＝「アノ人ノ腕前デハアノ役ニハうつてつけダ」。

▲うつてん・ばつてん（第二、及第六遍）根。うんでいばんりノ訛リ。

●うつとしイ（……）（第四上）形。うつたうしいノ轉。

●うつとしさ（……）（第二上）名。ウットシクアル度合ヒ。

●うつとり（……）（第三上）根。〔うとりノ轉〕茫然。＝ウカリ。＝氣ガヒキイレラレルヤウニボンヤリトシテ居ルコト。＝うつかり參考。

●うつとり（……）副。前ノ副詞體。

▲うつとり（……）（第一上）名。ウットリトシテ井ル人。

●うつとりと（……）（第三上）副。うつとり（副）ト同ジ語。

うつ・ぷん（……）名。〔讃憤〕漢字音。ツモリツモツタウラミ。＝「うつぷんヲ晴ラス」。

うつぶるひのり（……。第五イ）（第四上）名。〔十六島海苔〕出雲ノ國うつぶるひノ島カラ出ル一種ノあまのりノ稱ヘ。海ノ

石ニサナガラ着物ノヤウニ着イテ井ルノヲハギ取リ、其シヅクヲ打チフルツテカワカスト云フ所カラ轉ジテうつぶるひノ名ガ付ク。長サハ大抵二三尺カラ一丈デアマリ。質ハ細クテツヨイ。色ハ紫色ニ黒味ガカカリ、味ヒハ極メテウマイモノ。

++うつぺい (…)(全平)根。(鬱閉) 漢語。氣ガフサイデ居ルコト。‖トヂコモルコト。

うん (第一上)名。(運) 漢語。(一)人ノ身ニメグツテ來ル命數。‖天命ノマハリアハセ。(二)又、支那ノ暦法ニアル語ノヒトツ。火、木、水、金、土ノ五行ヲ併セテトナヘル語。コノ五ツノうんヲ十干ニ配シ、甲巳ノ年カラ土うんヲ起コシ、乙庚ノ年ハ金うんニ至リ、丙辛ハ水うん、丁壬ハ木うん、戊癸ハ火うんトナリ、各相生デ推シ起コル。(三)又、支那哲學デ天地ノ消長ヲ數ヘル時ニイフ年數ノトナヘノヒトツ。一うんハ一世ノ十二倍、即チ三百六十歳。一世ハ三十歳、十二世、即チ一運、即チ三百六十歳、三十運、即チ一會(ゑ)、即チ一萬〇八百歳、十二會、即チ一元、即チ十二萬九千六百歳。

●うん (…)感。(諾) (一)ヤヤ尊大ノ心ヲ持ツテ、他ノ云フ事ニ承諾ヲ表スルトキニツカフ語。‖アイ。‖オオ。—「うんサウダ」—近松、博多小女郎浪枕「うんトモスントモ云ハレヌ佛ノ方便ニテ」。—三世相錦繡文章、「兄ガ惡ルイコトヲイフモノカヨ。うんトイヤ！ うんトイヤ！」。

●うん (全平)感。(呍) (一)氣絶ナドシ、又ハハゲシク驚クトキナドニ發スル聲。—「うんトバカリニノゲゾル」。(二)梵語。あうんノうん。あうん參考。

うんうん (第三ヌ)(…)名。(云云) (一)漢語。シカジカ。‖コレコレ。(二)明ケテイハレヌ內情。「うんうんガ有ル」。

●うんうん (第一上)副。 クルシミナドデウナル聲ヲ現ハス辭。—「うんうんト」。—近松、博多小女郎浪枕、「鸚籠カラ浪レテ流ル血ハ大地ニ毛氈ヒク如ク、乘リ手ハうんうんワメクニゾ」。

●うんうんと (…)副。 前トオナジ語。

うんか (…)名。(雲霞) (一)漢語。雲トカスミト。(オビタダシク有ル場合ヒニイフ)。—「うんかノ如ク集マリ寄ル」。(二)又、小サナ蟲ノ名。大キサハ一分ニ足ラズ、翅ハ白ク、身ハ黒ク、人家ノノキシタナドニ群ツ飛ブ。アガツタリ下ガツタリ互ニ踊リヲヲドルヤウナ具合ヒデ空ガクモレバ河岸ナドヘアツマル。遠クノゾメバ雲カスミノヤウニ見エル所カラ云フ。‖ヌカバヘ。

うんが (第二ガ)(…)名。(運河) 漢語。荷物ノ運送ナドノタメニ堀リ割ツタ河。

うんかう (第三コ)(…)名。(雲香) 漢語。へんるうだノ一名。

++○うんかう (…)(全平)名。(運行) (一)運動シ行クコト。—「地球ノうんかう」。

○うんかく (第一上)名。(雲客) 漢字音。雲ノウヘビト。‖デンジヤウビト。‖ゲツケイ。

うんき (…)名。(…氣) 漢字音。雲ノヤサヌ。‖氣象ニ關シテ動ク雲ノアリサマ。—「うんきヲ考ヘテ世情ヲ知ル」。

うんき (…)名。(温氣) 漢字音。アツサ。‖暑氣(オモニ、イキレテ蒸レルヤウナ場合ヒニイフ)。

▲うんきう (第三上)名。 筑前ノ方言。かぶとがにノ一名。

うんげん (第三ゲ)(全平)又(第一上)名。(繧繝) ‖暈繝。 (一)昔ノ染メ色ノ名。色色ナ色ヲ混ゼ、縞ニシ色ト色トノ間ヲクマドリニシタモノ。‖ウゲン。(二)(後世轉ジテ)スベテ、縞ト縞トノサカヒヲクマドリニ織ツタ織リ物ノトナヘ。—「うんげんノ錦」。(三)(轉ジテ)蒔工ノ語。くまどりノ一名。

うんげん・べり (…)(全平)名。(…緣) うんげんノ織リ物デ掛ケタ疊ミノヘリ。多クハ主上ト院トノ御用ニナル。神佛ノ前ニハ半疊ダケ之ヲ用井、他ニハ一切禁制デアツタモノ。‖ウゲンベリ。

▲うんこ (第一上)名。 ダイベン。‖フン。‖クソ。‖ウンチ。主ニ東京デ婦人小兒ガイフ語。

○うんこん (第三上)名。(雲根) 漢語。山ニアル石ノ異名。「石ハ雲ノモトデアル」トカ云フ支那ノ俗說カラ始ツタ語。

うんさい・おり (全平)名。(…齋織リ) 雲齋ト云フ人ガ拵ヘ出シタ所カラ云フ名。厚イ木綿ノ布ノ一種。厚クテ地ハアラク、ナナメノ模樣ニ織リ出シタモノ。多クハ足袋ノ底ニツカフ。—西鶴、一代男「うんさいおりノフクロタビ」。

●うんざり (…)名。 イヤニ思フ、或ハ厭フナドノ義ヲ現ス語。オモニ東京デ云フ。—「うんざりスル」。

◎言海ニ此語ヲ解シテうんず(倦)あり(在)ノ約トシ、即チ倦ミアキタ狀ニイフトシタノハ附會ニスギル。うんざりハ東京デ主ニ云フ語ナガラ必ズシモ倦ミアキタ狀ニ付テノミハ云ハヌ。倦ミアキタ狀ニ付テ云フナラバげんなりト云フ語ガアル。

うんざりナラバげんなりト對照シテげんなりダケノ意味ハ現レヌ。ツマリうんざりハ只何ガナシイヤニ思フトノ心デ、倦ミノ厭クノトノ義ハ更ニ無イ。大槻氏ノ說ハうんずありト云フ古言ニ解シ、ソレカラ意味ヲ示シ出シタラシイモノノ、實際うんざりガうんずありカラ出來タカドウカハ受ケラレヌ。此樣ナ類ヒノ語ハ東京ニイクラモアル。げんなりト云フノモスベテ同ジ樣ナ形ヲシタモノ、他ニ又ぼんやりト云フモノ、ぬつぺりト云フノモ、ぶつきりト云フノモ何レモ皆似タ樣ニ大方語調カラシテ意味ヲ現スタチノモノデナツテ井ル。「必シモうんざりガうんずありヨリ始マラズトモ東京ニ於テ成リ立チガ出來ヌト云フ譯ハ無イ。何ガナシ唯うんざりハオノヅカラ忌ミ嫌フ形ヲイヒ現ス語調ヲトリ揃ヘテ拵ヘタ語デアル。

うんざりノ意味ハソレ故自身ノ好マヌ相手ニスベテ出逢ツタ時、或ヒハサウアツテシレルナト云フトキ、サウアツタリスル場合ヒニツカフ。借金シテ逃ゲテ井タノガ途デ貸シ方ニ會ツテうんざりシタト云フ。ムカフヘ行ツタラバ何カウマイ土產ガアルダラウト思ツタノニ、行ツテ見タラバ其物ガ無ク、スツカリうんざりシタト云フ。

げんなりニ於テハ全ク意味ガチガフ。其レコソげんなりナラバ倦ンデアキル意味ヲ現ハス。モウ此上ハ食ベラレヌ、即チ滿腹、げんなりシタトハ用井ラレル。其レカラ轉ジテうんざりト云フ義ヲ多少持タナクハ無イ。但シ轉ゼヌ中ハ語ハ、素ヨリチガフダケノコトハアル。

うん・しう (第一上)名。(溫州) うんしうみかんノ畧。

うんしう・みかん (第五上)名。(…蜜柑) 蜜柑ノ一種。支那ノ溫州カラモト渡ツタモノ。實ハ並ノみかんヨリ赤イモノ。‖ウジユキツ。

△うん・じやう (第四ヨ、第三、四合)(全平)名。(運上) 「うんそう(運送)じやうなう(上納)ノ畧ト云フ」。‖ゼイ。‖ソゼイ。 參考。

○うん・じやう (…)(…)名。(雲上) (一)雲ノ上。(二)キンリ。‖禁中。

◎モハヤ此語ハ殆ンド廢語トナル。

++うん・しゆ (第三、四合)(第一上)名。(運輸) 漢語。ウンソウ。‖モチハコビ。‖ウンシユ。

△うんず (第一上)自動。さ變。「(倦)んず」(うみすノ音便) (一)倦ム。‖イヤニナル。‖竹取物語、「うんじテ皆カヘリヌ」。(二)ツライヤニ思フ。—伊勢物語、「アテナル女ノ尼ニナリテ世ノ中ヲ思ヒうんじテ」。

●うんすうんす (…)副。 ウナル聲ヲイフ語。‖ウンウン。—「うんすうんすウナル」。

うん・すゐ (…)名。(雲水) (一)漢語。雲ト水ト。(二)アンギヤ。‖ヅダ。‖抖擻。—「西行ハうんすゐノ身ノ上」。

うんぜん・つつじ (第六上)名。(溫泉躑躅) 肥前ノ國溫泉ゲ嶽カラ始メテ出タ故ノ名。つつじノ一種。枝ハ細ク、葉モホソク、花モ小サクテ、濃イ紫ノモノ、ウス赤、ウスムラサキ、白モアル。‖チヤウジツツジ。

++うん・そう (全平)名。(運送) 物ヲハコビ送ルコト。‖ウンパン。‖テイソウ。‖ツウウン。‖ウンシユ。‖ウンユ。

▲うん・たち (第一上)名。(已達)「うぬ(己)たち(等)ノ音便」。 キサマタチ。‖ナンヂラドモ。主ニ長崎ノ國ナマリトシテ殘ル。—近松、博多小女郎浪枕、「ウマレハ長崎、國ナマリ。『コリヤうんたち、マダ一五郎、三藏ガ船ハ見エイロ』」。

うん・ちん (…)名。(運賃) 物ヲウンソウスルタメニ費ヤスチンセン。‖ウンソウチン。‖ツウウンレウ。主ニ荷物ニ云フ。

▲うん・つく (…)名。「うんハうす(薄)ノ異體同訓。つくハばんつく、けんつくナドノつく」 主ニ東京ノ俚語。 ノロマデアル。‖デレスケ。‖ノロマ。‖ウンデレ。‖ポンツク。

うんでい・ばんり (第五上)根。(雲泥萬里) 漢字音。雲ト泥即チ天ト地ト甚シク距ツテアルコト。スベテ格外ニチガフトノ義ヲ現ス辭。‖ウツテンバツテン。

△うんでうしく (第三上)名。(紅調粥ノ唐音) あづきがゆト同ジモノ。—下學集、「紅調粥正月十五日赤豆粥也」。

▲うん・でれ (全平)名。「うんハうんつくノうん、でれハでれすけノでれ」 オモニ關西デイフ。ボンヤリシタ人。 イヤシンデ云フ語。‖ウンツク。

▲うんでれ・すけ (第四上)名。 うんでれト同ジモノ。 でれすけ參考。

++うん・てん (全平)名。(運轉) 漢語。(一)メグリコロガルコト。(二)スベテ、クルクルトマハルコト。—「機械ノうんてん」。(三)(轉ジテ)クリマハシ。—「財政ノうんてん」。

++うん・どう (…)名。(…動) (一)漢語。メグリウゴクコト。(二)衛生的ニカラダヲ動カスコト。(三)スベテ、事業ニカカツテ

ハタラクコト。―「驚涙ノうんどう」。

○うんどん（全平）名。〔饂飩〕　漢字音。小麦粉ニ塩ヲ加ヘ、水デカタクコネ、薄クノバシ、細ク切リタルモノ。多クハ茹デテ、ツユニシテタベル。―ウドン。―森山孝盛、隠ノ雑録、「冬御番にうんどんヲモタセラレタルト云フコト」。

うんぬん（……）名。〔云云〕　うんうん（云云）ノ音便。

うんね（第一上）名。　介ノ名。うつぼがひノ一名。

++うんぱん（全平）名。〔運搬〕　漢語。モチハコビ。―ウンソウ。

うんぴん（第一上、又全平）名。〔雲版〕　寺ナドニツカフ楽器ノ名。カラカネノ板デツクリ、マハリニ雲ガタノ模様ヲ付ケタモノ。

うんぷてんぷ（第四上）句。〔運否天賦〕　漢字音。運ノ吉凶ハ自然ノ天命デアル。

うんめい（第一上）名。〔運命〕　漢語。タダノうん（運）ト同ジモノ。―「うんめい極マル」。

○うんめん（……、又全平）名。〔温綿〕　「うんハうんぜんノうん、めんハさうめんノめん」ツユニンタうどん。

うんも（……）名。〔雲母〕　漢語。キララ。―キラ。

++うんゆ（……）名。〔運輸〕　漢語。うんしゆ（運輸）ノ百姓ヨミ。

++うんよう（全平）名。〔……用〕　ハタラカシ方用ヰルコト。妙妙奇談、「うんよう神化自得ナキニアラズ」。

え

え　五十音、阿行第四番ノ假名。此音ハ、又ハラノ辷ヲ出スニ伴ナフトキニハ轉ジテヨノヤウニ聞ユル。

△え（平）名。〔兄〕　あに（兄）ノ古言。―古事記、「我ガ兄えウカシ」―日本紀、「えヒメ、オトヒメ」。

△え（……）名。〔枝〕　草木ノ枝。―萬葉集、「岩代ノハママツガえヲヒキムスビ」。

△え（……）名。〔柄〕　草ノ名。苗モ葉モ花モ実モしそニヨク似タモノ。實カラ油ヲ取ル。―エゴマ。

△え（……）名。〔江〕　陸ノ一部分。―イリエ。―「ヲノノフルえ」。

△え（上）名。〔漢語えん（宴）ノ略〕　漢語。テンヤ。

え（……）名。〔蠻〕　漢語。えびす（夷）ノ略。

え（……）名。〔英〕　漢語。エイズルコト。―ヨムコト。―「歌ノえい果テテ」。

えい（……）名。〔榮〕　漢語。サカエ。―メイヨ。―ホマレ。―「コレヲ一身ノえいトス」。

えい（……）名。〔永〕　漢字音。えいせん（永銭）ノ略。

◎此えい及ビ前ノ榮、詠、ナドハ皆其本音ヲ行デアルモノノ、慣習カラ習クソノマヽヨ行ノ中ニ組ミ入レテ置ク。

えい（……）名。〔營〕　漢語。テンヤ。

えい（……）名。〔英〕　漢語。えいこく（英國）ノ略。―「えいニ行キ、佛ニイタル」。

○えい（……）名。〔裔〕　漢語。先祖カラノチノ代代。―チツヅキ。―コウエイ。―ノチ。―「インえいノ民ノコウえい」。

○えい（上）接頭。（……）〔前ノ語カラ轉ジテ〕「ヨクソレダケノ能力ガアッテ」「チカラガカナッタナドノ義ヲ示ス語。必ズ動詞ノ上ニツク。―「え参ルマジ」―「え見エズ」。

●え（平）副。　疑問ノ時ニ發スル聲。―「え、ドウダ？」―「行クカ、え？」

●え（上）副。　後悔ノ時ニ發スル聲。―「え、サウデス」。

えい（第一上）名。〔纓〕　漢語。カンムリノこじカラウシロノ方ヘ垂レル モノノ稱ヘ。始メハこじノ根ヲシメタ紐ノアマリヲ垂レタモノ。後世、別ニ薄ギヌデツクリ二筋ニスル。天子ノえいハ上ヲ向ク、コレヲ りふえいト云フ。群臣ノハ垂レル、コレヲすゐえいト云フ。武官ノハ内ヘ巻キコム、コレヲまきえい又ハけんえいト云フ。六位カラ下ノハ形ガホンクナル、コレヲはそえいト云フ。

えい（……）名。〔詠―咏〕　漢語。エイズルコト。―ヨムコト。―「歌ノえい果テテ」。

えい（……）名。〔榮〕　漢語。サカエ。―メイヨ。―ホマレ。―「コレヲ一身ノえいトス」。

えい（……）名。〔永〕　漢字音。えいせん（永銭）ノ略。

◎此えい及ビ前ノ榮、詠、ナドハ皆其本音ヲ行デアルモノノ、慣習カラ習クソノマヽヨ行ノ中ニ組ミ入レテ置ク。

えい（……）名。〔營〕　漢語。テンヤ。

えい（……）名。〔英〕　漢語。えいこく（英國）ノ略。―「えいニ行キ、佛ニイタル」。

○えい（……）名。〔裔〕　漢語。先祖カラノチノ代代。―チツヅキ。―コウエイ。―ノチ。―「インえいノ民ノコウえい」。

○えい（……）名。〔鋭〕　漢語。クモリ。―カスミ。―「霧ニ一脚ノえいモ無シ」。

○えい（……）名。〔鋭〕　漢語。スペラ、スルドクアル物事。―「えいヲ挫メテ堅キヲ砕ク」。

○えい（……）名。〔影〕　漢語。カゲ。

えい（……）感。〔曳〕　スベテカヲ入レルトキ、又ハ勢ヒ込ムトキニ出ス聲。―「えいトバカリニ圓石ヲ目ヨリモ高クサシアグタリ」。

えい・えい（……）副。〔……曳〕　前ノえいヲカサネタモノ。―「えいえいト聲カケテ」。

えいえい・ど（……）副。〔……度〕　前ノ副詞體。

++えいえい・ごえ（第五ニ）（第五上）名。〔……聲〕　エイエイトカケル聲。―カヲ入レタ聲。―「えいえいごえシテ石ヲヒク」。

++えい・か（第一上）名。〔詠歌―咏歌〕　（一）漢語。和歌ヲヨミックルコト。（二）ヨンダ歌。―ヨミウタ。

えい・かく（……、又全平）名。〔鋭角〕　英語、Acute Angle ノ譯。スルドイ角度ノ義。

漢字音。幾何學ノ語。零度ヨリ大キク、直角ヨリ少ナイ角。

えい・がく（第三カ）（全平）名。〔英學〕　漢字音。英國ノ語學。

えい・かん（第一上）名。〔敏感〕　漢語。天子ノ御心モチ。―天子ノオボシメシ。―「えいかん特ニナナメナラズ」。

えいかん・ぶし（全平）名。〔永閑節〕　じゃうるりノ一種。淨雲節カラ分レタモノ。淨雲節ノ淨雲ノ弟子ノ四天王ノ一人、源太夫ノ弟子ノ永閑ト云フ人カラ始マル。今日ハモハヤ殆ンド絶エタ。

えい・き（第一上）名。〔英氣―鋭氣〕　漢語。スルドイ氣シャウ。

えい・きう（全平）名。〔永久〕　漢字音。ナガガク久シイコト。―えいきうしまう（第四、五合）（全平、又第四、五上）名。〔永訣雖〕　漢字音。ハイキショウ。

えい・きょく（第四合）（第一上）名。〔盈虧〕　漢語。スベテカヲ入レルトキニ出ス聲。―「えいヲ挫メテ堅キヲ砕ク」。

えい・きょく（……）名。〔部曲〕　漢字音。イエイフ。

えい・きょく（……）名。〔影供―くハきよう〕　漢字音。神ホトケ又ハ古人ナドノ肖像ニ供物ヲササゲルコト。〔カゲニ備ヘル義〕

えい・くわ（第三、四合）（第五ニ）名。〔……華〕　ハナバナシクサカエルコト。―源平盛衰記、「一門えいくわヲ誇リ」。

えい・けつ（……）名。〔英傑〕　漢語。エイユウ。―スグレモノ。

えい・げふ（第三ニ）（……）名。〔營業〕　漢語。ナリハヒ。―スギハヒ。

○えい・げふ（……）（……）名。　グレタシワザ。

えい・こ（第一上）名。〔蘇枯〕　漢語。サカエルコトト衰ヘルコト。―セイスル非。―「えいこ是眼膿」。

○えい・こ（第三ニ）（……）名。〔……根。〔頴悟〕　漢語。

えい・ご（全平）名。〔永訣〕　漢語。ワカレ。

えい・けつ（……）名。〔英傑〕　漢語。エイユウ。―スグレモノ。

えい・げふ（第三ニ）（……）名。〔營業〕　漢語。ナリハヒ。

○えい・げふ（……）（……）名。　草ノ名。深山ニ生ヘル。一本ノ根ニ一本ノ莖、葉ハ綿ニ似タモノ。

えいざん・びる（……）名。〔……蒜〕　草ノ名。あらゝぎ（第一解義）ノ一名。

えいざん・ゆり（第三上）名。〔……百合―（天香百合）〕　草ノ名。ゆりノ一種。ヨク山ニ生ヘル。―レウリユリ。―ホウライジサトクテ能クサトルコト。―「ヲサナクシ

ユリ。

えいし（第一上）名。〔親兄〕 漢語。ミドリゴ。

えいじつ（全平）名。〔永日〕 漢語。ナガノ日。

えいじつ（…）名。〔穢實〕 漢語。雜種ノヒトツ。ばらノ實ノ稱ヘ。

○えいじゃく（第二四合）名。〔永錢〕 漢語。タットイ位。

○えいしゅん（…）…）名。〔英俊〕 漢語。スグレテアルコト（人ニイフ）。

えいしょ（…）…）名。〔營所〕 漢字音。ヂンヤドコロ。

えいしょ（…）…）名。〔英書〕 英國ノ文ヂ書イテアル書物。

++えいしん（全平）名。〔銳進〕 漢語。スルドク進ムコト。

えいじん（…）名。〔英人〕 漢語。いきりすノ國ノ人。

○えいず（…）他動、さ變。〔詠ー咏ず〕〔漢語。えい（詠）ノ動詞體〕 ウツル。ーバンシャスル。ー「花ノ影水ニえいず」。

●えいずル（…）他動、六。〔詠ー詠ずる〕 えいず（詠ー詠ノ近體。

●えいズル（…）自動、六。〔映ずる〕 えいす（映）ノ近體。

えいせい（…）根。〔睿聖〕 漢語。スグレテ賢明デアルコト（主尊ニイフ）。

えいせい（…）名。〔永世〕 漢語。ナガキヨ。ー「永世ノ約」。

えいせい（…）名。〔永年〕 漢字音。ナガキヨ。ー「永年ノ約」。

えいせい（…）名。〔永生〕 漢字音。ナガイキ。ー「永生ノ人」。

えいせい（…）名。〔營生〕 漢語。ナリハヒ。

えいそ（…）名。〔英祖〕 漢語。スグレタ祖先。

えいそ（…）名。〔英曾〕 漢語。スグレタ曾祖父。

えいそ（…）名。〔英物〕 漢語。スグレタ人物。

えいぶん（…）名。〔英文〕 漢字音。英國ノ語デ書イテアル文章。

えいぶん（第一上）名。〔歌聞〕 漢語。天子ノキコシメシ。ー「えいぶんニ達ス」。

えいぶんがく（第五カ）（第二上）名。〔英文學〕 漢字音。英國ノ文ヂンガク。

えいぼい（全平）根。〔英邁〕 漢語。スグレテ、スルドク、カシコイ性質デアルコト。ー「えいまいノ資」。

++えいみん（…）名。〔永眠〕 漢字音。死ヌコト。オモニ耶蘇宗デイフ。〔トコシナヘニ眠ル義〕

えいや（第一上）感。〔曳也〕 スベテカヲ入レル時ニ出スカケゴエ。ーエイヤット。ーエンヤラヤット。

◎えい（感）ヨリ意味ハッヨイ。

●えいやつと（第四通）（…）副。〔曳也と〕 カラウジテ。ーヤウヤウ。ーイッジャウケンメイデ。ーエンヤラヤット。ー「九、馬鹿ニ付ケル藥、諸道具ヲ買リ揃ヒ、百両えいやつと拵へ」。

えいゆう（全平）名。〔英雄〕 漢語。スベテ才智、能力ナドガスグレタ人。ーガウケツ。ーエイケツ。ー「秀吉トイヘル不世出ノえいゆう」。

えいよ（第一上）名。〔榮譽〕 漢語。ホマレ。ーハレガマシイメイヨ。

○えいよ（…）名。〔贏餘〕 漢語。アマリ。ーノコリ。

えいらい（第三ロ）（全平）名。〔永牢〕 漢字音。徳川氏ノ時ニアッタ刑罰ノ名。一生ノアヒダ牢ニ入レテ置クモノ。今ノしゅうしんちゅうえき ト同ジモノ。ーシュシンチャウエキ。ー無期トケイ。

えいらく（…）名。〔永樂〕 漢語。支那ノ明國ノ永樂年中ニ鑄タモノ。中古カラ多ク日本ニ來テ通用ノ錢ニナル。其一貫文ハ丁度銀一両ニ相當シタ所カラ武家デハえいせんト云フ語ヲ直チニ銀錢ヲ數ヘル名目トシタ。ーエイセン。

えいらくやき（…）名。〔…燒き〕 漢字音。やきものノ一種。文化ノ頃京都ノ陶器師善五郎了全ト云フモノガ明國ノ永樂年中ノ製作ニ係ルヤキモノヲ模擬シテ燒キハジメタモノ。

えいらん（第一上）名。〔叡覽〕 漢語。天子ノ御覽ナサレルコト。ーギョラン。ーシヤウラン。

えいり（…）名。〔榮利〕 ホマレト利益ト。ーエノリ。

えいりょ（第三、四合）（…）名。〔叡慮〕 天子ノオボシメシ。ーエイキン。ー「えいりょヲナヤマス」。

えいをうけ（第三上）名。〔英雄家〕 公卿ノ家ノ格ノトナヘ。せいくわ（清華）ノ一名。

えう（第一ヨ）（第一上）名。〔要〕 漢語。（一）カナメ。ーカンジン。（二）えうようノ略。ーヒツエウデアルコト。（三）〔誤ツテセンスペ。ーオモハク。ー何レソレニ對スル所置（馬琴ナドガ好ンデツカッタモノ）。ー「えうコソアレトウチウナヅキ」。

えう（…）（…）名。〔妖〕 （一）ワザハヒ。（二）アヤシイコト。（三）マモノ。ーバケモノ。

えう（…）（…）名。〔僥〕 漢語。ブヤク。

○えう（…）（…）名。〔徼〕 漢語。各各ノ日ニアタヘル名目。モト支那ノ說カラ出タ。日、月、火、水、木、金、土ノ七ツヲソレソレニえうト定メラ配當スルモノ。ち七えう參考。

▲えう（…）（…）名。 えうノ轉訛。

えう（…）根。〔幼〕 コト。ーえうニシテ

えうおん（…）（全平）名。〔要事〕 語學ニ云フ語。ちやスベラ子音ノ上ニ此音ヲ後ニシテ其ニツノ語ガ相合シテ發音スベキモノノトナヘ。ーガフ（合）。

えうがい（…）（第三ロ）（全平）名。〔妖怪〕 漢字音。〔咏方ニハうえう、即チカナメデ、敵ニハがい、即チヨクナイトノ義〕 （一）スベラ敵ヲ防グノニ屆竟ナ所。ー「箱根ノえうがい」。（二）轉ジテ「雄氷峠ノえうがい」。（三）轉ジテ「雄ノ子ノオボシメシ。ーエイキン。ー「えいりょヲナヤマス」。

えうき（…）（第一ヨ）（第一上）名。〔要害〕 （…）（第二ロ）（第二上）名。〔幼稚〕 （…）（第三ロ）（第三上）名。〔幼學〕 （…）（第四ロ）（第四上）名。〔要衝〕 （…）（第一ヨ）（第一上）名。〔要求〕 漢語。（一）カナメ。ーカンジン。（二）えうようノ略。ーヒツエウデアルコト。（三）〔誤ツテセンスペ。ーオモハク。ー何レソレニ對スル所置（馬琴ナドガ好ンデツカッタモノ）。ー「えうコソアレトウチウナヅキ」。（一）ワザハヒ。（二）アヤシイコト。（三）マモノ。ーバケモノ。

えう（…）名。〔僥〕 漢語。ブヤク。

○えう（…）名。〔徼〕 漢語。各各ノ日ニアタヘル名目。モト支那ノ說カラ出タ。日、月、火、水、木、金、土ノ七ツヲソレソレニえうト定メラ配當スルモノ。ち七えう參考。

▲えう（…）（…）名。 えうノ轉訛。

えう（…）根。〔幼〕 コト。ー「えうニシテ

えうおん（…）（全平）名。〔要事〕 漢語。ヨウジ。ー今昔物語「三四月バカリ過ギテえうじアリテ」。

えうがく（…）（第三、四合）（第一上）名。〔妖術〕 漢語。マハフ。ーマジュツ。

えうし（…）（第三、四合）（全平）名。〔要衝〕 漢語。カナメトスベキトコロ。ー「敵ヲ防グベキえうしようタリ」。

えうし（第一ヨ）（第二四合）（第一上）名。〔幼主〕 漢語。エウクン。

えうす（…）（…）自動、さ變。〔夭〕す 漢語。ツカジニスル。

えうす（…）（…）他動、さ變。〔要〕す 漢語。（一）カナラズイリヨウデアル。ーヒツエウデアル。（二）マチウケル。ーマチウケル。ー「御門ヲ遣ニえうす」。

○えうず（…）（…）他動、さ變。〔…〕 前ト同ジ語。

●えうスル（…）（第二上）自動、六。〔夭する〕 えうす（夭）ノ近體。

●えうスル (…)(第三十上)他動、六。(要する)
えうす(要)及ビえうず(要)ノ近體。
えうせう (…、第三ショ合)(第一上)根。(幼少)　漢語。ヲサナクアルコト。＝年ノユカヌコト。＝イトケナクアルコト。＝ヱウチ。―近松、曾根崎心中、「ワレえうせうニテ父母ニハナレ」。
えうち (第一ヨ)(…)根。(…稚)　漢語。えうせうトオナジ語。
えうぢよ (…、第三、四合)(…)名。(幼女)　漢語。コムスメ。＝セウヂヨ。
えうちゑん (…)(第三上)名。(幼稚園)　漢字音。小學校ノ下ノ學校。學齡以下ノ小兒ヲ入レルトコロ。
えうつう (…)(全平)名。(腰痛)　漢字音。腰ノイタミ。
えうてう (…、第三チョ合)(第一上)根。(窈窕)　漢語。ウルハシクタヲヤカデアルコト。―「えうてうタル淑女」。
えうどう (…)(全平)名。(幼童)　漢語。ワラベ。＝コドモ。
○えうどう (…)(…)名。(妖童)　漢語。ウツクシイ童兒。＝ビセウネン。
えうねん (…)(…)名。(幼年)　漢語。ヲサナイ年齡。―「牛若えうねんノコロ」。
‡えうはい (…)(…)名。(遙拜)　漢語。ハルカニハナレヲガムコト(位牌、墓所、先祖ノヤシロナドニ云フ)。
えうはいじよ (…、第五、六合)(第五、六上)名。(…所)　エウハイスル所。―「神武天皇ノえうはいじよ」。
えうま (…)(第一上)名。(妖魔)　エウクワイ。＝ヘンゲ。
えうみやう (…、第四ヨ、第三、四合)(…)名。(幼名)〔漢語。えうめい、みやうハめいノ呉音〕。ヲサナイ時ノ名。＝チヨナ。
えうむ (第一ヨ)(…)名。(要務)　漢語。カンジンナツトメ。
えうよ (…)(…)名。(腰輿)　漢語。たごしト同ジモノ。
えうよう (…)(全平)名。(要用)　漢語。(一)ゼヒイツヨウデアルコト。＝ヒツヨウ。＝タウヨウ。＝エウ。(二)オモオモシイ用事。
えうりやう (…、第四ヨ、第三、四合)(…)名。(要領)〔りやうハれいノ呉音〕。えうれいト同ジ語。
えうりやく (…、第三、四合)(第一上)名。(…略)　漢語。カンジンナ所ダケ取ツテアトハ略スコト、マタ、ソウシタモノ(書物ナドニイフ)。―「日本地誌えうりやく」。
えうれい (…)(全平)名。(…領)〔えうハ腰、れいハえり(領)ノ義〕。漢語。カンジンナ所。＝其主意ノ中ノ最モオモナ所。＝ガンモク。＝シユガン。＝エウリヤウ。―「えうれいヲツマム」。
えうろ (…)(第一上)名。(要路)　漢語。(一)カンジンナミチスヂ。(二)〔轉ジテ〕專ラ政治ナドノカナメトナルベキ地位。―「えうろノ顯官」。
ええ (…)感。(一)スベテオドロキ、カナシミ、ナゲキナドノ時ニ發スル感歎詞。―「ええ! 氣味ガワルイ」。(二)●〔轉ジテ〕人ノコトバニ應ジテイフ聲。ヨバレタ時ツツシク答ヘル聲。＝ハイ。＝アイ。＝アア。＝エ。
◎此第二解義ノええハ敬禮ノ心ヲ持ツ。ああ又ハあいハ少シ尊大ニカマヘル時ニ用ヰル。目上カラ呼バレテ答ヘルノハはいデナケレバええ或ハへえ。目下カラ呼バレテ答ヘルノハああデナケレバあい、或ハうん、或ハおお。
‡え・えう (第二ヨ)(第二上、又、第一上)名。(榮耀)　(一)漢語。えいぐわト同ジモノ。(二)オゴリ。＝ゼイタク。―近松、博多小女郎浪枕、「木綿布團モええうノ至リ、アラゴモヒイテ起キ臥シツ身ハナラバシヨ、奈良茶粥」。
◎ええうニ餅ノカハ。＝(ゼイタクガ過ギルコトノタトヘニ云フ語。諺ニオゴリハええうスギテ餅ノカハヲムクト云フ所カラ起ル。餅ハ其ママデモタベラレルモノノゼイタクカラシテ其皮ヲムイテタベルトノ義)。
ええる (全平、又、第一上)名。(英語、Aleノ訛)　西洋ノ飲ミモノノ名。麥ヲ水ニツケテ芽ヲ出サセ、後カワカシタモノニからはなさうヲ加ヘテ釀シタモノ。びいるノ類。
△え・が (第二ガ)(第一上)名。(垣下)　えんが(垣下)ノ略。―源氏、「北ムキニムカヘテえがノミコタチ、カンダチメノ御座アリ」。
▲えが (…)(第三上)名。　いが(毬栗)ノ轉訛。
え・かうろ (第二コ)(…)名。(柄香爐)　トツ手ノツイタカウロ。
△え・がち (第二ガ)(第三上)根。(得勝ち)　ココロニ顏デアルコト。＝シツタカブリデアルコト。＝承知シタ體デアルコト。―枕ノ草紙、「ナンデウゴトナキ人ノスズロニえがちニテ」。
え・が・ばら (…)(第二上)名。(え(疫)が(之)ばら(腹)ノ義カトイフ)　小兒ノ病氣。腹ノイタムモノ。―和名抄、「痞、衣賀波良」。
えき (全平)名。(益)　漢語。タメニナルコト。＝リエキ。＝リヤク。＝リトク。＝マウケ。＝トク。＝マシ。

えき (…)名。(易)　漢語。ウラナヒノ一法。算木ト筮竹トデスルモノ。
えき (第一上)名。(液)　漢語。シル。＝ツユ。主ニ腐敗、或ハ醱酵ナド、化學作用ニヨツテ出來ルモノニイフ。
えき (…)名。(驛)　漢語。ウマヤ。＝シユクバ。＝シユク。＝ヒツギ。＝エキテイ。
○えき (…)名。(疫)　漢語。病氣ノ名。ヤクビヤウ。＝エヤミ。＝エ。
えきちやう (第四ヨ、第三、四合)(全平)名。(驛長)　(一)漢字音。鐵道ノステエシヨンノ長。(二)漢語。シユクバデ頭ダツタ人。―菅家、「驛長勿驚時盛衰」。
えきてい (…)名。(驛遞)　漢語。(一)シユクツギ。＝ウマツギ。(二)運送、通信ノスベテノ事務。―「えきていノ局」。
えきていきよく (第五、六合)(第三上)名。(驛遞局)　明治以後出來テ、ヤガテ癈サレタツカサノ名。イウビン、信書ヲ通ズルモノ。近頃ハソノ事務一切ていしんしやうノ管理トナル。
▲えきれ (全平)名。　いきれノ轉訛。＝蒸レ。
▲え・きれ (…)名。(軛切れ)　京坂ノ方言。あかえひノキリミ。
えきれい (…、又、第三上)名。(驛鈴)　漢語。驛路ニアル鈴。宿場ノ馬ヲ出スタメニ公ケノシルシトシタタマハル鈴。
○えきれい (全平)名。(疫癘)　漢語。ヤクビヤウ。＝エヤミ。＝エキ(疫)。＝エ。
えきろ (第一上)名。(驛路)　漢語。ウマヤヂ。＝エキ(驛)。―八犬傳、「後ハえきろニナリヌベキ鈴ガ森ベヲ打チ越エテ」。
△え・こ (…)名。(兄子)〔え(兄)こ(子)ノ義〕。ちやうなんノ古言。
えこ (第一上)名。(依怙)　漢語。カタヨリノシタシミ。＝ヘンバノヒイキ。＝自分ノ愛スル方ヘノミヒイキスルコト。＝カタヒイキ。＝ヘンパ。
えこぢ (全平)根。(…地)〔マヘノ語カラ轉ジテ〕。ガウジヤウ。＝カタイヂ。＝イコヂ。
えこひいき (第一上)名。(…贔負)　前ト同ジ語。
え・ごま (第二ゴ)(全平)名。(荏胡麻)〔ごま(胡麻)ニ似タ所カラ云フ〕。え(荏)ノ實ノトナヘ。
△え・ざけ (第一上)名。(江鮭)　魚ノ名。あめのうをノ古言ノ一ツ。
●えずい (第二上)形。　モノガ眼ノ中ニハイツタトキナドノ感ジヲアラハス語。
●えず・さ (…)名。　エズクアル度アヒ。
○えせ (全平)接頭。(似非)〔えし(荒)ノ義〕　スベテ、ソノ姿ヲシテサウデナイ義ヲアラハス語。＝似テ非ナル。―無名抄、「えせウタヨミノ秀句ニハ」。―今昔物語、「えせモノニコソ候フメレ」。
▲えせび (…)名。　周防ノ方言。木ノ名。あせみノ一名。
えそ (…)名。(䲁)　魚ノ名。こちニ似テ鼠色ニ黃ガカツタ色ヲ呈シ、頭ノ形チハまむしニ似、鱗カタク、鰭ミジカク、鱗ノ下ニ碧色ノスヂガ二三本アリ、大キサハ一尺半グラヰヲ限リトシ、好ンデ死人ノ肉ヲクラフ。燒キ、マタ蒲ボコトシテ食ベル。味ハヤヤ腥ク、形チノ醜イタメ、アマリ賞美サレズ、タダ大和、豐後アタリデハ珍重スルトイフ。或ヒハゑぞ。
えぞ (第一上)名。(蝦夷)〔古言えみじノ轉〕　(一)北國ノ一種ノ人種ノ名。上古ハ關東カラ奧羽ニ、今ノ北海道アタリマデノ處ニ居、キハメテ暴カツタモノ。今ハダンダン少ナクナリ、北海道ニスコシ居ル。身ニ毛ガ多ク生ヘ、文字ガナク、一般ノ生計風俗スベテ野蠻ノ有リ樣ヲオビタモノ。＝エミシ。＝アイノ。＝アイノジン。(二)〔轉ジテ〕あいの人ノ井ル國。―「ミチノクノイハデシノブハえぞシラヌ、書キツクシテヨ壺ノ石ブミ」。
えぞいちげさう (第五ゲ、第六ソ)(…)名。(…一夏草)　草ノ名。いちりんさう(第一解義)ノ一種。北海道ノ產。
えぞいちご (第五ゴ)(第三上)名。(…苺)　草ノ名。いちごノ一種。北海道ノ產。
えぞうはみぞざくら (第四ワ)(第七上)名。　木ノ名。いぬざくらノ一種。北海道ノ產。
えぞぎく (第三ギ)(第二上)名。(蝦夷菊)　草ノ名。實カラ生ヘル。葉ハよめなニ似テ稍大キクテ光リガ有リ、夏ノ末頃カラ花ガ咲ク。花ハ菊ニ似、心ニ筒ノヤウナ細カイ瓣ガ多クムラガル。花ノ色ハ紫、白、マタハ赤。＝エドギク。＝アヅマギク。＝サツマギク。
えぞきけまん (第四上)名。(…黃菫)　草ノ名。けしノタグヒ。きけまんノ一種。
えぞきつねあざみ (第六上)名。(…狐薊)　草ノ名。菊ノ屬。きつねあざみノ一種。北海道ニ產スルモノ。
えぞしやくなげ (第三、四合、第七ゲ)(第六上)名。(…石楠花)　灌木ノ名。しやくなげノ一種。北海道ニ產スルモノ。＝イソツツジ。
えぞすぐり (第四グ)(第三上)名。　草ノ名。ゆきのしたノ屬。すぐりノ一種。北海道ノ產。
えぞすずらん (第四上)名。(蝦夷鈴蘭)

草ノ名。もんノ屬。すずらんノ一種。北海道ノ產。

えぞすみれ（第三上）名。（……草—胡薑菜）

えぞすみれ（第三上）名。（……草—胡薑菜）草ノ名。すみれノ一種。葉ハ五ツニワレ夏過ギテ後二ハヘトナル。春すみれノヤウナ大キナ花ガ咲ク。—エイザンスミレ。

えぞたちつぼすみれ（第七上）名。（……館薑菜）草ノ名。すみれノ屬。たちつぼすみれノ一種。北海道ノ產。

えぞつつじ（第四上）名。（……躑躅）しゃくなげノ屬。つつじノ一種。北海道ノ產。

えぞにしき（第三上）名。（……錦）支那產ノ一種ノにしきノ名。滿州カラ樺太ヘワタリ、更ニ蝦夷ヲ經テ日本ニ渡來シタ處カラ此名ガ付ク。模樣ハ多ク紺地ニ玉トリ龍ヲ織リ出シタモノデ、ソノ龍ノ爪ガ五ツアルノガ最上ノ品デ、ソノ數ノ少ナイノガ下品デアルトイフ。

えぞねぎ（第四キ）（第三上）名。（……葱）草ノ名。ゆりノ屬。ねぎノ一種。北海道ノ產。

えぞ・ふうろ（……）名。（……風露）草ノ名。ふうろさうノ一種。北海道ノ產。

えぞまつ（第二上）名。（……松）木ノ名。まつノ一種。多ク蝦夷ニアル。葉ハ長ク材ハひのきニヨク似タモノ。北海道ノ產。

えぞ・みろはき（第六キ）（第四上）名。（……薄荷）草ノ名。みそはぎノ一種。北海道ノ產。

えだ（全平）名。（枝）スベテ、草木ノ幹ニ出タ芽ガ伸ビテ大キクナツタモノ。—和名抄「枝、和名衣太」。（二）△（轉ジテ）體カラ出タ手又ハ足ノ一名。—和名抄「肢、和名衣太」。（三）又、戸ノさる（樞）ノ異名。「語原ハ第二解義ノトオナジ類」

●えてかつて（第四通）（全平）根「得手勝手」我ガ思フママニ任セタ事ヲスルコト。—「えてかつてナウマレッキ」。

▲えてもの（第四上）名。（……物）（一）最モ得意デアルモノ。—眞顏、鳩八幡、豆ト德利ノヨウナモノ。（二）又、さる猿ノ異名。さるハさる（去）ト發音ガ同ジデアル所カラ、する（摺）ヲ忌ンダル上云ヒナスタグヒデ、呼ビカヘテ又ハ足ノ一名。—和名抄「肢、和名衣太」。（三）又、戸ノさる（樞）ノ異名。「語原ハ第二解義ノトオナジ類」

●えてる（第一上）自動、二。（得手る）得意デアル。—熟シテ非ル。—ジユクレンシテ非ル。—「縮ニえてテ非ル」。

えと（全平）名。（干支）（一）えと（兄）と（弟）ノ義」暦ニ用ヰル語。木、火、土、金、水ノ五行ヲオノオノえトとトニツヅツニ分ケテ呼ブトナヘ、木ノえ（甲）、木ノと（乙）、火ノえ（丙）、火ノと（丁）、土ノえ（戊）、土ノと（己）、かノえ（庚）かノと（辛）、水ノえ（壬）、水ノと（癸）コレヲ十干ト云フ。コレニ對シテ別ニ十二支ト云フノガアリ、即チね（子）、うし（丑）、とら（寅）、う（卯）、たつ（辰）、み（巳）、うま（午）、ひつじ（未）、さる（申）、とり（酉）、いぬ（戌）、ゐ（亥）。コノ十干ト十二支トヲ順順ニ配合シ、第一ヲ甲子（きのえね）ノ子（ね）支トシ第二ヲ乙丑（きのとうし）ノ丑（うし）支トスル類、カウシテ循環スル中ニ六十ガケノ違ッタ配合ガ出來ル、コレヲ曆法ノ上カラ年ニモ、月ニモ、日ニモアテル。又、此十二支ヲソノマヽ方角ニモッカフ。北ヲ子トシ、東ヲ卯トシ、南ヲ午、西ヲ酉、東北ノ間ヲ丑寅、東南ヲ辰巳、南西ヲ未申、西北ヲ戌亥トシテ殊ニムカシ（近頃マデ）言ヒナラハシタモノ。

「河ノえだ」ト「家ノえだ」。

△えだ（第三上）名。（第四ウ、第五キ）（第三上）名。（……扇）（一）ツヅタめふまノ名。枕ノ草紙「ソノえだあふぎハ檜ガセバトナル。春すみれノヤウナ大キナ花ガ咲ク。—エイザンスミレ。

えだあふぎ（第三カ）（全平）名。（……柿）（一）普通ノ往還カラ別ニワカレタ道。—ギロ。（二）（轉ジテ）スベテ、モトヲハナレタ物事。—「論がえだみちニ入ル」。

●えだり・かしこし（第二「及、第六上）前。得たり良し）ワガノゾムコトガ折ヨク出テ來タ時ナド、ソレヲ喜ンデムカヘル場合ヒニイフ語。—アイタクチボタモチ。

●えたりかしこし（……）副。（……と）前ノ副詞體。

○えだる（第一上）名。（柄樽）柄ノ付イタサカダル。多クハ朱塗リナドデ、酒ヲ人ニ贈ルトキナド用ヰル。—ソノダル。

△えつき（全平）名。（役貫）ウンジャウノモノ。—租稅トシテ政府ヘ來ツルモノ。

えつづみ（第二上）名。（兄敲）おはつづみト同ジモノ。（おとつづみノ對）。

えつり（第三上）名。（一）カヤブキノ家ナドデ今モ用ヰルモノ。屋根ノ上ニ細イ竹ヲ並ベテ繩デシメ、其、マタハ板ヲ受ケルヌメニスルモノ。—日本紀、應神（訓、哀都利）」ト和名抄、「棧瓦乃衣都利」。（二）「轉ジテ」鹽ノ下地ニスルこまひ。

えて（第二上）根。（得手）最モ上手ニヤリウベキモノ。—ダイ。—「諸藝ノ中ニモコトニ書ヲえてトス」。

●えて（第一上。又、全平）副。（得て）トモスレバ—多クハ。—「えて有ル」—「えて忘レタガル」。

又、此十二支ヲ昔ハ鐘刻ノ時ニモ割リフリ、時ヲ十二ニ分ケ、其オノオノヘツヅツ宛ヲル。即チ今ノ夜半ノ十二時ハ子ノ時、オナジク二時ガ丑ノ時、同ジク四時ガ寅、朝ノ六時ガ卯、オナジク八時ガ辰、同ジク四時ガ巳、晝ノ十二時ガ午、午後ノ二時ガ未、同ジク四時ガ申、同ジク六時ガ酉、同ジク八時ガ戌、同ジク十時ガ亥。

▲えぞあさ（第二上）名。（……大角豆）名。南部ノ方言。つめれんげノ雄ノ一名。

えぞう（第五ケ）（……）名。（……大角豆）草ノ名。つめれんげノ一種。

えぞうさぎ（第四上）名。（……兎）名。いんげんまめノ一名。

えぞ・うま（第四上）名。（……蚕砂）江戸ノ方言。豆ノ名。いんげんまめノ一名。

えぞおしろい（第五ク）（第五、六合）（第三ヲ甲子）ノ子（ね）支トシ第二ヲ乙丑（きのとうし）ノ丑（うし）支トスル類、カウシテ循環スル中ニ六十ガケノ違ッタ配合ガ出來ル、コレヲ曆法ノ上カラ年ニモ、月ニモ、日ニモアテル。又、此十二支ヲソノマヽ方角ニモッカフ。北ヲ子トシ、東ヲ卯トシ、南ヲ午、西ヲ酉、東北ノ間ヲ丑寅、東南ヲ辰巳、南西ヲ未申、西北ヲ戌亥トシテ殊ニムカシ（近頃マデ）言ヒナラハシタモノ。

▲えぞおしろい（第五ケ）（全平）名。（……蜘）（一）名。（……豆）豆ノ名。大豆ノ方言。いんげんまめノ一名。

えぞ・ぶし（……）名。（……節）俗曲ノ一種。おはぎつまぶしカラ分カレテ出來タモノ。創作者ハ江戸半太夫、始メハ說經、サンモン拂ノ名人デアッタモノガ長門太夫ノ弟子ノ肥前ニ見立テラレテ修業ヲ勤メラレ、入門シ、遂ニ一流ヲカタリ出シタトイフ。—ハンダイフブシ。—鶴川春町、柄無益委記、「えぞぶしモマダマダヒクシト高クトマッテ神樂、サイバラヲ謠フ」。

えぞ・ふろう（第四ロ）（第三上）名。豆ノ名。いんげんまめノ一名。

▲えぞまめ（全平）名。（江戸豆）豆ノ名。大坂ノ方言。いんげんまめノ一名。

えぞ・むらさき（第四上）根。（……紫）江戸デ染メル紫ノ染メ色。武藏野デ有名ナむらさきノ草デ染メルト云フコトノ名。

えぞ・もも（第四上）名。（……桃）草ノ名。さきわけももノ一名。

▲えぞ・ゑ（全平）名。（……繪）にしきゑノ一名。江戸以外ノ地方デ云フ語。うきよゑ參考。

えな（第一上）名。（胞衣）胎兒ヲ包ンデアル膜。—日本紀、胞（訓、エナ）」。

えなをけ（第三上）名。（……桶）中背ノ頃一種ノ禮トシテ、子ガ生マレハ其えなヲ入レテ土中ニウヅメルトキニ用ヰタ器ノ名。マゲモノデ作リ、高サハ大凡八寸バカリ、廣サ七寸バカリ、外面ヲ胡粉デ塗リ、祝ッテ松竹鶴龜ナドヲ雲母デカク。—オシヲケ。

△えにし（第一上）名。（緣）（漢語、えん（緣）ノ音ノ轉）ニカリ。—エン（緣）。—後拾遺集、「水鳥ノ」カナキアトノ年ヲヘテ通フハ市中カラ退去サセルコト。今ノ保安條例

カリノえにコソアリケレ。

えぼし（第一上）名。〔……〕　前ノ語ニ同ジモノ。「しハ濁ル事ヲ示ス字」（新勅撰集「八ゴコロ水ノ澁ラシシテえにしアルハ澁ノ河も色カハリケリ」。

えにしだ（金平）名。〔金雀枝〕　（一）灌木ノ名。枝細ク、葉丸クテ長ク、色ハ極メテ綠ニ、春ノ末黄色ノ花ガ咲ク。花ハみやこばなニ似テ、大キサハ小サイモノ。（二）▲マメ、草ノ名。播磨ノ方言。

△えぬ（第二上）名。　いぬ（犬）ノ古言。

えの・あぶら（第三上）名。〔荏の油〕　えごまカラ取ッタ油。桐油ナドニッカフ。

えの・き（金平）名。〔榎の木＝（朴）〕　木ノ名。三四丈ノ高サニ育ツ。葉ハ楕圓ニテ、ツキガトガリ、ハジニ鋸齒ガアッテ互生スル。夏ノ初メ薄モエギノ花ガ咲キ、秋一種ノアマイ實ガナル。＝エノ實。

えの・きぐさ（第四グ）（第三上）名。〔……草〕　草ノ名。あみがさぐさノ一名。

えの・きぐさ（第四ソ）（金平）名。〔……〕　草ノ名。あみがさぐさノ一名。

えのき・だけ（第三上）名。〔……茸〕　きのこノ名。あめすすきノ一名。

えのこ（第三ゴ）（金平）名。〔痙〕　病氣ノ名。脇ノ下、股ノツケネナド、局所ガ腫ミヲ持タズニ痛ンデ脈レルモノ。＝イヌゴ。

△えのころ（第四上）名。〔狗尾〕　いぬころノ轉訛。淺井了意、東海道名所記「えのころノブルヤウニ」。

えのころ・ぐさ（第五グ）〔……〕名。（狗尾草）

草ノ名。きびノタグヒ。

えのころ・なげ（第六グ）〔……名。〔……投げ〕　柔術ナドニ云フ語。子供ナドガイヌコロ

▲えび・いし（金平）名。〔海老石〕　日向ノ方言。いせえびノ化石。

えび・いばら（第三上）名。〔……茨〕　草ノ名。

えび・いろ（金平）根。〔……色〕　赤ミノカカッタ栗色。

△えび・かう　〔蕙香〕　漢字音。昔用井タ香ノ名。實物ハ詳カデナイ。＝エビ（衣被）。

△えび・かづら（第三上）名。〔蝦葛〕〔此類ノ草ニハ一種ノ蘡ニ似タヤウナモノガアッテ蝦ニ似タ故ノ名カト云フ說ガアル〕　（一）ぶだうノ古言。（二）えびづるノ古言。（三）サルトリイバラノ一名。―源氏、「えびかづらシテツクロヒタマフベキ」。

えびかづら・いちご（第八コ）（第六上）名。草ノ名。うらじろいちごノ一名。

えび・がに（第三カ）（第二上）名。〔蝦蟹〕　蟹ノ名。さうがにノ一名。

▲えび・がね（……）（第四上）名。〔がねハかに（蟹）ノ轉〕　薩摩ノ方言。いせえびノ一名。

えび・がら・いちご（……）（第七コ）（第五上）名。〔蝦殼苺〕　草ノ名。さるいちごノ一名。

えび・がら・しだ（……）（第五上）名。〔……羊齒〕　草ノ名。しだノ屬。うらじろノ一種。

えび・ぐさ（第三グ）（金平）名。〔……草〕　草ノ名。いぶきとらのをノ一名。

えび・ごし（第三コ）（……）名。〔……腰〕　えびノヤウニ曲ッタ腰。―「えびごしノ老人」。

えび・ざこ（第三上）名。〔……雜魚〕　小サナ蝦ノ中ニ小サナ魚ノ混ッタ、ソレラ殘ラズノトナヘ。＝エビジャコ。

▲えび・じやこ　〔……〕　前ト同ジモノ。

えびす　（金平）名。〔夷＝狄＝戎＝蠻〕　ニ（一）ミ・シ。―日本紀「蝦夷（訓）エビス」。（二）スベテ、都カラ離レタヘンビナ所ノ民。―源平盛衰記「遠國ノえびすトイヘドモナサケヲ知ル」。（三）轉ジテ「スベテ外國ノ人。―唐物語「えびすノ王ナリケルモノ參リテ申サク」。

えびす（……）名。〔當テ字シテ、惠比須ニ〕〔伊弉册ノ尊ト伊弉諾ノ尊トノアヒダノ御子ノ第三番目ノ神。生マレテ足腰ガ立タズ、憎マレテ海外ニ放タレタ神〕　後世攝津ノ國西ノ宮ノひるこノ神ノトナヘ。形ハカサヲリ烏帽子ニ、カリギヌト指シヌキトヲ着ケ、鯛ヲッリアゲタ體デ、ニコヤカナ顏色ヲシタモノ。福ノ神ノヒトツトシテ大黒ニ對シ、今ハ商家ナドデ祭ル。＝エベス。

えびすがく（第四グ）〔……〕名。〔……草〕　草ノ名。かはらけつめいノ一種。苗ノ高サハ二三尺、葉ハそらまめニ似テ薄クテ小サク、夏カラ秋ニカケテ葉ノ間ニ花ガ咲ク。花ハ筒ノ形チヲシタ瓣デ五ツニ分カレテ梅花ニ似、色ハ濃イ黃色デ後ニ花ガシボンデ莢トナリ、實ハ一方ガ尖リ、ハスカケニソイタヤウナモノ。＝ケツメイ。

（二）△又、草ノ名。われもかうノ古名。

△えびすぐすり　（……）（第四上）名。〔……藥〕　草ノ名。しやくやくノ古言。

えびすぐさ　（第四グ）（……）名。〔……草〕　（一）草ノ名。かはらけつめいノ一種。苗ノ高サハ二三尺、葉ハそらまめニ似テ薄クテ小サク、夏カラ秋ニカケテ葉ノ間ニ花ガ咲ク。花ハ筒ノ形チヲシタ瓣デ五ツニ分カレテ梅花ニ似、色ハ濃イ黃色デ後ニ花ガシボンデ莢トナリ、實ハ一方ガ尖リ、ハスカケニソイタヤウナモノ。＝ケツメイ。

（二）△又、草ノ名。われもかうノ古名。

△えびすぐすり　（……）（第四上）名。〔……藥〕　草ノ名。しやくやくノ古言。

えびすごころ　（第四コ）（第五上）名。〔夷心〕　○えびすぐさ　猛惡ナ心。＝エビスノヤウナ心。

えびすがき　（……）名。〔……牡蠣〕　（一）えびかづらノ略。

えびす（第二上）名。　かさ（笠）ト同ジモノ。

えびす・がし　（……）名。〔……雜魚〕　小サナ魚ノ混ッタ、ソレラ殘ラズノトナヘ。＝エビジャコ。

えびす・がみ　（第三ゴ）（第二上）名。〔……講〕　陰曆十月二十日ノ商家ノ祭リ。

えびす・がり　（……）名。〔……舁き〕　ムカシ、大ノ方言。

えびす・ぎこ　（第三上）名。〔……紙〕　惠比須ノ神ト云フ所カラ轉ジテ、檄チアマハ福ノ神ト云フ所ニ付ケタモノ」。　紙ヲ截ッ時ナド折レコンダノヲ其ママ斷チノコシテ紙ノスミニ餘分ナモノガ附屬シテ非ルモノ。＝フクガミ。

えびす・ぐさ　（第四カ）（……）名。〔……草〕　草ノ名。われもかうノ古名ノ一ッ。

えびす・ぶな　（第四上）名。〔夷樹〕　魚ノ名。鯛ノ一種。頭ハ至ッテ小サク、肩ニ節ノヤウナモノガアル。

△えびす・まつり　（……）名。〔惠比須祭り〕　えびすかうト同ジモノ。

▲えびす・むし　（第三上）名。〔……蟲〕　蟲ノ名。大和ノ方言。いさごむしノ一種。

△えびすめ　（金平）名。〔夷布〕〔えびす（蝦夷）め

(邪)ノ義」 こぶノ古言。北海ニアル處カライフ。

△えび・ぞめ（全平）根。〔海老染め〕（一）染メ色ノ一ツ。薄紫イロ。＝ブダウイロ。―枕ノ草紙、「えびぞめナドノサイデニオシヘサレテ」。―衣服令、「蒲萄(訓、エビゾメ)」。

△えび・ぞめ（…）名。〔葡萄染め〕（一）ムカシノ織リ物ノ一種。タテ、又ハ表ガ赤、横、又ハ裏ガ紫。（二）又カサネノ色目ノ名。表ガスハウ、裏ガハナダノモノ。

▲えび・ぞろ（…）名「えびづるノ轉訛」草ノ名。えびかづらト同ジモノ。

えび・ちや（(第三、四合))(…)根。〔海老茶〕茶ノカカツタ海老色。

えび・ぢやう（(第四ヨ、第三、四合))(…)名。〔…錠〕（一）魚ノ形ニ拵ヘタ錠ノ名。（二）［轉ジテ］後世大キナ門ノクワンヌキナドニ付ケル錠ノ一ツ。

えび・づる（…）名。〔蘡薁〕蔓草ノ名。山ニ生ヘル。春フルヂカラ生ヘ、葉ハぶだうニ似テ厚ク、葉ウラニ白イ毛、或ヒハ茶色ノ毛ガアル。夏、葉ノ間カラ穗ヲ出シテ圓イ實ガナリ、ソノ實ハ熟シテ黑ク、味ヒハ酸イ物。＝エビカヅラ。＝エビ。

えびづる・の・むし（…）名。〔…の蟲〕えびづる(蘡薁)ノ木ノ中ニデキル蟲、子供ノ癇ノクスリニナルト云フ。

えび・ね（…）名。〔海老根〕草ノ名。蘭ノ屬。葉ノ形ハしらんに似テ廣ク短ク、夏ノ初メニ同ジクしらんノヤウナ花ガ咲ク。花ノ色ハ茶色又ハ薄タマゴ色。根ニ節ガ多クテ丁度えび(海老)ノ脊ニ似タ故ノ名。

▲えび・の・うま（第三上）名。〔…の馬〕蟲ノ名。日向ノ方言。みづすましノ一名。

▲えび・の・き（第一上）名。山城ノ方言。木ノ名。ねぶのきノ轉訛。

▲えび・の・こ（…、又、全平）名。〔海老の子〕近江ノ方言。水中ノ小サナ蟲ノトナヘ。

▲えび・の・す（全平）名。〔…の巣〕紀伊ノ方言。藻ノ名。ふさもノ一名。

▲えび・の・をば（…）名。〔…の叔母〕紀伊ノ方言。えびノ一種。びしやもんえびノ一名。

えび・むし（…）名。〔…蟲〕蟲ノ名。やまめノ一名。

△え・ひめ（第一上）名。〔兄姬＝長女〕え(兄)ひめ(姫)の義」第一ノムスメ。＝總領ムスメ。

えび・も（全平）名。〔海老藻〕海草ノ名。ひるむしろノ屬。

えびら（…）名。〔箙〕矢ヲ入レテ脊ニ負フタメノ道具。＝ヤナグヒ。（二）又蠶ヲ入レテ繭ヲ作ラセル道具。―和名抄、「蠶簿、和名衣比良」。

えびら・しだ（第四上）名。〔…羊齒〕草ノ名。しだノ屬。

えびら・はぎ（(第五ギ))(第三上)名。〔…萩〕草ノ名。はぎノ一種。＝シナガハハギ。

えびら・ふぢ（…）名。〔…藤〕草ノ名。はぎノ一種。

えび・を（第三上）名。〔海老尾〕（一）魚ノ名。きんぎよノ一種。尾ガえび(蝦)ニ似テヒロガッタモノ。（二）三味線ノ名ドコロ。かいらうびノ一名。

えふ（(第一ヨ、第二ウ))(全平)名。〔葉〕漢語。（一）スベテ紙ナド薄イ類ノモノヲ數ヘル語。＝マイ(枚)。―「六えふ」。―「八えふ」。（二）又、車ノやノ數ヲカゾヘル語。―庭訓往來、「八えふノオンクルマ」。

△え・ぶ（第一上）名。〔服舞〕〔漢語。えんぶ(服舞)ノ略」舞樂ノ始メニ奏スル舞ヒノ一ツ。三度鉾ヲフリ、是ガタメニ邪鬼ヲ降服サセ、禍ヒヲ消スト云フ。※えんぶ參考。

▲え・ぶな（…）名。〔江鮒〕魚ノ名。京坂ノ方言。すばしりノ一名。

△えぶ・の・み（…）名。凡夫ノ身。

え・ぶり（第三上）名。〔柄振り〕（一）さすまたノ一名。（二）テヲナノ柄。（三）土ヲコハシ或ハ物ノ實ナドヲカキ集メル道具。柄ガ長ク、アタマニ横板ヲツケタモノ。

えぶりこ（…）名。菌ノ名。からまつニ生ヘル。きくらげノヤウナモノ。厚サハ五六寸、質ハ固ク白クタマゴ色デ、一種ノ光澤ガアル。味ヒハ甚ダニガク、用井テ腹痛、癪痛ナドニ効クトイフ。北海道ノ産。

●え・へん（第二上）感。〔旦日〕咳ヲセク聲ヲ形容スル語。―近松、博多小女郎浪枕、「心クルクル咳キタグル胸ヲオサヘテえへんえへん」。

●えへん・と（…）副。〔…と〕前ノ副詞體。

え・ぼうし（第一上）名。〔烏帽子〕えぼしノ延。

えぼうし・かけ（第四上）名。〔…懸け〕烏帽子ヲ取ッテ懸ケベキモノ。

え・ぼ・し（第一上）名。〔烏帽子〕〔守ノママノ音うばうしノ轉〕かんむりノ一種。純粹ニ日本ノ創作ニカカル。冠又ハ袍デナイ時ニ貴人ガ用井ル帽子。準ジテ身柄ノワルイ人ハ常ニ是ヲ禮服ノ時ニ用井タモノ。古代ハ黑イ絹デックリ、後世ハ揉ンダ紙デ作リ、漆デ塗リカタメル。種類ハ色色アリ、何レモ位ニ因ッテ形チト塗リト多少チガフ。タテエボシ、ヲリエボシ、ホンエボシ、ヒキタテエボシ、ヒッタテエボシ、カザヲリエボシ、ヤナギサビ、モミエボシ、イヅレモ皆コノ類。ソレゾレノ條デ解ク。

えぼし・うを（第三上）名。〔…魚〕魚ノ名。かつをノ一名。

えぼし・おや（全平）名。〔…親〕ムカシ男ガゲンプクスル時、烏帽子ナドヲ與ヘ、ハジメテ名ヲ付ケル人ノ稱ヘ。

▲えぼし・がき（(第四ガ))(第三上)名。〔…柿〕木ノ實ノ名。南部ノ方言。ふでがきノ一名。

えぼし・がひ（(…、第五イ))(…)名。〔…貝〕（一）介ノ名。はまぐりノ類ヒ。形チハサナガラえぼしニ似テ、色ハ白イモノ。＝カメノテ。（二）又、介ノ名。たひらぎノ一名。（三）又、介ノ名。ゑぶがひノ一種。

えぼし・ぐさ（(第四グ))(第三上)名。〔…草〕草ノ名。みやこばなノ一名。主ニ東京デイフ。

えぼし・をり（全平）名。〔…折り〕烏帽子ヲ作ル人。

▲えぼ・ひ（(第三イ))(第二上)名。いぼひノ轉。―「灸ノえぼひ」。

▲えぼッ（(第三ツ))(…)自動、一。いぼふノ轉訛。―「灸ガえぼふ」。

△えみ（第一上）名。草ノ名。ぶだうノ一名。

えみ（…）名。〔膨み〕鎧ヒニイフ語。キハメテフクランダタチノ物ヲ指シテイフ稱へ。

△えみじ（…）名。〔蝦夷〕（一）えぞノ古言。（二）轉ジテ」スベテえぞノトナヘ。

▲えむ（…）名。〔英語、Money ノ頭字ヲ翠シテ呼ンダモノ」今日ノ書生ガツカフ隱語ノヒトツ。金錢ノ異名。

▲えめ・むし（第二上）名。蟲ノ名。おめむしノ轉。

△えもぎ（(第三ギ))(全平)名。草ノ名。よもぎノ古言。

え・もの（…）名。（一）〔獲物〕スベテ、獵リナドカラ得タモノ。（二）〔得物〕又、スベテ自分ノ手ニ合フ武器。―「テンデンニ えものヲ引ッサゲテ」。

＋＋え・もり（…）名。〔柄漏り〕傘ノ柄ノアタマナドカラ雨ガ漏ルコト。

え・もん（全平）名。〔衣紋〕（一）漢字音。着物ノ製作、着用ナドノ法則ノトナヘ。―續世繼物語、「此大將ドノハ殊ノ外ニえもんヲゾ好ミタマヒテ」。（二）〔轉ジテ、後世オモニ〕胸デ着物ノ襟ヲ合ハセタ、ソノ部分ノ稱ヘ。―近松、吉野都女楠、「面面えもんツクロヒ、鬢カキナデテ並ビケル」。―淺井了意、東海道名所記、「總門ニ行ク道ハ南ヨリ北ニ向ヒ二丁バカリノ大道ナリ。此所ヲえもんノ馬場ト名付ク、上手ノ買ヒ手衆此店ノ間ニテえもんヲ作ル故ナルベシ」。

△え・やみ（第一上）名。〔疫〕〔え(疫)やみ(病)ノ義」（一）ヤクビヤウ。＝チッビヤウ。＝トキノケ。―和名抄、「疫、衣夜美」。（二）〔轉ジテ〕オコリ。―和名抄、「瘧、衣夜美」。

△えやみ・ぐさ（(第四グ))(第三上)名。〔…草〕草ノ名。りんだうノ古名。

△え・よぼろ（第二上）名。〔役丁〕〔え(役)よぼろ(丁)ノ義」賦役ニ出ル男。

えら（全平）名。〔鰓〕魚ノあごノ稱へ。

●えらイ（第二上）形。〔いらし(苛)ノ轉〕大厲デアル。＝スグレテアル。＝仰山デアル。

●えら・さ（第一上）名。エラクアル度合ヒ。

えらび（第三上）名。〔撰＝選＝擇〕エラブコト。＝ヨリドリスルコト。＝エラミ。―源氏、「キンダチノカミナキ御ンえらびニハ」。

えらブ（…）他動、四段。〔…ぶ〕スベテ、メザシタモノヲ多クノ中カラウロヌク。＝エル。＝ヨル。＝スグル。＝エラム。

えらぶ・うなぎ（第四上）名。〔永良部鰻〕蛇ノ一種。大隅ノ國えらぶじま邊ニ井ル。尾ハトガラズ、丸ク、毒分モナク、是ヲ取ッテ食用トシ、皮ヲバ色色ノモノニツカフ。＝ウミクチナハ。

えらぶ・つつじ（第五上）名。〔…躑躅〕大隅ノ國えらぶじまニアルつつじ。性質寒ヲ怕レ、花ハ赤クテ大キク、サシワタシ五六寸モアル。

えらみ（第三上）名。えらむト同ジ語。

えらム（第二上）他動、四段。えらぶト同ジ語。

えり（…）名。（一）〔衿＝襟〕首ヲメグッテ胸ノ所ニ現レ、其所デブッチガヒニナル着物ノ一部分ノトナヘ。（二）〔領〕〔轉ジテ〕ウナジ。（三）〔衿＝襟〕又、洋服ノ飾リノ一ツ。麻ナドデツクリ、蠟又ハ醋ヲ引イテ白ク艶ヲ付ケタモノ。しやつノ襟ガ白ク現ハレタヤウナ體裁ニ装フモノ。＝カラ。

えり（全平）名。〔魞＝簄〕魚ヲ捕ル道具ノヒトツ。竹ヲ並ベテ拵ヘタモノ。

えり・あし（第四上）名。〔領脚〕えり(第二解義)ノ邊ノ髮ノハヘギハ。

えり・あて（第二上）名。〔襟宛〕日本服ノ襟ノ裏ニアテテ、ヨゴレ、又ハ汕ノシミナドヲ防グモノ。―曳尾庵、ワガ衣、「今ハえりあてヲ賣ル呉服屋モアリ」。

えり・おしろい（第三上）名。〔領白粉〕えりノマハリニ付ケルオシロイ。濃イ化粧トナルモノ。(かほおしろいノ對)。

えり・かざり（…）名。〔衿飾り〕〔英「Necktie」〕。

洋服ノ襟ノ邊ヲ飾ル一種ノ飾リ。繻珍緞子、其他絹ナド美シク縫ッテ作ル。形チモ又サマザマニ爲ッタモノ。═サックタイ。═ネキタイ。

++えり・きちひ　(《第五イ》)(全平)名。〔撰り嫌ひ〕スクコトト嫌フコトト。═ツリキラヒ。═「えりきちひノ多イ人」。

えり・くづ　(第三上)名。〔撰り屑〕ヨリドリニシタ後ノ殘リモノ。

えり・くび　(第二上)名。〔領首〕　えり(第二解義)ト同ジモノ。═ウナジ。═エリックビ。

えり・さき　(第四上)名。〔襟先〕　着物ノ襟ノ下ノハジ。腰ノ邊デ蟲キルモノ。

えり・しん　(全平)名。〔……心〕　スベテ着物ノ襟ニ入レルしんノ布。多クワルイ木綿ナドヲツカフ。

えり・つき　(第二上)名。〔……付き〕　(一)襟ノヤウス。═襟ノ工合ヒ。(二)△(轉ジテ)えりもと(成句、第二解義)ト同ジモノ。═西鶴、一代女ニ「えりつき見立テラルルガ口惜シイ。木綿布子デハコリアレ、ッギノ當タッタヲ着タコトハ無イト」。

++○えり・どり　(全平)名。〔撰り取り〕　好ムママニエラミ取ルコト。═ヨリドリ。

えり・ぬき　(……)名。〔……抜き〕　(一)エリヌクコト。═ヨリヌキ。═スグリアゲ。(二)(轉ジテ)エリヌイタ品。

○えり・ぬく　(……)他動、四段。〔……く〕　エラミ、ヌク。═ヨリヌク。

○えり・びと　(第二上)名。〔選り人〕　エランデヌキダシタ人物。═ヨリビト。═ヒト粒エリノ人(イツモスグレタ方ノ義ニツカフ)。

えり・まき　(……)名。〔領巻き〕　寒イ時ナド首ノマハリニ纏ヒ、寒氣ヲ防グモノ。毛皮ノえんざし、又別ニ縮ヘタホソ長イ板ルヒハ歌舞ナドシテタノシムコト。═イウエン。═サカモリ。〔えんヲヒラク〕。

えん　(……)名。〔……法〕(英語、Deduction)　アダメイテ居ルコト。═優美デアルコト。═源氏「笛ノ音ナドモえんニスミノボリハテナン」。

++えん・いん　(全平)名。〔延引〕　漢語。豫定ノ期限ヨリノビオクレルコト。═エンニン。═チエン。

++えん・えき　(……)名。〔縁經〕(英語、Deduct ノ譯)　(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(第五ホ、第六ウ)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》)(第一上)名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ意デアルモノノ、シバラク從來ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えんがは　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

えんがわ　(《第三ガ》《第四ワ》)(第三上)名。〔……周り〕　═サキタイ。

++えり・きちひ　(《第五イ》)(全平)名。〔撰り嫌ひ〕スクコトト嫌フコトト。═ツリキラヒ。═「えりきちひノ多イ人」。

えり・くづ　(第三上)名。〔撰り屑〕　スベテヨリドリニシタ後ノ殘リモノ。

えり・くび　(第二上)名。〔領首〕　えり(第二解義)ト同ジモノ。═ウナジ。═エリックビ。

えり・さき　(第四上)名。〔襟先〕　着物ノ襟ノ下ノハジ。腰ノ邊デ蟲キルモノ。

えり・しん　(全平)名。〔……心〕　スベテ着物ノ襟ニ入レルしんノ布。多クワルイ木綿ナドヲツカフ。

えり・つき　(第二上)名。〔……付き〕　(一)襟ノヤウス。═襟ノ工合ヒ。(二)△(轉ジテ)えりもと(成句、第二解義)ト同ジモノ。═西鶴、一代女ニ「えりつき見立テラルルガ口惜シイ。木綿布子デハコリアレ、ッギノ當タッタヲ着タコトハ無イト」。

++○えり・どり　(全平)名。〔撰り取り〕　好ムママニエラミ取ルコト。═ヨリドリ。

えり・ぬき　(……)名。〔……抜き〕　(一)エリヌクコト。═ヨリヌキ。═スグリアゲ。(二)(轉ジテ)エリヌイタ品。

○えり・ぬく　(……)他動、四段。〔……く〕　エラミ、ヌク。═ヨリヌク。

○えり・びと　(第二上)名。〔選り人〕　エランデヌキダシタ人物。═ヨリビト。═ヒト粒エリノ人(イツモスグレタ方ノ義ニツカフ)。

えり・まき　(……)名。〔領巻き〕　寒イ時ナド首ノマハリニ纏ヒ、寒氣ヲ防グモノ。毛皮ノえんざし、又別ニ縮ヘタホソ長イ板ルヒハ歌舞ナドシテタノシムコト。═イウエン。═サカモリ。〔えんヲヒラク〕。

えん　(……)名。〔……法〕(英語、Deduction)　アダメイテ居ルコト。═優美デアルコト。═源氏「笛ノ音ナドモえんニスミノボリハテナン」。

++えん・いん　(全平)名。〔延引〕　漢語。豫定ノ期限ヨリノビオクレルコト。═エンニン。═チエン。

++えん・えき　(……)名。〔縁經〕(英語、Deduct ノ譯)　(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

えんがわ　(《第三ガ》《第四ワ》)(第三上)名。〔……周り〕　═サキタイ。

++えり・きちひ　(《第五イ》)(全平)名。〔撰り嫌ひ〕スクコトト嫌フコトト。═ツリキラヒ。═「えりきちひノ多イ人」。

えり・くづ　(第三上)名。〔撰り屑〕　スベテヨリドリニシタ後ノ殘リモノ。

えり・くび　(第二上)名。〔領首〕　えり(第二解義)ト同ジモノ。═ウナジ。═エリックビ。

えり・さき　(第四上)名。〔襟先〕　着物ノ襟ノ下ノハジ。腰ノ邊デ蟲キルモノ。

えり・しん　(全平)名。〔……心〕　スベテ着物ノ襟ニ入レルしんノ布。多クワルイ木綿ナドヲツカフ。

えり・つき　(第二上)名。〔……付き〕　(一)襟ノヤウス。═襟ノ工合ヒ。(二)△(轉ジテ)えりもと(成句、第二解義)ト同ジモノ。═西鶴、一代女ニ「えりつき見立テラルルガ口惜シイ。木綿布子デハコリアレ、ッギノ當タッタヲ着タコトハ無イト」。

++○えり・どり　(全平)名。〔撰り取り〕　好ムママニエラミ取ルコト。═ヨリドリ。

えり・ぬき　(……)名。〔……抜き〕　(一)エリヌクコト。═ヨリヌキ。═スグリアゲ。(二)(轉ジテ)エリヌイタ品。

○えり・ぬく　(……)他動、四段。〔……く〕　エラミ、ヌク。═ヨリヌク。

○えり・びと　(第二上)名。〔選り人〕　エランデヌキダシタ人物。═ヨリビト。═ヒト粒エリノ人(イツモスグレタ方ノ義ニツカフ)。

えり・まき　(……)名。〔領巻き〕　寒イ時ナド首ノマハリニ纏ヒ、寒氣ヲ防グモノ。毛皮ノえんざし、又別ニ縮ヘタホソ長イ板ルヒハ歌舞ナドシテタノシムコト。═イウエン。═サカモリ。〔えんヲヒラク〕。

えん　(……)名。〔……法〕(英語、Deduction)　アダメイテ居ルコト。═優美デアルコト。═源氏「笛ノ音ナドモえんニスミノボリハテナン」。

++えん・いん　(全平)名。〔延引〕　漢語。豫定ノ期限ヨリノビオクレルコト。═エンニン。═チエン。

++えん・えき　(……)名。〔縁經〕(英語、Deduct ノ譯)　(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

△えん・ぎ　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁起〕　(一)ムシッ(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

えんがわ　(《第三ガ》《第四ワ》)(第三上)名。〔……周り〕　═サキタイ。

++えり・きちひ　(《第五イ》)(全平)名。〔撰り嫌ひ〕スクコトト嫌フコトト。═ツリキラヒ。═「えりきちひノ多イ人」。

えり・くづ　(第三上)名。〔撰り屑〕　スベテヨリドリニシタ後ノ殘リモノ。

えり・くび　(第二上)名。〔領首〕　えり(第二解義)ト同ジモノ。═ウナジ。═エリックビ。

えり・さき　(第四上)名。〔襟先〕　着物ノ襟ノ下ノハジ。腰ノ邊デ蟲キルモノ。

えり・しん　(全平)名。〔……心〕　スベテ着物ノ襟ニ入レルしんノ布。多クワルイ木綿ナドヲツカフ。

えり・つき　(第二上)名。〔……付き〕　(一)襟ノヤウス。═襟ノ工合ヒ。(二)△(轉ジテ)えりもと(成句、第二解義)ト同ジモノ。═西鶴、一代女ニ「えりつき見立テラルルガ口惜シイ。木綿布子デハコリアレ、ッギノ當タッタヲ着タコトハ無イト」。

++○えり・どり　(全平)名。〔撰り取り〕　好ムママニエラミ取ルコト。═ヨリドリ。

えり・ぬき　(……)名。〔……抜き〕　(一)エリヌクコト。═ヨリヌキ。═スグリアゲ。(二)(轉ジテ)エリヌイタ品。

○えり・ぬく　(……)他動、四段。〔……く〕　エラミ、ヌク。═ヨリヌク。

○えり・びと　(第二上)名。〔選り人〕　エランデヌキダシタ人物。═ヨリビト。═ヒト粒エリノ人(イツモスグレタ方ノ義ニツカフ)。

えり・まき　(……)名。〔領巻き〕　寒イ時ナド首ノマハリニ纏ヒ、寒氣ヲ防グモノ。毛皮ノえんざし、又別ニ縮ヘタホソ長イ板ルヒハ歌舞ナドシテタノシムコト。═イウエン。═サカモリ。〔えんヲヒラク〕。

えん　(……)名。〔……法〕(英語、Deduction)　アダメイテ居ルコト。═優美デアルコト。═源氏「笛ノ音ナドモえんニスミノボリハテナン」。

++えん・いん　(全平)名。〔延引〕　漢語。豫定ノ期限ヨリノビオクレルコト。═エンニン。═チエン。

++えん・えき　(……)名。〔縁經〕(英語、Deduct ノ譯)　(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

△えんぎ・しき　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁起式〕　(一)ムシッ(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

えんがわ　(《第三ガ》《第四ワ》)(第三上)名。〔……周り〕　═サキタイ。

++えり・きちひ　(《第五イ》)(全平)名。〔撰り嫌ひ〕スクコトト嫌フコトト。═ツリキラヒ。═「えりきちひノ多イ人」。

えり・くづ　(第三上)名。〔撰り屑〕　スベテヨリドリニシタ後ノ殘リモノ。

えり・くび　(第二上)名。〔領首〕　えり(第二解義)ト同ジモノ。═ウナジ。═エリックビ。

えり・さき　(第四上)名。〔襟先〕　着物ノ襟ノ下ノハジ。腰ノ邊デ蟲キルモノ。

えり・しん　(全平)名。〔……心〕　スベテ着物ノ襟ニ入レルしんノ布。多クワルイ木綿ナドヲツカフ。

えり・つき　(第二上)名。〔……付き〕　(一)襟ノヤウス。═襟ノ工合ヒ。(二)△(轉ジテ)えりもと(成句、第二解義)ト同ジモノ。═西鶴、一代女ニ「えりつき見立テラルルガ口惜シイ。木綿布子デハコリアレ、ッギノ當タッタヲ着タコトハ無イト」。

++○えり・どり　(全平)名。〔撰り取り〕　好ムママニエラミ取ルコト。═ヨリドリ。

えり・ぬき　(……)名。〔……抜き〕　(一)エリヌクコト。═ヨリヌキ。═スグリアゲ。(二)(轉ジテ)エリヌイタ品。

○えり・ぬく　(……)他動、四段。〔……く〕　エラミ、ヌク。═ヨリヌク。

○えり・びと　(第二上)名。〔選り人〕　エランデヌキダシタ人物。═ヨリビト。═ヒト粒エリノ人(イツモスグレタ方ノ義ニツカフ)。

えり・まき　(……)名。〔領巻き〕　寒イ時ナド首ノマハリニ纏ヒ、寒氣ヲ防グモノ。毛皮ノえんざし、又別ニ縮ヘタホソ長イ板ルヒハ歌舞ナドシテタノシムコト。═イウエン。═サカモリ。〔えんヲヒラク〕。

えん　(……)名。〔……法〕(英語、Deduction)　アダメイテ居ルコト。═優美デアルコト。═源氏「笛ノ音ナドモえんニスミノボリハテナン」。

++えん・いん　(全平)名。〔延引〕　漢語。豫定ノ期限ヨリノビオクレルコト。═エンニン。═チエン。

++えん・えき　(……)名。〔縁經〕(英語、Deduct ノ譯)　(一)漢字音ノベタヅキルコト。(二)(轉ジテ)オモニ、論理學デイフ語。推論ノ二大法ノ一ッ。理論デ物事ヲ推測證明スルコト。(きなふノ對)。

えんえき・はふ　(《第五ホ、第六ウ》)(第三上)名。〔……法〕(英語、Deduction)　前トオナジ語。エンエキシテ推論スル方法。專門ニ論理學ニノミツカフ。

○えん・か　(第一上)名。〔烟霞〕　漢語。(一)ケムリトカスミト。(二)(轉ジテ)遠ク、山水ヲ形容シテイフ語。═「えんかノ癖アリ」。

えん・か　(全平)名。〔縁家〕　漢字音。(一)縁ノアル家。(二)(オモニ)婚禮シテカラノツヅキアヒデユカリトナッタ家。═エンル非。

△えん・が　(《第三ガ》《第一上》名。〔垣下〕〔垣ノ本音ハ垣ノ假字ヅカヒニシタガフ〕　禮服ノ時主人ヲ助ケテ取リモチヲスル人。昔オモニッカッタモノ。═エガ。═カイモト。

えん・かい　(第三上、又、全平)名。〔沿海〕　漢語。海ニソフタトコロ。

++えん・かく　(全平)名。〔……革〕　漢語。ウツリカハリ。═ヘンセン。(オモニ時代ニイフ)。

えん・がは　(《第三ガ》《第一上》名。〔縁側〕　(《第三ガ》《第四ワ》)(……)名。〔縁側〕

++えんこく（全平）名。〔延刻〕　漢字音。時刻ノノビルコト。

△えんざ（第一上）名。〔宴座〕　漢字音。えんのざトオナジ語。

えんさう（（第三ソ）（全平）名。〔烟草〕）　たばこノ漢語。

えんさん（全平）名。〔鹽酸〕　化學ノ語。鹽素ト水素トノ化合物。カザリ屋又醫者ナドガ製作用又療用ノ藥トシテカフ。

えんざん（……）名。〔鉛製〕　漢語。フデ。

えんさん・かり（第五上）名。〔鹽酸加里〕　藥品ノ名。えんさんノ加里。爆裂藥ナドノ製造ニツカフ。

えんじ（第五上）名。〔臙脂〕　（一）漢語。（二）轉ジテくわやえんじ（第三四合）（全平）名。〔繰者〕　漢字音。繰家ノ人。—近松、心中二枚繪草紙「ワレラ一人ヲえんじやノ讐撰」。

++えんしやう（（第四ヨ（第三四合））……）名。〔炎上〕　漢字音。火事デヤケルコト。オモニ大キナタテモノノ燒ケル時ニイフ。—エンジヤウ。—「天明えんしやう」。　マヘトオナジ語。

○えんじやう（（……）（……）名。〔……〕）　漢字音。

△えんじゃがき（（第五ガ）（第四上）名。　いぎトオナジモノ。—人丸「ズミステテ年フル宿ヲキテミレバえんじゃがきノカタクヅレシテ」。

えんじや　漢字音。

えんしやう（（第四ヨ（第三四合））……）名。〔炎上〕　漢字音。火事デヤケルコト。オモニ大キナタテモノノ燒ケル時ニイフ。—エンジヤウ。—「天明えんしやう」。

++えんじやう（（……）（……）名。〔……〕）　マヘトオナジ語。

○えんじやう（（……）（第一上）名。〔艶狀〕　漢字音。えんしよトオナジモノ。—西鶴、若風俗「コトサラえんじやうガドッチシテモえんだりダ」。

えんだん（……）名。〔緣談〕　漢字音。夫婦ノ緣ヲムスブ相談。

えんちやう（（第四ヨ「第三四合」）……）名。〔延長〕　スベテ、長クナルコト（細イモノニイフ）。—「線路ノえんちやう」。

○えんぢん（……）名。〔煙塵〕　漢語。チリホコリ。

えんづき（第四上）名。〔緣附き〕　エンヅクコト。—トッギ。—カタヅキ—西鶴「一代女」「古代ハえんづきノ門出ニハ親ザトノ別レヲカナシミ」。

●えんづく（……）名。〔緣遠く〕　緣シダイ。—自然ノ緣。

えんづく（第三上）自動、四段。〔……く〕　トツグ。—嫁ス。—カタヅク。

○えんづく（……）他動、下二。〔……〕　カタヅケル。—ヨメ又ハ婿ニ行カセル。—緣ヲ組マセル。

●えんづけ（第四上）他動、二。〔……ける〕　前ノ近體。

えんてん（第三上）名。〔炎天〕　（一）夏ノ頃ノ極メテアツイソラ。（二）轉ジテ夏ノ頃ニ極メテ暑イ日ノ照ルナカ。

えんとう（全平）名。〔煙筒〕　（一）漢語。ケムリヲ出スツツ。（二）轉ジテキセル。（三）又轉ジテエントツ。

○えんとう（……）名。〔檐頭〕　漢語。ノキバ＝ノキサキ。—「えんとうノ柴ニハ不香ノ花ヲサシハサム」。

えんとつ（……）名。〔烟突〕　漢語。ケムリダシ。—ケムダシ。—エントウ。—チムネニ。

●えんどはイ（（第四オ）（第三上）形。〔緣遠い〕　コト。—インダリ。今オモニ東京デッカフ。—「行カウガ歸ラウガドッチシテモえんだりダ」。

えんだん（……）名。〔緣談〕　漢字音。夫婦ノ緣ヲムスブ相談。

えんちやう（（第四ヨ「第三四合」）……）名。〔延長〕　スベテ、長クナルコト（細イモノニイフ）。—「線路ノえんちやう」。

○えんぢん（……）名。〔煙塵〕　漢語。チリホコリ。

えんづき（第四上）名。〔緣附き〕　エンヅクコト。—トッギ。—カタヅキ—西鶴「一代女」「古代ハえんづきノ門出ニハ親ザトノ別レヲカナシミ」。

●えんづく（……）名。〔緣遠く〕　緣シダイ。—自然ノ緣。

えんづく（第三上）自動、四段。〔……く〕　トツグ。—嫁ス。—カタヅク。

○えんづく（……）他動、下二。〔……〕　カタヅケル。—ヨメ又ハ婿ニ行カセル。—緣ヲ組マセル。

●えんづけ（第四上）他動、二。〔……ける〕　前ノ近體。

えんてん（第三上）名。〔炎天〕　（一）夏ノ頃ノ極メテアツイソラ。（二）轉ジテ夏ノ頃ニ極メテ暑イ日ノ照ルナカ。

えんとう（全平）名。〔煙筒〕　（一）漢語。ケムリヲ出スツツ。（二）轉ジテキセル。（三）又轉ジテエントツ。

○えんとう（……）名。〔檐頭〕　漢語。ノキバ＝ノキサキ。—「えんとうノ柴ニハ不香ノ花ヲサシハサム」。

えんとつ（……）名。〔烟突〕　漢語。ケムリダシ。—ケムダシ。—エントウ。—チムネニ。

●えんどはイ（（第四オ）（第三上）形。〔緣遠い〕　（一）うちとけないさま。（二）食物ノ味ヒ。—アンバイ。

えんび（……）名。〔燕尾〕　えい（縷）ト同ジモノ。昔ノ製作ハ殆ンド燕ノ尾ニ似タ故ノ名。

えんぴ（……）名。〔……飛〕　漢字音。擊劍ニ云フ語。燕ノヤウニ飛ブトノ義。身ヲ輕クチエウガヘリスル術。

えんび・がた（（第四ガ）（全平）名。〔……尾形〕　スベテ、つばめノ尾ノヤウニ細長イモノガニッニワレタモノノトナヘ。

えんぴき（第一上）名。〔緣引き〕　緣ノヒキッヅキ。—エンペン（第一解義）。

えんぴつ（……）名。〔鉛筆〕　漢字音。ナマリノ筆ノ義。鉛ノ墨ヲ心ニ入レタ一種ノ筆。木ヲマハリニシタノモ、墨其ママノモアル。—ボクヒツ。—ペンシル。

えんぴ・ふく（第三上）名。〔燕尾〕　洋服ノ一種。政府ノ規定ニヨル禮服ニ亞イデノ禮服。上着ノウシロガ割レテ燕ノ尾ニ似タ故ノ名。—ヤクワイフク。—イブニングドレス。

△えんぶ（……）名。〔……舞〕　漢語。えぶト同ジモノ。

えんぶ（……）名。〔……舞〕　漢語。えぶト同ジモノ。

えんぶ（……）名。〔圖浮〕　えんぶだノ略。源平盛衰記「えんぶ無雙ノ大堂ナレバ」。

えんぶだ（……）名。〔……提〕　えんぶだいノ略。

えんぶだい（……）名。〔……洲、或ハえんぶ〕　梵語。即チ閻浮、又、剃浮、南贍部洲ニアル木ノ名。だ即チ提、「洲」ノ義。佛經ノ語。なんせんぶしうノ一名。えんぶだノ木ガ多クアル處。

えんぶだ・ごん（（第五ゴ））……。及、第四上）名。

風俗、「一度ノえんじやう瓶マレテ書キシウキナノ來ノ世マデモヤムコトナシ」。

○えんじゅ（（第三四合）……）名。〔延齡〕　漢字音。えんめいノノビルコト。—「えんじゅ屠蘇散」。

えんじょ（（第三四合）……）名。〔炎暑〕　漢語。甚シイアツサ。主ニ夏ノ時候ニイフ。

えんしょ（（……）……）名。〔艶書〕　漢字音。アダアダシイ文。—ケサウブミ。—ツヤブミ。—イロブミ。—エンジャウ。—エンジョ。

△えんじょ（……）名。〔……〕　前ノ語ト同ジモノ。

えんす（……）名。〔燕巢〕　燕ニ似タ鳥ノ巢。熱帶地方ノ水岸ノ巖窟ノ間ニツクルモノ。色ハ白クテスキトホリ、黒イ羽ナドガ混ザル。取ッテ支那人ハ之ヲ食用ニシ、珍重スル。

++えんす（第三上）名。〔淵酔〕　漢字音。昔、正月ノ五節、マタハ臨時ノ大禮ノ後ニ臺盤人ノ頭以下ノ群臣ヲ殿上ニ召シテ管絃酒宴ヲ催スコト。

えんせい（全平）名。〔厭世〕　漢字音。世ヲイヤニ思フコト。（樂天ノ對）—「えんせいノ念シキリナリ」。—「えんせい主義」。

えんせう（（第三ショ合）……）名。〔焰消〕　漢語。硝石ノ一名。（二）轉ジテくわやえんせう（（第四ヨ「第三四合」））……）名。〔炎上〕　漢字音。火事デヤケルコト。オモニ大キナタテモノノ燒ケル時ニイフ。—エンジャウ。—「天明えんしやう」。

++えんじやう（（……）（……）名。〔……〕）　マヘトオナジ語。

○えんじやう（（……）（第一上）名。〔艶狀〕　漢字音。えんしよトオナジモノ。—西鶴、若風俗「コトサラえんじやうガドッチシテモえんだりダ」。

えんだん（……）名。〔緣談〕　漢字音。夫婦ノ緣ヲムスブ相談。

えんちやう（（第四ヨ「第三四合」）……）名。〔延長〕　スベテ、長クナルコト（細イモノニイフ）。—「線路ノえんちやう」。

○えんぢん（……）名。〔煙塵〕　漢語。チリホコリ。

えんづき（第四上）名。〔緣附き〕　エンヅクコト。—トッギ。—カタヅキ—西鶴「一代女」「古代ハえんづきノ門出ニハ親ザトノ別レヲカナシミ」。

●えんづく（……）名。〔緣遠く〕　緣シダイ。—自然ノ緣。

えんづく（第三上）自動、四段。〔……く〕　トツグ。—嫁ス。—カタヅク。

○えんづく（……）他動、下二。〔……〕　カタヅケル。—ヨメ又ハ婿ニ行カセル。—緣ヲ組マセル。

●えんづけ（第四上）他動、二。〔……ける〕　前ノ近體。

えんてん（第三上）名。〔炎天〕　（一）夏ノ頃ノ極メテアツイソラ。（二）轉ジテ夏ノ頃ニ極メテ暑イ日ノ照ルナカ。

えんとう（全平）名。〔煙筒〕　（一）漢語。ケムリヲ出スツツ。（二）轉ジテキセル。（三）又轉ジテエントツ。

○えんとう（……）名。〔檐頭〕　漢語。ノキバ＝ノキサキ。—「えんとうノ柴ニハ不香ノ花ヲサシハサム」。

えんとつ（……）名。〔烟突〕　漢語。ケムリダシ。—ケムダシ。—エントウ。—チムネニ。

●えんどはイ（（第四オ）（第三上）形。〔緣遠い〕　（一）うちとけないさま。（二）食物ノ味ヒ。—アンバイ。

えんび（……）名。〔燕尾〕　えい（縷）ト同ジモノ。昔ノ製作ハ殆ンド燕ノ尾ニ似タ故ノ名。

えんぴ（……）名。〔……飛〕　漢字音。擊劍ニ云フ語。燕ノヤウニ飛ブトノ義。身ヲ輕クチエウガヘリスル術。

えんび・がた（（第四ガ）（全平）名。〔……尾形〕　スベテ、つばめノ尾ノヤウニ細長イモノガニッニワレタモノノトナヘ。

えんぴき（第一上）名。〔緣引き〕　緣ノヒキッヅキ。—エンペン（第一解義）。

えんぴつ（……）名。〔鉛筆〕　漢字音。ナマリノ筆ノ義。鉛ノ墨ヲ心ニ入レタ一種ノ筆。木ヲマハリニシタノモ、墨其ママノモアル。—ボクヒツ。—ペンシル。

えんび・ふく（第三上）名。〔燕尾〕　洋服ノ一種。政府ノ規定ニヨル禮服ニ亞イデノ禮服。上着ノウシロガ割レテ燕ノ尾ニ似タ故ノ名。—ヤクワイフク。—イブニングドレス。

△えんぶ（……）名。〔……舞〕　漢語。えぶト同ジモノ。

えんぶ（……）名。〔圖浮〕　えんぶだノ略。源平盛衰記「えんぶ無雙ノ大堂ナレバ」。

えんぶだ（……）名。〔……提〕　えんぶだいノ略。

えんぶだい（……）名。〔……洲、或ハえんぶ〕　梵語。即チ閻浮、又、剃浮、南贍部洲ニアル木ノ名。だ即チ提、「洲」ノ義。佛經ノ語。なんせんぶしうノ一名。えんぶだノ木ガ多クアル處。

えんぶだ・ごん（（第五ゴ）……。及、第四上）名。

(……金)(こんはきん(金)ノ異音)　佛經ニイフ語。えんぶだいニアル川ノ中カラ出ル金砂。極メテ最上ノ品ト云フ。

えん・ぶん　(全平名)(艶文)　漢字音。(一)えんしょ(艶書)ト同ジモノ。(二)アダジイ文章。

えん・ぶん　(……)名。(……聞)　漢字音。アダアダシイ評判。(色メイタウハサ。

えん・ぶん　(……)名。(衍文)　漢語。ムダナ文章。多ク誤リナドデ書キ入レタノニイフ。

えん・ぶん　(……)名。(鹽分)　漢字音。シホケ。

えん・べん　(第一上)名。(縁邊)　(一)縁ノ引キ續ク邊。═縁家。═エンピキ。(二)エンダン。

△えんぼうし　(……名。(えぼうしノ音便)

えんま　(……)名。(閻魔)(えんまらノ略。)　静息或ハ遮止ノ義。惡人ノ不善ヲトドメル義)　佛經ニイフ神ノ名、地獄ノ王。亡者ノ鬼ヲ司ドリ、其亡者ガ總邊ニ居タ一生ノ間ニ行ッタコトヲ覺ル。═エンラ。═エンマダイワウ。

えんまだいわう　(第六ヲ)(……、及第六上)名。(……大王)(だいわうハ漢語、オホキナ王ノ義)

えんま・の・つかひ　(第一上)名。(烟霧)　漢語。(一)ケフリ霧。(二)クモト霧。═「えんむ(漢)。

++えん・むすび　(第三上)名。(縁結び)　子供又ハ遊女ナドノスルタハムレ。アマタノ男女ノ名ヲ紙ニ記シテ捻リ、イイカゲンニ拾ヒ合ハセテ結ビ付ケ、配合ヲ占ッテ遊ブコト。

えんめい　(第一上)名。(延命)　漢語。イノチノ延ビルコト。═延齢。═延壽。═延年。「家内安全、息災えんめい」═近松、釋迦如來誕生會「口ニ含メバ口カヲリ、無病えんめいナリトカヤ」

えんめい・ぎく　(第五ギ)(第三上)名。(……菊)　漢字音。草ノ名。菊ノ屬。ひなぎくノ一名。

えんめい・さう　(第五ソ)(全平)名。(……草)　漢字音。(一)草ノ名。えんれいさうノ一名。

▲えんや　掃磨ノ方言。つるはこべノ一名。

えんめい・ぶくろ　(第五上)名。(……袋)　タカラモノノ一ツ。フクレタ錦ノ袋。カクレミノガク。

えんめい・ゆ　(第一上)名。(由緣)ヲ倒サマニシタモノ。ユカリ。═テヅル。═ヒキツヅキ。═ツヅキアヒ。

えんら　(……)名。(……羅)　同ジモノ。

えんまト同ジモノ。

++えん・り　(……)名。(厭離)　佛教ニイフ語。厭ッテ此世ヲ離レルコト。═エンセイ(厭世)。

えん・るゐ　(……)名。(縁類)　漢語。緣家。

えん・れい　(……)根。(艶麗)　漢語。ッヤッヤシク麗シクアルコト。

えん・れい　(全平)名。(延齢)　漢語。えんめい(延命)ト同ジ。

えんれい・さう　(第五ソ)(……)名。(……草)　漢字音。草ノ名。ゆりノ屬。深山ニ生ヘル。一ツノ根ニ水一本、高サ一尺バカリニ育ッ。葉ノ中一枚ハ心臓ノ形チニ似テ、ナカホドカラ莖ガ出、清明ノ頃ニ花ガ一ッ付ク。花ハ三瓣デ白、紫又ハ薄紫、實ハ黒ク、中ニ細カイ種ガ多ク、根ハ一ツノカタマリニナル。味ヒハ苦ク、藥ニツカフ。═エンメイサウ。═エンネンサウ。═ヤウラウサウ。═エレサウ。═ミツバアフヒ。═タチアフヒ。

○えんろ　(第一上)名。(浴路)　漢語。えんだう(浴道)ト同ジ語。

△えんをん・の・ざ　(第六上)名。(宴穩の座)　えんのざト同ジモノ。

お

お　五十音阿縦行第五番ノ假名。阿縦行ニ普通ダケノ性質ハ悉クソナヘル。

お　(平)接頭(おん(御)ノ略)　(一)敬語。スベテ尊ンデイヒ、或ヒハ親シンデイフ性質ノ物事ニカブラセル語。ムカシカラ今マデ絶エズ有ル。但シ今日ニ至ッテ、愈其附キ得ベキ語ト附キ得ラレヌノトノ區別ガ多クナッタ。其子細ハ附錄ノ日本新文法ノツヅキデ言フ。「おつくち」「おつむ」「おつかさん」(二)阿)中昔以來スベテ婦人ノ名ニカブセテ敬語トスル語。「お春」「お夏」「お秋」「お冬」

お　(上)感。　スベテ驚ニ感ジタ時ニ出ス聲。═オオ。═オッ。═オヤ。

お・あし　(全平名)(御鎖)(あし(鎖)ニ接頭語ノおヲ付ケタモノ)　世ニノ敬語。═白梅園鷺水著、新玉櫛笥「文七ト名ノリ、カシハザキト呼バレ、松風ト申シ、尊カラズシテ高位ニマジハル。料足ト云ヒ、おあしト名付ケシハキタナキ名ナレド、今汝ガハナヤカナル威勢ニハ誰アリテ俗姓ヲ云フモノナク」═芝全交、大悲千錄本「モシおあしノオアマリガ有ラバクダサリマセ」。☆あし參考。

●おあひだ　(第三ノ)(……)根。(……間)(おハ敬語)　(一)スベテ物事ガ何トモ付カズ、中間ニ在ッテ、ドチラニモ適當セヌ場合ヒヲ形容シテイフ語。(二)轉ジテ、スベテ不適當マタハ無駄ナドノ義ニツカフ轉。オモニ東京デイフ。═「ドウセ手加減ガ下手ナンダモノヲ彼處へ行テモおあひだダ。

○おい　(第一上)名。(老)(い)　老ニルコト。═家隆「十歳アマリおいのなみだ(……)名。(老い込み)　オイコムコト。═ラウス非。═天明ハヤリ歌「色ノ黒イガ大黒天、顔ノ長イガ福祿壽、頭巾頭巾カブッテおいこみ姿ノ錦イドノ、云ハヂド知レシ醫老人」。

おい・こみ　(……)自動、四段。(……む)　次第ニ老イル。═年ガヨル。═ラウス非スル。═ヤケガマハル。

△おい・さび　(第三上)自動、上二。(……進ぶ)(さぶハすさぶ(進)ノ義)　ダンダン年ガヨル。═オイヅク。

●おい・さらば(へル)　(第六ヘ)(全平)自動、(二)。ラウス非スル。═オヒサラボフ。═老イテ衰ヘル。

○おい・さらぼフ　(第六ウ)(第五上)自動、四段。　おいさらばへるノ古體。

●おいしイ　(全平)形(「お(御)いし(美)ノ義)　うまいノ敬語。多ク婦人小兒ナドガ云ヒ、又主ニ物ノ味ニカカル。

▲おいたち　(……)名。　蟲ノ名。京都ノ方言。

おいなご　ノ一名。

△おい・づく　(第三上)自動、四段。(老いづく)(づくハちかづくノづく)　老イニ近ヅク═ラウス非ニ近ヅク。═年ガヨル。═オイサブ。

おいて　(全平、又第一上)天爾。(於═于)て)(おきて(置)ノ音便)　にて(天爾)ト同ジ語。═デ。「東京においてクラス」。═「山ニおいて會ス」。

●おいで　(全平)名。(御出で)　(一)出ルコトノ敬語。═「宿ヲおいでニナル」。(二)居ルコトノ敬語。═「ケシキヲ見テおいでアラバス」。(三)來ルコトノ敬語。═「おいでガアル」。

◎此語ハ所屬ガ實ニ怪シイ。モトいづるノ轉ニ他ノ物ニ應ズル時ニイフ語。オホク下等ノ人ガツカフ。═「おいきたト呑ミ込ム」。

トニ云フ語ノ敬語ニナッタモノ故、ツマリ名詞トスルヨリハ動詞ノ一種トシタ方ガ普ナサウニ見エルモノノ、今日デハおいでる下二云フ語ガ最早普通言語デ無ク、寧ロ方言デ、俚語ノ方ニ近ヅイタ所カラ云ヘバ、單獨ニ此おいでヲ動詞カラハナシタ動詞ノ無イ名詞ト見ルヨリ外仕方ガナイ。ソレ故、假リニ名詞ト定メタ置ク。最モ名詞トシタ使フ點ニ於テ更ニ差シ支ヘハナイ。

●おいでおいで（第六上）名。〔……御出で〕他ヲ呼ブ手マネキノトナヘ。手マネキシテ、他ニおいでおいでトイフ處カラ起コル。—「おいでおいでヲキメル」。

▲おいてきぼり（……）根。〔おいて（置）き來（ふ）（放ノ意）〕オキザリニスルコト。＝見捨テテソコヘ殘シテマフコト。—「友達ヲおいてきぼりニスル」。

▲おいでる（……）自動、二。〔御出でる〕（一）行ク、去ルナドノ敬語。（二）居ルノ敬語。（三）來ルノ敬語。（四）出ルノ敬語。

◎此語ハ今日全ク廢語トナッタ。方言カ俚語デナクテハ云ハヌ。

▲おいど（第一上）名。しり（尻）ノ異名。—俗語。猿ノおいどハ眞赤ナ」。

△おいなむ（第三上）自動、四段。〔老い並む〕年ニ似ツカハシクオトナビル。＝オイバム。

○おいはッ（全平）自動、下二。〔……果つ〕老イガ極マル。＝キハメテ多ク年ガヨル。

△おいばむ（第三上）名。〔……ばむ〕〔ばむハ黃ばむナドノばむ〕おいなむト同ジ語。—枕ノ草紙「おいばみ、ウタテアルモノコソ火桶ノハタニ足ヲサヘモタゲテ」。

▲おいへ（……）（第三ニ）（全平）名。〔御家〕人ノ家ノ妻ヲ敬ッテ云フ語。イッモさん（樣）ヲ添ヘル。

▲おいへ（……さん（……）（……）名。〔……樣〕前ト同ジモノ。京坂デ多ク云フ。つま參考。

おいへは（……、第五オ）（第四上）名。〔……ハレル。

頬〕呪ノ附屬品ノ一ッ。めんばはノ一種。敵ハナク、滑ラカニ落ヘタ作リノ

△おいらか（第二上）根。ジンジャウ。＝オトナシクアルコト。＝ユックリ。

△おいらかに（……）副。前ノ副詞體。

○おいらく（……）名。〔老樂〕〔おゆらくノ轉〕年ヲトリ進ムコト。—古今集、櫻平、「櫻花、チリカヒ、曇レ、おいらくノ來ント云フナル道マガフカニ」。

おいらん（全平）名。〔花魁〕〔花魁ハ當テ字〕（一）クルワデ姉女郎ヲ指シテイフ語。—洞房語園異本考異「おいらん、姉女郎ノコトナリ。我身ノ姉ト云フベキヲ俚語ニテ斯ク云フ。此處ニ入リッドフモノオトナシキ女郎ヲバおいらんト云フ、コレ敬スル心ナリ」。（二）〔轉ジテ〕後世スベテクルワノ遊女ヲ指シテ云フ語。但シ宿場女郎ハ例外。—九馬鹿ニ付ケル藥「其上ヲ行クおいらんハ熊手ヲ持ッテカキノメス如ク松太郎ヲ無上ニ掻イテカイテ掻キノメシ、後ニハ身代マデモカキヤブル樣ニナル」。

◎おいらんノ語原ニツイテハ下ニ引ク久松祐之ノ近世事物考ノ說ガ一番タシカデアル。—「今、新吉原町ニテ揚ゲ代高キ妓女ヲおいらんトイヘリ。コハ元祿年間吉原仲ノ町ヘ女郎錦錦ヨリ櫻ヲ多ク植ニタルニ、其頃岸田屋何某ノ禿ノ句ニ『おいらんガイッテヨク咲ク櫻カナ』。……おいらトイフベキヲ此俚言ニおいらんトナマリテ言ヒシナリ。此時ヨリ太夫ノ名ニナリタリ。サレバ其召シッカハル者ヨリ云フベキ詞ナルヲ、他ヨリ言ヒテハ義ニタガヘレド、今ハ誰モマダ全クハ癈語トナラス。去リナガラ極メテ少數ノ、ソレラ下等ノ部類ニ行ハレル。

△おいらか（第二上）根。ジンジャウ。＝オトナシクアルコト。＝ユックリ。

△おいらかに（……）副。前ノ副詞體。

○おいらく（……）名。〔老樂〕〔おゆらくノ轉〕年ヲトリ進ムコト。—古今集、櫻平、「櫻花、チリカヒ、曇レ、おいらくノ來ント云フナル道マガフカニ」。

おいらん（全平）名。〔花魁〕〔花魁ハ當テ字〕（一）クルワデ姉女郎ヲ指シテイフ語。—洞房語園異本考異「おいらん、姉女郎ノコトナリ。我身ノ姉ト云フベキヲ俚語ニテ斯ク云フ。此處ニ入リッドフモノオトナシキ女郎ヲバおいらんト云フ、コレ敬スル心ナリ」。（二）〔轉ジテ〕後世スベテクルワノ遊女ヲ指シテ云フ語。但シ宿場女郎ハ例外。—九馬鹿ニ付ケル藥「其上ヲ行クおいらんハ熊手ヲ持ッテカキノメス如ク松太郎ヲ無上ニ掻イテカイテ掻キノメシ、後ニハ身代マデモカキヤブル樣ニナル」。

◎おいらんノ語原ニツイテハ下ニ引ク久松祐之ノ近世事物考ノ說ガ一番タシカデアル。—「今、新吉原町ニテ揚ゲ代高キ妓女ヲおいらんトイヘリ。コハ元祿年間吉原仲ノ町ヘ女郎錦錦ヨリ櫻ヲ多ク植ニタルニ、其頃岸田屋何某ノ禿ノ句ニ『おいらんガイッテヨク咲ク櫻カナ』。……おいらトイフベキヲ此俚言ニおいらんトナマリテ言ヒシナリ。此時ヨリ太夫ノ名ニナリタリ。サレバ其召シッカハル者ヨリ云フベキ詞ナルヲ、他ヨリ言ヒテハ義ニタガヘレド、今ハ誰モ

○おいり（……）名。〔お入り〕入リ來ルノ敬語。＝ライリン。＝クワウリン。—「殿樣ノおいり」「上使ノおいり」。

◎此語今日ハモハヤ癈語トナッテ文ヨリ外ツカハヌ。

●おいル（第二上）自動、二。〔老いる〕おゆノ近體。

おいる・くろす（第五上）名。〔英語、Oil-cloth、即チ油ノ布ノ義〕油ヲヒイタ一種ノ布。質ハカタクテ上ニ色色ノ花模樣ヲ畫ク。水ヲ彈キ、ヨク久シク持ッ所カラ西洋風ノ座敷キニ敷キツメ、又ハ馬車、車ナドノケコミニ張ル。

△おいろ（全平）名。〔御色〕書畫類ノ御殿女中ノ語。べにノ異名。〔色ガヲルハシイ所カラ云フ〕

おうと（第一上）名。〔擁護〕〔漢語、ようし擁と（護）ノ轉。ようはかかへる、どハまもるノ義〕オモニ、スベラ神佛ノ力デマモラレルコト。—「神佛ノおうと」。

おうさい（全平）感。〔手鞠〕〔手鞠ハ漢語、鞠ノ多イコトノ形容〕獨樂デ三番奧ノ云フ語。序開キニアル。＝三番叟「おうさい、おうさい、ヨロコビアリヤ」。

○おうしょう（第三、四合）（……）名。〔應鐘〕漢語。（一）十二律ノ一ッ。じふにりつ參考。（二）〔轉ジテ〕舊曆ノ十月ノ異名。—禮記、月令、孟冬之月…律中應鐘」。

○おうズ（……）自動、さ變。〔應ず〕（一）ツケックル。（二）シタガフル。（三）ヘンタフスル。（四）病マヒニ利ク（藥ガ）。（五）ソレ次第ニヨル。—「機ニおうじ變ニ備フ」。

●おうズル（全平）自動、六。〔……る〕おうずノ近體。

○おうり（……）名。〔お入り〕入リ來ルノ敬語。＝ライリン。＝クワウリン。—「殿樣ノおいり」「上使ノおいり」。

◎此語今日ハモハヤ癈語トナッテ文ヨリ外ツカハヌ。

●おいル（第二上）自動、二。〔老いる〕おゆノ近體。

おいる・くろす（第五上）名。〔英語、Oil-cloth、即チ油ノ布ノ義〕油ヲヒイタ一種ノ布。質ハカタクテ上ニ色色ノ花模樣ヲ畫ク。水ヲ彈キ、ヨク久シク持ッ所カラ西洋風ノ座敷キニ敷キツメ、又ハ馬車、車ナドノケコミニ張ル。

△おいろ（全平）名。〔御色〕書畫類ノ御殿女中ノ語。べにノ異名。〔色ガヲルハシイ所カラ云フ〕

おうと（第一上）名。〔擁護〕〔漢語、ようし擁と（護）ノ轉。ようはかかへる、どハまもるノ義〕オモニ、スベラ神佛ノ力デマモラレルコト。—「神佛ノおうと」。

おうさい（全平）感。〔手鞠〕〔手鞠ハ漢語、鞠ノ多イコトノ形容〕獨樂デ三番叟ノ云フ語。序開キニアル。＝三番叟「おうさい、おうさい、ヨロコビアリヤ」。

○おうしょう（第三、四合）（……）名。〔應鐘〕漢語。（一）十二律ノ一ッ。じふにりつ參考。（二）〔轉ジテ〕舊曆ノ十月ノ異名。—禮記、月令、孟冬之月…律中應鐘」。

○おうズ（……）自動、さ變。〔應ず〕（一）ツケックル。（二）シタガフル。（三）ヘンタフスル。（四）病マヒニ利ク（藥ガ）。（五）ソレ次第ニヨル。—「機ニおうじ變ニ備フ」。

●おうズル（全平）自動、六。〔……る〕おうずノ近體。

△おうそつ（……）名。〔……ナドシテ、アシラフコト。

おうせつ・じよ（第五、六合）（第五、六上）名。〔……所〕漢字音。オウセッヲスル所。＝ダイメンジョ。

おうたい（全平）名。〔應對〕漢語。問ハレタノニ答ヘルコト。＝アイサツ。＝オウタフ。

おうたいト（第四ウ）（……）名。（……答）漢語。對面ノ音便。

おうたふ（第一上）名。〔首〕おびとノ音便。

おうな（……）名。〔老女〕〔おい（老）をんな（女）ノ年ヲトッタ女。＝ラウヂョ。

おうな（……）形。〔奧無し〕〔おく（奧）なし（無）オク深イ考ヘガナイ。＝アウナシ。

おうなシ（……）名。〔奧便〕漢語。變ニノ音便。

おうなり（……）名。〔應變〕漢語。變ニ應ジテ事ヲナスベキヲ一層敬語ニ言ヒナシタモノ。—三世相錦繡文章、「ドウデヤ、ナツトハ開イタカヤ？」「おかげさまデ落チ付キマシタ」。

●おかげさま（……）（……）名。〔……樣〕

おかげ・さま（第二餅）名。〔……樣〕

おかげ（第二ヨ）（全平）名。〔御講〕眞宗ノ語。はうおんかうノ一名。＝オシヤヤ。

おかぐら（第二ガ）（第三上）名。〔大鏡屋〕オホガ（大鏡）デ材木ナドヒイテ出ル水ノ屋。＝オガッダッ。

おかげ（第二ゲ）（全平）名。〔御影〕〔庇蔭〕（一）タスケ。＝ミヤウジョ。＝カゴ（加護）。—近松、心中二枚繪雙紙「毎年ノ御霜月、懈怠モ無ウ上ゲルコト自力デハ叶ハズ御恩德ノおかげナリ」。（二）〔轉ジテ〕オン。＝メグミ（人ノ）。—「おかげデタスカル」。

おかげ・さま（……）（……）名。〔……樣〕

●おかげ・さま（第二餅）名。〔……樣〕

おかげ・まゐり（……）（第四上）名。〔……參り〕伊勢ノ大神宮ヘ參詣スルコトノ稱ヘ。折リ折リ五六十年オキグラヰニ行ハレル。

○おかし（第二上）形。をかし（可笑）ノ誤リ。

△おかしま（……）名。〔御鹿島〕常陸ノ鹿島大明神ヲ崇メテおかしま大明神ト云フ、ソノ略。—近松、心中二枚繪雙紙「總ジテおかしまト申スノハ上ノ客三十三人、中ノ客三十三人」。

おかす（第二上）他動、四段。（一）（犯す）爲スベカラザルコトヲ强ヒテスル。—「法度ヲおかす」。（二）（侵す）無法ニ事ヲ行フ。—「人ノ國ヲおかす」。（三）（冒す）出來ニクイコトヲスル。＝頭上ニ物ヲフリカ

重子ヲ飲マセルコト。＝瓢箪鯰、「マタおかさへノオ手元ハシッコイ飲ミ手ヂャナイカイナ」。

おが（第二ガ）（第二上、又、全平）名。〔大鏡〕おはが（大鏡）ノ略。

おがう（第二コ）（全平）名。〔御講〕眞宗ノ語。はうおんかうノ一名。＝オシヤヤ。

おかぐら（第二ガ）（第三上）名。〔大鏡屋〕オホガ（大鏡）デ材木ナドヒイテ出ル水ノ屋。＝オガッダッ。

おかげ（第二ゲ）（全平）名。〔御影〕〔庇蔭〕（一）タスケ。＝ミヤウジョ。＝カゴ（加護）。—近松、心中二枚繪雙紙「毎年ノ御霜月、懈怠モ無ウ上ゲルコト自力デハ叶ハズ御恩德ノおかげナリ」。（二）〔轉ジテ〕オン。＝メグミ（人ノ）。—「おかげデタスカル」。

おかげ・さま（……）（……）名。〔……樣〕

●おかげ・さま（第二餅）名。〔……樣〕

おかげ・まゐり（……）（第四上）名。〔……參り〕伊勢ノ大神宮ヘ參詣スルコトノ稱ヘ。折リ折リ五六十年オキグラヰニ行ハレル。

○おかし（第二上）形。をかし（可笑）ノ誤リ。

△おかしま（……）名。〔御鹿島〕常陸ノ鹿島大明神ヲ崇メテおかしま大明神ト云フ、ソノ略。—近松、心中二枚繪雙紙「總ジテおかしまト申スノハ上ノ客三十三人、中ノ客三十三人」。

おかす（第二上）他動、四段。（一）（犯す）爲スベカラザルコトヲ强ヒテスル。—「法度ヲおかす」。（二）（侵す）無法ニ事ヲ行フ。—「人ノ國ヲおかす」。（三）（冒す）出來ニクイコトヲスル。＝頭上ニ物ヲフリカ

ブルヤウナ場合ヒニ事ヲ行フ。—「雨ヲおかしテ敵ヲ破ル」。（四）尊イモノノ尊トサヲケガス。—「災厄日ヲおかす」。（五）〔轉ジテ〕姦婬スル。（オモニ貴女ニ對シテイフ）。

▲おかす（全平）名。〔御數〕〔かすかす（數數）ノ義〕　仮ノサイ。主ニ東京デイフ。—サイ。—オマハリ。

おかた（……）名。〔……方〕　（一）●スベテ人ヲ指シテ云フ敬辭。—忠臣藏「イヤ、始メテノおかたヲ同道シタガ、コリヤキツウ取リ込ミサウニ見エル」。（二）▲〔轉ジテ〕スベテ貴人ノ妻女ヲ敬ツテイフ語。—ウチカタ。—オクガタ。（三）又、轉ジテツマ。—ニヨウバウ（東京以外）。—山崎美成、本朝世事談綺正說、「關西ノ民族妻ヲ稱シテおかたト云フナリ」。—物類稱呼、「妻、仙台ニテおかたト云フ」。

おかたばうちやう　（第四ガ、第七ヨ、第六、七合）（第四上）名。〔……庖丁〕　和泉ノ國堺カラ出ル庖丁ノ一ツ。始メ其鍛冶ガ妻ニアヒヅサヲ打タセ、即チおかたニ手傳ハセタ所カラ此名ガ付イタト云フ。

△おかたづめ　（第四上）自動、一。〔……め〕　貴人ノ細君ヲシクアル。—西鶴、一代女「モノ柔カク人ノおかためきタルシカタ」。

おかは　（（第三ワ））（第二上）名。〔御厠—（便器）ニおかはや（厠）ノ略〕　おまる ト同ジ語。☆おまる參考。

▲おかはん　（……）名。〔おかは（御母）ノ略。はんハさん（樣）ノ轉〕　西京ノ方言。おつかさん ト同ジ語。—おかはん、斯ウドスエ。

▲おが・ひき　（（第二ガ））（第四上）名。〔大鋸挽き〕　スベテ、ノコギリデ材木ヲ伐ルノヲ職業トスル人。

●おかひこ　（（第三イ））……名。〔御蠶〕　かひこ（蠶）ノ敬語。（二）おかひこハ絹物ノモトデアル所カラ轉ジテ〔絹物ノ織リモノ〕ヲイフ。—三世相錦繡文章、「何カラ何マデおかみさんノ御介抱、ソノヤウニオツシヤツテ下ダサリマスト、却ツテ罰ガ當リマスルワイナア」。☆つま參考。

●おかひこぐるみ　（……、第五グ）（第五上）名。〔……揺み〕　〔ぐるみハくるまるノ義〕　布ヲ身ニマトツテ非ルコト。—絹モノニクルマツテ非ルコト。—「おかひこぐるみノ贅澤三昧」。

△おかべ　（第二上、又、全平）名。〔……〕　イ處ガ白壁ニ似タ所カラ轉ジテ云フ。—三世相錦繡文章、「何カラ何マデおかみさんノ御介抱、ソノヤウニオツシヤツテ下ダサリマスト、却ツテ罰ガ當リマスルワイナア」。☆つま參考。

●おかめ　（第二上）名。〔阿龜〕　（一）おふくト同ジモノ。（二）〔轉ジテ〕おふくノヤウナ丸ポチャノ顏。—スベタ。—トリノマチ。—ウレノコリ。—オタフク。（三）又、轉ジテ〕スベテ、ミニクイ顏ノ女。

おかめ　（……）名。〔……〕　おかめそばノ略。

おかめ・そば　（第二上、全平）名。〔……蕎麥〕　ソバノ一種。ごまいささノ一名。

おかめ・そば　（第四上）名。〔……蕎麥〕　タネモノノつゆそばノ一種。カマボコト松茸ト ヲ入レタ蕎麥。〔おかめニ松茸ト云フ諺ノアル所カラ轉ジテ付ケタ稱ヘ〕

▲おが・つくづ　（（第二ガ、第三逼））（第四上）名。〔おがくづノ轉訛。〕

▲お・かつたるイ　（（第三逼））（全平）形。〔おハ敬語。かつたるいハ疲勞ノ義〕　專ラ東京ノ稍下等ニ近ヅイタ社會ディフ語。アキアキスルホド面白クナイ。—マハリドホイ。—タンノウノ出來ヌ。—追ツ付カナイ。—マニアハナイ。—マダルッコイ。—谷峨、偃城翼二筋道二五郎サマナドト取組マウト思ハバ、千手觀音ニ鹽ガチヲシテ、地取リヲ三年モ揉ミ、三谷ノ毘沙門カラ百足ヲ後見ニタノンデモ、マダおかつたるい」。

▲お・かん　（第二上）名。〔御燗〕　江戸、吉原ノクルワデ言ツタ語。正月ノせちノ食物ノ稱ヘ。—洞房語園異本考異、「かんハ燗トイツテあつものト云フコトナリ」。

●おかみさん　（全平）名。〔御上樣〕　人ノ妻ヲ敬ツテ呼ブ語。普通ニ商人、職人ナドニ限ツテ云フ。—三世相錦繡文章、「何カラ何マデおかみさんノ御介抱、ソノヤウニオツシヤツテ下ダサリマスト、却ツテ罰ガ當リマスルワイナア」。☆つま參考。

●おかめ　（第二上）名。〔阿龜〕　（一）おふくト同ジモノ。（二）〔轉ジテ〕おふくノヤウナ丸ポチャノ顏。—スベタ。—トリノマチ。—ウレノコリ。—オタフク。（三）又、轉ジテ〕スベテ、ミニクイ顏ノ女。

おかめ　（……）名。〔……〕　おかめそばノ略。

おかめ・ざさ　（第二上）名。〔……笹〕　ささ（笹）ノ一種。ごまいささノ一名。

おかめ・そば　（第四上）名。〔……蕎麥〕　タネモノノつゆそばノ一種。カマボコト松茸ト ヲ入レタ蕎麥。〔おかめニ松茸ト云フ諺ノアル所カラ轉ジテ付ケタ稱ヘ〕

▲おが・つくづ　（（第二ガ、第三逼））（第四上）名。〔おがくづノ轉訛。〕

▲お・かつたるイ　（（第三逼））（全平）形。〔おハ敬語。かつたるいハ疲勞ノ義〕　專ラ東京ノ稍下等ニ近ヅイタ社會ディフ語。アキアキスルホド面白クナイ。—マハリドホイ。—タンノウノ出來ヌ。—追ツ付カナイ。—マニアハナイ。—マダルッコイ。—谷峨、偃城翼二筋道二五郎サマナドト取組マウト思ハバ、千手觀音ニ鹽ガチヲシテ、地取リヲ三年モ揉ミ、三谷ノ毘沙門カラ百足ヲ後見ニタノンデモ、マダおかつたるい」。

▲お・かん　（第二上）名。〔御燗〕　江戸、吉原ノクルワデ言ツタ語。正月ノせちノ食物ノ稱ヘ。—洞房語園異本考異、「かんハ燗トイツテあつものト云フコトナリ」。

お・かんあげ　（（第五ケ））……名。〔……髮揚げ〕〔かんハかみ（髮）ノ音便〕　貴人ノ髮ヲ結ブ人。—西鶴、若風俗、「アマタノオモトビト、おかんあげ」。

△おき　（第一上）名。　いき（息）ト同ジ語。古言。

おき　（……）名。〔沖—澳〕　（一）陸カラハルカニ遠イ海、又ハ湖ノ部分。（二）〔轉ジテ〕スベテ遠クナツタ野ノ部分。（三）▲〔おく（奥）カラ轉ジテ〕山、林ナドノ深ミノ部分。

おき　（全平）名。〔燠〕〔おき（起）ビ（火）ノ義〕　（一）紅熾シタ炭—スミビ。（二）〔轉ジテ〕マダ灰トナラヌ火。

おき　（……）接尾。〔置き—隔〕　中ニヘダテ置クコト。—「一日おき」。—「四日おき」。

おきあがりこぼふし　（（第四ガ、第七ガ、第八ウ））（第六上）名。〔起き上がり小法師〕　玩弄物ノ名。紙デ張リヌキニ人物ノ姿ナドヲ作リ、底ヲ少シ重クシ、倒セバヤガテ起キ返ヘルヤウニ捺ヘタモノ。—フタウヲウ。—オキヤガリコボシ。—ウラカヘリコボシ。

おきあがる　（（第四カ））（全平）自動、四段。〔起き上がる〕　臥シタノカラ起キル。

おきあげ　（（第四ケ））……名。〔……揚げ〕　彫刻マタハ蒔キ繪ナドノ語。地ヨリモ模樣ノ方ヲ高クシタモノ。—ウキアゲ。

▲おきあげ　（……）（第四上）名。〔沖揚げ〕　越後、西頸城郡ノ方言。風ノ名。きたかぜノ一名。

おきあさり　（第三上）名。〔沖淺蜊〕　あさりノ一種。殼ハ厚クテ、毛ガ多クアリ、肌ハザラザラシ、色色ナ斑ガアル。

△おきあはせ　（（第四ワ））（全平）名。〔置き合はせ〕　とりあはせト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記、「燒キ豆腐ヤ、名サヘをかべノ

おきあみ　（……）名。〔……網〕　網ノ名。まちまちノ形チニハアラズ」。

△おきそ　（……）名。〔沖そ〕〔そハ添ヘノ語〕　おきそノ風」。

△おきツ　（……他動、下二。〔掟つ〕　キメル。—源氏、「此御子ウマレタマヒテ後ハイト心コトニ思ホシおきてタレバ」。

△おきつ・かぜ　（第三上）名。〔沖津風〕〔つハあまつかみノつ〕　沖ノ風。

●おきつけ　（……）名。〔置き附け〕　（一）スエオキ。—「おきつけノ下男」。（二）置キナラシテアルコト。

●おきつけル　（第四上）名。〔……る〕　スエオク。—トドマリ居サセル。—住ミ込マセル。—「下男ヲおきつける」。

△おきつ・しまね　（……）名。〔沖つ島根〕　沖ノ島。

△おきつ・しまもり　（第五上）名。〔……守り〕　タダノしまもりトオナジ語。

△おきつ・しまやま　（……）名。〔……山〕　海ニアル島。

△おきつ・しらなみ　（……）名。〔沖津白波〕　沖ニ立ツシラナミ。

△おきつ・すたべ　（……）名。〔奥津棄戸〕　小石デ棺ヲカコヒ、ソレニ土ヲカブセタ塚。

おきつたひ　（（第四イ））（第三上）名。〔奥津鯛〕　あまだひノ一種。形チハあまだひニ少シチガツテ稍白ク、二尺餘リニモ育ツ。駿河ノ國興津ニ多ク、味ヒハ非常ニウマイモノ。

おきつち　（全平）名。〔置き土〕　更ニオキ

添ヘル土。―ツチモチ。―西鶴、一代女「天井モおきつちシタ壁一尺アマリ厚クツケテ物云フ聲モソト〳〵洩ラサズ」。

△おきつ・ぎり　（第三上）名。〔沖津島〕〔おきつかぜノおきつ〕　沖ニ非ル島ノ総名。

○おきつ・どり　（……）枕。〔……〕　あぢ、かも、うドニ掛カル枕詞。〔あぢかも何レモ水鳥ノ名〕

△おきつ・なみ　（……）名。〔沖津浪〕　沖デ打ツナミ。

△おきつ・ぶね　（第四上）名。〔……舟〕　沖ヲ行ク舟。

△おきつ・みそし　（……）名。　いね（稲）ノ異名。〔みそし八豊年ノ義〕

○おきつ・もの　（第三上）枕。〔沖つ物〕〔おきハおく（奥）ノ義、即チおくノ物ハカクレテアル所カラ〕　かくれのやまニ掛カル枕詞。

おきて　（全平）名。〔掟〕　（一）おきつ（掟）ノ名詞體。（二）〔轉ジテ〕スベテ定メテ置ク法度。―ハフシキ。―ハブセイ。―ハフド。―ハツト。

おきてぬぐひ　（第五グ、第六イ）（第三上）名。〔置き手拭ひ〕　頭、又ハ肩ナドニ手ヌグヒヲ置クコト。マタ、ソノ手ヌグヒノトナヘ。―西鶴、若風俗「頭ハおきてぬぐひニシテ大カタニ色ヅクリシニ」。

おきどころ　（全平）名。〔……處〕　置クベキ所。―源氏「イトモカシコキハおきどころモ侍ラズ」。

おきな　（……）名。〔翁〕〔おき（息）ナガ（長）ノ略。息ガ長ク續イタ人ノ義〕　年ノ老イタ男。―ラウヲウ。（オモニ敬フコトロヲ持ツテ云フ）。

おきな　（……）名。　假名ノ海ニ棲ムト云フ

テ〕アケクレ。―キヨジヤウ。―嘉俊「シホ風ニシヲレニケリナ、洗レ草ノおきふし春ヲ待ツトセシ間ニ」。

△おきぶみ　（全平）名。〔置き文〕　書キノコス書キモノ。―カキオキ。

おきまくはス　（第五ワ）〔……〕自動、四段。〔……感ハス〕　目マギラハシクアル。―見アヤマチサウデアル。―凡河内躬恒「心アラニ折ラバヤ折ラン初霜ノおきまくはせる白菊ノ花」。

△おきみ　（……）名。〔正親〕　おはきみづかさノ略。

おきみやげ　（第五グ）（第五上）名。〔置き土産〕　立チ去ルトキニ殘シテ置クオクリモノ。―カタミ。―異本洞房語園「小袖ヒトカサネ銀十枚、吉田ガおきみやげナリ」。

おきめばる　（第三上）名。〔沖目張る〕　魚ノ名。あかめだひノ一名。

おきもの　（全平）名。〔置き物〕　床ノ間ノ飾リナドニスエ置ク器物ノ稱。彫刻物又ハ其他ノ器具類スベテ云フ。―淺井了意、東海道名所記「おきものニハ螺平ノ書カレシ御成敗ノ式目、中將姫ノ庭訓往來ナドアリ」。

△おきやう　（第二ギ、第三ヨ、第二三合）〔……〕名。〔御形〕　草ノ名。ごぎやうト同ジ語。

●おきやがりこぼし　（第二三合、第四ガ）（第六上）名。　玩弄物ノ名。おきあがりこぼうしノ略稱。

おきよ・ぜごろ　（第四上）名。〔御清所〕　貴高家ノ膳部ヲ取リ扱フトコロヲ指シテ云フ語。―ゴゼンガカリ。―カッテモト。

●おきル　（第二上）自動、二。〔起〕きる〕　おく（起）ノ近體。

おきろく　（全平）名。〔隱岐綠〕　繪ノ具ノ名。おきろくしやうノ略。―下學集、「隱岐綠青」。

おきろくしやう　（第六ヨ、第五、六合）（第三上）名。〔……青〕　ろくしやう一種。主トシテ繪ノ具ニ用ヰル。昔、隱岐ノ國カラ出タト云フ。―オキロク。

△おぎろ・なし　（第二ギ）（第三上）形。〔廣し〕　宏大無量デアル。―ハカリ得ラレヌホド無邊デアル。

おきろ・かへル　（第二通、第五ニ）（……）自動、四段。〔……蛙〕　（一）スベテ物ノ名。おきかへるノ轉訛。

▲おく　（第一上）名。〔奥〕　（一）スベテ物ノ内部ニ有ツテ極メテソトヘ〳〵ト現ハレヌ部分ノ稱。―「卷物ノおく」。―「山ノおく」。―「國ノおく」。（二）家族眷族ノ一種。主トシテ女ノ所。家族ノ部分。―「おくノサシキ」。―「轉ジテ」貴人ノ妻女ヲアラハス語ニモ用ヰル。―「おくさまヲ添ヘル」。―「おくノ間」。（三）轉ジテ「おくノ御心ヤ」。（四）貴人ガ他ノ人ニ對シテ自分ノ妻ヲサシテ云フ語。多クハ目シタニ向ヒテ云フ。―「おくニ此由ヲ云ヘ」。（五）スベテ秘密デ容易ニ見セヌモノヲ形容シテ云フ語。―「心ノおく」。―「おくノ手」。

おく　（全平）他動、四段。（置）く）　（一）スベテ物ヲ其場所ニトドマラセル。―置ク。（二）△轉ジテ「取ッておく」。（三）前カラ用意スル。―カカヘル。―「二日ヲおいテ次ギノ日」。―「一年ヲおいテ次ギノ年」。（四）其品ニ對スルダケノ金ヲ受ケ取ッテ買物トシテ預ケ入レル。―「買ニおく」。―「カタニおく」。（五）〔轉ジテ〕ハブク。―サシオク。―目ニカケヌ。―「君ヲおきテ又誰レカアラン」。（六）燃ヤス。―焚ク。―萬葉集「足ビキノ山田モルヲおく鹿火ノ下焦ガレツツ、我ガ戀ヒセラク」。（九在ラセル。―居サセル。―不知足山人「明キ上手ニ重テタムシルト其分デハおかヌゾ」。◎氣ヲおく。―心ヲおく。―（氣ニスル。―ケムタク思フ。―ハバカル。―エンリョスル）。

○おく　（……）自動、四段。（……）　フル。―タマル（主ニ露、霜ナドニイフ）―古今集「秋ノ露イロイロニトニおけバコソ山ノ木ノ葉ノ千草ナルラメ」。

○おく　（第一上）自動、上二。（起）く）　（一）臥シタ所カラタチアガル。―アガル。―オコル。―「タマヒヤニおきツツ見レバ庭ノオモ皆シロタヘニ雪ノ降リケル」。（二）〔轉ジテ〕目ガサメル。―寢床カラ出ル。―源氏「アサアフノ宿オボシヤリツツ、トモシ火ヲカゲツクシテおきオハシマス」。

おく　（……）數。（億）　漢語。（一）數ノ名。主ニ萬ノ萬。―萬萬。（二）〔ママ〕千萬或ハ百萬或ハ千萬。（三）〔轉ジテ〕スベテ數ノ多イモノヲ形容シテ云フ語。

おく・い　（第三上）名。〔奥意〕　〔おくハ轉訛ノ漢字音〕　（一）心ノオクソコ。―ソコイ。（二）技術ナドニ云フオクノテ。―ゴクイ。―アウギ。―オクギ。

△おく・か　（……）名。〔……處〕　〔かハかくれが、すみかナドノか〕　スベテ奥マッタ、ワカラヌ部分。―ユクヘ。―ユキガタ。―「おくかも

おきなひ・ぐすり　（……、第五グ）（第五上）名。〔……藥〕　身體ノ勢力ヲヲスケルメメ用ヰル藥。

△おきな・びと　（第三上）名。〔翁人〕　おきなト同ジ語。

おきなフ　（第二ギ、第四ウ）（……）他動、四段。（〔補〕ふ）　スベテ、不足デアルノヲ充分ニスル。―サシマヘスル。

△おきなブ　（……）自動、上二。（翁ぶ）　オキナラシクアル。―老人メク。

おきなばはノ一ツ　（第五オ）（……）名。（……癩）　めんばはノ一ツ。能狂言ノオキナノ面ニ似タ故ノ名。

おきなほル　（第四オ）（全平）自動、四段。（起き直る）　フシテ非タ所カヲ起キテスワル。

おきなゆり　（第三上）名。〔翁百合〕　草ノ名。ゆりノ屬。かのこゆりノ一名。

おきなわたし　（第四上）名。〔……渡し〕　貴芝居ノ顔見世ノトキ、祝ヒニ十一月一日ノアカツキ、式三番ヲ舞フ、ソノ稱ヘ。市川白猿、老ノ樂ミ、元日、おきなわたしト見物ニ始メテ目見エ。

●おきぬけ　（全平）名。〔起き拔け〕　寢起キソノママ。

△おきぬフ　（第二ギ、第四ウ）（第三上）他動、四段。（〔補〕ふ）　おきなふノ轉。

おきの・だいふ　（第五ニ、第六ウ）（……）名。〔沖の大夫〕　鳥ノ名。あはうどりノ一名。

○おきのル　（第二ギ）（第三上）他動、四段。（〔除〕る）　カゲデ買フ。―代金ヲ借リテ買フ。

おきび　（全平）名。〔熾火〕　おき（熾）トオナジ語。

おきふし　（第一上、又、第二上）名。〔起き臥し〕　（一）起キルノトフスノト。（二）〔轉

知ラズ行ク」。

++おくがき　(第三カ)(第四上)名。(奥書き)書物ノ末ニ書キツケル文章。═バツ(跋)。

おくがた　(……)(全平)名。(……方)　貴人ノ妻ノトカ(。═レイフジン。═オクサマ。

●おくく及ビつき参考。

◎おくがた　今日ムシロ上等ノ部分ニノミツカフ。おくさまヨリハ尚一層ノ品格ヲ持ツ。但シ幾分カ用井方ニ於テモ少シチガフ。おくがた(二人称)ヨリハ却ッテ三人称トシテ多ク用井ル。おくがた二對シテ對称ノ語ヲ用井ルトキニハ兎モスレバ多クおくさまト云フ。「おくがた(三人称)ノ御出カケニナツタ跡」。「おくさま(二人称)是ハ如何デス？」

おくぎ　(第三ギ)第三上)名。(……義)(漢語。あうぎノ轉)　オクノテ。═ゴクイ。═アウギ。═オクイ。

おくこしよう　(第四、五合)(……)名。(……愚從)　オクヅトメヲスル小姓。

●おくくふ　(第二遍、第四ウ)(第三上)根。(億劫)(おくこふ(名)カラ轉ジラ)　スベテ久シイアヒダ暇ノカカルコト。═容易デナイコト。═オックウ。═「おくくふナ手ノウチ」。

▲おくことふ　(……)根。　前ト同ジ語。今オモニ俚語トナル。

おくことふ　(第四ウ)(全平)名。(億劫)　佛教ノ語。こふ(劫)ノ萬萬スベラ數ノ多イトキニイフ。

おくさしき　(第三上名。(奥座敷き)　奥ニナツタ部分ノザシキ。═摂田治助、龍ニッヒ深入リノおくざしき、待ヲ設ケタル格ガ枕ハソレト見ルヨリ胸ヅクシ。

●おくさま　(第一上)名。(……様)　貴人ノ妻女ヲ敬ツテ云フ語。═オクサン。═オクガタ。

◎おくがた参考。

おくし　(第三上)自動、中流ノ社會ニ向キニ限リ、此語ヲ用井ダモノハ、今日ハ極メテ乱雑ニナツタ、中流ノ社會ノ人モ從來ノごしんぞッテモツカヒ、ツマリ從來ノごしんぞさまトオナジ程度トナツタ。殊ニ昔ハ此語ヲハ如何ニ富有ノ身デモ商人、モシクハ職人ノ妻女ニハ決シテ用井ナカツタノガ、今日ハママ是等ニモ用井ルヤウナ妙ナ事實ガ出來タ。是畏ズルニ、是モ戰乱ナドヲ經テ、スベテノ習慣ガ混乱シテ、唯勢力ノ有ル處ニ社會ノ潮流ガ奔リ赴イタ故デ、言語聲遣ノ道理カゲンナ說。═アナズ非リヤウノ說。イイカゲンノ推測。═アラズッポウ。

おくし　(……)名。(……)　前ト同ジ語。今日オモニ東京以外ノ地方出身ノ人ガツカフ。

●おくさん　(……)名。(……)　一解釋ト同ジ語。═近松、博多小女郎浪枕、「心解ケタル朝帰ノおくそこモナク　ナリニケル」。

おくし　(第二グ)(全平)名。(くしハくしけづるト云フ緣カラ出來タ。═西鶴、一代女、彼ノ語。═イロ。═シキジヤウ。

▲おくせん　(……)又、第一上名。　西京ノ方言。

△おくだかる　(第三上名。　オクダカクアル度合ヒ。

△おくだかし　(……)形。　オクヒャウデアル。

おくたぼ　(……)名。(英語、Octavo ノ譯ミアヤマリ)　洋本ノ印刷術ノ語。全紙一枚カラ十六面ノ頁數ヲ取ツタモノ。　漢語。オシカリサダメルコト。

△おくたんと　(第三上名。(おらんだ語、Octant)　シャウゲンギ。═鹿塚鳴「文化十酉年西尾隠州侯ノ家臣高森總右衛門、一名観好君レラノ淨瑠璃ヲ好ンデ語ル。其種類ハあみだのむねわり、きりかけ會我ナド是ヲ奥州デハ三味線ニ合ハセズ、ダダ扇子パカリデ柏子ヲトツテ語フ。═センダイジヤウルリ。═アウシウジヤウルリ。═俳枕、「おくじやうるり、緒絶エノ橋ヤ古扇」。

○おくス　(第三上)自動、さ變。(慮す)(漢語ノ氣ガオクレル。═イデクル。═オデオソレル。═妙妙奇談、「今吉良氏おくシテ相談ニシタルニハアラズ」。

●おくスル　(……)自動、六。(……る)　前ノ近儀。

▲おくせいご　(第五ゴ)(……)名。(奥小姓)　魚ノ名。いさきノ一名。奥州ノ方言。

おくせつ　(全平)名。(臆說)　漢語。イイカゲンナ說。═アラズ非リヤウノ說。

おくそく　(……)名。(……測)　イイカゲンノ推測。═アラズ非リヤウ。═アラズッポウ。

おくそこ　(第三上)名。(奥底)　おくい(第一解釋ト同ジ語。═近松、博多小女郎浪枕、「心解ケタル朝帰ノおくそこモナク　ナリニケル」。

▲おくせん　(……)又、第一上名。　西京ノ方言。═イロ。═シキジヤウ。

△おくだかる　(第三上名。　オクダカクアル度合ヒ。

△おくたかし　(……)形。　オクヒャウデアル。

おくたぼ　(……)名。(英語、Octavo ノ譯ミアヤマリ)　洋本ノ印刷術ノ語。全紙一枚カラ十六面ノ頁數ヲ取ツタモノ。　漢語。オシカリサダメルコト。

△おくたんと　(第三上名。(おらんだ語、Octant)　シャウゲンギ。═鹿塚鳴「文化十酉年西尾隠州侯ノ家臣高森總右衛門、一名観好君

命ニヨリ新タニ製作ス……是レ戰國ニテおくだんとヲ製作ノ濫觴ナリ。司馬江漢ガ編述ノ天文圖解、文化五年戊辰ノ刻版ノ書ヲイフ。おくだんとハ日本ニテハ此ノ製セシヲ以テ見ルヨリ。

おくちやうば　(第四ヨ、第三、四合)(第三、四上)名。(奥帳場)　オクヲ監督番オクヲ所ニアル帳場。重ダッタ支配人ナド居ル。

△おくつ　(第三上)名。(御靴)　ただこともヨリ異名。═吉原雀、「間フラ曰クおくつトハ如何ニヤ答ベラ曰ク、ソレコモチロン異名カヤ。トリモツトモヲカシナルベシ」。

△おくつき　(全平)名。(奥津城)　はか(墓)ノ古言。

△おくつま　(第三上)名。　愛スル妻。

△おくて　(……)名。(左手)　左ノ手。═萬葉集、「ヒダリテノ我ガおくて」。

おくて　(……)名。(奥手)═(晩稻)　オソク熟スル稻。

おくてう　(第三チヨ合)(全平)數。(億兆)　漢語。(一)億ノ數ト兆ノ數ト。(二)轉ジテ多イ數ノ形容。

△おくどと　(……)名。(奥床)　奥ノ方ニアル手洗ヒ。

△おくに　(第四上)名。(阿國歌舞伎)　貴人出發ノ阿國ガ始メテ演ジ出シタ所カラ付イタ稱ヘ。歌舞伎ノトカヘ。

おくのて　(第三上)名。(奥ノ手)　(一)△ひだりのてノ古言。(二)スベテ技術ナドノゴクイ。═ヒケツ。

おくのゐん　(……)名。(……院)　スベテ本尊ナドヲアガメテ拜ク極メテ奥深イ所(寺ナドニ云フ)。

おくば　(第一上名。(奥齒)　口ノ奥ニアル

△おくびやうかぜ　(……)(第三上)名。(臆病風)　オクビヤウノ心ヲ誘ヒダス神ノ名。京大阪デハ多ク用井ル。是ニヨッテ左ノ如何ニモ卑怯ナルベシ。(二)轉ジテ臆病ノ形容。

△おくびやうがみ　(……)(第六ガ)(……)名。(……風)　オクビヤウノ心ヲ誘ヒダス神ノ名。═シンセン。═西鶴、若ウハ。═藏場新話、客ハ太夫元、若太夫、帳元ノ三人シキリ場ヲおくやくノモノナド呼ブナリ。

●おくやま　(全平)名。(……山)　奥深イ山。═センザン。═「おくやまニ紅葉フミワケ啼ク鹿ノ」。═古今集、貫之、「見ル人ノナクテ

○おくやカシ　(第四上)形。(……し)　(一)奥ガワカイ。(二)意味ガフカイ。

おくゆまり　(全平)名。(奥ゆまり)　オシマルコト。═オクヤミノアルコト。

おくらまる　(第三上)自動、四段。(おくる(奥)ノまる(助)ノ義)　奥深ク收ツテ非ル。「おくらまるタル所ニ聰ミヒトヒラウヨガベンシテ」。

おくらみ　(……)名。(俚)(おくびノ轉)　(一)物ノ前ノ左右ノ端ニアル一ト布ノ布ノトカヘ。(二)着モ形容ノ語。オクビヤウノ心ヲ誘ヒダス神ノ名。西ノ花道ノ傍ニアル土間ノ殘リノ稱ヘ。═藏場新話、「西ノ方ハ花道ノウキ、土間ノ劇リノコシヲおくみトイフ」。

おくむき　(全平)名。(奥向き)(むきハおもてむき、ようじむきナドノむき)　奥ノコトニ關係ノアルコト。═おくむきノ用事。═森山孝盛、隠ノ小手鞠、「瀧川ドノ申サルルコトハおくむきニテハ何事モ埒ノアクコトアリニ」。

おくめん　(……)名。(臆面)　漢字音。氣オクレノスル顔付キ。═「おくめんガ無イ」。

◎此語今日デハ主ニ必ズ打チ消シノ語ヲ下ニトモナッテ用井ル。

おくやく　(第四上)名。(奥役)　芝居デ會計ノ公邊其他一切ノ事務ノ要衝ニアルヤクメノ稱ヘ。奥帳場ニ非ル。═オクチヤクバ。═藏場新話、「客ハ太夫元、若太夫、帳元ノ三人シキリ場ヲおくやくノモノナド呼ブナリ」。

●おくら馬イ　(第四上)形。(……し)　かしこム近儀。

おくらかさ　(第三上名。　カクアル度合ヒ。

散リヌルおくやまノ紅葉ハ夜ノ錦ナリケリ」。

○おくやまの（…）枕。（…の二）まきノ木ハ奥山ニ多クアルモノ故」。まきニ掛カル枕コトバ。—萬葉集「おくやまのマキノ板戸ヲ押シ開キ、シヱヤ、出コ子、後ハ何セジ」。

○おくゆかし（第四上）形。（奥床し）（一）奥ガフカイ。（二）奥ガアッテ容易ニアラハデナク、何トナクシタハシイキャウナ樣子ノアル。

◎此第二解義ノ義ハ今日ノ所全ク賞美スル場合ヒニノミ云フ。

●おくゆかしイ（第五上）形。（…い）前ノ近體。—聞キャ上手、「去リトハおくゆかしい心アル人ヂャ。オタノモシイ」。

おくゆかしさ（第四上）名。（…さ）オクユカシクアル度合ヒ。

おくゆき（…）名。（奥行き）オモテカラ奥マデノヘダタリ（主ニ家ナドニイフ）。—「おくゆき五間」。

おくよこめ（第三上）名。（…横目）幕府ノ官名。奥ツトメスルよこめやく。（およこめ參考。—西鶴、一代女「家久シキおくよこめ、七十餘歳ヲ過ギテ物見ルニハ眼鏡ヲ掛ケ」。

▲おくら（第二上）名。（くらハらくノ逆サニシタモノ、「らくハせんしうらく」ノ畧）ヲハリ。＝ケッキョク。＝ふイゴ。＝ヤメ。—「芝居がおくらニナル」。—「相談がおくらニナル」。

◎一種ノ俚語トシテ語ヲ轉倒シテ云フコトハ日本語ニ頗ル多イ。コレモ其一ツデ即チぎいがらヲがらぎいト云フ類ヒノモノ。多ク芝居モノナドガ用ヰタモノ。

○おくらかス（全平）他動、四段。（後らかす）前ノ（…）オクルルヤウニスル。

●おくらかせル（…）他動、二。（…せる）前ノ近體。

○おくらス（…）他動、四段。（…す）前ト同ジ語。

おくり（…）名。（送り）（一）オクルコト。—「野邊ノおくり」。—源氏「御おくりみかへノ人ノ泰ヌノ霜堤ヘガタウマサナギコトドモアリ」。—同「御おくりノ女房又車ニシタヒ乘リタマヒテ」。

おくりおほかみ（第五オ）（第四上）名。（…）人ニ跟キナガラ、スキマノ無イタメ、敢テ飛ビツカズ、イッカイツカ一所ニ伴ナッテツイテ歩ク狼ノ稱へ。

おくりがな（第四カ）（全平）名。（…假名）假名ノツカヒカタノ一種。漢字ノ下ニ其變化ノ工合ヒヲ見セルタメ送ル假名ノ稱へ。「止まる」「止める」ノめる、まるノ類ヒ。

おくりかんきり（第四上）名。（らてん語、Ocu-lus-Cancer ノ音ヲ誤ッテ讀ンダモノ）（一）ざりがにノ一名。（二）ざりがにノ頭カラ出ル一種ノカタイモノ。

おくりこみ（全平）名。（送り込み）オクリコムコト。

おくりこむ（第四上）他動、四段。（…む）オクリダス。

おくりざかな（…）名。（送り肴）寝牀ノ語。寝牀ニ人ニ肴ナドヲオクルコト。—酒飯論「思ヒガシおくりざかなノ色色ニ、オキモノ焼キモノ、[illegible]」。

おくりじやう（第五句）（第四（五合））（全平）名。（…状）オクル品ニ添ヘテ其品ノ員數金高ナドヲシルシタ書キツケ。

おくりてがた（第五ガ）（第四上）名。（…手形）おくりじやうノ類ヒ。物ナドオクルトキニ添ヘルてがた。

++おくりな（全平）名。（贈り名＝（諡））人ガ死ンダ後、ソノ名譽ノタメニ別ニ定メテ其人ニツケル名。かむやまといはれびこノミコトヲ後世神武天皇ト申シタテマツル類ヒ。

おくりび（…）名。（送り火）むかへびノ對。七月十六日ノタグレニ門デ焚クカガリ火ノ稱へ。此日亡者ガ祭ラレテ再ビ歸ルト云フ所カラソレヲ送ルタメニ焚クトノ語。多クハ麻幹ヲツカフ。

++おくりむかへ（第六エ）（…）名。（送り迎へ）オクリ、又ムカヘルコト。＝ソウゲイ。

++おくりもの（…）名。（贈り物）（一）昔ノ儀式デ客ノ歸ルトキニ其客ニオクル品物。—源氏「ヲカシキ御おくりものナドアルベキ折ニモアラヌバ」。（二）（轉ジテ）スベテ人ノ手モトニヤル品物。＝ツカヒモノ。＝シンモツ。

++△おくりゐ（第三上）名。（…位）（「贈位」ノ湯桶ヨミ）人ノ死後、ソノ人ニ贈ル位。

おくル（全平）他動、四段。（送る）（一）此所カラ向フヘヤル。＝ツカハス（品物ヲ）。（二）旅ニ立ツ人ヲ見タテル。（三）スグス。＝經ル。—「世ヲおくる」。—「日ヲおくる」。（四）行ク人ヲマモッテ行ク。—「おくりオホカミ」。＝カヘス。—「仇ヲおくる」。—「恩ヲおくる」。（五）其限リマデ見届ケル（死人ニ云フ）。—「最期ヲおくる鐘ノ聲」。（六）ムクイル。（七）語尾ノ變化スベキ所カラ假名ヲツケル。—「假名ヲおくる」。—「おくり假名」。

おくル（…）他動、四段。（贈＝餽＝餽る）クレル。＝ツカハス。＝ヤル。＝カヅケル。＝タマフ。＝サヅケル。＝アタフ。—源氏、三

位ノ位おくりタマフヨシ」。

○おくル（…）自動、下二。（後る）（一）アトニナル。＝オソクナル。—堀川百首、紀伊、「おくれジト山田ノ早苗トル田子ノタマユラモスソ乾スヒマゾナキ」。（二）（轉ジテ）劣ル。（三）氣オクレガスル。—「心おくれテ」。（四）生キノコル。—「妻ニおくれテ世ヲ過ゴシッツ」。

おくれ（…）名。（…れ）（一）オクレルコト。（二）マケ。—「おくれヲトル」。（三）心ノイヂケ。—「おくれガツク」。（四）おくれげノ畧。—西鶴、一代女「頸スヂヌキノビテおくれナシノツシロ髪」。

++○おくれがけ（第四ガ）（…）名。（…驅け）おくればせ（第一解義）ト同ジ語。

●おくれかセル（…）他動、二。おくらかすノ近體。

おくれげ（第四ゲ）（…）名。（後れ毛）オクレ、或ヒハ短クテ髻ナドニマトマッテヲサマラヌ髮ノ毛。—「母ハ兄弟二人ノおくれげヲナデツケテ」。

++おくれざき（第五上）根。（…咲き）オクレテ咲クコト。＝オソザキ。（はやざきノ對）。—「おくれざきノ牽牛花」。—「おくれざきノ櫻」。

おくればせ（…）根。（…馳せ）（一）++○オクレテカケツケルコト。＝オクレガケ。（二）時オクレニナッタコト。—「おくればせノ年始」。

●おくれル（…）名。（…る）おくる（自動、下二）ノ近體。

おくろど（第三上）名。（御黑戸）禁裏ニアル御佛壇ノ稱へ。戸ノ黑イ物ノ名。官女ナドガ主ニ云フ。

▲おくわびら（第二（三合））（全平）名。（かぶら（蕪頭）ノ轉、或ハこぶらノ轉カ？ソレヲ敬語トシタモノ）（一）ヒザガシラ。（二）こぶら（俚語）。—淺井寄意、東海道名所記「アカ山ナア、ヨ旅ノ殿サ、[illegible]、おくわびらヲ出シメサレテ、ハダケ申サウ」。

△おけ（第一上）名。木ノ名。實物不詳。さかきトモひあきトモ云フ。＝オケノキ。

△おけのき（…）名。前ト同ジ語。

おけら（全平）名。（御螻蛄）蟲ノ名。けらヲ丁寧ニ言ッタモノ。

●おこ（第一上）名。（…蠶）（お（御）。こハかひこノ畧）かひこノ一名。オモニ關東デ云フ。＝オコサマ。

おご（第二ゴ）（…）名。（海髮）海草ノ名。おごのりノ畧。＝ウゴ。

▲おごう（（…））（第二上）名。（御御）（ごうハごぜ（御前）ノ畧ノ延）（一）スベテ、他人ノ娘ヲ敬ッテ呼ブ語。＝オムスメゴ。今ハ奥州ノ方言トナル。（二）（轉ジテ）安藝、石見邊ノ方言。人ノ妻女ノ敬語。＝オゴウサン。＝つま參考。

▲おごうさん（（…））（…）名。（…樣）前ノ第二解義ト同ジ語。オモニ馬關アタリデイフ。＝つま參考。

△おごうり（（…））（第二上）名。（…賣り）おごのりヲ賣ル人。元祿頃ノ普通語。—イトナミ六方「おごうり」。

▲おごク（（…））（第二上）自動、四段。（…動く）うごくノ訛リ。

●おこさま（第一上）名。（御蠶樣）關東デイフ語。かひこノ敬語。＝オカヒコ。＝オコ。

▲おこし（全平）名。（御越し）來ル、行クナドノ敬語。—「おこしニナル」。

◎此語今日デハ主ニ京坂地方ノ方言トナル。

おこし（第三上）名。（粔籹）おこしごめノ畧。

○おこしごめ（第四ゴ）（第三上）名。（…）蒸シテ乾カシ、其後煎ッテ粉ニシタ糯米ノ稱へ。水飴ト米ノ粉トニ混ゼテ色色ノ形ノ菓子ナドヲツクル。—延寶二年稿國町ノ沙汰「金龍山ノ千代ガセシ米饅頭、淺草木ノ下ノおこしごめ」。

○おこしび（…）名。（起こし火）オコッタ火。赤クナッタノヲイフ。＝オキビ。

おこス（第二上）他動、四段。（起こす）（一）轉ジテ目ヲサマサセル。（二）臥シテヰルノヲ立タセル。—榮花物語「オトド、起キヨ、起キヨ—馬ニセン、トおこし率テスマヘバ」。（三）スベテ新タニ拵ヘ出ス。—「亂ヲおこす」。—「國ヲおこす」。—「事業ヲおこす」。（四）カイタクスル。＝開ク。＝カイホツスル。—「田ヲおこす」。—「畑ヲおこす」。（五）炭火ノ氣ヲツヨクスル。—枕ノ草紙「火ナンドイソギおこしテ炭モテワタルモイトツキヅキシ」。（六）彫刻スル。＝ホリツケル。（オモニ版木ニイフ）。—京傳、艶氣樺燒「此ワケヲ版ニおこさせ」。

△おこス（…）他動、四段。（又他動、下二。（致）す）他カラコチラヘオクリツカハス。＝クス。＝ヨコス。＝クダラセル。—枕ノ草紙「人ノ國ヨリおこせタル文ノモノナキ」。

○おごそか（第二ゴ）（…）概。（嚴）ゲンヂュウ。＝威儀正シクアルコト。＝イカメシクアルコト。

○おごそかに（（…））（…）副。（…に）前ノ副詞體。—「細ドノニハアマタノ力士おごそかにヒカヘヌリ」。

おとそ・づきん（第四上）名。（……文）　たい
そでづきんノ一名。今オモニ婦人ガ冬カブル物。絲ノ織デ製ノ耳ニ引キカケル。
═ソデヅキン。═ジュンクサウヅキン。═
ダイミンヅキン。═カラムシヅキン。═ガ
ンダウヅキン。═ウシ。═寶暦八年縞、墨
痴拾遺物語「一兩年以前ヨリヲカシキ頭
巾ハヤリ、そでづきんト云フ若女方下ダ
リ、悪風ヲ防ガタメニ紫チリメンニテ帽
子ヲ拵ヘタリ。時ノ若キ女コレヲ冠ブリ
タリ。男モカブルモノアリ。其時ノ人是ヲ
たいみんづきんト云フ」═物類稱呼「江戸
ニテからむしづきん、又かんどうづきん
と云フヲ北國ニテばうしト云ヒ、又おこ
そづきん、おくづつきんト云フ。武州秩父
ニテちよつぺいト云フ」。
◎おとそづきんニ付イテハダ引クダケ
デモ此樣ナ疑說ガアソテ確カデ
ナイ。物類稱呼ニ云フちよつぺいハ今
日共語ガ殘ツテヰルシヲ見ルト。
よつぺいト云フハ鬼ノコトバニ
ガ似タト云ヲ所カラ喜多村信節ハ
ばいノ轉デアルト說明シタモノ。其
レナラバかめをかづきん等ヨリハ
そづきんハ鬼ノコトバニ少シ
モ縁ハナイ。尙クハシクハ他日ノ研究
ニ讓ル。（山田孝雄、平凡社版大言海）

おこたり（全平）名。（意═懈り）　（一）オ
コタルコト。═ケダイ。═ナマケ。（二）病氣
ガスコシユルムコト。═「病ノおこたり」

△おこたりぶみ（第四上）名。（……文）
ビやうト同ジモノ。
おこたる（全平）自動、四段。（……る）（一）ハ
タラカズニ井ル。═ナマケル。═爲スベキ
コトヲセズ。「源氏、「ナホ朝マツリゴトハ
ヒスマカメリ」。（二）病氣
おこたらせ・ダマヒス（第四ナ）……名。（……ひ）　（一）オ
ガスコシユルム。（二）僧家ノ語。飛行ノ一名。
ンスル。═枕ノ草紙「サウジノ日ノおこなひ」。（三）
コトヲセズ。「源氏、「ナホ朝マツリゴトハ
ヒスマカメリ」。（二）病氣
おこたらせ・ダマヒス（第四ナ）……名。（……ひ）　（一）オ
ガスコシユルム。（二）僧家ノ語。飛行ノ一名。
ンスル。═枕ノ草紙「サウジノ日ノおこなひ」。（三）
●おこつり（……）名。「おこづかひ」ノ
方言。氣ヲユルメテ
おこと（第二上）名。（御事）　對稱ノ代名
詞。═ナンダ。═ソナタ。═オンミ。（主ニ後
世婦人ニ對シテイフ場合ヒニツカフ）。
△おこと（第四ウ）名。（……人═道士）　行ヒスマス人。═ダウ
シ。
おことなし（第四ウ）（全平）他動、四段。（……ふ）
（一）爲ス。═アツカフ。（二）ヲサメル。═心
ヲカケテシテ其事ヲスル（飛行ニイフ）。
源氏、「ウバソクガおことなふ道ヲシルベニ
テ來ン世モ深キチギリ遂フナ」。
おこの・くそ（第一上）名。「御齋の糞」　カ
ビコノ糞「おこハおこさまノおこ」。
おこのり（第三ナ）（全平）名。（海髪）
海草ノ名。たいはくノ絲グラヰノ太サデ
色ハ青クテ長サハ一尺ニ至ル。取ツテ時
ガタツバ黒クナルノヲ、更ニ銅鍋ニ入レ
五煮レバ麗シキ綠色トナル。オモニ刺シ
身ノツマニツカフ。═ヲゴ。═オゴ。
おこは（第二ウ）（全平）名。（御强）「こはめし」
ノ略ニ敬語ヲオヲ添ヘタモノ。═モチ
メシ。═コハメシ。═赤メシ。═小兒ノ語。
おこり（第三上）名。（起こり）
═ホッタン。═モト。═近松、博多小女郎浪
枕「聞クハ聞クガド猶カナシク、其おこり
ハ誰ガサズノ？」
おこり（……）名。（……）（慮）（隔日ニおこりさめノ
アル故ノ名）。　ねつびやうノ一種。日ヲ

隔テ、或ハ時ヲ定メ、寒熱ガ往來スルモノ。
═ワラハヤミ。═ギャク。「カンノおこり。
「おこりヲフルフ」。
おこり（第二ヨ）（全平）名。（驕═傲═倨）り）
オゴル（驕）コト。═ガウマンデアルコト。
おこり（……）×（……）名。（遊）（……）オゴル（遊）
コト。═セイタク。═森山孝盛、賤ノ聲璅、
「ウヘモナクおこりノヤウニ思ハレド」。
++おこりさめ（第二上）名。「起こり懲め」（同
歌）　身ノ驕氣ニイマ許　或ヒハオコ
リ或ハサメルコト。═カンケツ。「驕おこ
りさめスル」。
おこる（第二上）自動、四段。（起）こる）
（一）アラタニ始マル。═出來ル。═「家おこ
る」。（二）病マヒガハゲシクル。（三）漢火ガ熾
シテ來ル。═「火がおこる」。
●おこる（第二上）自動、一。（怒）る）（いかる（怒）
ノ轉）　いかる（怒）ノ近體。
おこる（第二ヨ）（全平）自動、四段。（驕）る）
（一）自負ノ念カラ他ニ對シテ尊大ニカマ
ヘル。═タカブル。（二）ハリキル（馬ガ）。
おごる（……）×（……）自動、四段。（奢）る（前ノ語
カラ轉ジテ）（一）身分ニ應ゼヌカザリヲ
ツクス。═ゼイタクヲスル。（二）轉ジテ
ハラヲ切ツテ他ヲモテナス。═フルマヒ
スル。═不知足山人聞キ上手「ソレハヨカ
ラウ。何デモ蕎麥ヲおごるナラ今夜ハ此
中デノ色男ニ買ハセヤウデハ無イカ？」
▲おこれん（……）名。（御御膳）「ごれんハ
「御膳」ノ音」　（一）奈良ノ方言。他人ノ娘
ニ對シテ云フ語。（二）越後、加賀、及ビ備
前ノ方言。人ノ妻ノ稱ヘ。
●おさき（全平）名。「御先」「おハ敬語」　德
川ノ末頃カラ普通ニ用井出シタ語。さき
ト云フ語ニ敬語ヲ付ク、幾分カ冷笑ノ意

味ヲ持タセテ用井ル。═ラサキ。═谷峨、假
城置二筋道「五郎サマハ
ソノ通リ
ノ前デハナ
おさきまつくらデ酒落ルガ」。
おさげ（第二ゲ）（第二上）名。
女帶ノ結ビ方ノ一ツ。
キ處ヲ器シテ結ビトメ
ツナガラ垂レサゲテ
おさし（第二上）名。（……）
ニ乳ヲ挿ツル女。═近松、丹波與作「おさ
も抱キウベ、オサノ人」。おちのひと參考
●おさつくら（第三上）名。（……）
近體。
▲おさに（第二上）他動、下二。（……ゆ）
顏。馬ノ語。
▲おさばり（全平）名。（御然ちば）「次ギノ語カ
まり」ニ敬語おヲ添ヘ
マツテ非ルコト。═
ツテ居ルコト。═不知
さだまりノ一ニ約束ノ起請ヲ卷キコ
ミ」。═西鶴「一代女」「おさだまりノ文章ソ
コソコニ書キチラシ」
○おさフ（第三ウ）（第二上）
ふ═（抑）ふ）。（二）オ
ふ（御）ふ）。（三）カブセル。═

○おし（第一上）名。〔唖〕　おぶし（唖）ノ略。

おし（全平）名。〔押し〕　オス（押）コト。

おし（……）名。〔鴛〕　（一）オス（雄）コト。（二）人ヲ駆スベキオキホヒ。―「おしニナル被量」。（三）オモシ。―「潰ゲ物ノおし」。（四）ズベテオスベキモノ。―「おしヲカケヲ紙ヲセメル」。（五）●アッカマシクスルコト。―「おしガツヨイ」。

◎モト此第五解義ノ語ハ第三解義ノ転デアル。昔婚ノヤウニおし（押）ノ軸トスルノハ穏ヤカデナイ。

▲おし（……）名。〔屍し〕　ネズミオトシノ類ヒ。オシップストノ義。

おし（第一上）名。〔御師〕　〔おハ敬語、しハ漢語師匠ノ師〕（一）△法師ノ敬語。（二）格ノ低イ神主。―オンシ。―「伊勢ノおし」。

△おし（……）感。〔おお（感）し（感）ノ約〕　「昔警蹕ニカケタ掛ケ声。―「おしおしト云ヒラ」。

おし（全平）接頭。〔押し〕　おす（押）カラ来タ語。　他ノ動詞ノ上ニツイテ、むりみ、しひて、ナドノ義ヲ示ス語。―「おし入ル」。

△おしあけ。がた（第五ヲ）（第四上）名。〔押し明け方〕　あけがたト同ヲ語。―新古今集、太政大臣「天ノ戸ヲおしあけがたノ雲井ヨリ神代ノ月ノ影ヲソコレル」。

○おしあッ（第三上）他動〔下二。〔……當つ〕（一）アタラカブセル。―「和ヲ顔ニおしあつ」。

おしあひ（（第四イ）（全平）名。〔押し合ひ〕　オシアフコト。―オシクラ。

おしあフ（（第四ウ））（第三上）他動四段。〔……ふ〕　双方カラ押ス。

●おしあゆ（……）名。〔押し鮎〕　昔元日儀式ニツカヒタモノト云フ。小生依日記「おしあゆ」。

おしいた（全平）名。〔……板〕　書院ノ床ノ間。

△おしいり（……）名。〔……入り〕　オシコミ。

おしいル（第三上）自動四段。〔……る〕　無理ニハイル。―強ヒテ入リコム。

○おしいル（……）他動下二。〔……れ。―オシコム。

おしいれ（全平）名。〔押し入れ〕　財物ナドヲ入レルベキ戸棚。―浅井了意、東海道名所記「おしいれ、ミヅヤ」。

おしうつ（第四上）自動、四段。〔……つ〕　相伴ナッテウツリ行ク。―「世トおしうつる」。

++おしうり（全平）名。〔押し賣り〕　賣リツケルコト。

++おしおくり（……）名。〔……送り〕　ハズ、タダ贈デオシテ送ル船。

△おしおし（第一上）感。　ラテ云フ語。

△おしかゞ（第二上）自動、下一。〔……げ〕　（一）進ンデカカル。―進ンデカカハズ行ク。―デムリニ行ク。

おしかけ（全平）名。〔……け〕　（一）馬具ノ一ツ。カラカケテ鞍マデツナグ組ミ緒ノ称。

●おしかけ（……）名。〔……掛〕　（一）都合ニカマハヌコト。

●おしかけにようぼう（第五六上）名。〔……女房〕　無理ニハイリコム妻。

●おしかけル（第四上）自動、二。〔押し掛ける〕　おしかくノ近体。

おしかた（全平）名。〔……方〕　射術ノ語。

おしかへス（第四ニ）（第三上）他動、四段。〔……返す〕　（一）オシ退ゲル。（二）甚シク押スナド。―「おしかへさレヌ人ノ出」。

おしがみ（第三ガ）（全平）名。〔……紙〕　（一）文書ニ添ヘテ、別ノ紙ニ主意ナドヲシルシツケ、張リ付ケタモノ。―ツケガミ。（二）又ハインキデ書イテ其マヽ乾ヌトキ、捺シテ墨ヲ吸ヒ取ルベキ紙ノ称ヘ。―ブロッチングペーパア。―スヒトリガミ。

++おしかり（……）名。〔……借り〕　無理ニ人カラ財物、金銭ナド借リ入レルコト。

おしきり（……）名。〔……切り〕　劃ノ剣。―オシキリバン。

おしきり（第三キ）（……）名。〔……〕　すさ、まやさナドヲキザム器。

おしきりばん（第四上）名。〔……剣〕　おしきり同ジモノ。

おしきル（第三上）他動四段。〔……切る〕　（一）押シテ切リ断ツ。（二）ヤリトホス。

▲おしくら（……）名。〔……競〕　東京近在ノ方言。密賣據締ノ一名。

おしこみ（……）名。〔押し込み〕　（一）●スベテオシコムコト。（二）▲ヒだなノ一名。―オシイレ。（三）●無理ニ人家ニオシイル盗賊。―ガウダウ。―オシイリ。

おしこム（第三上）自動四段。〔……む〕　ムリニハイル。―オシイル。

おしこム（……）他動四段。〔……〕　無理ニ入レル。―オシイレル。―近松、心中二枚絵草紙「フタ包ミノシロカヲ下ブトコロへおしこんで、小判ハ頭巾ニグワラリト入

リケテスル仕業。―「前機」ニ代女ノソレモカモ書ク。ガ、普ク假定シテ此部類トヲしねトモ書ク。

おしころす（第四上）自動、四段。〔……る〕　（一）白骨ワ数ニハ思ヒモ寄ラヌ。

おしころす（第四上）自動、四段。〔……す〕　（一）押シテ殺ス。―近松、薩摩歌「ソバリ方ニ髪ノウヘカラカナハリテ、ユラヲカナル程、長サおしはからられヌルニ」。

おしひらく（第四上）他動、四段。〔押し開く〕　押シテアケル（戸ナド）。

○おしひろグ（……）他動、下二。〔……廣ぐ〕　（第五グ）ムリニヒロゲル。―オシラヒロクスル。

●おしひろげル（第五グ）（第五上）他動、二。〔……げる〕　前ノ近体。

○おしひろム（第四上）他動下二。〔……弘む〕　敷カシテヒロク行キワタラセル。

●おしひろめル（第五上）他動、二。〔……める〕　前ノ近体。

おしぶち（全平）名。〔押し縁〕　スベテ、オサヘニ打ツモノ。金属、木、竹、イヅレヲモオフ。―「屋根ノおしぶち」。

△おしべ（……）名。〔いそ（磯邊）ノ轉〕　いそべト同ジ語。―萬葉集「駿河ノ海おしべニオフルハマツゾラ」。

△おしへス（第三上）他動、四段。〔押し壓す〕　ムリニオシテヒロゲヤウニスル。―オッペス。―枕ノ草紙「フタア非、エビアメナドハサイデノおしへされテサヤウシノ中ニア

……リケルヲ」。

△おしまきき（全平）名。……（二）げふそくト同ジ語。（三）轉ジテ、スベテ事ノ終リカカル批ソトナヘ。

●おしまひ（第四オ）（……）名。〔御仕舞ひ〕（一）しまひノ敬語。＝ヲハリ。（二）花粧。—「朝湯デおしまひガ入ム」。

●おしめ（第二上）名。〔しめし（襁褓）ノ畧ニ敬語ノおヲ添ヘタモノ〕しめしノ敬語。

おしめかご（第五ゴ）（第三上）名。おしめノヌレタヲ乾ス籠。

おしやかのはなくそ（第二、三合）（全平）名。〔御釋迦の鼻糞〕西京ノ方言。イリ豆トアラレト混ゼ合セタモノノ稱へ。

▲おしやぐじ（第二三合、第四ク）（第二三上）名。〔……石神〕道バタナドニアル石ノ神。主ニ關東デイフ。＝シャクジン。＝ダウロクジン。—イシガミ〔おハ敬語、しやぐじハ石神ヲ音讀シタナマツタモノ〕

▲おしやこ（……）名。〔御蝦蛄〕婦人ノ髮ノ一種。おばこニ似タモノ。後ロカラ總髮ノ毛ヲ集メ、前ノ方ニ向カツテ下ノ方ニヲガ呼、ソノヲガサキヲ二ツニ割リ、ソノ割ツタ左右ノ輪ヲオノオノ外ヘ向ケテ開カセ、ソノ開イタ輪ノ穴ニ横ニ簪ヲサシタモノ。おたらひト同ジク、上品ナ社會ニハ用ヰラレズ、多クハ商賈屋ノ主婦、ヤリテ、粗庵ナドガ結フ。

●おしやべり（……）（……）名。〔おハ敬語〕能クシヤベル人。又、ソノ人。

▲おしやらく（……）根。〔御洒落〕〔おハ敬語、しやらくハしやれ（洒落）ノ轉〕シヤレタガル性質デアルコト。＝身ヲ飾リタガル性質デアルコト。

おしやり（……）（全平）名。病氣デ死ンデ色ガ白クナツタかひそ。

●おしやり（……）（……）名。〔御舎利〕おしやりさまノ畧。

●おしやりさま（……）（第六上）名。〔……樣〕ぶつしやりヲ尊ンデイフ語。

‡●おしやれ（……）（第二三上）根。〔御洒落〕おしやらくト同ジ語。

▲おしやます（……）（第四上）自動、一。〔おつしやいます（仰）ます（敬語）ノ畧〕オホセラレル。—「猫デヤ、猫デヤトおしやますガ」。

▲おじやん（……）（第二三上）根。〔此假名ハ實際じデアルカ、ぢデあルカ分カラヌママ、假定シテ此方ニモ入レテ置ク〕主ニ東京デイフ語。物ノ不適當或ハ不用ナドニナルコト。＝オアヒダ。＝ペケ。＝スヤ。—「此規則モトウトウ御廢止デおじやんニナツタ始末」。

おしよく（……）（全平）名。〔御職〕（一）スベテ同列ノ中デ頭立ツ身分ノ人。（二）轉ジテ王ニ同ジ仲間ノ中デ最モカシラタル地位ニ立ツ娼妓。

おしよくぢよらう（……、第五、六合、第七口）（第五六上）名。〔…女郎〕頭立ツ身分ノ女郎。＝オショク。

▲おしようとう（第二三三合）（全平）根。信濃ノ方言。カシコクアルコト。＝リコウデアルコト（小兒ニイフ）。

○おしよす（第三上）自動、下二。〔押し寄す〕オシカカル（オモニ多クノモノガ行フ働キニイフ）。

●おしよせる（第四上）自動、二。〔押し寄せる〕前ノ近體。

おしろい（全平）名。〔白粉〕〔御（お）白粉〕（白粉ノ器）。（一）化粧ニ用ヰル品ノ一ツ。水ナドデ溶キ、顔其他白ク見セルベキ

部分ニ塗ルモノ。或ハ鉛粉ヲ燒イテツクリ、或ハ鉛カヲツクル。種類ハみづおしろい、かほおしろい、えりおしろい、ぶたいおしろいナド。色色アル。各各ソノ條デ解ク。＝シロイモノ。＝シロキモノ。（二）又、草ノ名。おしろいばなノ略。

おしろいばな（第三上）名。〔…花〕草ノ名。高サ二三尺ニ育ツ。枝ハシゲク、莖ハ圓ク、節ハ高ク、枝葉ハ互ニ向カヒ合ヒ、葉ハ極メテ緑デ丸ク、秋ノ頭あさがほニ似タ五瓣ノ花ヲ付ケ、實ノ中ニ白イ粉ヲ含ム。

○おしわく（……）他動、下二。〔押し分く〕前後左右ニ分ケル（主ニ群集ナドニイフ）。

●おしわける（第四上）他動、二。〔…ける〕前ノ近體。

おしゑ（全平）名。〔押し繪〕花鳥、人物、禽獸ナドノ形ヲ厚紙デ切リ、彩色シタ美シイ布帛デ包ミ、モノニ貼リ附ケテ揃ヘタ繪。—聞キ上手「ケフ淺草デ繪馬ヲ見テ來タガヨイ手ギハナおしゑガアルワイ」。

‡おしゑざいく（第四上）名。〔…細工〕スベテ、おしゑデシタ細工モノ。

○おしをけ（第三上）名。〔壓し桶〕（一）えなをけト同ジモノ。（二）つけものヲ壓ス桶。

▲おしつかへす（第二疊、第五エ）（第四上）他動、一。おしかへすノ轉訛。

▲おしつくら（……）（全平）名。おしくら（密賣娼婦）ノ轉。

おす（全平）他動、四段。〔押す〕（一）カヲ入レテ進メヤル。（二）〔推す〕イタダク。—「おして君トス」。（三）（……）準ズル。＝同ジ例デサシメル。—「おしテ知ルベシ」。（四）〔……〕キハメル。—「道理ヲおす」。（五）總デ動カス（舟ヲ）。—「テンマヲおす」。（六）無理ニスル。

—「病ヲおす」。

おす（……）他動、四段。〔壓す〕〔下へオス義〕（一）オモミデ下ノ方ヘオサヘツケル。（二）〔轉ジテ〕印面ニ然ルベキ色ノ汁ヲ合マセ、印ノ形ヲ他ノ物ニツケル。—近松、曾根崎心中「身共ニ證文書カセ、オヌシガおしタ判ガアリ」。（三）シヒタグル。＝アツセイスル。—「下ヲおす」。（四）コチラノ勢ヒデ先方ノ勢ヒヲ消ス。—源氏「右ノオトドノ御ン勢ヒハ物ニモアラズおされタマヘリ」。

▲おすが（第三ガ）（第二上）名。楊弓ノ語。五錢ノ異名。—一時隨筆「近キ頃、京洛、浪花ノ老少楊弓ヲ弄ビ、一錢ヲ餓鬼、二錢ヲ地、三ヲ山、五ヲおすが、十ヲタクリ、二十ヲ章冠、百ヲ牛トス」。

○おずさ（第一上）名。〔鈍さ〕オズクアル度合ヒ。

○おずシ（……）形。〔……し〕おぞしト同ジ語。

○おすび（全平）名。おしべト同ジ語。—萬葉集「ママノおすびノ波モトドロニ」。

△おずまし（第三上）形。〔鈍まし〕おぞましト同ジ語。

△おずましさ（……）形。〔……さ〕オズマシクアル度合ヒ。

おすめどり（……）名。〔護田鳥〕實物不詳。鳥ノ名。或ハ一種ノ妖鳥トイヒ、或ハばんデアラウカトイフ。＝ウスベドリ。＝ウスベ。

‡●おすわり（第二上）名。〔御座り〕（一）スワルコトノ敬語。—「おすわりスル」。（主ニ小供ニイフ）。（二）すわりもちノ敬語。（オモニ婦人ガイフ）。

おすゑ（……）名。〔…末〕（一）オモニ舊幕時代、後宮ノハシタメノ居タ所。（二）又、後宮ノハシタメノ居ル所ニ井ル女〔普通ハすゑ、ソレニ敬語おヲ添ヘタモノ〕

●おせち（全平）名。〔…節〕〔おせちく（御節供）ノ略〕正月、五節句ナドノせちゑノ日ニ拵ヘル一種ノ煮物ノ名。其時ニ應ジ、牛蒡、芋、蓮根、慈姑、人參、燒キ豆腐、蒟蒻ナドヲマゼマゼノモノヲ一處ニ併セテ煮ル。＝セチ。＝オセチク。

△おせちく（……）名。〔…供〕前ノ古語。

▲おせへ（第三エ）（……）名。〔おおさへノ轉〕宴席ニイフ語。おおさへト同ジ語。オモニ下等人ノ口ニイフ。—谷峨、傾城買二筋道、「サア久シブリデアダイセウ。先ヅおせへニシヤウ」。

▲おせらし（第三上）形。おそろし（恐）ノ轉訛。一種ノ俚語。—淺井了意、東海道名所記、「足ヲサシ出シテサスラセケレバ、サテナ猛ニ毛ガオヘテおせらしや、おせらしト云フテ笑ヒケリ」。

▲おせん（第一上）名。〔御膳〕ごぜんト同ジ語。＝イセ。＝マシマ。◎此語ハ東京ハ無論他ツ地方デモ次第ニ癈語トナル。

おぞ（……）名。〔鈍〕オゾクアルコト。—萬葉集「タハレヲト我ハ聞ケルヲ宿カサズ、我ヲカヘセリ、おぞノタハレヲ」。

●おそイ（全平）形。〔遲い〕おそしノ近體。

●おぞイ（第二上）形。〔鈍い〕おぞしノ近體。

おぞおん（……）名。〔阿巽〕〔英語「Ozone」〕瓦斯ノ一種。雷鳴ノ後ナド人ノ鼻ニ嗅ギ覺エラレル程ニ出來ル。非常ナ酸化力ヲ持チ、ヨク動植物ト抱合シテ速カニ之ヲ中和シ、ヨク腐敗ヲ防グモノ。

○おぞけだつ（第四上）自動、四段。〔恐氣立つ〕〔おそろし（恐）け（氣）たつ（起）ノ義〕オソレテ身ノ毛ガヨダツ。＝オゾゲフルフ。＝ゾウケダツ。

●おぞげふるふ（第三ゲ、第六ウ）（第一上）自動、四段。〔…振ふ〕前ト同ジ語。

おそさ（全平）名。〔遲さ〕オソクアル度合ヒ。

おぞさ（第一上）名。〔鈍〕＝〔悍〕さ〕スベテオゾクアル度合ヒ。

おそざき（第四上）根。〔遲咲き〕オクレテ咲クコト。＝オクレザキ（はやざきノ對）。—「おそざきノ櫻」。

おそざくら（第三上）名。〔…櫻〕普通ノさくらヨリオクレテ咲ク櫻。＝バンアウ。

○おそし（全平）形。〔…し〕（一）ノロイ。＝早クナイ。＝速カデナイ。（二）〔轉ジテ〕ニブイ。＝遲鈍デアル。

○おぞシ（第一上）形。〔鈍し〕〔前ノ語ノ轉〕ニブクアル。＝イウチヤウデアル。

○おぞし（第二上）〔悍し〕情ガコハイ。

おそなはる（第四ワ）（全平）自動、四段。〔遲なはる〕オソクナル。＝延引スル。＝チエンスル。＝オクレル。—近松、心中二枚繪雙紙「イツヤラノ紙バナモ思ヒノ外ニおそなはり」。

●おそなへ（第四エ）（……）名。〔御備へ〕〔そなへもちノ略ニ敬語ノおヲ添ヘタモノ〕そなへもちノ敬語。＝ソナヘモチ。＝ソナヘ。

○おそば（……）名。〔遲齒〕〔オソク出ル齒トノ義〕やへばト同ジモノ。

おそば（……）名。〔御側〕君邊ニ近クツカヘル役ノ人。＝侍臣。＝侍從。＝近臣。

おそふ（第三ウ）（……）他動、四段。〔襲ふ〕（一）セメカカル。（二）カサネテ著ル（衣服ヲ）。（三）官祿、家督、ナドヲクイツクス

ル（漢語ヨミカラ轉ジタモノ）。【四聲】

○おそまき　（全平）根。〔遲時き〕（一）時オクレニ種ナド時クロト。（二）轉ジテ〔遲時き〕時機ニオクレルコト。—谷峨、領城買二筋道、「手前ガ不態サユエ、おそまきナガラ堰イタノダ」。

○おそまし　（第三上）形。　おそし（鈍）ト同ジ語。

○おそまし　（第二上）形。　おそし（悍）ト同ジ語。

○おそまし　（全平）形。　おそまし（鈍）ノ近體。

○おそましさ　（第三上）名。　おそく（鈍）ア ル度合ヒ。

○おそましさ　（第二上）名。　おそく（悍）ア ル度合ヒ。

○おそらくは　（……）副。〔らくはうらむらくはナドノらくは〕　ヌブンハ。—オホカタ。—「おそらくハソレ然ラジ」。

△おそり　（全平）名。〔怒り〕　オソレルコト。—オソレ。

○おそる　（第二上）自動、四段。又、自動下二。〔恐—懼—慄る〕　先方ノツヨサニ心ガヒルム。—我ガ方ガ叶ハヌト見ヲヒルム。—オヂル。—ヒルム。

おそれ　（第三上）名。〔……れ〕　オソレルコト。—オソリ。—シンパイ。

おそれいる　（第三上）自動、四段。〔……入る〕過チヲサトッテ、ソノヘンカラ現シテツツシム氣ニナル。—「おそれいりやの鬼子母神」。

●おそれ　おはイ　（第四上）形。〔懼れ多い〕

おそれおほし　近體。

おそれおほき　（……）名。〔……さ〕　オソレオ

○おそれ　おはシ　（……）形。〔……し〕　モツタイナイ。

おそれながら　（第五カ）（……）副。〔恐れ乍ら〕　オソロシイコトハ思フガ。—モツタイ無イトハ考ヘルガ。

おそれル　（第三上）自動、二。　おそろ（悍）ト同ジ語。

○おそろし　（……）形。〔怒ろし〕　ソレルベクアル。—「荒海ノおそろしきケ」—源氏「アマリニおそろしきマデ御覽ズ」。（二）轉ジテ 最モ嫌シクアル。—「おそろしく心サトシ」。

●おそろし　イ　（第四上）形。〔……し〕　しやくしノ近體。

○おそろし　（……）形。〔怒ろし〕　ソレルベクアル。—「荒海ノおそろしきケ」—源氏「アマリニおそろしきマデ御覽ズ」。（二）轉ジテ 最モ嫌シクアル。—「おそろしく心サトシ」。

●おそろしイ　（第四上）形。　しやくしノ近體。

△おだいばつ　（第二上）名。〔御盛櫃〕　（一）△めしびつノ古言。—「見渡セバ花ニモミヂヲおだいびつ」。（二）▲又、ちさばこノ一名。京坂ノ方言。

△おだがしやく　（第二カ）（第四、五合）（第二上）名。〔御多賀杓〕　しやくしノ古言。江州多賀ノ社カラ百五六十年前迄ハマモリニ此シャクシヲ出シタ。形チモ今ノ杓子トハ稍チガヒ、柄ガ遙ダ曲ガル。おたましやくしハ後世其柄ガ次第ニ變ジテマッスグニナルト同時ニ蛙ノ子ニ形ガ似テ來テ遙ニ語モマデモ訛ッテシマッタモノ。—光雲紙、曲ガレル物ノ條「大工ノカヤ、倉ノカギ、檜物屋ノ仕事、鍋ノツル、おたがしやく」。おたましやくしも參考。

おたくら　（全平）名。　芝居デツカフ盥ノ一ツ。

△おだし　（第二上）形。〔穩し〕　オダヤカデアル。—「おだしき人」。

++おたづね　（全平）名。〔御尋ね。〔おハ敬語〕　タヅヌルコトノ敬語。—「おたづねスル」。—「おたづねガ有ル」。

●おたづねもの　（……）名。〔……物〕　罪ナドデ政府カラタヅヌラレテ居ルモノ。多クハ逃ゲカクレナドシタ場合ニイフ。

●おだて　（……）名。〔煽動〕　センドウ。—アフリ。「おだてニノル」。

●おだてル　（……）他動、二。〔……る〕　センドウスル。—イザナフ。—アフル。

おたばこぼん　（第四上）名。〔御煙草盆〕　目ノ中ニ入レ、太鼓ノ胴ノヤウニ丸ク結ブモノ。おさげハコレヲ器シタモノ。今日晴レガマシイ時ハ一般ニ皆コノ風ニスル。▲おさげ參考。

おだいびつ　（第二上）名。〔御盛櫃〕　（一）△めしびつノ古言。—「見渡セバ花ニモミヂヲおだいびつ」。（二）▲又、ちさばこノ一名。京坂ノ方言。

○おそろし　（……）形。〔怒ろし〕　ソレルベクアル。—「荒海ノおそろしきケ」—源氏「アマリニおそろしきマデ御覽ズ」。（二）轉ジテ 最モ嫌シクアル。—「おそろしく心サトシ」。

●おそろしイ　（第四上）形。　しやくしノ近體。

△おだがしやく　（第二カ）（第四、五合）（第二上）名。〔御多賀杓〕　しやくしノ古言。江州多賀ノ社カラ百五六十年前迄ハマモリニ此シャクシヲ出シタ。形チモ今ノ杓子トハ稍チガヒ、柄ガ遙ダ曲ガル。おたましやくしハ後世其柄ガ次第ニ鑞ジテマッスグニナルト同時ニ蛙ノ子ニ形ガ似テ來テ遙ニ語モマデモ訛ッテシマッタモノ。—光雲紙、曲ガレル物ノ條「大工ノカヤ、倉ノカギ、檜物屋ノ仕事、鍋ノツル、おたがしやく」。おたましやくしも參考。

おたくら　（全平）名。　芝居デツカフ盥ノ一ツ。

△おだし　（第二上）形。〔穩し〕　オダヤカデアル。—「おだしき人」。

++おたづね　（全平）名。〔御尋ね。〔おハ敬語〕　タヅヌルコトノ敬語。—「おたづねスル」。—「おたづねガ有ル」。

●おたづねもの　（……）名。〔……物〕　罪ナドデ政府カラタヅヌラレテ居ルモノ。多クハ逃ゲカクレナドシタ場合ニイフ。

●おだて　（……）名。〔煽動〕　センドウ。—アフリ。「おだてニノル」。

●おだてル　（……）他動、二。〔……る〕　センドウスル。—イザナフ。—アフル。

おたばこぼん　（第四上）名。〔御煙草盆〕　目ノ中ニ入レ、太鼓ノ胴ノヤウニ丸ク結ブモノ。おさげハコレヲ器シタモノ。今日晴レガマシイ時ハ一般ニ皆コノ風ニスル。▲おさげ參考。

おだいびつ　（第二上）名。〔御盛櫃〕　（一）△めしびつノ古言。—「見渡セバ花ニモミヂヲおだいびつ」。（二）▲又、ちさばこノ一名。京坂ノ方言。

七八歳グラヰノ小女ノ髪ノ一ツ。頭上ニ左右カラ毛ヲ取リ寄セ、横ニ雙方カラ合ハセタ髪ノ結ビ方ヲ上ヲ切レナイデ卷イタモノ。

△おたはフ　（第四ウ）（第三上）自動、四段。〔音はふ〕おたハおとノ音ヲ、はふハ動詞ニ働ガセル語ナル。—「おそれいりやの鬼子母神」。

おたはふ　（第三イ）（全平）根。〔戯び〕　オダヤカ。—シヅカ。

おたび　（第三上）名。〔御旅〕　（一）おたびしよノ略。昔、本所御舟藏前町、土俗あたけト云フ所ニ軒ナミノ水茶屋ノウシロニアッタ五六軒ノ娼家ノ稱ヘ。—寛天見聞記「おたびトテ五六軒ノ娼家アリ。中ニ子供アリテ價ヒ常盤町ニ同ジ」。

おたびしよ　（……）名。〔……所〕　たびしよヲ敬語ニシタモノ。

▲おたふく　（第二上）根。〔阿多福〕〔おふくト異體同種〕　（一）婦人ノ顔色ナド、ブクレタミニクアルコト。—オカメ。—オタフクヅラ。（二）又、婦人ヲ罵ッテ云フ語。—アマ。

▲おたふくそらまめ　（第六上）名。〔……豌豆〕　普通ノそらまめト同ジモノ。ヨク實ガイツテフトッタモノヲイフ。

▲おたふくづら　（第四上）名。〔……面〕　オタフクヲ面。罵ッテイフ語。—オタフク。

●おたま　（第二上）名。〔御玉〕　（一）おたまじやくし（第一解幾）ノ略。（二）普ノ武士ノ語。扶持ノ異名。おたま參考。

▲おたゞら　（全平）名。　信濃ノ方言。ヘッラヒ。—オベッカ。—オタンタラ。—オタンタラ。—オチョウベイ。

おたまじやくし　（第四、五合）（第四、五上）名。〔杓子〕　（一）スベテ、蛙ノ子ニ似タ形ノモノヲカラ轉ジタモノ。〔西遷〕

○おそれ　おはシ　（……）形。〔……し〕　モツタイナイ。

おそれながら　（第五カ）（……）副。〔恐れ乍ら〕　オソロシイコトハ思フガ。—モツタイ無イトハ考ヘルガ。

おそれル　（第三上）自動、二。　おそろノ近體。

○おそろし　（……）形。〔怒ろし〕　ソレルベクアル。—「荒海ノおそろしきケ」—源氏「アマリニおそろしきマデ御覽ズ」。（二）轉ジテ 最モ嫌シクアル。—「おそろしく心サトシ」。

●おそろしイ　（第四上）形。　しやくしノ近體。

△おだいばつ　（第二上）名。〔御盛櫃〕　（一）△めしびつノ古言。—「見渡セバ花ニモミヂヲおだいびつ」。（二）▲又、ちさばこノ一名。京坂ノ方言。

△おだがしやく　（第二カ）（第四、五合）（第二上）名。〔御多賀杓〕　しやくしノ古言。江州多賀ノ社カラ百五六十年前迄ハマモリニ此シャクシヲ出シタ。形チモ今ノ杓子トハ稍チガヒ、柄ガ遙ダ曲ガル。おたましやくしハ後世其柄ガ次第ニ鑞ジテマッスグニナルト同時ニ蛙ノ子ニ形ガ似テ來テ遙ニ語モマデモ訛ッテシマッタモノ。—光雲紙、曲ガレル物ノ條「大工ノカヤ、倉ノカギ、檜物屋ノ仕事、鍋ノツル、おたがしやく」。おたましやくしも參考。

おたくら　（全平）名。　芝居デツカフ盥ノ一ツ。

△おだし　（第二上）形。〔穩し〕　オダヤカデアル。—「おだしき人」。

++おたづね　（全平）名。〔御尋ね。〔おハ敬語〕　タヅヌルコトノ敬語。—「おたづねスル」。—「おたづねガ有ル」。

●おたづねもの　（……）名。〔……物〕　罪ナドデ政府カラタヅヌラレテ居ルモノ。多クハ逃ゲカクレナドシタ場合ニイフ。

●おだて　（……）名。〔煽動〕　センドウ。—アフリ。「おだてニノル」。

●おだてル　（……）他動、二。〔……る〕　センドウスル。—イザナフ。—アフル。

おたばこぼん　（第四上）名。〔御煙草盆〕　目ノ中ニ入レ、太鼓ノ胴ノヤウニ丸ク結ブモノ。おさげハコレヲ器シタモノ。今日晴レガマシイ時ハ一般ニ皆コノ風ニスル。▲おさげ參考。

おだいびつ　（第二上）名。〔御盛櫃〕　（一）△めしびつノ古言。—「見渡セバ花ニモミヂヲおだいびつ」。（二）▲又、ちさばこノ一名。京坂ノ方言。

ノしやもじノ稱ヘ。主ニ東京ディフ。—オタマ。（二）蛙ノ子ノトらひノ略。　信濃ノ方言。イヤヨ。—チユヤヨ。—ヒカヘ。—タメラヒ。

▲おたんちん　（第四上）根。　まぬけ、のろまナドノ義ヲアラハシタ嘲リノ語。專ラ東京ノ下等人ガ用ヰル。

▲おたんてら　（第二上）名。　信濃ノ方言。おたべらトオナジモノ。

おち　（第二上）名。〔落ち〕　（一）オチルコト。（二）モレルコト。—モレ。—ダツロウ。

△おぢ　（第一上）名。〔祖父〕　おはち（祖父）ノ略。

○おちあな　（第二上）名。〔陷ち穴〕　おとしあなト同ジモノ。

おちいる　（第四イ）（第一上）名。〔落ち合ひ〕　河ト河ナドヒトツニ流レ合フ所。

おちあふ　（第四ウ）（全平）自動、四段。〔……ふ〕　（一）スベテ、同ジ所デ出會フ。—谷峨、領城買二筋道、「アヒニク客人ガおちあひマシテ勝手ガナクアンヨンデやかナ人品」。

おちいる　（第三上）自動、四段。〔落ち入る—陷る〕〔おち（落）いる（入）ノ義〕　（一）落チテ中ニ入ル。—「誤ニおちいる」。—「河ニおちいる」。（二）ホロビル（滅ナドニイフ）。—「小田原ノ城おちいる」。〔おちこも參考。

おちうど　（第二上）名。〔落ち人〕　おち（落ひと（人）ノ音便。　スベテ人目ヲ忍ンデ逃ゲル人。

おちえん　（……）名。〔……線〕　雨戸ノソトナドニ付ケタエンガハノ稱ヘ。座敷ヨリ一段ヒクク出ヘタモノ。

おちおち　（第三上）副。〔落ち落ち〕〔おちつくノ畧ヲ重子タモノ〕　安心シテ。—充分オチツイテ。—オチオチト。—「おちおちスル」。

◎言海ニ此語ヲ解シテ下ニ必ズ反語ヲ置クトアルハ穏ヤカデナイ。現ニ今引ク通リおちおちスルト云フ語モタシカニ存在スル。

おちおち・と〔……〕副〔……ト〕前ト同ジ語

++おぢおぢ(第一上)副〔怖ぢ怖ぢ(おぢ(怖)ヲカサネタモノ〕オソレナガラ。―ヒクヒクシナガラ。―オヅオヅ。―センセンキヤウキヤウ。―オヂオヂト。

おぢおぢ・と〔……〕副〔……ト〕前ト同ジ語

△おちがみ(第三ガ)(第二上名)〔落ち髪〕振ケタ髪ノ毛。―ヌケゲ。―拾遺集「貫之、アサナアサナケヅレバツモルおちがみノ乱レテ物ヲ思フコロカナ」

○おちくぼ(第三上)名〔……窪〕一段オチイッテ低ク為ッタ所。

○おちぐり(第三グ)(第二上)名〔……栗〕落ッタ栗ノ実。

△おちぐり(……)名。〔……〕黒ミノアルグレナ非色。―クリ。―ユビ。

おちけ(……)名。〔怖お気〕オヂル心。―オソレ。―「おぢけガ付ク」

●おぢけル(……)自動、二〔怖ぢける〕〔前ノ語ヲ動カセタモノ〕オクスル。―イヂケル。―オヅオヅスル。

おちこム(……)自動、四段。〔落ち込む〕ハマル。―カンボッスル。―オチイル。

◎おちこむハアマタノ物ガ重ナリ重ナリ落チ入ル場合ニツカヒ、おちいるハワヅカナ物ガ多クハソレ一ツ離レテ来ル場合ニツカフ。ソレ故ニ金ガ懐中ニおちいるトハ言ヘズ、但シ金ガ懐中におちこむトハ言ヘル。

++おちこぼし(……)名。〔落ち溢し〕オチタリコロビタリスルコト。―不運ナドニ出逢フコト。―オトロヘ。―失意。

おちつき(……)名。〔……着き〕(一)オチツク。―アンド。(二)トリアハセ。―「おきつきノイイ書様」。

おちつき・はらフ(第七ウ)(第六上)自動、四段。〔落ち着く〕(一)ハメテ平気ニカマヘル。―オチツイテ澄マス。―極ク、且赤イモノ。―チャ。―カバチャ。

おちつく(……)自動、四段。〔落ち着く〕(一)居所ガサダマル。―ソコニチャント住マヒガ固マル。―近松、博多小女郎浪枕「所ノ住マヒモナラズヤウニ身ヲ持チナシ、おちつく方ナクアラドナク」。(二)(轉ジテ)悪イ所ニクダル。―ラクハクスル。―「おちぶれテ世ニ住ム甲斐ハナケレドモ、恭ラレテ死ヌヨリハ増シ」。

おちぶれ(……)名。〔落魄〕オチブレルコト。―レイラク。―ラクハク。―近松、博多小女郎浪枕「二世モ三世モカハラジトノボリツメタル坂ノ下、今おちぶれノ身ト知ラバ、ザット浅黄ニ染メウモノ」。

●おちぶれル(……)自動、二〔……れる〕おちぶるノ近體。

おちぼ(第二上)名。〔落ち穂〕地ニ落チタ穂。オモニ五穀ニイフ。

おちま(……)名。〔……間〕(一)スベテ、家ノ中ニ一段低ク拵ヘタ ゆかノアル所。―洞房語園「其マガキト表ノ格子トノ間ヲ三尺アケテおちまアリ」。(二)又、昔ノ京坂ノ芝居ニアツタ名目。今ノきりおとしト同ジモノ。―半山見タ京物語「おちまトテ江戸ノキリオトシノ如ク見物所アリ。二疊ホドヅツニ丸太ヲ以テ仕切リ、其ウチヘ六人ホド居レバモハヤ入レズ」。

おちもしや(第四、五合)(第三上)名。〔……武者〕敗北シテニゲ落チル武者。

おちめ(第二上)名。〔……目〕〔めうときめナドノめ〕オチツイテニカタムク運命。―三世相錦繊文章「ハテ人ノおちめヲスクヒバチハウルサク思ヘド拾ヲヌガ人情」。

おちや・どころ(第四上)名。〔御茶所〕神社、佛閣ナドニ附屬シテ、ソレラ社寺ヘ茶ヲ奉ルカカリ。―近松、二枚絵草紙「諱中おちやどころノ裏加錢」。

●おぢやう(第三ヨ)(第二「三合)(第二「三上)名。〔……嬢〕……娘〕身柄ノイイ家ノ處女ノ敬語。

◎きまヲ付ケズニおぢやうダケデハ普通ニ通用セヌ。

●おぢやうさま(……)(……)名。〔……様〕前ト同ジ語。―オヂヤウサン。―オムスメゴ。

◎此語今日ハ最モ普通ノモノトナル。性質ハふくさまト同ジク二人稱ニモ三人稱ニモツカフ。

●おぢやうさん(……)(……)名。〔……〕前ノ轉。同義。

▲おちやちゃら(第二「三合)(第二「三上)自動、ら變〔お(御)いで(出)ある(有)ノ略〕中古、足利時代ニ最モ行ハレタ普通語ノヒトツ。―アル。―「參ルデおぢやる」。―「歸ルデおぢやる」。

◎或ヒハコレヲおじやるトモ書ク。サウ

▲おちやちゃない(第二「三合)(第四上)名。昔平穏。ウハラツシテ口サキバカリデアルコト。―「おちやちゃらバカリイフ女」。

▲おちやない(第二「三合)(第四上)名。昔京都常盤アタリカラ市中ニ出テカモジヲ賣ツタ女ノ稱ヘ。頭ニ殘ヲ蟠キ、ヌケ毛ヲ買ヒ、カモジニスルモノ。ソノ買ヒマハル呼ビ聲ニ「おちハ無イカ?」トイフ處カラ名ガ付ク。

△おちやる(第二「三合)(第二「三上)自動、ら變〔お(御)いで(出)ある(有)ノ略〕中古、足利時代ニ最モ行ハレタ普通語ノヒトツ。―アル。―「參ルデおぢやる」。―「歸ルデおぢやる」。

◎或ヒハコレヲおじやるトモ書ク。サウおちゃ

●おぢやうさま(……)(……)名。〔……様〕前ト同ジ語。―オヂヤウサン。―オムスメゴ。

◎此語今日ハ最モ普通ノモノトナル。性質ハふくさまト同ジク二人稱ニモ三人稱ニモツカフ。

●おぢやうさん(……)(……)名。〔……〕前ノ轉。同義。

▲おちやちゃら(第二「三合、第四、五合)(第四上)名。昔平穏。ウハラツシテ口サキバカリデアルコト。―「おちやちゃらバカリイフ女」。

▲おちやない(第二「三合)(第四上)名。昔京都常盤アタリカラ市中ニ出テカモジヲ賣ツタ女ノ稱ヘ。頭ニ殘ヲ蟠キ、ヌケ毛ヲ買ヒ、カモジニスルモノ。ソノ買ヒマハル呼ビ聲ニ「おちハ無イカ?」トイフ處カラ名ガ付ク。

△おちやる(第二「三合)(第二「三上)自動、ら變〔お(御)いで(出)ある(有)ノ略〕中古、足利時代ニ最モ行ハレタ普通語ノヒトツ。―アル。―「參ルデおぢやる」。―「歸ルデおぢやる」。

◎或ヒハコレヲおじやるトモ書ク。サウ

スレバ語原ハおち(御座)ある(有)デ無クレバ爲ル女。實際イヅレトモ確ガニハ分カラズ、シバラク假定シテ此ノ方ニ入レテオク。

▲おちやれ(……)(……)名。〔お(御)ちやれ(有)ノ約〕旅人ニ嬉ヲ賣ル女。

▲おぢやん(……)(……)根。語。

▲おちようい(第二「三合)(第二「三上)自動、二〔……ける〕信濃ノ方言。おたべらトオナジ語。

●おちル(第二上)自動、二〔落ちる〕ノ近體。

●おぢル(……)自動、二〔怖ぢる〕近體。

○おちゐル(全平)自動、上一〔落ち居る〕オチック。―シヅマリトドマル。―源氏「限リコソアリケレト世ノ人モキコエ、女御モ御心おちゐざマヒヌ」。

おつ(第一上)名。(乙)ツ。きのえノ次ギ、ひのえノ前ヘ。―キノト。(二)藥器ノ音調ノ名。サゲテ低クスル音。かん(甲)ノ對。―メリ。

●おつ(全平)根。〔……〕普通トチガツテアルコト。―ケウ。―谷峨、頗城買二筋道「カウ、おつニハグラカスガ、オラガ云ツタコトガ出來チエニ由ツテ、我慢ダナ」。

◎語原不詳。シバラク當テ字デ〔乙〕ト書ク。

○おツ(……)自動、上二〔怖―怯ヅ〕オソレル。―ヒルム。―ピクピクスル。―「枕ノ草紙「何ゴトヲ生昌ガイミジウおおツルハト問ハセタマフ」。

++おづ・おづ(……)副。オソレナガラ。―オソル。―センセンキヤウキヤウ。

●おつけ(全平)名。〔御汁け〕

ハつけしる(淺汁)ノ略」。(一)麪類ノツケ汁。(二)[轉ジテ]スベテノ汁。(三)オモニ、味噌汁。

●おつぼ (第二上)名。[…壺] 料理ニ添ヘル一ツノ品。壺ニ入レタモノ。多クハ味ガ少シ濃ク、味ヒノ取リ合ハセニナルヤウナモノヲツカフ。

▲おつむ (…)名。[おハ敬語、つむハつむりノ略」 あたまト同ジ語。オモニヤサシクイフ語。

▲おつむてんてん (…)名。[てんてんハ叩タク音] 子供ノタハムレノ名。手ノヒラナドデ頭ヲ輕ク打ツコト。

▲おてき (全平)名。[御敵](てきハあひて(敵)ノ義」 中古、オモニ、相方ニスル娼妓ナドヲタハムレニ指シテイフ語。—近松、博多小女郎浪枕「三人ハ御ナトカラ、ソリヤコンおてきト色メイテ」。—櫻田治助、瀧詣夜雨「然シおてきモ千手ノ手取リ、スメデハ行カジトヒツカケテ、赤イ所ガ名ニシオフ平家ノサムラヒ大將ト洒落ノメシテゾ浮カレケル」。

●おてだま (第二上)名。[…手玉](おハ敬語) 子供ノ(主ニ女ノ子ノ)遊ビノ名。一二寸四方位ノ橢圓ナリノモノヲ布ノキレデ縫ヒ、其中ニあづきノ粒ナドヲ入レ、コレヲ幾個カ持チ、手早ク投ゲテウケルナド、色色ノ曲デ取リ扱フアソビ。—「おてだまヲトル」。

▲おてつく (…)根。[おてハおてんばノ略、つくニらんつくナドノつく] 東京ノ俚語ノ一ツ。オテンバ。

おでまし (全平)名。[御出座し] (一)出テ行クコトノ敬語。(二)△主上ノミユキ。

△おてまへ (第四エ)(第二上)代。[…手前](おハ敬語、てまへハ一種轉用ノ代名詞」。昔ノ武士ガアヒテヲ呼ブトキニ用ヰタ語。オモニ同輩ニイフ(德川時代)。

●おでん (…)名。[…田](おハ敬語、でんハでんがくノ略」 (一)きのめでんがくノ畧。(二)又、食物ノ名。きのめでんがくカラ分カレタモノ、コンニヤク、芋ナドヲ串ニサシテ煮込ミニシタモノ。—「煮込ミノおでん」。

▲おてんたら (…)名。[東京ノおちやちやらト異體同種] 信濃ノ方言。おたべらとオナジ語。

▲おてんば (全平)根。[御轉婆](英國ノ俚語「Tomboy」ノ轉、即チ、カルハヅミナ女ノ義] スベテ、ヘウキンニ、ウハツハト騷グ性質。‖ケイサツ。‖カルハヅミ。‖ウハツキ。‖オテツク(主ニ婦人ナドニイフ)。—「おてんばムスメ」。

おでんや (…)名。[御田屋] おでんヲ賣ル人、マタ、ソノ家。

++おと (第二上)名。[音] (一)物ノ激動カラ起コル一種ノモノ。空氣ニ傳ハツテ耳ニ聞コユベキモノ。‖コヱ。‖子。(二)スベテ、動物ノコヱ。(三)タヨリ。‖オトヅレ。‖オトナヒ。

おと (…)名。[(弟)(おと(劣)ノ義] (一)おとうとノ略。(二)△[轉ジテ]イモウト。

おと (全平)綴。[…][前ノ語カラ轉ジテ] スベテ、名詞ノ上ニ付イテ、すゑ、つぎ、をさなきナドノ義ヲ現ス接頭語。—「おとムスメ」。—「おとご」。

○おと (第一上)名。[於菟](支那ノ楚ノ國デ昔、虎ヲおと(於菟)ト云ツタ」。(一)獸ノ名。とらノ異名。(二)[轉ジテ]又、獸ノ名。ねこノ異名。

△おとう (第二上)名。 宮女ノ語。かはやノ異名。

おとうと (全平)名。[(弟)(おと(弟)ひと(人)ノ音便] (一)同ジ親ニ生レタ男ノ子ノ年シタノ方。(二)[轉ジテ]同ジ親ヲ持ツ男ノ子ノ年シタノ方。(三)他人ノ男ヲ親シンデ呼ブ語。(四)△[轉ジテ]イモウト。

おとうとでし (第四上)名。[…弟子] あにでしノ對。スベテ、先入ノ次ギニ續イテ同ジ師ニ付イタ弟子。

●おとうとぶん (…)名。[…分] 假リニ定メルオトウト。‖ギテイ。

おとうとよめ (…)名。[…嫁‖(娣)] オトトノ妻。‖オトヨメ。

++おど・おど (第二上)副。[おづおづノ轉] オヅオヅ。‖オヂオヂ。

おどおど・と (第一上)副。 前ト同ジ語。

おどかし (全平)名。[威かし] オドカスコト。‖オドシ。

おどかす (…)他動、一。[…す] オドス。‖ビツクリサセル。‖脅迫スル。

◎言海ニ是等おどかし、おどかすヲ說イテおどろかすカラ來タ語トシタノハ心得ナイ。何サマサウト云ツテモ善シ、但シかすハ今日ノ普通語ニ最モ多ク現ハレル語デ、ねぢるヲねぢくるトシ、ころばすヲころはかすトスルノト道理ハ違ハヌ。殊ニマタおどろかすカラ來タモノナラバ、日本語ノ音調ノ規則トシテ「おどろかす」ハ第四上、其全五言ノ第四上ガ直グニ四言ノモノニナツテ、其前ノ上聲ガ付イタ音ガ無クナラズニ非ル所デ、若シサウ短クナレバ、ムシロ第二上、即チおどかす(第二上)トナラナケレバナラヌ。但シ調子ハ此語ニ限ツテ全平デアル。

おとがね (第三ガ)(第二上)名。[音金] 弓ノうらはずノスコシ下、あひうちニアタル處ノ弓弦ノ中ニ入レタ銅、又ハ鉛。射テヒビキノ出ルヤウニシタモノ。

おとがひ (…、第四イ)(全平)名。[(頤)](あぎと(腭)かひ(交)ノ義」 シタアゴ。‖アギ。‖アゴ。—和名抄「頷、和名於止加比」。

◎おとがひヲトク。‖(笑フホドニ面白イ)。

おときばうず (第四ボ)(第四上)名。[御齋坊主] とき(齋)ノ饗應ヲ受ケタソノ饗應ニ、ツクレル人ノタメニ經ナドヨム僧。

おときりさう (第三ギ、第五ソ)(全平)名。[弟切り草] [花山天皇ノ頃、鷹飼ヒノ名人晴頼ガ此草ヲ取ツテ鷹ノ藥トシ、極メテ秘シテオイタノヲ、弟ガ人ニ其レヲ洩ラシタノデ、其弟ヲ切ツタ所カラ付イタ名] 草ノ名。高サ二三尺、葉ハセマク、長ク、夏秋ノ間、單瓣デ五色ノ小サナ黃色イ花ヲ付ケル。實ハ秋ノ頃、サヤニナツテ生ジ、各カドガタツ。其中ニアル細カイ種ヲ取ツテ藥ニシ、切リ傷ヲナホスト云フ。‖セウレンゲウ。‖オトギリス。

▲おときりす (第三上)名。 草ノ名。おとぎりさうノ轉。オモニ東京カラ東北ニアタル近在デ云ウ。

△おどく (第二上)自動、下二。[おは(大)とく(解)ノ義] トリシマリガ無イ。‖ヤリバナシデアル(主ニ、心、氣ダテニイフ)。

おどけ (全平)名。[(謔‖戲‖諧謔)] オドケルコト。‖フザケ。‖タハムレ。‖ジヤウダン。—曲山人、娘節用「おどけハおどけダガ、足下タイコモチヲサラケ止メテエ。イイ金ヤウヤウノ筋ガアルゼ」。

おどけぐち (第四ダ)(…、又、第三上)名。[…口] オドケタロノ聞キヤウ。‖オドケタコトバ。‖ジヤウダングチ。

おどけばなし (第四上)名。[…噺し] オドケタ話シ。

●おどける (全平)自動、二。[…る](おどくノ轉] フザケル。‖トボケル。

おとご (第三ゴ)(…)名。[おと(弟)こ(子)ノ義] 末ノ子。

▲おとごぜ (…)(第三上)根。 おたふくト同ジ語。

おとさた (第四上)名。[音沙汰] オトヅレ。‖タヨリ。‖ウハサ。—近松、博多小女郎浪枕、「おとさたなしノ餓宿ガヘ」。

おとし (第三上)名。[落とし] (一)オトスコト。(二)スベテ鳥獸ナドヲオトシ入レテ捕ルベキ機械ノ名。—「鼠おとし」。(三)岩ノさる。(四)スベテ話ナドノ結局。‖オチ。—不知足山人、聞キ上手「ソンナ愚痴ナコトデハ無イ。ヨイおとしヂヤケレド、モウ話スマイトスル子レゾ」。—西鶴、一代女、「オテキサマヘノ御申シ分ハコチハ存ジマセヌナド云フガカコヒ女郎ノ必ズおとしナリ」。(五)おとしきんちやくノ略。

おどし (全平)名。[(威)し] オドスコト。

おとしあな (第三上)名。[陷とし穽] 大地ナドニ堀リ、穴ラシク無ク見セ、人又ハ他ノ動物ヲ欺イテオトシ入レルモノ。‖オチアナ。

◎言海ニ此語ヲ解イテ「ケダモノナドヲ欺イテ」トシ、ヒトリ獸類ヲ待スルモノノヤウニ限ツタノハ必ズシモ實ノ說デナイ。

○おとしいる (…)他動、下二。[陷とし入る] (一)サソヒオトス。‖ダマカシオトス。‖「オトシ穴ニおとしいる」。(二)[轉ジテ]スベテタバカツテ引キイレル。—「邪ニおとしいる」。(三)攻メトル。—「城ヲおとしいる」。

●おとしいれる (第五上)他動、三。[…れる] おとしいるノ近體。

おとしがけ (第四ガ)(第五上)名。[落とし懸け] ランマノ下ナドニアルホリモノ。

おとしがけ (…)(…)根。[…](おとしハおとしざしノおとし] 昔、元祿ノ頃、ヤヤ行ハレタ元結ヒノカケカタノ一種。並ノもとゆひホド高クカケズ、洒落テ少シオトシテヒククカケタモノ。—西鶴、若風俗「緋紗綾ノフタノ蹴返シニホノメキ、おとしがけノハチモトユヒ、スカシ形ノサシ櫛」。

おとしがみ (…)(第三上)名。[落とし紙] セツヰンデ用ヰル紙ノ稱ヘ。下等ナモノ。

おとしぎんちやく (第四キ、第六、七合)(第四上)名。[…巾着] 紐ナドツケテ、着物ノ襟、ソノ他縫ヒ合ハセ目ニ一方ヲヒツカケ、全ク落チヌヤウニ拵ヘタ巾着。‖オトシ。‖タモトオトシ。—森山孝盛、賤ノ小手環「其サキニおとしぎんちやくヲ附ケテウチブトコロ(ニ入レテ持チタリ」。

おとしざし (第五上)根。[…挿し](おとしハおとしがけノおとし] 即チユルクオトシテ置クトノ義] 腰ノモノヲ佩ビルシカタノ一ツノ稱ヘ。普通ノサシカタノヤウニ横ニカタク差サズ、コジリサガリニスルコト。遊ビナドノ際シナリソ時ニスル。—森山孝盛、賤ノ小手環「腰ノモノハおとしざしニ差シ、フトコロ手ニシテ駒下駄ヲ履キテ」。

おとしだな (第三上)名。[…棚] 日本ノ建築術ノ語。四十八棚ノ一ツ。床板ノヒロ

サ六尺トスレバ二分トシテ三尺ノ所ニ一尺一寸八分ノ足ヲ立テ、此足ニツヅケテ三尺ノ棚ヲ造リ、又別ニ床板カラ上ニ二尺一寸ハナレタ所ニ右ノ柱ヘモタセテ三尺ノ棚ヲ出シ其棚ノ左ノ端カラ上ヘ四寸二分ハナレタ所ヘ又三尺ノ棚ヲツル、但シ此棚ハ左ノ柱ニ一方ヲツヅケタモノ。スベテ棚ノ數ハ三枚。オシイダシ、シロ井ン脇、其外何ノ所ニ用ヰテ益シ支ヘノ無イモノ。―オトシチガヒダナ。

おとしだね　(第四上)名。{……胤}―(落胤)。貴人ナドノタヂデアル子。世ニウヅモレテヰルモノ。―ラクイン。

おとしちがひだな　(第五カ、第六イ)(第五上)名。{……違ひ棚}　棚ノ名。おとしだなノ一名。

おとしばなし　(第四上)名。{……話し}―(落語)。

おとけばなし　一ツ。オトシヲ面白ヲカシクシタモノ。―森山孝盛、賤ノ小手業、「其頃豪洲ノ相撲ニ釋迦ケ嶽……郷シキ沙汰ニテおとしばなしニサヘシタルホドノコトアリ」。

△おとしばら　(第三上)名。女ノ髪ノびんたぼノソクリカタノ一ツ。くるりおとしニ似タモノ。くるりおとしト違フ處ハびんたぼヲ後ロ一ツ、前ニ二ツノ三ツニワケタ一點。↔くるりおとし參考。

◎此語今日ハ全ク遊語トナル。

おとしふた　{……名}{落とし蓋}　箱ノふたノ一種。ふたノ上ノ緣ニカカラズ箱ノ中ニオサマルデ蓋ニナルヤウニ作ツタモノ。―サシブタ。

○おとしふみ　{……名}{落とし文}　アラハニ云ヘヌ事ヲカクシ名ナドデ道ナドニオトシテ益クラミ。―ラクシヨ。

○おとしむ　{……他動}{下二}(歷)(十二)(陷とす)攻ストル。―オトシイレル。―城ヲおとす。(十三)罪ニアテル。―罪ニ伏サセル。―重罪ニおとす。(十四)(劣)す}―ワルクスル。―イヤシクスル。―品ヲおとす。(十五)偏頗ノ一方ニ偏カセル。―カヲコチラニおとす。(十六)(遣とす)心付カズ遣ニ打ヲ捨テル。―物ヲおとす。

◎イノチヲおとす　落―(隕)とす―(死ス)。

おとス　(全平)他動四段。{……滅―(嚇)す}―(ホロボス)。(一)コハガラセル。(二)(轉ジテ)オドカス。―オドロカス。

△おとづき　(第二上)名。{……弟月}{おと(弟)づき(月)ノ義}　十二月ノ異名。

おとつづみ　(第三上)名。{……鼓}　樂器ノ一ツ。こつづみノ一名(こつづみノ對)。

○おとつれ　{……自動}{下二}(音信る}{おと(音)ヲ働カセタモノ}　(一)人ノモトヲタヅヌル。―トフ。―ミマフ。(二)音信ヲモッテ安否ヲトフ。

△おとつれ　(第四上)名。{音信れ}　(一)オトヅレルコト。(二)スベテ人ノ安否ヲトフコト。―ハウモン。

●おとつれる　{……自動}{下二}{……る}　おとづるノ近體。

おとと　(第二上)名。{(弟)}{おとうとノ略}　(一)オトウト。(二)△イモウト。

△おとと　(第二上)名。{大殿(大)との(殿)ノ略ノ轉}　貴人ノヤシキノ尊稱。

△おとど　{……名}{……臣}{前ノ語カラ轉ジテ、おほきおとどノ略}　ダイジン(大臣)。

△おとと　(全平)名。{弟兄}{おと(弟)え(兄)ノ義}　ハラカラ。―キャウダイ。

△おととひ　{……名}{……}　前ノ轉。

おととひ　{……}{……を}　ノ轉。

おとな　(全平)名。{大人}　充分ニ生長シタ人。―一人マヘノ人。―元服シタ後ノ人。―源氏「おとなニナリタマヒテ後ハ」。

◎おとなニナル。―ゲンブクスル。

おとな　{……名}{……さ}　(一)一族ノヲサ。(二)蝦夷ノ國ノヒトムレノヲサ。―シウチャウ。(三)譜代ニ仕ヘル老人。―八犬傳「おとな九念次」。

▲おとな　(第二上)根。{……}　おとなしノ略。オモニ東京デ子供ナドニイフ。

△おとなおとなし　(第六上)形。{……大人し}　オトナシクアル。

●おとなくさイ　(全平)形。{……臭い}　男ノ大人ニ固有ノニホヒガスル。脂カラ匂フモノ。

●おとなくさき　(第五上)名。{……さ}　オトナクサクアル度合ヒ。

おとなげ　(第四ケ)(第四上)根。{大人氣}　オトナラシクアルコト。―おとなげナシ。

○おとなし　(第三上)形。{……し}{おとなげナシ}らしノ義。　(一)オトナノヤウデアル。(二)(轉ジテ)スベテ、オチツイテ、オダヤカデアル。―ヲトナシヒデアル。―ヲンタウデアル。

●おとなしイ　(第四上)形。{……い}　前ノ近體。

おとなしさ　(第三上)名。{……さ}　オトナシクアル度合ヒ。

○おとなしやか　(第四上)根。{……やか}　オトナシイ有リ樣デアルコト。{やかハきはやかたをやかナドノやか}

○おとなしやかニ　{……}副。{……ニ}　前ノ副詞。

△おとひめ　(第四イ)(……)名。{……}　前ノ轉。

おとひめ　(……)(第三上)名。{(一昨日)}　を

おとひ　ノ轉。

おとな　(全平)名。{大人}　充分ニ生長シタ人。―一人マヘノ人。―元服シタ後ノ人。―源氏「おとなニナリタマヒテ後ハ」。

◎おとなニナル。―ゲンブクスル。

おとな　{……名}{……さ}　(一)一族ノヲサ。(二)蝦夷ノ國ノヒトムレノヲサ。―シウチャウ。(三)譜代ニ仕ヘル老人。―八犬傳「おとな九念次」。

▲おとな　(第二上)根。{……}　おとなしノ略。オモニ東京デ子供ナドニイフ。

△おとなおとなし　(第六上)形。{……大人し}　オトナシクアル。

●おとなくさイ　(全平)形。{……臭い}　男ノ大人ニ固有ノニホヒガスル。脂カラ匂フモノ。

●おとなくさき　(第五上)名。{……さ}　オトナクサクアル度合ヒ。

おとなげ　(第四ケ)(第四上)根。{大人氣}　オトナラシクアルコト。―おとなげナシ。

○おとなし　(第三上)形。{……し}{おとなげナシ}らしノ義。　(一)オトナノヤウデアル。(二)(轉ジテ)スベテ、オチツイテ、オダヤカデアル。―ヲトナシヒデアル。―ヲンタウデアル。

●おとなしイ　(第四上)形。{……い}　前ノ近體。

おとなしさ　(第三上)名。{……さ}　オトナシクアル度合ヒ。

○おとなしやか　(第四上)根。{……やか}　オトナシイ有リ樣デアルコト。{やかハきはやかたをやかナドノやか}

○おとなしやかニ　{……}副。{……ニ}　前ノ副詞。

△おとひめ　(第四イ)(……)名。{……}　前ノ轉。

おとひめ　(……)(第三上)名。{(一昨日)}　を

おとひ　ノ轉。

△おとひめのかんざし　(……)名。{……の簪}　うみやなぎノ一名。

おとぼね　(全平)又第二上名。{頤骨}{おとがひノ略}　おとがひノ骨。―兜ノ軍記「ヤア、ベリベリトハッシヤイタおとぼね」。

△おとまし　(第三上)形。{(聰)まし}　うとましノ轉―近松、博多小女郎浪枕「ナウ、おとましや、おとましや」。

おとみづはり　(第五ワ)(第四上)名。{(魁)}{おと(弟)み(見)づはり(懸泡)ノ義}　子供ノ病氣ノ名。チノミ子ノアル中ニ母ガ又子ヲハラミ、つはりトナリ、前ノ子ガ乳バナレニナッテ、ソレカラ其子ニ起コル病氣。

△おとめ　(全平)名。{乙女}　をとめ(處女)ノ誤リ。

△おとも　(第二上)名。　前ニタッテ行ク舟。―顯昭「夜川立ッサッキ來ヌラシ、瀬瀬ヲトメ、おともノオモ火カガリザスハヤ」。

おとや　(全平、又……)名。{乙矢}　弟矢}　一手二本ノ矢ノ第二番目ニ射ル矢ノ稱ヘ。(はやノ對)。

△おとよめ　(第二上)名。{……嫁―(婚)}　弟ノ妻。―オトウトヨメ。―和名抄、「婦嬬、和名於止與女」。

○おとり　(第三上)名。{(劣り)}　オトルコト。―品ノサガルコト。

△おとりばら　(第二上)名。{……腹}　メカケバラ。―ワキバラ。

△おとる　(第二上)自動、四段。{……る}{おつ(落)ノ轉}　品ガオチル(せさるノ對)。―源氏、「世ノオボエハナヤカナル御ン方方ニモおとらず」。

調體。

○おとなたツ　(……)自動、四段。{……立つ}　トナノヤウニナル。―オトナビル。―オトナジミル。

△おとなし　(第四ウ)(第三上)名。{(魁)}　(一)オトナフコト。―ヒビキ。(二)オトヅレ。―ハウモン。

●おとなびル　(全平)自動、二。{……ぶ}　おとなぶノ近體。

おとなぶ　(第四ウ)(第三上)自動、四段。{……立つ}　なム。{おとヲ働カセタモノ}

おとなブ　(……)自動、上二。{大人ぶ}　オトナラシクアル。―源氏、「ウチおとなびタマヘルニ、イト若ウウックシゲニテ、セチニカクレタマヘド」。

●おとなぶル　(第四上)自動、四段。{……る}　(一)大人ノフリヲスル。(二)大人ブル誇ル。

△おとなつくさイ　(第四遍)(全平)形。{……臭い}　おとなくさいノ轉訛。

▲おとなつくさき　(……)(第六上)名。{……さ}　おとなくさきノ轉訛。

△おとね　(全平)名。{乙子}　正月下旬ノ子ノ日。

△おとひ　((第三イ)(全平)おとひ(弟)ノ轉}　おとひと同ジ語。

△おとひと　(第二上)名。{……人}　品ガオチル(せさるノ對)。―源氏、「世ノオボエハナヤカナル御ン方方ニモおとらず」。

△おそれ　（全平）名。（（コ）れ）　主ニ中古足利頃ノ武士ナドガ用ヰタ俚語。おのれノ轉訛。多ク人ヲ罵ツテ呼ビカケル時ニ云フ。
―「おそれ、ナニヤツナレバ。」
おそろ　（……）名。（盛）　オドロオドロトナツタモノゴト。―後頼「ケフト云ヘバシドロニ見ユル山ガツノおそろノ髪モ葵カケタリ」。
△おそろ・おそろし　（第六上）形。　オドロクベクアル。―オドロシイ。
おそろかし　（全平）名。（驚―駭―愕）かし）　オドロカスコト。
おそろかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―オドス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおそろかしタマフ」。
おそろき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おそろき、桃ノ木、サンショノ木」。
おそろク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおそろく夏ノヒグラシ」。
▲おそろしイ　（第四上）形。（おそろおそろしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おそろしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おそろフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おそろへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

●おそろへル　（……）自動、下二。（襲）ふ）　同ジコトデアルナラバ。―フタツドリニハ。
△おそろふノ近體。
おそろをぢ　（第二上）名。（御中）　（一）△昔ノ紫中父。　（二）▲（轉ジテ）スベテ人ノ所有物ノスタレモノ。主ニ目上カラ盃ノシタタレヲ頂戴スル時ニイフ。
―ヲヂ。
●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。
おなか　（全平）名。（腹）ノ一名。　婦女子ノ語。―八犬傳「おなかノ中ガ」「クルシイカ」。
おなかし　（全平）名。（驚―駭―愕かし）　オドロカスコト。
おなかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおなかしタマフ」。
おなかき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おなかき、桃ノ木、サンショノ木」。
おなかク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおなかく夏ノヒグラシ」。
▲おなかしイ　（第四上）形。（おなかおなかしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おなかしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おなかフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おなかへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
△おなおなし　（第二上）名。（御中）　（一）△昔ノ紫中父。　（二）▲（轉ジテ）スベテ人ノ所有物ノスタレモノ。主ニ目上カラ盃ノシタタレヲ頂戴スル時ニイフ。
―ヲヂ。
●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
おなか　（全平）名。（腹）ノ一名。　婦女子ノ語。―八犬傳「おなかノ中ガ」「クルシイカ」。
おなかし　（全平）名。（驚―駭―愕かし）　オドロカスコト。
おなかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおなかしタマフ」。
おなかき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おなかき、桃ノ木、サンショノ木」。
おなかク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおなかく夏ノヒグラシ」。
▲おなかしイ　（第四上）形。（おなかおなかしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おなかしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おなかフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おなかへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

●おなが　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
△おなが・おながし　（第二上）名。（御中）　（一）△昔ノ紫中父。　（二）▲（轉ジテ）スベテ人ノ所有物ノスタレモノ。主ニ目上カラ盃ノシタタレヲ頂戴スル時ニイフ。
―ヲヂ。
●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
おなか　（全平）名。（腹）ノ一名。　婦女子ノ語。―八犬傳「おなかノ中ガ」「クルシイカ」。
おなかし　（全平）名。（驚―駭―愕かし）　オドロカスコト。
おなかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおなかしタマフ」。
おなかき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おなかき、桃ノ木、サンショノ木」。
おなかク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおなかく夏ノヒグラシ」。
▲おなかしイ　（第四上）形。（おなかおなかしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おなかしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おなかフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おなかへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

●おなが　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
△おなが・おながし　（第二上）名。（御中）　（一）△昔ノ紫中父。　（二）▲（轉ジテ）スベテ人ノ所有物ノスタレモノ。主ニ目上カラ盃ノシタタレヲ頂戴スル時ニイフ。
―ヲヂ。
●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
おなか　（全平）名。（腹）ノ一名。　婦女子ノ語。―八犬傳「おなかノ中ガ」「クルシイカ」。
おなかし　（全平）名。（驚―駭―愕かし）　オドロカスコト。
おなかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおなかしタマフ」。
おなかき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おなかき、桃ノ木、サンショノ木」。
おなかク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおなかく夏ノヒグラシ」。
▲おなかしイ　（第四上）形。（おなかおなかしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おなかしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おなかフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おなかへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

●おなが　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
△おなが・おながし　（第二上）名。（御中）　（一）△昔ノ紫中父。　（二）▲（轉ジテ）スベテ人ノ所有物ノスタレモノ。主ニ目上カラ盃ノシタタレヲ頂戴スル時ニイフ。
―ヲヂ。
●おないぎし　（……）名。（同い年）ノ音便。　互ニ同ジクアル年齢。
おなか　（全平）名。（腹）ノ一名。　婦女子ノ語。―八犬傳「おなかノ中ガ」「クルシイカ」。
おなかし　（全平）名。（驚―駭―愕かし）　オドロカスコト。
おなかす　（第四上）他動、四段。（……す）　オドロクヤウニスル。―オドカス。―ビックリサセル。―源氏「アサマシキマデ目ヲおなかしタマフ」。
おなかき　（……）名。（驚―駭―愕き）　オドロクコト。―「おなかき、桃ノ木、サンショノ木」。
おなかク　（第三上）自動、四段。（……く）（おそる（恐）ト異體同種）　思ヒノ外ノコトニ遇ツテ仰天スル。―ヒックリスル。―夫木集、西行「ウナ井ヨガスサヒニナラス麥ブエノ聲ニおなかく夏ノヒグラシ」。
▲おなかしイ　（第四上）形。（おなかおなかしノ略）　馬關ノ方言。オドロクベクアル。
▲おなかしさ　（第三上）名。　馬關ノ方言。オドロシクアル度合ヒ。
○おなかフ　（（第四ウ）（……）自動、下二。（襲）ふ）（うつろふ（移）ト異體同種）　イキホヒガ滅ル。―ヨワル。―スヰジヤクスル。―スヰビスル。
おなかへ　（（第四エ））全平、又、第三上）名。（……へ）　オドロヘルコト。―スヰビ。

おなじくは　（（第五ワ））（……）接。（……は）　同ジコトデアルナラバ。―フタツドリニハ。
▲おなで　（全平）名。（御撫で）（おなでる（撫）ノ略）　モト御殿女中ノ語。はうきノ異名（昔、伯耆家ナドデハ忌ンデ、殊更ニおなでト云ツタトイフ）。
▲おなべ　（第二上）名。（阿鍋）　西京ノ方言。下女ノ稱ヘ。東京ノおさんト同ジタグヒ。
▲おなつちよ　（（第三通、第四、五合））（第四、五上）副。　信濃ノ方言。他ノ歸リヲ送ル時ナドニイフ語。東京ノさよならトオナジ類。―オナンチヨモ。（お（御）なに（何）さま（様）ノ略ノ轉）
▲おなんちよも　（（第四、五合））（……）副。　信濃ノ方言。前ト同ジ語。
●おなら　（全平）名。（屁）（お（御）なら（鳴）ノ義）　ヘ（屁）ノ敬語。モト、ヘトイフノヲ忌ンデ云ツタ語ナガラ、今ハ殆ンド全ク普通語トナル。―へ。
おなり　（……）名。（御成り）（な（成）らせらるノ義）　出デタチ行クコトノ敬語。宮方、攝家、將軍、公方ナドニイフ。―内藤河波守、内安錄「ウヅラノおなり御場見分ニマカリコシ」。
おなんや　（第二上）名。（……納戸）　（一）スベテ衣服調度ナドヲ入レテオク部屋ノ敬語。―西鶴、若風俗「おなんやヨリ路金マデタマハリテ」。（二）おなんやくノ略。
おなんど　（第二上）根。（……）　染メ色ノ一ッ。稍チズミ色ノカカッタ藍―曲山人、娘節用「眞鶴ハ藍おなんどノ唐繪繪、裾ニ光琳ノ鶴ノ染メ出シ」。
おなんどやく　（第四上）名。（……役）　德川氏ノ頃ノツカサノ名。納戸ノカカリ、スナハチ財物ノ出納ニアヅカッタモノ。モト、

おなじくは　（（第五ワ））（……）接。（……は）　同ジコトデアルナラバ。―フタツドリニハ。
▲おなで　（全平）名。（御撫で）（おなでる（撫）ノ略）　モト御殿女中ノ語。はうきノ異名（昔、伯耆家ナドデハ忌ンデ、殊更ニおなでト云ツタトイフ）。
▲おなべ　（第二上）名。（阿鍋）　西京ノ方言。下女ノ稱ヘ。東京ノおさんト同ジタグヒ。
▲おなつちよ　（（第三通、第四、五合））（第四、五上）副。　信濃ノ方言。他ノ歸リヲ送ル時ナドニイフ語。東京ノさよならトオナジ類。―オナンチヨモ。（お（御）なに（何）さま（様）ノ略ノ轉）
▲おなんちよも　（（第四、五合））（……）副。　信濃ノ方言。前ト同ジ語。
●おなら　（全平）名。（屁）（お（御）なら（鳴）ノ義）　ヘ（屁）ノ敬語。モト、ヘトイフノヲ忌ンデ云ツタ語ナガラ、今ハ殆ンド全ク普通語トナル。―へ。
おなり　（……）名。（御成り）（な（成）らせらるノ義）　出デタチ行クコトノ敬語。宮方、攝家、將軍、公方ナドニイフ。―内藤河波守、内安錄「ウヅラノおなり御場見分ニマカリコシ」。
おなんや　（第二上）名。（……納戸）　（一）スベテ衣服調度ナドヲ入レテオク部屋ノ敬語。―西鶴、若風俗「おなんやヨリ路金マデタマハリテ」。（二）おなんやくノ略。
おなんど　（第二上）根。（……）　染メ色ノ一ッ。稍チズミ色ノカカッタ藍―曲山人、娘節用「眞鶴ハ藍おなんどノ唐繪繪、裾ニ光琳ノ鶴ノ染メ出シ」。
おなんどやく　（第四上）名。（……役）　德川氏ノ頃ノツカサノ名。納戸ノカカリ、スナハチ財物ノ出納ニアヅカッタモノ。モト、

なんどやく、普通ニハ敬語ヲ添ヘテイフ。
おに　（第二上）名。（鬼）（ヰに（隠）ノ義トイフ）　（一）○幽靈。―モノノケ。―和名抄、鬼和名於爾、或説云隱字、音於爾能也。（二）（轉ジテ）スベテ人ノ形チデ角ガ二本生ヘ、裸體デ虎ノ皮ヲ腰ニマトヒ、顔色、骨格、オソロシクタクマシク、怪シイ魔力ノアル下云フ想像ノ惡魔ノ名。モトハ牛ト虎トノ形ヲ取リ揃ヘ是ヲ人間ラシク書キ合ハセタモノ。即チウシトラノ隅ヲきもん下云フ、ソレニ線ヲ取ッタモノトイフ。―ヤシヤ。（三）（轉ジテ）スベテ、暴イモノノ稱ヘ。―「おに武者」。―「おに鹿毛」。（四）（又、轉ジテ）スベテ異形ナモノヲ指シテイフ語。―「赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ参考。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（第三上）名。（……薊）　草ノ名。
おにあざみノ一名。ムカシイフあざみトオナジモノ。―ヤマアザミ。
おにあざみ　（第五ギ）（……）名。（……五加木）　木ノ名。うこぎノ一種。―アブラギ。
おにいちご　（第四上）名。（……苺）　オニヤラヒノトキ鬼ヲシリゾケルトテ投ゲル豆ノトナヘ。
おにいちご　（第三上）名。（……獨活）　うどノ類ヒ。極メテ大キク成長スル。―ハマウド。
おにおこし　（……）名。（……菱）　ヒノトキ拵ヘルモノ。是デ鬼ヲオドスト

なんどやく、普通ニハ敬語ヲ添ヘテイフ。
おに　（第二上）名。（鬼）（ヰに（隠）ノ義トイフ）　（一）○幽靈。―モノノケ。―和名抄、鬼和名於爾、或説云隱字、音於爾能也。（二）（轉ジテ）スベテ人ノ形チデ角ガ二本生ヘ、裸體デ虎ノ皮ヲ腰ニマトヒ、顔色、骨格、オソロシクタクマシク、怪シイ魔力ノアル下云フ想像ノ惡魔ノ名。モトハ牛ト虎トノ形ヲ取リ揃ヘ是ヲ人間ラシク書キ合ハセタモノ。即チウシトラノ隅ヲきもん下云フ、ソレニ線ヲ取ッタモノトイフ。―ヤシヤ。（三）（轉ジテ）スベテ、暴イモノノ稱ヘ。―「おに武者」。―「おに鹿毛」。（四）（又、轉ジテ）スベテ異形ナモノヲ指シテイフ語。―「赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ参考。
おにあざみ　（第三上）名。（……薊）　草ノ名。
おにあざみノ一名。ムカシイフあざみトオナジモノ。―ヤマアザミ。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（第五ギ）（……）名。（……五加木）　木ノ名。うこぎノ一種。―アブラギ。
おにいちご　（第四上）名。（……苺）　オニヤラヒノトキ鬼ヲシリゾケルトテ投ゲル豆ノトナヘ。
おにいちご　（第三上）名。（……獨活）　うどノ類ヒ。極メテ大キク成長スル。―ハマウド。
おにおこし　（……）名。（……菱）　ヒノトキ拵ヘルモノ。是デ鬼ヲオドスト

なんどやく、普通ニハ敬語ヲ添ヘテイフ。
おに　（第二上）名。（鬼）（ヰに（隠）ノ義トイフ）　（一）○幽靈。―モノノケ。―和名抄、鬼和名於爾、或説云隱字、音於爾能也。（二）（轉ジテ）スベテ人ノ形チデ角ガ二本生ヘ、裸體デ虎ノ皮ヲ腰ニマトヒ、顔色、骨格、オソロシクタクマシク、怪シイ魔力ノアル下云フ想像ノ惡魔ノ名。モトハ牛ト虎トノ形ヲ取リ揃ヘ是ヲ人間ラシク書キ合ハセタモノ。即チウシトラノ隅ヲきもん下云フ、ソレニ線ヲ取ッタモノトイフ。―ヤシヤ。（三）（轉ジテ）スベテ、暴イモノノ稱ヘ。―「おに武者」。―「おに鹿毛」。（四）（又、轉ジテ）スベテ異形ナモノヲ指シテイフ語。―「赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ参考。
おにあざみ　（第三上）名。（……薊）　草ノ名。
おにあざみノ一名。ムカシイフあざみトオナジモノ。―ヤマアザミ。
おにあざみ　（（第四ワ））（……）名。（……菜）　（一）穀ノ名。おはぐろノ一種。極メテ大キク育チ、赤黒ノ二種ガアル。―シシクハズ。（二）又、穀ノ名。おはぐろノ一名。
おにあざみ　（第五ギ）（……）名。（……五加木）　木ノ名。うこぎノ一種。―アブラギ。
おにいちご　（第四上）名。（……苺）　オニヤラヒノトキ鬼ヲシリゾケルトテ投ゲル豆ノトナヘ。
おにいちご　（第三上）名。（……獨活）　うどノ類ヒ。極メテ大キク成長スル。―ハマウド。
おにおこし　（……）名。（……菱）　ヒノトキ拵ヘルモノ。是デ鬼ヲオドスト

木ノ名。くこト同ジモノ。
おにぐるみ　（（……）第三上）名。（……胡桃）　くるみノ一種。實ノコトニ大キイモノ。
おにくわんざう　（（第二、四合。第六ワ））（第二、四上）名。（……萱草―千葉萱草）　草ノ名。わすれぐさノ一種。―ヤブクワンザウ。
おにこそ　（第三ゴ）（第二上）名。（……子）　子供ノ遊ビノ名。おにごっこノ一名。
△おにごと　（（……）・（……）名。（……事）　オニゴッコ。
おにころし　（……）名。（……殺し）　たばこノ一種。極メテ氣ノツヨイ下等ナモノ。
○おにごっこ　（（……第四通））（第三上）名。（……ごっこ）（ごっこハいくさごっこナドノごっこ）　子供ノ遊ビノ名。鬼トナルモノヲ一人定メ、アマタノ群レノ中ヲドレデモ追ヒカケテ捕ヘ、ソノ捕ヘラレタモノガ代ハッテ鬼トナル。―オニゴト。―オニンブクロ。―オニワタシ。―ツカマヘボ。―オニオニ。―オクリゴ。―オニノサラ。
△おにし　（第二上）形。（……し）　鬼ノヤウデアル。―「おにしキ人カナ」。
おにしだ　（第三上）名。（……羊齒）　草ノ名。しだノ一種。きじのをノ形チデ、廣ク、大キク、葉ノ端ハ上ニ向カヒ、一邊ニ小サナカドガタツ。冬モシボマズ、秋、葉ツラニ黄色ノ花ガ咲ク。―オニヤブソテツ。
おにしば　（……）名。（……結縛）　草ノ名。しばノ一種。
おにしばり　（……）名。（……縛り）　木ノ名。はなちやうじノ一名。
おにしぼり　（……）名。（……絞り）　しぼりぞめノ一種。大キククリヨセテ絞ッタモ

木ノ名。くこト同ジモノ。
おにぐるみ　（（……）第三上）名。（……胡桃）　くるみノ一種。實ノコトニ大キイモノ。
おにくわんざう　（（第二、四合。第六ワ））（第二、四上）名。（……萱草―千葉萱草）　草ノ名。わすれぐさノ一種。―ヤブクワンザウ。
おにこそ　（第三ゴ）（第二上）名。（……子）　子供ノ遊ビノ名。おにごっこノ一名。
△おにごと　（（……）・（……）名。（……事）　オニゴッコ。
おにころし　（……）名。（……殺し）　たばこノ一種。極メテ氣ノツヨイ下等ナモノ。
○おにごっこ　（（……第四通））（第三上）名。（……ごっこ）（ごっこハいくさごっこナドノごっこ）　子供ノ遊ビノ名。鬼トナルモノヲ一人定メ、アマタノ群レノ中ヲドレデモ追ヒカケテ捕ヘ、ソノ捕ヘラレタモノガ代ハッテ鬼トナル。―オニゴト。―オニンブクロ。―オニワタシ。―ツカマヘボ。―オニオニ。―オクリゴ。―オニノサラ。
△おにし　（第二上）形。（……し）　鬼ノヤウデアル。―「おにしキ人カナ」。
おにしだ　（第三上）名。（……羊齒）　草ノ名。しだノ一種。きじのをノ形チデ、廣ク、大キク、葉ノ端ハ上ニ向カヒ、一邊ニ小サナカドガタツ。冬モシボマズ、秋、葉ツラニ黄色ノ花ガ咲ク。―オニヤブソテツ。
おにしば　（……）名。（……結縛）　草ノ名。しばノ一種。
おにしばり　（……）名。（……縛り）　木ノ名。はなちやうじノ一名。
おにしぼり　（……）名。（……絞り）　しぼりぞめノ一種。大キククリヨセテ絞ッタモ

ノ。

おに・すぎはら（第四キ、第五ワ）（第四上）名。（……杉原）　おにすぎはらがみノ略。

○おにすぎはらがみ（……紙）　すぎはらがみノ一種。播州カラ出ル。すぎはらがみノ中デハ最上ノモノ。色ハ普通ノホド白クアザヤカデ無イモノノ、昔、獻上ニ當タッテハ一束一本ニアタヒシタモノ。═スギハラ。═ホンスギハラ。═ホンノリイレ。

おに・すげ（第四ケ）（第二上）名。（鬼簀）　草ノ名。すげノ一種。みくりすげノ一名。

おに・せきしやう（第六ヨ、第五、六合）（第三上）名。（……石菖═（水菖蒲））　草ノ名。せきしやうノ一種。葉ノ極メテヒロイモノ。═ミヅゼキシヤウ。

おに・ぜんまい（……）名。（……薇）　草ノ名。ぜんまいノ一種。コハクテ殆ンド食用ニナラヌ。

おに・たて（第二上）名。（……蓼）　草ノ名。いぬたでノ一名。

おに・だひ（第四イ）（……）名。（……鯛）　魚ノ名。たひのむこげんばちノ一名。

おに・たびらこ（第三上）名。（……田平子═（黄鵐菜））　草ノ名。たびらこノ一種。

△おに・たらし（第三上）名。（御多羅枝）　天子ノ御弓。═下學集「最初獵多羅樹枝以作弓、故云尒也」。

おに・ところ（……）名。（……野老）　山野ニ多イ草ノ名。やまのいもニ似テ、夏、梢ノ間カラ六瓣ノ小サナ花ガ咲ク。根ハところニ似テ小サク、食用ニハナラズ、寶ハサヤニナッテ生ル。取ッテ祝ヒノモノニッカフ。═キドコロ。

おに・なづな（第三上）名。（……薺═（薺苨））　草ノ名。なづなノ大キナモノ。

おに・なるこ（……）名。（……鳴子）　草ノ名。すげノ屬。なるこびえニ似タモノ。

おにのさら（全平）名。（……の皿）　（一）▲子供ノ遊ビノ名。おはじきノ方言。（二）△又、昔ノ子供ノアソビノ一名。左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノト云フ。═新井白蛾、牛馬問「堀田賀州尋予テ曰ク、『ワラシベドモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲ寄セテカゾヘ、おのにさらト云フコトヲ云ス。其數ヘコトバニ、『ダイドノ、ダイドノ！　ダイガ娘ハ梶原、アメウジ、盲ガ杖ヲツイテ通ル所ヲサラバ寄ッテッツヒ除ケ！』トイフ是モ亦故アルコトニヤ？　答ヘテ、是ハ蛸カナヒ、出頭シテ、威タテタルナリ。其仔細ハ、一ッニだいもの、トハ御蠶ドコロ政子ノ御方ナリ。一モだいどのニテ、ツイテ數フ云フ義ニテ、だいもの、だいどのト重ネ呼ブナリ。だいがむすめトハ頼朝ノ大姫君清水冠者ノ北ノ方ヲイフ。是又寵愛ノ姫ニテ威勢アリ。次ギノあめうじトハ安明寺トテ北條時政ノ妻牧ノ御方ノ一族ナルガ、盲人トナッテ頼朝ノ御話シ相手トナリ、オトギシ、御免ニテ座數モ杖ヲツイテ非行ス。安明寺ニ行キ逢フモノ。═ヲトコヒシ。

おにのしこぐさ（……）名。（……醜草）　草ノ名。しこぐさノ類。═オニシダ。

おにのつぶて（全平）名。（……の皿）　（一）▲おにごつこノ一名。常陸ノ方言。（二）△又、昔ノ子供ノアソビノ一名。═新井白蛾、牛馬問「堀田賀州尋予テ曰ク、『ワラシベドモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノト云フ。左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲ寄セテカゾヘ、おのにさらト云フコトヲ云ス。其數ヘコトバニ、『ダイドノ、ダイドノ！　ダイガ娘ハ梶原、アメウジ、盲ガ杖ヲツイテ通ル所ヲサラバ寄ッテッツヒ除ケ！』トイフ是モ亦故アルコトニヤ？　答ヘテ、是ハ蛸カナヒ、出頭シテ、威タテタルナリ。其仔細ハ、一ッニだいもの、トハ御蠶ドコロ政子ノ御方ナリ。一モだいどのニテ、ツイテ數フ云フ義ニテ、だいもの、だいどのト重ネ呼ブナリ。だいがむすめトハ頼朝ノ大姫君清水冠者ノ北ノ方ヲイフ。是又寵愛ノ姫ニテ威勢アリ。次ギノあめうじトハ安明寺トテ北條時政ノ妻牧ノ御方ノ一族ナルガ、盲人トナッテ頼朝ノ御話シ相手トナリ、オトギシ、御免ニテ座數モ杖ヲツイテ非行ス。安明寺ニ行キ逢フモノ。═ヲトコヒシ。

おにのつぶて（全平）名。（……礫）　（一）▲おにごつこノ一名。常陸ノ方言。（二）△又、昔ノ子供ノアソビノ一名。═新井白蛾、牛馬問「堀田賀州尋予テ曰ク、『ワラシベドモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノト云フ。左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲ寄セテカゾヘ、おのにさらト云フコトヲ云ス。其數ヘコトバニ、『ダイドノ、ダイドノ！　ダイガ娘ハ梶原、アメウジ、盲ガ杖ヲツイテ通ル所ヲサラバ寄ッテッツヒ除ケ！』トイフ是モ亦故アルコトニヤ？　答ヘテ、是ハ蛸カナヒ、出頭シテ、威タテタルナリ。其仔細ハ、一ッニだいもの、トハ御蠶ドコロ政子ノ御方ナリ。一モだいどのニテ、ツイテ數フ云フ義ニテ、だいもの、だいどのト重ネ呼ブナリ。だいがむすめトハ頼朝ノ大姫君清水冠者ノ北ノ方ヲイフ。是又寵愛ノ姫ニテ威勢アリ。次ギノあめうじトハ安明寺トテ北條時政ノ妻牧ノ御方ノ一族ナルガ、盲人トナッテ頼朝ノ御話シ相手トナリ、オトギシ、御免ニテ座數モ杖ヲツイテ非行ス。安明寺ニ行キ逢フモノ。═ヲトコヒシ。

おにのつぶて（全平）名。（……礫）　（一）▲おにごつこノ一名。常陸ノ方言。（二）△又、昔ノ子供ノアソビノ一名。═新井白蛾、牛馬問「堀田賀州尋予テ曰ク、『ワラシベドモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノト云フ。左右ノ手ヲヨセテ數ヘルモノ遊ビニ、友ヲ集メテ左右ノ手ヲ寄セテカゾヘ、おのにさらト云フコトヲ云ス。其數ヘコトバニ、『ダイドノ、ダイドノ！　ダイガ娘ハ梶原、アメウジ、盲ガ杖ヲツイテ通ル所ヲサラバ寄ッテッツヒ除ケ！』トイフ是モ亦故アルコトニヤ？　答ヘテ、是ハ蛸カナヒ、出頭シテ、威タテタルナリ。其仔細ハ、一ッニだいもの、トハ御蠶ドコロ政子ノ御方ナリ。一モだいどのニテ、ツイテ數フ云フ義ニテ、だいもの、だいどのト重ネ呼ブナリ。だいがむすめトハ頼朝ノ大姫君清水冠者ノ北ノ方ヲイフ。是又寵愛ノ姫ニテ威勢アリ。次ギノあめうじトハ安明寺トテ北條時政ノ妻牧ノ御方ノ一族ナルガ、盲人トナッテ頼朝ノ御話シ相手トナリ、オトギシ、御免ニテ座數モ杖ヲツイテ非行ス。安明寺ニ行キ逢フモノ。═ヲトコヒシ。

おに・へうたんぼく（第二ヒヨ合）（第五上）名。（……瓢箪木）　忍冬科ノ草ノ名。へうたんぼくノ一種。

おに・へご（第四コ）（第四上）名。（……野老）　草ノ名。草ノ名。極メテ大キク育ッ。幹ハ無數ノ小サナ幹ヲアマタヂ集メテ捲ヘタヤウニ見エル。横枝ハ無多色ハ黒クテ稍黄バミ、梢カラ葉ヲ出シテ四方ヘ垂ラス。葉ノ形チハ蒟ノヤウデ大キク、其幹ニ穴ヲアケテ石高ナドヲ植ユテモ木ハ平氣デ井ル。多ク琉球、小笠原嶋、臺灣アタリノ熱帶ニ近イ所ニ生ヘル。═へご。

おにぼし（第二上）名。（……星═（鬼宿））　二十八宿ノ中ノ一ッ。「鬼宿」ヲ其ママ訓讀シタモノ。═キシュク。※二十八宿參考。

△おにみそ（第三上）名。（……味噌）　やきみそノ一種。鹽氣ノ極メテッヨイモノノトナヘ。昔行ハレタモノ。═大平記「唐橋ヤ、シホノ小路ノ燒ケシコソ桃井殿ハおにみそヲヌレ」。

おにみつば（……）名。（……三葉）　草ノ名。みつばノ一種。葉ノコハイモノ。═ウマノミツバ。

▲おにむし（第二上）名。（……蟲）　（一）仙臺ノ方言。蟲ノ名。かぶとむしノ一名。（二）▲奥羽ノ方言。蟲ノ名。こがねむしノ一名。

おにむしや（第四、五合）（第三上）名。（……武者）　荒イ武者ノ稱ヘ。═アラムシヤ。

おにむすめ（……）名。（……娘）　オニオニシイ心或ヒハオニオニシイ姿ノ娘。

おにもぢ（全平）名。（……線）　アラク綾ッタもぢ。※もぢ（線）參考。

おにもみぢ（第三上）名。（……紅葉）　木ノ名。もみぢノ屬。葉ハ厚ク、且大キイモノ。

おにやんま（第一上）名。（……蜻蜓═（馬大頭））　蟲ノ名。やんまノ屬。形チハ極メテ大キク、性質猛ク、身ハ綠色ノモノ。雌ハ腰ニ碧色ガ一條カカル。（二）又、やんまノいはつぼノ一名。

おにの・ま（……）名。（……間）　昔、清涼殿ノ中ニアッタ部屋ノ名。鬼ノ繪ガアル故ノ名。

おにの・やがら（全平）名。（……矢殺═（天麻））　草ノ名。らんノ一種。葉ガキハメテコハイモノ。

おにばす（第二上）名。（鬼蓮═（夾））　水草ノ名。はすニ似タモノ。葉ハ蓮ニ似テ大キク、表ノ絲ハ濃ク、裏ハ紫。莖ニトゲガ多ク、夏ノ末、鳥ノ頭ノヤウナ光ッタモノヲ出シ、開イテ花トナル。色ハ紫デ、瓣ハ四枚、花ノ下ノいがガ熟スレバ肉ガアッテ中ニ圓イ實ガアル。其仁ヲ取ッテ藥ニッカフ。此蓮ガ生ズレバ同ジ田ノ他ノ蓮ハ悉クソコナハレルト云フ所カラ此名ガ付ク。═ミヅブキ。═ミブブキ。═イバラバス。

○おにばば（第一上）名。（……婆）　ワルイ心ノ老女。

●おにばばあ（……）名。（……）　前ノ轉。

おにび（第二上）名。（鬼火═燐火═陰火）　シメリケナドアル場所カラ雨夜晴夜ナドニ燃エテ出ル一種ノ青イ光リ。燐ガ空氣ニアッテ光リヲ出シタモノ。═キッネビ。═リンクワ。═イングワ。

おにびし（……）名。（……菱）　水草ノ名。ひしノ一種。實ニカドガスルドク立ッタモノ。═ヲトコヒシ。

おにひば（第二上）名。（……檜葉）　木ノ名。ひばノ一種。

おにひばり（第三上）名。（……雲雀）　鳥ノ名。ひばりノ大キイモノ。

おにふすべ（第四上）名。（……蒸べ）　はとりだけノ一名。═バボッ。

おに・やぶそてう（第二）　草ノ名。しだノ類。═オニシダ。

おにやぶまを（……）名。（……）　やぶまをノ一種。

おにやらひ（第五ノ）（……）名。（……追儺）　昔、主ニ行ハレタ儀式ノ名。十二月ノ末日、人ヲ疫病ノ鬼ノ姿ニシ、是ヲ追ヒハラフトノ式。禁中デモ行ハレヒ。═ツ井ナ。═公事根源、宿根草ノ一ッ。ゆりノ一種。ひめゆりニ似テ莖モ葉モ稍長ク大キク、花ハ秋開キ、六瓣ノ紅ノモノデ稍黄ヲ含ミ、大サハひめゆりヨリモ大キク、花ヒラニ黒イマダラノ星ガアル。根ハニガク、食用ニ爲シガタイ。近頃デハ色色ニ培養シテニガミヲ去リ、食用ニモスル。═イヌユリ。═ヤマユリ。═淺井了意、東海道名所記「花ニタトヘバおにゆりノ花、月ニタトヘバ極月ノ月」。

△おによけ（第四上）名。（……除け）　古言。さけ（酒）ノ異名。

△おに・わたし（第三上）名。（……渡し）　子供ノタハムレノ名。おにごつこノ一名。昔、江戸デ云ッタモノ。═物類稱呼「江戸ニテおにわたし」。

おに・わらび（……）名。（……蕨）　（一）いぬわらびノ一名。（二）又、わらびノ一種。深山ナドニ生ヘル。一ッノ莖ニアマタノ細長イ葉ガアッマリ生ヘ、マハリニ鋸齒ガアリ、夏ソテッノ葉ニ似テヤハラカナ、一種ノ花ヲ付ケル。

▲おにん・ぶくろ（第四上）名。（……ん袋）　俚語。おにごつこトオナジモノ。

○お・ぬし（第二上）代。（御主）　對稱ノ代名詞。ヤヤ目シタニッカフ。═オマヘ。═ソナタ。═キサマ。═三世相錦繡文章「コレ女房ドモ！　此泰公人ノアラヒカタハおぬしガシタト云ヤッタガ」。

◎今ハ院本類ヲ除イテ、全ク廢語トナル。

▲お・ねば（……）名。（……粘）　ねばる故ニイフ。

△おの（全平）名。（自）おのれノ略。—枕ノ草紙、「女房ノツボネニヨリテおのが身ノ賢キヨシナド必ヲヤリテ說キ聞カスルヲ」。

おの・おの（第二上）副。（各）〔おの（各）ヲ重ヌ〕メイメイ。—ヒトリビトリ。

○おの・おの（……）代。〔……〕對稱ノ代名詞。他人數ヲヒックルメティフ時ニツカフ語。程度ハ同輩。—カタガタ。—メンメン。—『おのおのノイカガ思サルル？』。

△おの・がじし（第三カ）第四上）副。〔己ガ自恣〕メイメイノ心マカセニ。—日本紀、『花蝶（訓、ジシ）』—『カミ風ノ四方ノ山ヨリおのがじし吹キテ散リヌル紅葉悲シモ』。

△おの・が・よよ（……）第四上）副。メイメイ。別別ニ。—ソレ相應ニ。

おの・し（第二上）代。俚語。おぬしノ轉。

▲おの・づから（全平）副。〔自〕〔おの（己）づ之〕から（故ノ義〕其ママ。—自然ニ。—有ツタママ。—源氏、『アナガチニオマヘ去ラズモテナサレタマヒシ人ノおのづからカロキ方ニモ見エシモ』。—宗祇ヤドストモ水ハ思ハヌソラノ月、おのづからナルコトヲリヲ見ヨ』。

●おの・づと（全平）副。おのづからト同ジ語。—西鶴、『若風俗』『おのづと道ヲエテ豆腐醬油ニモコトヲ欠クノミ』。

△おの・つま（……）名。〔己妻〕自分ノ妻。

○おの・ぼれ（……）名。〔己惚〕うぬぼれトオナジ語。

△おの・も・おのも（第一）及第四上）副。〔各も各も〕おのおのト同ジ語。

○おのれ（全平）名。〔己れ〕自己。—其モノソレ自身。

おのれ（……）代。（一）△古言。自稱ノ代名詞。—ワレ。—オレ。（二）八ヲ罵リ、イヤシメルトキニ用ヰル對稱ノ代名詞。

カヤツクトンボ。—クロヤンマ。

△おば（第一上）名。〔祖母〕（一）古言。おけハばけものノ略。（御化け）〔おハ敬語。ばケハばけものノ略。〕ヘンゲ。—エウクワイ。—バケモノ。（ヤサシク言ヒ做シタモノ）。（二）介ノ名。おばけがひノ略。

おばけ・がひ（第四カ）（第五イ）（第三上）名。介ノ名。やどかりト同ジモノ。

おばこ（第二上）名。〔祖母子〕老女ノ髮ノ結ヒカタノ一ツ。兩方ヘ小サナ綰ヲツクリ鋒ヲ横ニサシ貫イタモノ。

△おばしま（全平）名。〔欄杆〕らんかんノ古言。—和名抄、『樓、於波之萬』。

○おはし・ます（第二ワ）（第四上）自動、四段。〔御座す〕おはす（在）ニ更ニ敬語ノますヲ添ヘタモノ。—源氏、『起キおはしますト』。

△おはし・もの（……）（第三上）名。〔監物〕昔ノ官ノ名。けんもつノ一名。

○おはす（……）（第二上）自動、さ變。〔在す〕（一）ある（居）ノ敬語。（二）〔又轉ジテ〕スベテノ動詞ノ下ニ付イテ敬語ノ義ヲ現ス語。—『見サセおはす』。—『取ラセおはす』。

●おはち（全平）名。〔御鉢〕〔おハ敬語。はちハめしばちノ略〕飯ヲ入レルベキ桶ノ一種。多クハさはらノ木デックル。—イヒケ。—イヒセッ。—メシビツ。—オヒツ。—メシバチ。

おはなし（……）名。〔……放し〕舊幕ノ末頃ニオモニ行ハレタ一種ノ博奕。ハジメとみノ閣ノ出番ヲ賣リ出シタノヲ政府カラ停止ニナリ其後チ言葉ヲ換ヘテおはなしト名ヅケタモノ。主ニ一ツノとみノ番ヲ飛ブ。物ニトマル時ニツバサヲ四枚重ネル體、丁度どうすみどんぼニ似タモノ。—カヤツクトンボ。—クロヤンマ。

△おばけ（第二上）名。〔御化け〕〔おハ敬語。ばけハばけものノ略〕ヘンゲ。—エウクワイ。—バケモノ。（ヤサシク言ヒ做シタモノ）。（二）介ノ名。おばけがひノ略。

おばけ・がひ（第四カ）（第五イ）（第三上）名。介ノ名。やどかりト同ジモノ。

おばこ（第二上）名。〔祖母子〕老女ノ髮ノ結ヒカタノ一ツ。兩方ヘ小サナ綰ヲツクリ鋒ヲ横ニサシ貫イタモノ。

△おばしま（全平）名。〔欄杆〕らんかんノ古言。—和名抄、『樓、於波之萬』。

○おはし・ます（第二ワ）（第四上）自動、四段。〔御座す〕おはす（在）ニ更ニ敬語ノますヲ添ヘタモノ。—源氏、『起キおはしますト』。

△おはし・もの（……）（第三上）名。〔監物〕昔ノ官ノ名。けんもつノ一名。

○おはす（……）（第二上）自動、さ變。〔在す〕（一）ある（居）ノ敬語。（二）〔又轉ジテ〕スベテノ動詞ノ下ニ付イテ敬語ノ義ヲ現ス語。—『見サセおはす』。—『取ラセおはす』。

●おはち（全平）名。〔御鉢〕〔おハ敬語。はちハめしばちノ略〕飯ヲ入レルベキ桶ノ一種。多クハさはらノ木デックル。—イヒケ。—イヒセッ。—メシビツ。—オヒツ。—メシバチ。

おはなし（……）名。〔……放し〕舊幕ノ末頃ニオモニ行ハレタ一種ノ博奕。ハジメとみノ閣ノ出番ヲ賣リ出シタノヲ政府カラ停止ニナリ其後チ言葉ヲ換ヘテおはなしト名ヅケタモノ。主ニ一ツノとみノ番ヲ

にはきノ一名。婦人ノ語。

△おのれ（全平）名。（己）おのれノ略。—枕ノ草紙、「女房ノツボネニヨリテおのが身ノ賢キヨシナド必ヲヤリテ說キ聞カスルヲ」。

おの・おの（第二上）副。（各）〔おの（各）ヲ重ヌ〕メイメイ。—ヒトリビトリ。

○おの・おの（……）代。〔……〕對稱ノ代名詞。他人數ヲヒックルメティフ時ニツカフ語。程度ハ同輩。—カタガタ。—メンメン。—『おのおのノイカガ思サルル？』。

△おの・がじし（第三カ）第四上）副。〔己ガ自恣〕メイメイノ心マカセニ。—日本紀、『花蝶（訓、ジシ）』—『カミ風ノ四方ノ山ヨリおのがじし吹キテ散リヌル紅葉悲シモ』。

△おの・が・よよ（……）第四上）副。メイメイ。別別ニ。—ソレ相應ニ。

おの・し（第二上）代。俚語。おぬしノ轉。

▲おの・づから（全平）副。〔自〕〔おの（己）づ之〕から（故ノ義〕其ママ。—自然ニ。—有ツタママ。—源氏、『アナガチニオマヘ去ラズモテナサレタマヒシ人ノおのづからカロキ方ニモ見エシモ』。—宗祇ヤドストモ水ハ思ハヌソラノ月、おのづからナルコトヲリヲ見ヨ』。

●おの・づと（全平）副。おのづからト同ジ語。—西鶴、『若風俗』『おのづと道ヲエテ豆腐醬油ニモコトヲ欠クノミ』。

△おの・つま（……）名。〔己妻〕自分ノ妻。

○おの・ぼれ（……）名。〔己惚〕うぬぼれトオナジ語。

△おの・も・おのも（第一）及第四上）副。〔各も各も〕おのおのト同ジ語。

○おのれ（全平）名。〔己れ〕自己。—其モノソレ自身。

おのれ（……）代。（一）△古言。自稱ノ代名詞。—ワレ。—オレ。（二）八ヲ罵リ、イヤシメルトキニ用ヰル對稱ノ代名詞。

カヤツクトンボ。—クロヤンマ。

△おば（第一上）名。〔祖母〕（一）古言。おけハばけものノ略。—ヘンゲ。—エウクワイ。—バケモノ。（ヤサシク言ヒ做シタモノ）。（二）介ノ名。おばけがひノ略。

おばけ・がひ（第四カ）（第五イ）（第三上）名。介ノ名。やどかりト同ジモノ。

おばこ（第二上）名。〔祖母子〕老女ノ髮ノ結ヒカタノ一ツ。兩方ヘ小サナ綰ヲツクリ鋒ヲ横ニサシ貫イタモノ。

△おばしま（全平）名。〔欄杆〕らんかんノ古言。—和名抄、『樓、於波之萬』。

○おはし・ます（第二ワ）（第四上）自動、四段。〔御座す〕おはす（在）ニ更ニ敬語ノますヲ添ヘタモノ。—源氏、『起キおはしますト』。

△おはし・もの（……）（第三上）名。〔監物〕昔ノ官ノ名。けんもつノ一名。

○おはす（……）（第二上）自動、さ變。〔在す〕（一）ある（居）ノ敬語。（二）〔又轉ジテ〕スベテノ動詞ノ下ニ付イテ敬語ノ義ヲ現ス語。—『見サセおはす』。—『取ラセおはす』。

●おはち（全平）名。〔御鉢〕〔おハ敬語。はちハめしばちノ略〕飯ヲ入レルベキ桶ノ一種。多クハさはらノ木デックル。—イヒケ。—イヒセッ。—メシビツ。—オヒツ。—メシバチ。

おはなし（……）名。〔……放し〕舊幕ノ末頃ニオモニ行ハレタ一種ノ博奕。ハジメとみノ閣ノ出番ヲ賣リ出シタノヲ政府カラ停止ニナリ其後チ言葉ヲ換ヘテおはなしト名ヅケタモノ。主ニ一ツノとみノ番ヲ

小サナ紙ニ書キ付ケテ價ヲ四文グラヰ（後世ハ八文）デ賣ツタモノ。—寛天見聞記、「おはなし、おはなしト云ッテ一ノ富ミノ番ノミ書キ付ケテ賣リ歩クコト市中繼横數十人ニ及ベリ。是ハとみノ札ヲ買ヒヌルモノノタメニアラズ、一ツノとみヲアテモノトシテ一錢二錢ヲ掛ケニシ、一文ヲ八文ニシテ取ル利ヲ合ヒニテ、大慾ノトモガラハ大金ヲ掛ケニスルモアリ。强欲ノ爲ス所アサマシト云ワベシ」。

おはなし・うり（第四上）名。〔……賣り〕オハナシヲ賣ル人。—寛天見聞記、「ケントク賣り、札賣り、おはなしうり」。

▲おはへル（（第三ニ））（全平）他動、二。〔追はへる〕おふ（追）ノ延。信濃ノ方言。

▲おは・もじ（全平）根、〔御は文字〕〔おハ敬語、はハはづかしノ略、もじハ中古ノ御厨女中ガ略語ナドニ添ヘテツカッタ語、文字ノ義。いか（烏賊）ヲ峯シテいトシ、其レニもじヲ加ヘテいもじト云フタグヒ。〕いもじ愚考〕ハヅカシクアルコト。—兜軍記、「アアおはもじトサシウツムク」。

おはら（第一上）名。〔はらハひら（平）ノ義〕

おはらづき・の一種。ヒラタク作ッタモノ。—手柄岡持、後者昔物語、「巧ミセル事モ無ク、朱塗ノ盃ニテ、世ニ云フ所のおはらノ形チシタリ」。

++おはらひ（（第四イ））（全平）名。〔御祓ひ〕

はらへ（祓）ノ轉ニ敬語ヲ添ヘタモノ。—近松、曾根崎心中、「盆ト正月其上ニ十夜おはらひススハキヲ一度ニスルトモ斯ウハアルマイ」。

おはらへ・たて（（第四ニ））（第四上）名。〔……立て〕兜ノ名ドコロ。まへだてヲ立テル所—甲冑製作辨、「おはらへたてノコト。

上代ハ鐵形盛ノ間ヘ飾リ金物ニシタリ。中古ヨリハ鐵ニテ作ル。又折リ釘モ稀ニアリ……おはらへたてト云ッテ大キク造リ、信仰スル神ノミンギノハラヘヲ入レタル故ノ名ナリ。中古ヨリハマヘダテウケナリ」。

おはらめ（全平）名。おはらめト書クノハ誤リ。

おは・はり（……）名。〔御針〕〔おハ敬語。はりハひはりノはり〕（一）針シゴトスル局ニアタル女ノ稱ヘ。—シンメゴト。

おひ（（第二イ））（第二上）第。〔等〕〔おハ敬語〕修行者又ハ行脚ナドガ旅中ソノ背ニ負フ一種ノづつらノ類ヒ。中ニ身ノマハリノ色色ヲ入レル。四隅ニ足ガアリ、扉ヒラデ開閉シ得ル。—オヒズル。—オヒズリ。—キフ。

おひ（……）名。〔帶び〕（一）衣類ナドヲ締メテ身ニ着カセルタメ、體ヲマトフテ緒ブ一種ノひもノ類。布、革、打チ紐ナド色色アル。種類モ色色アリ、かかへおび、なごやおび、くくりおび、をんなおび、をこしおび、たづなおび、をくみおび、ほうこおびナドサマザマ。各各其ノ限リトス。—淺井了意、東海道名所記、「おびハ中將ノナリケリ」。—豹文記、「昔ハ六ッワサセ候ヒツルヲ慈昭院殿樣（東山義政ヲ云フ）ノ御代ヨリ相止メラレ候フ」。—太宰春臺、春臺獨語、「婦女ノおびハ金襴ヲ美麗ノ限リトス」。—淺井了意、東海道名所記、「髮ムサムザトタバネ、ナキおびヲ腰ニマトヒ」。—西鶴、一代女、「一丈二尺ノおび結ブモ氣ノツキルコトヲ」。

おひ・かけ（第二上）名。〔帶掛け〕おびどめノ古言。德川時代諸侯ノ奥ムキデ主ニツカフタモノ。—奥女中袖鏡、「腰帶、おびかけハオンバ御次ギ以上白地ノコト」。

おひ・かけル（（第二イ））（第四上）他動、二。〔追ひ掛ける〕おひかくノ近體。

おひ・かぜ（……）名。〔追ひ風＝順風〕（一）スベテ後ロカラ吹ク風。—夫木集、「北ニ吹キ、南ニカハルおひかぜモ人ノ思ヒニ叶フトヲ聞ク」。（二）○〔轉ジテ〕スベテ吹キ込ンデ來ル風。

おひ・がね（（第三ガ））（全平）名。〔帶び金〕

刀ノ金具ノ名。鐶ニナリ、緒ヲ貫ヌキ得ルモノ。腰ニ帯ビル役ニ立ツ。

おひ・かは（……）《第二イ、第四ワ》名。〔……〕〔追ひ川〕〔石鮒〕　魚ノ名。形ハはやニ似テ六七寸マデ育ツ。脊ハ薄黒ク、赤味ガアリ、腹ニ赤イ斑ガアル。岩石ノ間ニ棲ミ、好ンデ急流ノ河ヲ渡ル。—イシマス。—アリヂ。—アカモト。—ヤシャヂ。

◎おひかはノ假名ヅカヒハ姑ラク習慣ニ從ッテ做イタモノノ、實際ハおゐかはデアラウト思フ。即チ、此語ハモト京都ノ方言デ、同地大井川ニ多クコノ魚ノアル處カラ初メおはゐがはト言ヒナシタモノデアル。

おび・かは（……）《第四ワ》名。〔帯び革〕　革デ拵ヘタ帯。—カハオビ。—和名抄、「鞢、和名於比加波」。

おび・かは（……）《……》名。〔……側〕　帯地ノカハ（側）。

お・ひき（……）《第二上》名。〔御引き〕〔おは敬語。ひきハひきでものノ略〕　ひきでものノ敬語。

おひ・き（……）《第二イ》《全平》名。〔負ひ木〕　昔、女ガ乗ッタ一種ノノリモノ。—洞房語園「慶長ノ頃マデハ諸家ノ女中ナドモ駕籠ト云フモノ稀ニシテ、多クハ人ニ負ハレタリトゾ。頭ニハカッギヲカブリ、負ハレタリ。其レニハおひき下云フモノアッテ是レニ足ヲカケタルコトナリ」。

●お・ひきずり（……）《第三上》根。〔御引き摺り〕　（一）着物ノ裾ナドヒキズッテ歩ルコト。主ニ婦人ノ裝ヒナドニイフ。（二）轉ジテ、グッタリシテ徒ラニ仇メイテノミ居ルコト。主ニ婦人ニ云フ。—「おひきずりノアバズレ」。

おひ・き（……）《第二イ》《全平》名。〔負ひ木〕　昔、女ガ乗ッタ一種ノノリモノ。—洞房語園「慶長ノ頃マデハ諸家ノ女中ナドモ駕籠ト云フモノ稀ニシテ、多クハ人ニ負ハレタリトゾ。頭ニハカッギヲカブリ、負ハレタリ。其レニハおひき下云フモノアッテ是レニ足ヲカケタルコトナリ」。

●お・ひきずり（……）《第三上》根。〔御引き摺り〕　（一）着物ノ裾ナドヒキズッテ歩ルコト。主ニ婦人ノ裝ヒナドニイフ。（二）轉ジテ、グッタリシテ徒ラニ仇メイテノミ居ルコト。主ニ婦人ニ云フ。—「おひきずりノアバズレ」。

おひ・きき（……）《第二上》名。〔帯び地〕　帯ビニスベキ切レ地。—「繻珍ノおひき」。

▲お・ひつ（……）名。〔御櫃〕　おはちノ古名。

○お・ひつ・む（……）《第二イ》《第三上》他動、下二。〔追ひ詰む〕　追ッテ逃ゲル所モ無クスル。

●お・ひつめる（……）《第四上》他動、二。〔……める〕　前ノ近體。

おひて（……）《全平》名。〔追ひ手〕〔てハち風〕　（一）オヒカゼ。—ジュンプウ。（二）スベテ、オッカケテ行ク人。—オッテ。

△お・ひと（……）名。〔肯〕〔おは大ひと（人）ノ略〕　昔ノかばねノ名。後世むらじト合併シタモノ。—オウト。　おかばね參考。

おび・とき（……）《第二上》名。〔帯び解き〕　女ノ子ガ七歳ノトキ行フ祝ヒノ儀式。

おび・とめ（……）《第四上》名。〔……留め〕　帯ビノ解ケヌタメ帯ビノウヘニスル細イ紐。—バチン。

おび・とり（……）《第四上》名。〔……取り〕　おびとりがはノ略。

おびとり・がは（……）《第五ガ、第六ワ》《……》名。〔……革〕　太刀ヲ帯ビニ付クルタメノ革。

++おひ・とり・がり（……）《第二イ、第五ガ》《第四上》名。〔追ひ鳥狩り〕　鳥ヲ追ヒタテテ行フ獵リ。—「西鶴ノ一代女、アル日おひとりがりニ」。

おひ・なは（……）《……、第四ワ》《全平》名。〔……縄〕　野馬ヲ捕ヘル縄。長サハ大凡二ヒロバカリノモノ。—サシナハ。—カケナハ。

（三二五）
おひた

つ）　追ッタハラフ。

おひ・たて（……）《全平》名。〔……て〕　からすきノ名ドコロ。後ロノ方ニ柄ノヤウニ出テ高クナッタモノ。—和漢三才圖絵「耒楫、放比太天、後如柄而高者也」。

●おひ・たて・る（……）《第四上》他動、二。〔……る〕　おひたつノ近體。

おひ・たつ（全平）名。〔帯び地〕　帯ビニスベキ切レ地。—「繻珍ノおひたつ」。

▲お・ひつ（……）名。〔御櫃〕　おはちノ古名。

○お・ひつ・む（……）《第二イ》《第三上》他動、下二。〔追ひ詰む〕　追ッテ逃ゲル所モ無クスル。

●お・ひつめる（……）《第四上》他動、二。〔……める〕　前ノ近體。

おひて（……）《全平》名。〔追ひ手〕〔てハち風〕　（一）オヒカゼ。—ジュンプウ。（二）スベテ、オッカケテ行ク人。—オッテ。

△お・ひと（……）名。〔肯〕〔おは大ひと（人）ノ略〕　昔ノかばねノ名。後世むらじト合併シタモノ。—オウト。　おかばね參考。

おび・とき（……）《第二上》名。〔帯び解き〕　女ノ子ガ七歳ノトキ行フ祝ヒノ儀式。

おび・とめ（……）《第四上》名。〔……留め〕　帯ビノ解ケヌタメ帯ビノウヘニスル細イ紐。—バチン。

おび・とり（……）《第四上》名。〔……取り〕　おびとりがはノ略。

おびとり・がは（……）《第五ガ、第六ワ》《……》名。〔……革〕　太刀ヲ帯ビニ付クルタメノ革。

++おひ・とり・がり（……）《第二イ、第五ガ》《第四上》名。〔追ひ鳥狩り〕　鳥ヲ追ヒタテテ行フ獵リ。—「西鶴ノ一代女、アル日おひとりがりニ」。

おひ・なは（……）《……、第四ワ》《全平》名。〔……縄〕　野馬ヲ捕ヘル縄。長サハ大凡二ヒロバカリノモノ。—サシナハ。—カケナハ。

（三二六）
おひな

△お・ひな・なほり（……）《……、第四オ》《……》名。〔生ひ直り〕　逃ガナホルコト。—不幸ガ轉ジテ幸福ニナルコトニモイフ。

おひ・なる（……）《第四上》他動、四段。〔追ひ馴る〕　ナレルノ略。

++おひ・なれ（……）《第四ガ》《……》名。〔……馴れ〕　剣ぎ　オトシ。—逐北井了意、東海道名所記「旅慣レヌ人ハおひはぎニ遇ヒテ殺サルルカ、カヘッテ逃ゲル所モ無クスル。

おひ・はぎ（……）《第二イ》《第四上》他動、四段。〔追ひ剝ぎ〕　あみノ一種。雙方ニ竹ヲ立テ、竹ト竹トノ間ニ網ヲ張ッタモノ。コレヲ水ノ深イ所ヘサシイレ、ダンダン淺イ方ヘ魚ヲ追ヒヨセテスクヒ取ル。—和漢三才圖絵「綽網、俗云於比末和之」。

△お・ひ・なん（……）《第四上》自動、四段。〔おハ敬語、ひんハひる（晝）ノ轉。なるハなる（成）ノ義〕　チムリガサメテ起キルノ敬語。—オヒナル。（およんなるノ對）。

おひ・ぬ（……）《第二イ》《全平》名。〔負ひ目—（債）〕　他カラワガ身ニ負フ借リ。—シャクセン。—シャッキン。—フサイ。—カリ。

●おひ・ぬ（……）《……》名。〔追ひ目〕　（一）博奕ノ語。負ケテモ負ケテモ四割マシヅツニカケ、一旦勝テバ殘ラズノ金ヲ取ルコト。（二）〔轉ジテ〕行ク先キノ望ミニ引カレ、失敗ニ懲リズ其物事ニカカルコト。—「おひぬニ掛カル」。

おび・もの（……）《第四上》名。〔佩び物—（弧）〕　禮服ニ昔モチ井タ飾リノ一ツ。玉ヲ綴ニ貫イタモノ。大抵乳ノ下アタリカラ垂レル。天子ハ二タ筋デ白玉、群臣ハ一筋デ公卿ニ限リ玄玉。—オンモノ。—和名抄「於無毛乃」。—事物紀源「古者君臣皆佩玉。蓋起夏后氏。至周別其等。禮所謂天子佩白玉、公侯山玄、大夫水蒼、世子瑜玉、士瑞玫者是也」。

▲お・ひや（……）《第二上》名。〔御冷〕　おハ敬語。ひや

おび・ぶくろ（……）《第二上》名。〔佩び袋〕　（一）スベテ佩ビラレルヤウニ作ッタフクロ。—ジキブクロ。（二）△きんちやくノ古言。—和名抄「於比不久呂」。

おひ・まくる（……）《第二イ》《第四上》他動、四段。〔追ひ捲くる〕　ハゲシク追ヒ亂ス。

おひ・まはし（……）《第四ワ》《全平》名。〔……廻し〕　あみノ一種。雙方ニ竹ヲ立テ、竹ト竹トノ間ニ網ヲ張ッタモノ。コレヲ水ノ深イ所ヘサシイレ、ダンダン淺イ方ヘ魚ヲ追ヒヨセテスクヒ取ル。—和漢三才圖絵「綽網、俗云於比末和之」。

△お・ひ・なん（……）《第四上》自動、四段。〔おハ敬語、ひんハひる（晝）ノ轉。なるハなる（成）ノ義〕　チムリガサメテ起キルノ敬語。—オヒナル。（およんなるノ對）。

おひぬ（……）《……》名。〔追ひ目〕　（一）博奕ノ語。負ケテモ負ケテモ四割マシヅツニカケ、一旦勝テバ殘ラズノ金ヲ取ルコト。（二）〔轉ジテ〕行ク先キノ望ミニ引カレ、失敗ニ懲リズ其物事ニカカルコト。—「おひぬニ掛カル」。

おび・もの（……）《第四上》名。〔佩び物—（弧）〕　禮服ニ昔モチ井タ飾リノ一ツ。玉ヲ綴ニ貫イタモノ。大抵乳ノ下アタリカラ垂レル。天子ハ二タ筋デ白玉、群臣ハ一筋デ公卿ニ限リ玄玉。—オンモノ。—和名抄「於無毛乃」。—事物紀源「古者君臣皆佩玉。蓋起夏后氏。至周別其等。禮所謂天子佩白玉、公侯山玄、大夫水蒼、世子瑜玉、士瑞玫者是也」。

おび・ク（……）《第二上》他動、四段。〔……ク〕　アザムイテイザナフ。—近松、吉野都女楠「正成モ河内ニ退キ、敵ヲ都ニおびき入レ」。

おひ・くづす（……）《第二イ》《第四上》他動、四段。〔追ひ崩す〕　敵ナドヲ追ッテヤブル。

おひ・こみ（……）《……》《全平》名。〔……込み〕　（一）《轉ジテ》オモニ芝居デ最モヒクイ價ヒデ見物シ得ベキ所。—ヨワゴシ。—和名抄、「廉、和名、

○おひ・すがフ（……）《第二イ、第四ガ、第五ウ》《第四上》自動、四段。〔追ひ縋ふ〕　追ヒオヨブ。—追ヒツク。—オヒスガル。

おひ・すがル（……）《第二イ、第四ガ》《全平》自動、四段。　前トオナジ語。

おひ・すり（……）《……》《第一上》名。〔負ひ籠〕　昔、中ニ負フベキすり（籠）。—オヒ。—オヒズル。

おひ・すり（……）《……》名。　順禮ガ脊ニ着スル一種ノ着物。　おひずる（笈）ニ似タ所カライフ。

++おひ・すり（……）《全平》名。〔追ひ刷り〕　印刷ニイフ語。一旦摺ッタノガ足リズ、又追ヒカケ摺ルコト。—マシズリ。—オッカケズリ。

おひ・する（……）《第一上》名。〔笈〕　おひすり（負ひ籠）ノ轉。

おひ・せん（……）《……》名。〔追ひ錢〕　一旦拂ッタ上ニ更ニハレモノナク、又餘分ニ拂フ錢。—「ヌスットニおひせん」。

おひ・だす（……）《第三上》他動、四段。〔……出す〕　ハウチクスル。—追ヒヤル。—オンダス。

○おひただし（第四上）形。〔……し〕　メテ數多クアル。—キハメテ澤山ニアル。

●おひただしイ（第五上）形。〔……い〕　前ノ近體。

おひただし・さ（第四上）名。〔……さ〕　オビタダシクアル度合ヒ。—「驚カヌ人ハ有ラジナ曉ノ霰ノオトノおひただしさニ」。

おひ・たち（……）《第二イ》《全平》名。〔生ひ立ち〕　（一）オヒタツコト。（二）リレキ。—スシャウ。—「牛若ノおひたち」。

おひ・たつ（……）自動、四段。〔……つ〕　次第ニソダッ（人ニイフ）。

おひ・たッ（……）《……》《第二上》他動、下二。〔追ひ立

ハひややかノ略」　冷水ノ敬語。主ニ婦人ナドガ云フ。

おひやかス　（第四上）他動四段。（餐ス）」

（一）オビエルヤウニスル。―オソレシメル。

（二）オドシテ心ニ従ハセル。

お・ひやくど　（第二三合）（全平）名。「御百度」

「おハ敬語。ひやくどまゐりノ略」ひやくどまゐりノ敬語。―近松、曾根崎心中、「丹波屋マデハおひやくどホド尊ヌレドアソコヘモオトヅレモ無イトアル」。

△**おびやス**　（第三上）他動、四段。　おびやかすノ略。

▲**お・ひやかス**　（第二三合）（第五上）他動、一。

おひやるノ変態。同義。

▲**お・ひやる**　（……）（第二、三上）他動、一「おハ敬語。ひやるハひやかすノ転」　オモニ東京デ用ヰル語。オダテルヤウニシテ賞ハアゲル。―ヒヤカス。―曲山人、娘節用、「何ヲイフカト思ッタラオレガ顔ノ棚卸シカ？　イイ加減ニおひやるモノダ」。

○**おびユ**　（全平）自動、下二。（恁ゆ）　（一）オデオドロク。―枕ノ草紙、「マコトカトテシレモノ走リカカリタレバ、おびえマドヒテ騒ノ中ニ入リヌ」。（二）夢デウナサレル。

お・ひら　（第二上）名。「御平」　（一）●ひらわんノ略。散語。（二）▲おひらのながいもノ略。

●**お・ひらき**　（……）名。「……開き」「おハ敬語。専ラ祝ヒノ宴席ニイフ語。宴ノヲハリ」をはるト云フ語ヲ忌ンデ殊更ニひらきト云ヒナシタモノ」

▲**おひらのながいも**　（第六カ）（……）名。「……本の長芋」　（一）おひら（第一解義）ノ中ニアルながいもハ見カケバカリデ其實ウマク無イト云フ所カラ轉ジテ」　スベテ見カケバカリ美クテ、更ニ取ル所ノ無イ人物ノ稱ヘ。（二）「又、轉ジテ」美クシクアリナガラドコヤラアソビノアル顔付キノトナヘ。

△**おびル**　（……）自動、下二。（惚る）　アドケ無クアル。―ボンヤリトスル。「寝おびる」

おひ・わけ　（第二イ）（全平）名。「追ひ分け」「道ガ左右ニおひわかれノ義」　路ガ左右ニ分カレルトコロ。―淺井了意、東海道名所記、「イシハラ、砂ハラ、ホソミチ、アゼ道、おひわけ」。

おフ　（第二ウ）（……）他動四段。（追―遂）ふ」（追ふ）ウシロカラ従ヒ及バウトテ急ギハシル。（二）（遂ふ）ハラヒシリゾケル。「怪シナド耳タテ聞ケバ、先キおふ聲聲シテカンダチメナド皆出デタマフ」。（三）（……）スゴス。―「歳月ヲおふ」。

おフ　（第二ウ）（……）他動四段。（追―遂）ふ」（追ふ）ウシロカラ従ヒ及バウトテ急ギハシル。（二）（遂ふ）ハラヒシリゾケル。「怪シナド耳タテ聞ケバ、先キおふ聲聲シテカンダチメナド皆出デタマフ」。（三）（……）スゴス。―「歳月ヲおふ」。

おフ　（第二ウ）（……）他動四段。（負ふ）　（一）オブフ。―セオフ。―ショフ。―オブフ。

（二）カウムル。―身ニ引キ受ケヒキカブル。―「ナニシおはイザコト問ハン都ドリ」―「罪ヲおふ」。

○**おフ**　（第二ウ）（……）（全平）自動、上二。（生ふ）　ハヘル。―ノビユク。―伊勢物語、「ムスギテ堪ヘルニ難イ。―オホケナシ。

●**おふさル**　（……）自動、一。（負ふさる）「おふ（負）カラ轉ジテ出來タ語」　脊ノ上ニノル。―セオハレル。―オブッサル。―「子ガ乳母ニおふさる」。

おふし　（第二ウ）（全平）名。（嘔―嘗）　生マレナガラ不具デ耳ニ音ヲ聽クベキ能ヲソナヘズ、ソノタメ物ヲ云ヒ習フコトノ出來ナクナッタ人。―オシ。

○**おふ・しもと**　（……）名。「……笞」　掛カル枕コトバ。「しげるト云フ義カラ續ク」

△**おふすま**　（全平）名。　實狀不詳。背ノタハムレノ名。―和名抄、「拍浮俗云於布須」。

△**おふス**　（第二ウ）（……）他動、四段。（生ふす）　おはせト同ジ語。

おふせ　（……）（……）名。「仰せ」　おはせト同ジ語。

おふて　（……）（第一上）名。「追ふ手」「敵ヲ其ロカラ追ヒ込ミ、裏デカラメルトノ義カラ付イタト云フ」　城、トリデナドノ表口ノ稱ヘ。―オホテ（からめてノ對）。

△**おふ・なおふな**　（……）（第四ウ）（第一「及第四上）副。「負ふな負ふな」　身ニ負ヒ得ルダケハ充分負ッテ。―源氏、「御心ニツクベキ御遊ビヲシ、おふなおふな思シイダック」。

●**おぶフ**　（第二ウ）（第二上）他動四段。　おふ（負）ノ近體。―ショフ（主ニ東京デイフ）。

お・ふれ　（……）名。「御触れ」「おハ敬語。ふれハふれわたる義」　政府カラノ訓令。―三世相錦繊文章、「メシトッテ差シ出セトキビシイおふれノ其ナカヘ丁度持チ込ム此小判」。

◎此語今日ハ大方廢語トナル。

▲**おぶつさル**　（第三通、第四ツア合）（第四上）自動、一。　俚語。おぶさるノ轉。

▲**おべたイ**　（全平）形。　つべたい（冷）ノ轉。オモニ東京デ小兒ガイフ。

▲**おへない**　（第二ニ）（……）形。　俚語。手ニモ足ニモ負ヘナイ（主ニ關東デイフ語）。―一九、馬鹿ニッケル藥、「松右衛門ノ分別ラシイ顔モ、おへないヨイヨイ歸ノ姿アラハレ」。

◎コノ語ニハ些シモ語尾ノ變化ガ無イ。

△**おへや**　（……）名。「御部屋」　貴人ノメカケノ尊稱。主ニ下ニさせヲ添ヘテ云フ。

▲**おへん**　（第二ニ）（全平）自動、上二。（生ふ）　おふ（生）ノ近體。（東京ヲ除イテ、他ノ地方デ一種ノ俚語トシテ通用スル）。

おべんとう　（……）根「お（御）べんとう（辯口）ノ略。ちやらハ東京ノ俚語。

▲**おべんちやら**　（第四、五合）（……）名。「おハ敬語。（第四、五ウ）（第一「及第四上）副。「負ふな負ふな」ノ略。ちやらハ御遊ビヲシ、おふなおふな思シイダック」。

●**おぶフ**　（第二ウ）（第二上）他動四段。　おふ（負）ノ近體。―ショフ（主ニ東京デイフ）。

お・ふれ　（……）名。「御触れ」「おハ敬語。ふれハふれわたる義」　政府カラノ訓令。―三世相錦繊文章、「メシトッテ差シ出セトキビシイおふれノ其ナカヘ丁度持チ込ム此小判」。

◎此語今日ハ大方廢語トナル。

▲**おぶつさル**　（第三通、第四ツア合）（第四上）自動、一。　俚語。おぶさるノ轉。

▲**おべたイ**　（全平）形。　つべたい（冷）ノ轉。オモニ東京デ小兒ガイフ。

▲**おへない**　（第二ニ）（……）形。　俚語。手ニモ足ニモ負ヘナイ（主ニ關東デイフ語）。―一九、馬鹿ニッケル藥、「松右衛門ノ分別ラシイ顔モ、おへないヨイヨイ歸ノ姿アラハレ」。

◎コノ語ニハ些シモ語尾ノ變化ガ無イ。

○**おふ・しもと**　（……）名。　掛カル枕コトバ。「しげるト云フ義カラ續ク」

△**おふすま**　（全平）名。　實狀不詳。背ノタハムレノ名。―和名抄、「拍浮俗云於布須」。

△**おふス**　（第二ウ）（……）他動、四段。（生ふす）　おはせト同ジ語。

おふせ　（……）（……）名。「仰せ」　おはせト同ジ語。

おふて　（……）（第一上）名。「追ふ手」「敵ヲ其ロカラ追ヒ込ミ、裏デカラメルトノ義カラ付イタト云フ」　城、トリデナドノ表口ノ稱ヘ。―オホテ（からめてノ對）。

△**おふ・なおふな**　（……）（第四ウ）（第一「及第四上）副。「負ふな負ふな」　身ニ負ヒ得ルダケハ充分負ッテ。―源氏、「御心ニツクベキ御遊ビヲシ、おふなおふな思シイダック」。

●**おぶフ**　（第二ウ）（第二上）他動四段。　おふ（負）ノ近體。―ショフ（主ニ東京デイフ）。

お・ふれ　（……）名。「御触れ」「おハ敬語。ふれハふれわたる義」　政府カラノ訓令。―三世相錦繊文章、「メシトッテ差シ出セトキビシイおふれノ其ナカヘ丁度持チ込ム此小判」。

◎此語今日ハ大方廢語トナル。

▲**おぶつさル**　（第三通、第四ツア合）（第四上）自動、一。　俚語。おぶさるノ轉。

▲**おべたイ**　（全平）形。　つべたい（冷）ノ轉。オモニ東京デ小兒ガイフ。

▲**おへない**　（第二ニ）（……）形。　俚語。手ニモ足ニモ負ヘナイ（主ニ關東デイフ語）。―一九、馬鹿ニッケル藥、「松右衛門ノ分別ラシイ顔モ、おへないヨイヨイ歸ノ姿アラハレ」。

◎コノ語ニハ些シモ語尾ノ變化ガ無イ。

△**おへや**　（……）名。「御部屋」　貴人ノメカケノ尊稱。主ニ下ニさせヲ添ヘテ云フ。

▲**おへん**　（第二ニ）（全平）自動、上二。（生ふ）　おふ（生）ノ近體。（東京ヲ除イテ、他ノ地方デ一種ノ俚語トシテ通用スル）。

おべんとう　（……）根「お（御）べんとう（辯口）ノ略。ちやらハ東京ノ俚語。

▲**おべんちやら**　（第四、五合）（……）名。「おハ敬語。（第四、五ウ）（第一「及第四上）副。「負ふな負ふな」ノ略。ちやらハ御遊ビヲシ、おふなおふな思シイダック」。

●**おぶフ**　（第二ウ）（第二上）他動四段。　おふ（負）ノ近體。―ショフ（主ニ東京デイフ）。

お・ふれ　（……）名。「御触れ」「おハ敬語。ふれハふれわたる義」　政府カラノ訓令。―三世相錦繊文章、「メシトッテ差シ出セトキビシイおふれノ其ナカヘ丁度持チ込ム此小判」。

◎此語今日ハ大方廢語トナル。

△**おぼあせ**　（……）（第二上）名。「大汗」　甚シク汗ヲカクコト。―異本洞房語園、「二階ヲ踏ミ抜クバカリ、踊リッ、ハネッ、おぼあせニナッテ騒ギ」。

△**おぼい**　（……）（全平）接頭。（大）　（一）昔、冠ノ階ヲおぼいトひろいトノ二ッニ分ケタ所カラ始マル」位ニ一位二位ナドイフ其レヲ更ニ甲乙ニ分ケタ其甲ノ方ノ稱ヘ。乙ノ方ヲバひろいト云フ。今ノ名ニスレバ甲ハ正、乙ハ從。―シャウ。―「おぼい（正）ヒトツノ（一）クラ非位」。（二）又、昔ノ官制ノ同ジ役ムキノ中ノ高イ方ニ屬スル方ノ稱ヘ。低イ方ヲバ之ニ對シ

△**おぼあせ**　（……）（第二上）名。「大汗」　甚シク汗ヲカクコト。―異本洞房語園、「二階ヲ踏ミ抜クバカリ、踊リッ、ハネッ、おぼあせニナッテ騒ギ」。

△**おぼい**　（……）（全平）接頭。（大）　（一）昔、冠ノ階ヲおぼいトひろいトノ二ッニ分ケタ所カラ始マル」位ニ一位二位ナドイフ其レヲ更ニ甲乙ニ分ケタ其甲ノ方ノ稱ヘ。乙ノ方ヲバひろいト云フ。今ノ名ニスレバ甲ハ正、乙ハ從。―シャウ。―「おぼい（正）ヒトツノ（一）クラ非位」。（二）又、昔ノ官制ノ同ジ役ムキノ中ノ高イ方ニ屬スル方ノ稱ヘ。低イ方ヲバ之ニ對シ

テすないト云フ。―「おはい(大)オホトモヒ(辨)」。

おはい・いき（……）《第二オ》《第三上》名。〔大息〕フトク吐ク息。＝トイキ。＝タメイキ。

△おはい・きみ（……）……名。〔……君〕第一ノあねぎみノ古言。＝オホイコ。

△おはい・こ（……）……名。〔……子〕第一ノ姉。

おはい・たどり（……）《第四上》名。〔大虎杖〕草ノ名。いぬいたどりノ一名。

おはい・たび（……）《第三上》名。〔大木蓮子＝蕪荑＝木饅頭〕いたびノ一種。

おはい・なご（……、《第五ゴ》《第三上》名。〔……稻子〕蟲ノ名。いなごノ一種。ナミナミノいなごヨリハ大キイモノ。京都デおいたちト云ヒ東京デとのさまばつたト云フ。

おはい・に（……）《第一上》副。〔……いに〕〔おはきにノ音便〕。（一）延シク。＝澤山デ。（二）コエタカク。―おはいに呼ブ。

おはい・いぬ（……）《金平》名。〔……犬＝狗〕いぬノ一種。甚ダ大キク、力ツヨク、ヨク狩リニツカフ。ソノハジメハ唐カラ舶來シタモノ。＝タウケン。

おはい・いぬたで（……）《第四上》名。〔……蓼〕草ノ名。たでノ一種。ナミナミノいぬたでヨリ葉モ莖モ大キク育ツモノ。

おはい・いぬふぐり（……、《第六グ》《第五上》名。〔……鼠丸〕草ノ名。いぬのふぐりノ一種。

△おはい・まうちぎみ（……、《第四モ、第七ギ》《第六上》名。〔大臣〕〔おはきまうちぎみノ音便。昔ノ官名。だいじんノ一名。至尊ノ御前ニ出ル故ノ名。＝ダイジン。＝オホイマチギミ。―職員令「大臣(訓、オホイマチギミ)」―和名抄「大臣、於保伊萬豆岐美」。

△おはい・まつりごとのつかさ（……、《第二オ、第八上》名。〔大政官〕昔ノつかさノ名。諸ノ調雜物、其他勝部ニ關スル一切ノ事ヲ扱フ。宮内省ノ所屬トシテ、相當ハ正五位ノ上カラ從八位ノ上マデニ至ル。唐名、大官署。所屬ノ人數、大夫一人、亮一人、大進一人、少進一人、大屬一人、少屬一人、主鐘二人、主菓餅二人、勝部一百六十八、使部卅八、直丁二人、駈使丁八十八人。＝オホカシハデノツカサ。―職員令「大政官」。

△おはい・むぐら（……）《第三上》名。〔大蕨〕草ノ名。さるとりいばらノ古言。

おはい・うめがさざう（……、《第五ガ、第七ソ》《金平》名。〔……梅笠草〕草ノ名。うめがささうノ一種。

++おぼえ（第二上）名。〔覺え〕（一）アラタニオボエルコト。（二）モト見聞キシタコトヲ心ニ存シテ忘レヌコト。＝キオク。（三）ジュクレン。―「腕ニおぼえノサムラヒ」。（四）人ガソレニ對スル感情。―「君ノ御おぼえメデタク」。

++おぼえ・がき（第四ガ）《第五上》名。〔……書き〕記憶ノタメニ書キ付ケテオクモノ。

おぼえ・ちやう（第五ヨ、第四、五合）《第三上》名。〔……帳〕オボエガキヲスル帳面。＝テチャウ。＝ビバウロク。＝ノオトブック。＝オボエガキ。

△おぼえびかづら（《第一オ》《第五上》名。〔大補粉〕蔓草ノ名。ぶだうノ古言。

●おぼえル（第三上）自動、二。〔覺える〕おぼゆノ近體。

△おぼ・おそどり（《第二オ》《第四上》名。〔おそどり、一說おそどりト書ク〕鳥ノ名。實物不詳。補中抄ニヨレバからすノ一名デアルト云フ。

△おぼ・おとど（……）《第三上》名。〔大弟〕皇太弟。

△おぼ・おば（……）《第一上》名。〔大祖母＝曾祖母〕ばば。

△おぼおぼし（第四上）形。〔おぼゝおぼろノ略〕ハツキリトセヌ。＝アイマイデア

○おぼうちやま（……）……、又《第四上》名。〔……山〕〔やまハタダ添ヘタダクノ形容〕おぼうちト同ジ語。―「おぼうちやまの春ノアケボノ」。

△おぼ・うばら（……）《第三上》名。〔大茨〕草ノ名。さるとりいばらノ古言。

おぼ・うめがさざう（……、《第五ガ、第七ソ》《金平》名。〔……梅笠草〕草ノ名。うめがささうノ一種。

△おぼ・うたどころ（第五上）名。〔……歌所〕昔ノツカサノ一ツ。オホウタ丼ニ國國ノたちト云ヒ東京デとのさまばつたト云フ。

おぼ・うち（……）《金平》副。〔……うちに〕〔おぼきにノ音便〕。（一）延シク。＝澤山デ。（二）コエタカク。―おぼいに呼ブ。

おぼ・いぬ（……）《金平》名。〔……犬＝狗〕いぬノ一種。甚ダ大キク、力ツヨク、ヨク狩リニツカフ。ソノハジメハ唐カラ舶來シタモノ。＝タウケン。

おぼ・いぬたで（……）《第四上》名。〔……蓼〕草ノ名。たでノ一種。ナミナミノいぬたでヨリ葉モ莖モ大キク育ツモノ。

おぼ・いぬふぐり（……、《第六グ》《第五上》名。〔……鼠丸〕草ノ名。いぬのふぐりノ一種。

△おぼ・まうちぎみ（……、《第七ギ》《第六上》名。〔大臣〕〔おぼきまうちぎみノ音便。昔ノ官名。だいじんノ一名。至尊ノ御前ニ出ル故ノ名。＝ダイジン。＝オホイマチギミ。―職員令「大臣(訓、オホイマチギミ)」―和名抄「大臣、於保伊萬豆岐美」。

△おぼ・まつりごとのつかさ（……、《第二オ、第八上》名。〔大政官〕昔ノつかさノ名。諸ノ調雜物、其他勝部ニ關スル一切ノ事ヲ扱フ。宮内省ノ所屬トシテ、相當ハ正五位ノ上カラ從八位ノ上マデニ至ル。唐名、大官署。所屬ノ人數、大夫一人、亮一人、大進一人、少進一人、大屬一人、少屬一人、主鐘二人、主菓餅二人、勝部一百六十八、使部卅八、直丁二人、駈使丁八十八人。＝オホカシハデノツカサ。―職員令「大政官」。

△おぼ・むぐら（……）《第三上》名。〔大蕨〕草ノ名。さるとりいばらノ古言。

おぼ・むぐら（……）《第三上》名。〔大蕨〕草ノ名。さるとりいばらノ古言。

△おぼ・むぐら（……）《第三上》名。〔大蕨〕草ノ名。さるとりいばらノ古言。

△おぼおぼしき（第四上）名。オボオボシクアル度合ヒ。

△おぼ・おばぢ（《第二》及《第四オ》《第三上》名。〔大祖父＝曾祖父〕ヒヂヂ。

△おぼ・おばば（……）……名。〔大祖母＝曾祖母〕ヒババ。

△おぼ・おみ（《第二オ》……）名。〔……臣〕おぼむらじト同ジ語。

△おぼ・およびユビ。

おぼ・がキナ鮸。＝オガ。＝ガンギ。＝ガガリ。

△おぼがる（……）……名。〔繰車〕いとくりぐるまノ古言。―和名抄「繰車於保加流」。

▲おぼ・かく芝居モノノ隱シコトバ。鐙百三十二文ノ異名。＝ツノ(こかくノ對)。

おぼ・がさ（……、《第三ガ》《第三上》名。〔……笠〕上古用ヰタ大キナカブリ笠。柄ガ有ッテ攜帶シ得ベキモノ。

おぼ・かさすげ（《第二オ、第六ケ》《第四上》名。〔……菅〕草ノ名。かさすげノ一種。

おぼ・かし（……）《第三上》名。〔大樫〕木ノ名。かしノ一種。

△おぼかしはで・の・つかさ（……、《第五ヲ》《第六上》名。〔……膳職〕昔ノつかさノ名。諸ノ調雜物、其他勝部ニ關スル一切ノ事ヲ扱フ。宮内省ノ所屬トシテ、相當ハ正五位ノ上カラ從八位ノ上マデニ至ル。唐名、大官署。所屬ノ人數、大夫一人、亮一人、大進一人、少進一人、大屬一人、少屬一人、主鐘二人、主菓餅二人、勝部一百六十八、使部卅八、直丁二人、駈使丁八十八人。＝オホカシハデノツカサ。―職員令「大膳職」。

△おぼがね（……）……名。〔……銅〕

おぼ・がね（……）《第五ギ》《第四上》名。〔……錢〕

△おぼ・がねノ古言。

おぼ・がね（……）《金平》名。〔……金〕澤山ナ金。＝タイキン。―「おぼがねヲマウクル」。

おぼがね・まうけ（……、《第五モ》《第五上》名。〔……儲け〕大金ヲマウケルコト。―三世相錦繡文章「折リヲ見合ハセ、おぼがねまうけヲセニヤナラヌエ」。

おぼがね・もち（……）《第六上》名。〔……持ち〕澤山金ヲ持ッタ人。＝キンマンカ。＝カチモチ。―近松、長者鑑「抑モ此無間ノ鐘ノ謀ヲ尋ヌレバ、天笠ノおぼがねもち月蓋長者アリ」。

△おぼがね（……、《第二オ、第四ワ》《第一上》枕。〔大川の〕たきはら(瀧原)ニカカル枕コトバ。

おぼがね・ぶし（……）《第二オ》……名。〔……節〕

△おぼがひ（……、第三ガ、第四イ）《金平》名。〔頁〕「貝ヲこがひト云フノニ對スル語。漢字ノックリニアル頁ノ字ノ稱ヘ。

おぼ・かみ（《第二オ》《第一上》名。〔狼〕〔おぼ(大)かみ(神)ノ義、オソレテ尊ンデイフ〕猛獸ノ名。犬ノ屬。深山ニ據ム。身ハ犬ヨリ瘠セ、目ハスルドク、夜ヒカル。頬ニ白ク小サイ斑ガアリ、足ニミヅカキガアッテ能ク水ヲ渡リ得ル。耳ハ小サクテ立チ、口ハ大キク尾ハ非常ニフトク、全身ハ灰色或ハ薄チャ、聲ハ甚ダ遠クヒビク。性質ハ甚ダ猛ク、好ンデ肉食ヲシ、餓ユレバ人ニモカカル。―和名抄「於保加美」。

▲おぼ・かめ（……）……名。獸ノ名。おぼかみノ訛リ。

おぼかめの・き（……）……名。草ノ名。にんどうノ屬。＝ムシカリ。＝ランバイ。＝カメノキ。＝カベノキ。

おぼ・かめづる（……）《第五上》名。〔大鷗蠏〕草ノ名。かめづるノ一種。

おぼ・がやつり（……、《第三ガ》《第三上》名。〔大蚊屋釣り＝草二稜〕草ノ名。かやつりぐさノ一種。

●おぼ・がら（……）《第四上》根。〔大抅〕スベテ形チガナミナミノヨリ大キクアルコト。―八水腦箋「其器量ニ應ジおぼがらノモノ一丈ニモ二間ニモスベシ」。

◎主ニ身體ニ付テイフ。稀レニハ共他ニモカカル。

おぼ・がらし（……）《第三上》名。〔……芥子〕草ノ名。からしなノ一種。＝タカナ。

△おぼ・がり（……）……名。〔……雁〕古言。鳥ノ名。ひしくひノ一名。

△おぼき（……）《金平》接頭。〔大〕

261003

(大)ト同ジ語、

△おほき・おとど (第二オ)(第五上)名。〔太政大臣〕 昔ノ官名。だじやうだいじんノ一名。

△おほき・おほい・まうちぎみ (…、第五オ、第七モ、第十ギ)(第九上)名。 前ト同ジモノ。

△おほ・ぎさき (第二オ、第三ギ)(第四上)名。〔大后〕 皇大后。

●おほきイ (第二オ)(第三上)形。〔…きい〕 おほきしノ近體。

おほきさ (…)(全平)名。〔…さ〕 オホキクアル度合ヒ。

○おほきシ (…)(第一上)形。〔…し〕 (一)カサガ澤山デアル。(二)高クアル(聲ガ)。
◎コノ語ニ限リ、く、く、ノニツシカ語尾ノ變化ガ無イ。

●おほきな (…)(…)形。〔…な〕 近體ノ普通言ニカギッテ存在スル一種變形ノ形容詞。古體ノおほきなるノ畧。

おほ・きに (…)(…)副。〔…に〕 ハナハダ。||スコブル。||ズヰブン。

おほ・きぬたさう (…、第六ソ)(第五上)名。〔大砧草〕 草ノ名。あかねノ屬。

△おほきまうちぎみ (第二オ、第四モ、第七ギ)(第六上)名。〔…臣〕 おほいまうちぎみト同ジモノ。

○おほ・きみ (第二オ)(全平)名。〔…君〕 (一)帝王ノ尊稱。(二)轉ジテ、スベテノ王ノ尊稱。

△おほきみ・づかさ (…)(第五上)名。 昔ノ官名。おほきんだちのつかさト同ジモノ。

○おほきみ・の (…)(全平)枕。〔大君の〕 みかさニ掛カル枕コトバ。〔みかさハ きぬがさノ義。君ハきぬがさヲ垂レテ外ナドニ出ラレル所カラツヅク〕

○おほきみ・の・かみ (…)(第五上)名。〔正親正〕 昔ノ官名。おほきんだちのつかさノ長官。相當ハ正六位ノ上。唐名、宗正卿。數ハ一人。—官位令「正親正(訓、オホキミノカミ)」。

△おほきんだち・の・つかさ (…)(第三上)名。〔正親司〕 ムカシ、宮内省ニ屬シタつかさノ一ツ。皇族、諸王ナドノ名籍ヲ司ドル。相當ハ正六位ノ上カラ從七位ノ下マデ。唐名、宗正寺。所屬ノ人數、正一人、佑一人、大令史一人、少令史一人、使部十八人、直丁一人。||オホキミヅカサ。||オキミ。—職員令「正親司」。

おほ・ぎもいり (…、第三ギ)(第四上)名。〔大肝煎り〕〔おほきな(大)きもいりノ義〕
おほじやうやト同ジモノ。

●おほ・ぎやう (…、第四ヨ、第三、四合)(全平)根。〔…形〕 實際ヨリハ樣子ノ方ガオモオモシクアルコト。||オホゲサ。—曳尾庵、我衣、「屋臺トイフモノ…おほぎやうニナリタルハ元祿ノ頃ヨリハジマリタリ」。

おほ・ぎり (第二オ、第三ギ)(…)名。〔…切り〕 (一)スベテ、大キク切リ分ケタ切リ身。(二)芝居ナドノ語。一ツノ狂言ノヲハリ。||オホヅメ。||ケツキヨク。

おほ・ぐけ (第二オ、第三グ)(…)名。〔…絎け〕 ぬひばりノ一種。くけばりノ大キナモノ。

おほ・くさそてつ (第二オ)(第五上)名。〔…草蘇鐵〕 そてつノ一種。くさそてつノ大キナモノ。

おほ・くち (…)(第一上)名。〔…口〕 (一)オホキナ口。||大キク口ヲヒラクコト。(二)オホグチ(第一解義)。

おほ・くち (…)(…)名。〔…〕 (一)ムカシ行ハレタ袴ノ一種。束帶ノトキ上ノ袴ノ下ニ穿ツタモノ。すずし、ひらぎぬナド色色アリ。其紅染メナノヲあかおほくちト云フ。(二)又、一種ノおほくち。細絲織リヲウシロニシ、太絲織リヲマヘニシ、前ガツツパルヤウニシタモノ。或ヒハ又此反對ニ拵ヘテ、ウシロノ張ルヤウニシタモノヲモイフ。

●おほ・ぐち (…、第三グ)(…)名。〔…〕 (一)大キナ口。||大キクロヲヒラクコト。(二)ミダリガハシイ物ゴトヲカマハズイフコト。||シモガカリヲ云フコト。—西鶴、一代女、「ウキタツホドおほぐちイフヨリホカハ無シ」。

○おほくち・の (第二オ)(…)枕。〔…の〕 まかみニ掛カル枕コトバ。〔まかみハまことノ(眞)ノかみ(神)ノ義、即チおほかみ(狼)ノ尊稱。おほかみノ口ハキハメテ大キイ所カラおほくちのト掛カル〕—萬葉集「おほくちのマカミノ原ニ降ル雪ハイタクナ降リソ、家モアラナクニ」。

△おほ・くび (…)(第四上)名。〔大領〕 おくみノ古言。

++おほ・ぐひ (…、第三ク、第四イ)(第一上)名。〔…食ひ〕 大食。||バウショク。

△おほ・くめもり (第二オ)(第四上)名。 みちをみのみことノ一名。

おほ・ぐも (…、第三グ)(第三上)名。〔大蜘蛛〕 蟲ノ名。くもノ一種。足ハ二寸バカリ、身ニ白イマダラガアッテ毛ガ多ク、其毛ノタメニ、歩ケバオトガスル。

おほくら・きやう (第二オ、第六ヨ、第五、六合)(第四上)名。〔…藏卿〕 官名。おほくらしやう(第二解義)ノ長官。今變ハッテ

おほくらだいじんトナル。

おほくら・しやう (…)(…)〔…省〕 (一)

昔ノつかさノ名。八省ノ第七。諸國カラ納メル租税一切ノ事務、金銀ノ出納ヲツカサドル。相當ハ正四位ノ下カラ正八位ノ上マデ。唐名大府省。所屬ノ人數、卿一人、大輔一人、少輔一人、大丞一人、少丞二人、大錄一人、少錄二人、史生六人、大主鑰二人、少主鑰二人、藏部六十人、價長四人、典履二人、百濟手部十人、典革一人、狛部六人、省掌二人、使部六十人、直丁四人、駈使丁六人。||オホクラノツカサ。—職員令「大藏省」。(二)又、明治以後ノつかさノ名。租税、其他政府一切ノ出納、造幣、國公債ナドノコトヲ司ドルモノ。

おほくら・だいじん (…)(第五上)名。〔…大臣〕 おほくらきやうト同ジモノ。今ハ全ク此語ヲ用ヰル。

△おほくら・の・かみ (…)(第四上)名。〔…卿〕 おほくらのつかさノ長官。數ハ一人。相當ハ正四位ノ下。唐名大府卿。おほくらしやうノ長官トシテ北省ノ事務イッサイノスベククリヲスルモノ。

△おほくら・の・つかさ (…)(…)名。〔…省〕 昔ノ官名。おほくらしやう(第一解義)ト同ジモノ。

おほ・ぐるま (…、第三グ)(第三上)名。〔大車〕 草ノ名。をぐるまノ一種。||〔土木香〕

おほ・くろうめもどき (第二オ)(第七上)名。 木ノ名。うめもどきノ一種。||ナベカウヂ。||クロツバラ。〔大黑梅擬き||鼠李〕

●おほ・げさ (…、第三ゲ)(全平)根。〔…袈裟〕 おほぎやうト同ジ語 (スベテサモ無イコトヲ大キクイフ場合ヒニイフ)。

おほ・けたで (第二オ)(第三上)名。〔…毛蓼〕 草ノ名。いぬたでノ一名。

○おほけ・なさ (…)(第四上)名。〔負ほ氣無さ〕 オホケナクアル度合ヒ。

○おほけ・なシ (…)(…)形。〔…し〕 おふけなしト同ジ語。

おほ・ごしよ (…、第三ゴ、第四、五合)(…)名。〔大御所〕 (一)隱居セラレタ親王ノ尊稱。(二)隱居セラレタ公方ノ稱ヘ。※おほごしよさま參考。

おほごしよ・さま (…)(…)名。〔…樣〕 おほごしよヲ一層敬語ニシタモノ。此方ノ語ガ却テ普通ニツカハレル。

おほ・ごてふ (第二オ、第三ゴ、第四チヨ合、第五ツ)名。〔…蝴蝶〕 草ノ名。きんぱうげノ一名。

おほ・ごゑ (…)(第一上)名。〔…聲〕 調子ノタカイ聲。||大キナコヱ。

おほ・さ (…)(…)名。〔(多)さ〕 多クアル度合ヒ。

△おほ・ざう (…、第三ザ)(全平)根。 ヒトトホリデアルコト。||オモテムキデアルコト。||ナホザリ。

おほさか・ぬの (第二オ)(…)名。〔大坂布〕 大坂カラ出ルト錙ノ地ニ貼ル布ノ一ツ。云フ。

おほ・さくらさう (…、第六上)(第五上)名。〔…櫻草〕 草ノ名。さくらさうノ屬。さくらさうニ似テ花ノ大キイモノ。

おほ・ざけ (…)(第四上)名。〔…酒〕 酒ヲ多ク飲ムコト。||タイシユ。||バウイン。—西鶴、若風俗、「例ノおほざけ、コヨヒモマタ松ガ遷ボレテ、下戸ノ現ルル遊興ナルベシト出茶屋ノ吉ガモトニ腰ヲ掛クレバ」。

おほ・ざつま (…)(第三上)名。〔…薩摩〕—瀨川如皐、芥太夫、「ココハ名ニ負フ武藏ノ國、カタイモノナラおほざつま、果テハ豐後カ、國八カ?」—淺井了意、東海道名所記、「アトニツイテ行ツテ見レバ、此所ハ倘オヒタダシク、おほざつま、コザツマナド」。

○おほざつま・ぶし (…)(第五上)名。〔…節〕 俗曲ノ節ノ一種。慶安ノコロおほざつま淨雲大夫カラ始マル。其後派ガイクツモ分カレ、或ヒハ義大夫、或ハ河東、小薩摩ナド種種トナル。江戶ブシノ濫觴ハ此おほざつまニ開カレタモノデ、今日デモ芝居デハツカフ。調子ガ正シク、スルドイタメニ淒ミナドノ場合ヒニハ必ズ用ヰル。—柳雅、江戶節根元記、「京、大坂、江戶ノ淨瑠璃大夫多クアリテ…おほざつま、コザツマ、各サマザマノ流義アリ」。—同、「江戶淨雲節。正保ゴロ薩摩大夫四郎右衛門ト云フ、江戶淨瑠璃ノ祖ナリ。法體シテ淨雲ト云フ。號マタ薩摩大夫四郎右衛門ト云フ」。

おほ・ざと (…)(全平)名。〔(卩)〕〔漢字ノ阜ハ書キカヘテ卩トナル、コノ書キカヘタモノノ稱ヘ〕 漢字ノツクリニアル卩ノ字。即、郊ナドノ類。

おほ・さる (…)(…)名。〔大申〕 かのえさるノ異名。—異本洞房語園、「彼ガ祖父ノ申シクルガ、日本堤ハ百年バカリ以前ニおほさるノトキ出來シト。井ナカノ言葉ニ甲申ノ年ヲおほさるトイフ」。

おほさる・こやなぎ (…、第八ギ)(第六上)名。〔…猿子柳〕 木ノ名。さるこやなぎノ一種。

おほ・さは (…、第四ワ)(全平)根。〔…澤〕〔さはハ多ノ義〕 タクサン。||ドッサリ。||ジユウブン。

●おほ・ざつぱ (…、第四通)(第三上)根。〔さつぱハさつぱりノ畧〕 小サナ事ニ拘泥

七ヨ性質デアルコト。═オホマカ。═ライラク。

◎おほまかヨリ一層アライ義ヲ含ム。

おほさんざし　（第二オ）（第五上）名。〔……山楂子═（辛机子）〕　草ノ名。さんざしノ一種。

△おほ・し　（……）（第三上）名。〔おほ（大）＋し（辛跡）ノ義〕　だいわうノ古名。═和名抄、〔於保之〕。

○おほシ　（……）（第一上）形。〔多シ〕　數、量ナドガ充分ニ有ル。═タクサンデアル。═雜玉集、「ヤマチグサ折リテヤマヂニカヘルサヤ家ヅトおほきカザシナルラン」。

○おほし　（第二上）形。〔思シ〕　オモハシイ。═思ハレサウデアル。〔八トおぼしき聲〕。

おほ・しか　（第二オ）（全平）名。〔大鹿═（麋）〕　獸ノ名。しかノ一種。しかニ似テ大キク、但シ毛ニ斑ガナク、雌ハ茶イロデ、雄ハ青ミガ掛カリ、角ハ末デ分カレ、多オテル。性ハ寒ヲヨロコブ。═ヒロク。

おほじかけ　（……）（第三上）名。〔……仕掛け〕　スベテ、オホキナ仕掛ケ。═「おほじかけノ人形マハシ」。

おほしばゐ　（……）（……）名。〔……芝居、（一）スベテ大キナツクリ、又ハ大層ナ狂言ノアル芝居。（二）轉シテ〔第四オ〕（第一上）名。〔……潮〕うしほノ一ツノ稱ヘ。うしほ參考。

おほしぼし　（……）（全平）名。〔……皺〕　えぼし ノ紙ニアル皺イ皺。

おほしも　（……）（第一上）名。〔……島〕　砂糖ノ名。大隅ノ國大嶋カラ來ルモノ。

おほしますぢ　（……）（第四上）名。〔……綿條〕　クモノノ毛ナミノ稱ヘ。綿ニナッタ大キナ筋ノアルモノ。オモニちんナドニイフ。

おほせき　（……）（第一上）名。〔大關〕　相撲ノ格ノウチ最モ上ニ位スベキ身分ノ稱ヘ。═ホテ。═セキ。═セキトリ。

○おほせ・ごと　（……、第四ゴ）（全平）名。〔仰せ言〕　オホセルコト。═オホセ。═源氏、「ヤヤメラヒテおほせごとツタヘ聞コユ」。

おほ・せり　（……）（……）名。〔大芹〕　草ノ名。

いたちのおしノ一名。

●おほせル　（……）（全平）他動、二。　おほす（遂、負、仰）ノ近體。

おほ・せつき　（……、第四通）（第三上）名。〔……節季〕　一年ノヲハリ。═セッキ。═西鶴、一代女、「おほせつきニ一門中カラ」。

おほ・せんぼんぎく　（第二オ、第七ギ）（第五上）名。〔……千本菊〕　草ノ名。せんぼんぎくノ一種。

▲おほそ　（全平）名。〔御細〕　（一）奥女中ノ語。おびノ一名。〔ホソク長イ所カラ云フ〕。（二）又、婦人ナドノ語。いわしノ一名。

おほ・そで　（第二オ）（第四上）名。〔大袖〕　蝦ノ名ドコロ。タダノそでヲ形容シテ云ッタモノ。

おほ・そら　（……）（第三上）名。〔……空〕　そら（空）ト同ジ語。其ヒロク大キイ所カラ形容シテイフモノ。═匡廓。〔おほぞらノヒカリニナビク神山ノクフノ裘ヤヒカゲナルラン〕。

おほだいこ　（……）（……）名。〔……大鼓〕　樂器ノ名。たいこノ一種。盛ノ上ニ据ヱタモノ。火焔太鼓ナドトラ火焔ノカザリヲ上ニツケタノモアル。

おほ・だいこんさう　（……、第七ソ）（第五上）名。〔……根草〕　草ノ名。だいこんさうノ一種。

おほ・だうぐ　（……、第三ド、第五グ）（……）名。〔大道具〕　舞臺ノ裝置。（一）芝居ノ語。タテツケ、障子、フスマ、岩グミナドスベテ普通ノ道具ヨリ稍大キイモノノ稱ヘ。（二）又、道具ノ種類ノ名。皿、小鉢ノヤウナ細カイモノニ對シテノ稱ヘ。屏風、襖ナドノ所用トナル。產出ハ備中ヲ上トシ、其紙幅ノ大キイタメ、こたかちゆノ格ノウチ最モ上ニ位スベキ身分ノ稱ヘ。═ホテ。═セキ。═セキトリ。

○おほせ・ごと　（……、第四ゴ）（全平）名。〔仰せ言〕　オホセルコト。═オホセ。═源氏、「ヤヤメラヒテおほせごとツタヘ聞コユ」。

おほ・せり　（……）（……）名。〔大芹〕　草ノ名。

いたちのおしノ一名。

●おほせル　（……）（全平）他動、二。　おほす（遂、負、仰）ノ近體。

おほ・せつき　（……、第四通）（第三上）名。〔……節季〕　一年ノヲハリ。═セッキ。═西鶴、一代女、「おほせつきニ一門中カラ」。

おほ・せんぼんぎく　（第二オ、第七ギ）（第五上）名。〔……千本菊〕　草ノ名。せんぼんぎくノ一種。

▲おほそ　（全平）名。〔御細〕　（一）奥女中ノ語。おびノ一名。〔ホソク長イ所カラ云フ〕。（二）又、婦人ナドノ語。いわしノ一名。

おほ・そで　（第二オ）（第四上）名。〔大袖〕　蝦ノ名ドコロ。タダノそでヲ形容シテ云ッタモノ。

おほ・そら　（……）（第三上）名。〔……空〕　そら（空）ト同ジ語。其ヒロク大キイ所カラ形容シテイフモノ。═匡廓。〔おほぞらノヒカリニナビク神山ノクフノ裘ヤヒカゲナルラン〕。

おほだいこ　（……）（……）名。〔……大鼓〕　樂器ノ名。たいこノ一種。盛ノ上ニ据ヱタモノ。火焔太鼓ナドトラ火焔ノカザリヲ上ニツケタノモアル。

おほ・だいこんさう　（……、第七ソ）（第五上）名。〔……根草〕　草ノ名。だいこんさうノ一種。

おほ・だうぐ　（……、第三ド、第五グ）（……）名。〔大道具〕　舞臺ノ裝置。（一）芝居ノ語。タテツケ、障子、フスマ、岩グミナドスベテ普通ノ道具ヨリ稍大キイモノノ稱ヘ。（二）又、道具ノ種類ノ名。皿、小鉢ノヤウナ細カイモノニ對シテノ稱ヘ。屏風、襖ナドノ所用トナル。產出ハ備中ヲ上トシ、其紙幅ノ大キイタメ、こたかちゆ

○おほしやの　（……）（第一上）枕。〔大島の＝島邊ニハ波ノ音ナドガ鳴リワタル處カラ〕　なるニカカル枕詞。

おほしまうら　（……）（全平）名。〔……浦〕　鎗術ノ流派ノ一ツ。

おほしめし　（全平）名。〔思し召し〕　オボシメスコト。敬語。

おほし・めス　（……）他動、四段。〔……す〕　おもふノ敬語。═御思ヒナサル。═源氏、「消エイリッモノシタマフヲ御覽ズルニ來シカスエニおほしめさレズ」。

おほ・しやう　（第二オ、第四ヨ、第三ヰ、四上）名。〔大庄屋〕　大キナ權力ヲ持ッ庄屋。═しやうや參考。

○おほス　（……）（全平）他動、四段。〔生ほす〕　═思ハレサウデアル。═成長サセル。═「おほしタテデシコノ」。（二）ソダテル。═山家集、「カクバカリおほしタテツルタラチ子ノ親サヘツラキ戀ヒモスルカナ」。

おほス　（……）（……）他動、下二。〔遂す〕　ヤル。═ハタス。═「讀ミおほす」。═「シリトグル。═

おほす　（……）（……）他動、下二。〔負ほす〕　ハセル。═租稅ヲ官ニ收メル。

おほス　（……）（……）他動、下二。〔……〕　脊ニ負ハセル。═オブハセル。

おほス　（……）（……）他動、下二。〔仰す〕　スベテ、いふ（言）ノ敬語。═オフス。═メイレイスル。═「命ズル。

おほ・すすがや　（……、第五ガ）（……）名。〔……薏苡〕　草ノ名。かやノ一種。═コバンサウ。

おほ・すべりひゆ　（第三上）名。〔滑莧草〕　草ノ名。すべりひゆノ一種。═タチスベリヒユ。

おほせ　（……）（全平）名。〔仰せ〕　オホスルコト。═イヒツケ。═メイレイ。═オフセ。═メイ。

おほ・せい　（……）（第三上）名。〔大勢〕　タクサンズ。═アマタノ人。═タイゼイ。

おほ・せいろうだな　（……）（第五上）名。〔……西櫺棚〕　日本ノ建築術ノ語。四十八棚ノ一ツ。床イタヲ六尺トスレバ下カラ二尺一寸五分ノ高サニ同ジ六尺ダケノ棚ヲツリ、其棚ノ上ニ六尺ノ五分ノ一即チ一尺二寸ヲ左ノ柱カラヘダテテ五寸二分ノ足ヲタテ、又右ノ柱カラ一尺二寸ヲヘダテ四寸三分ノ足ヲタテ、前ノ五寸二分ノ足ノ上ニうちのり一尺二寸ノ棚ヲツリ、又前ノ四寸三分ノ足ノ上ニ同ジクうちのり一尺二寸ノ棚ヲツリ、此二枚ノ棚カラ見テ、オノオノ床ノ中心ニチカイ方カラ右ノ棚板ノ左ノ端カラ上ニ九寸ダケノ足ヲ立テ、又左ノ棚板ノ右ノ端カラ上ニ八寸一分ノ足ヲ立テレバ、コレラ九寸ト八寸一分トノ高サガ丁度水平ニ相列ビ、ソレカラ其二ツノ足ノ上ニうちのり一尺二寸ノ板ヲ置ケバ、從ッテ又此板モ水平線ヲ形チヅクル。スベテ棚カズハ四枚。袋戸ツキ。上塵ニタナ數ガ多クアッテ一間半ホドハナレタ所ニッカフ。モトハせいろうだなカラ變ハッテ來タモノ。═オホハシダナ。

舌ヲ垂ラシ、其舌ガ四方ニ觸レテ音ヲ出ス。

おほ・すすがや　（……、第五ガ）（……）名。〔……薏苡〕　草ノ名。かやノ一種。═コバンサウ。

おほ・すべりひゆ　（第三上）名。〔滑莧草〕　草ノ名。すべりひゆノ一種。═タチスベリヒユ。

おほせ　（……）（全平）名。〔仰せ〕　オホスルコト。═イヒツケ。═メイレイ。═オフセ。═メイ。

おほ・せい　（……）（第三上）名。〔大勢〕　タクサンズ。═アマタノ人。═タイゼイ。

おほ・せいろうだな　（……）（第五上）名。〔……西櫺棚〕　日本ノ建築術ノ語。四十八棚ノ一ツ。床イタヲ六尺トスレバ下カラ二尺一寸五分ノ高サニ同ジ六尺ダケノ棚ヲツリ、其棚ノ上ニ六尺ノ五分ノ一即チ一尺二寸ヲ左ノ柱カラヘダテテ五寸二分ノ足ヲタテ、又右ノ柱カラ一尺二寸ヲヘダテ四寸三分ノ足ヲタテ、前ノ五寸二分ノ足ノ上ニうちのり一尺二寸ノ棚ヲツリ、又前ノ四寸三分ノ足ノ上ニ同ジクうちのり一尺二寸ノ棚ヲツリ、此二枚ノ棚カラ見テ、オノオノ床ノ中心ニチカイ方カラ右ノ棚板ノ左ノ端カラ上ニ九寸ダケノ足ヲ立テ、又左ノ棚板ノ右ノ端カラ上ニ八寸一分ノ足ヲ立テレバ、コレラ九寸ト八寸一分トノ高サガ丁度水平ニ相列ビ、ソレカラ其二ツノ足ノ上ニうちのり一尺二寸ノ板ヲ置ケバ、從ッテ又此板モ水平線ヲ形チヅクル。スベテ棚カズハ四枚。袋戸ツキ。上塵ニタナ數ガ多クアッテ一間半ホドハナレタ所ニッカフ。モトハせいろうだなカラ變ハッテ來タモノ。═オホハシダナ。

おほさんざし　（第二オ）（第五上）名。〔……山楂子═（辛机子）〕　草ノ名。さんざしノ一種。

△おほ・し　（……）（第三上）名。〔おほ（大）＋し（辛跡）ノ義〕　だいわうノ古名。═和名抄、〔於保之〕。

○おほシ　（……）（第一上）形。〔多シ〕　數、量ナドガ充分ニ有ル。═タクサンデアル。═雜玉集、「ヤマチグサ折リテヤマヂニカヘルサヤ家ヅトおほきカザシナルラン」。

○おほし　（第二上）形。〔思し〕　オモハシイ。═思ハレサウデアル。〔八トおぼしき聲〕。

おほ・しか　（第二オ）（全平）名。〔大鹿═（麋）〕　獸ノ名。しかノ一種。しかニ似テ大キク、但シ毛ニ斑ガナク、雌ハ茶イロデ、雄ハ青ミガ掛カリ、角ハ末デ分カレ、多オテル。性ハ寒ヲヨロコブ。═ヒロク。

おほじかけ　（……）（第三上）名。〔……仕掛け〕　スベテ、オホキナ仕掛ケ。═「おほじかけノ人形マハシ」。

おほしばゐ　（……）（……）名。〔……芝居、（一）スベテ大キナツクリ、又ハ大層ナ狂言ノアル芝居。（二）轉シテ〔第四オ〕（第一上）名。〔……潮〕うしほノ一ツノ稱ヘ。うしほ參考。

おほしぼし　（……）（全平）名。〔……皺〕　えぼし ノ紙ニアル皺イ皺。

おほしも　（……）（第一上）名。〔……島〕　砂糖ノ名。大隅ノ國大嶋カラ來ルモノ。

おほしますぢ　（……）（第四上）名。〔……綿條〕　クモノノ毛ナミノ稱ヘ。綿ニナッタ大キナ筋ノアルモノ。オモニちんナドニイフ。

おほせき　（……）（第一上）名。〔大關〕　相撲ノ格ノウチ最モ上ニ位スベキ身分ノ稱ヘ。═ホテ。═セキ。═セキトリ。

○おほせ・ごと　（……、第四ゴ）（全平）名。〔仰せ言〕　オホセルコト。═オホセ。═源氏、「ヤヤメラヒテおほせごとツタヘ聞コユ」。

おほ・せり　（……）（……）名。〔大芹〕　草ノ名。

いたちのおしノ一名。

●おほせル　（……）（全平）他動、二。　おほす（遂、負、仰）ノ近體。

おほ・せつき　（……、第四通）（第三上）名。〔……節季〕　一年ノヲハリ。═セッキ。═西鶴、一代女、「おほせつきニ一門中カラ」。

おほ・せんぼんぎく　（第二オ、第七ギ）（第五上）名。〔……千本菊〕　草ノ名。せんぼんぎくノ一種。

▲おほそ　（全平）名。〔御細〕　（一）奥女中ノ語。おびノ一名。〔ホソク長イ所カラ云フ〕。（二）又、婦人ナドノ語。いわしノ一名。

おほ・そで　（第二オ）（第四上）名。〔大袖〕　蝦ノ名ドコロ。タダノそでヲ形容シテ云ッタモノ。

おほ・そら　（……）（第三上）名。〔……空〕　そら（空）ト同ジ語。其ヒロク大キイ所カラ形容シテイフモノ。═匡廓。〔おほぞらノヒカリニナビク神山ノクフノ裘ヤヒカゲナルラン〕。

おほだいこ　（……）（……）名。〔……大鼓〕　樂器ノ名。たいこノ一種。盛ノ上ニ据ヱタモノ。火焔太鼓ナドトラ火焔ノカザリヲ上ニツケタノモアル。

おほ・だいこんさう　（……、第七ソ）（第五上）名。〔……根草〕　草ノ名。だいこんさうノ一種。

おほ・だうぐ　（……、第三ド、第五グ）（……）名。〔大道具〕　舞臺ノ裝置。（一）芝居ノ語。タテツケ、障子、フスマ、岩グミナドスベテ普通ノ道具ヨリ稍大キイモノノ稱ヘ。（二）又、道具ノ種類ノ名。皿、小鉢ノヤウナ細カイモノニ對シテノ稱ヘ。屏風、襖ナドノ所用トナル。產出ハ備中ヲ上トシ、其紙幅ノ大キイタメ、こたかちゆ

五上）名。　かまきりノ蟲ノ巢ノトナヘ。

秋ノ終リニ出來、始メハ丁度唾ヲ吐キカケタヤウデ、後チ黑ズンダ色ニ凝ル。═オホヂフグリ。═アシガラミ。═アシガラメ。

おほぢ・ふぐり　（第二オ、第五グ）（第四上）名。　前ト同ジモノ。

おほづ　（……）（第一上）名。〔黃土〕（わう（黃）ど（土）ノ轉）　壁ノウハヌリニスル一種ノ泥ノヤウナモノ。しつくひニ色色ノ色ヲツケテ用ヰル。始メハわうどヲ燒イテ製シタ故ノ名。

●おほづ　（……）（全平）名。〔大圖〕　オホヨソノ所。═タイガイノ所。═「おほづヲ見テイイ加減ナコトヲイフ」。

◎言海ニ此語ヲ副詞トシタモノノ甚ダ穩ヤカデ無イ。今普通ニハ副詞ヨリ確カニ名詞ノ方ニッカフ。づヲ同音ニ「都」トアテタノモ餘マリ考ヘスギタコトニ思ハレル。

▲おほづが　（……、第四ガ）（第四上）名。〔……梅〕　紙ノ名。はんしノ一名。今オモニ奥羽デイフ。

おほづがざくら　（……）（第五上）名。〔……櫻〕　木ノ名。つがざくらノタグヒ。═ハクサンガヤ。═オホツガマツ。═アヲノツガザクラ。

●おほつか・なイ　（……）形。〔覺束無い〕　おぼつかなしノ近體。

おほつか・なさ　（……、又第四上）名。〔……さ〕　オボツカナクアル度合ヒ。═源氏、「御覽ジダニ遊ラヌおぼつかなさヲイフ方ナクオボサル」。

○おぼつか・なシ　（……）形。〔……し〕〔おもひ（思）つき（付）なし（無）ノ義〕　（一）ハッキリトシナイ。═「オチコチノタツキモ知ラヌ山中ニ

おぼつかなくモロブコ鳥カナ」。(二)心モトナイ。‖アヤツカシイ。
おほつがまつ (第二オ、第四ガ)(第四上)名。〔大栂松〕 木ノ名。おほつがざくらノ一名。
▲おぼ・つ・く (全平)自動、一。〔覺付く〕〔おぼつかなしカラ其儘ニ轉ジサセタ俚語〕。其任ニ堪ヘ得ラレルラシイ。
おほ・つごもり (第二オ、第四ゴ)(第三上)名。〔…晦〕〔おほ(大)つごもり(晦)ノ義〕 一年ノ最終ノ日。‖オホミソカ。‖オホドシ。
△おほ・づつ (…)(全平)名。〔大砲〕 たいはうノ古言。
おほ・つづみ (…)(第三上)名。〔巨鼓〕 樂器ノ名。つづみノ一種。左ノ膝ノ上ニ横タヘテ打ツ作リノモノ(こつづみノ對)。‖エツヅミ。
おほ・つづらふぢ (…)(第五上)名。〔漢防巳〕 つづらふぢノ一種。
おほ・つばめ (…)(第三上)名。〔大燕〕 鳥ノ名。あまどりノ一名。
△おほ・つぼ (…)(全平)名。〔…壺〕 しゆびんノ古言。
おほつぼ・りう (…)(…)名。〔…流〕 足利ノ末ゴロカラ始マツタ馬術ノ流儀ノ一ツ。元祖ハ大坪道禪。—傾城稚兒淵「馬ハおほつぼりう」。
おほ・づめ (…)(…)名。〔大詰め〕 芝居ナドノ語。おほぎりト同ジモノ。—手柄岡持、後著昔物語「一體一番目ノおほづめトイフ幕…是非サウザウシク、短ク賑ヤカニ面白ク無キ幕アリ」。
おほ・つめくさ (…)(第四上)名。〔大爪草〕 草ノ名。せきちくノ一種。

おほづめ・の・き (…)(第六上)名。〔…の木〕 芝居ノ語。おほづめニ入レル拍子木。
おほつ・ゑ (…)(第三上)名。〔大津繪〕 繪ノ一種。キハメテ走リ書キニシタ一種ノ粗畫。其始メハ分カラズ、或ハ又兵衞カラト云フモノノ確カナ證據ハ無イ。一説、土佐ノ末弟浮世又兵衞重興ト云フモノガ近江ノ國大津ニ住ンデ繪ヲ描キ、其レカラ此稱ヘガ始マツタトモイフ。—芭蕉「おほつゑノ筆ノハジメハ何ボトケ」。—元祿十四年版、河念佛「西ノスガキニヨセテおほつゑノアミダ一幅ヲ書キタレド厭キハテタレバ念佛ハ申サズ」。
おほ・て (…)(第一上)名。〔大手〕 おふて(第一解義)ト同ジモノ。
おほ・で (…)(第三上)名。〔…〕 左右ヘ張リヒロゲタ雙方ノ手。
△おほ・てて (…)(全平)名。〔大父〕 そふ(祖父)ノ古言ノ一ツ。
おほ・でまり (…)(第三上)名。〔…手毬〕 灌木ノ名。こでまりノタグヒ。
おほ・ど (…)(第一上)名。〔…戸〕 表口ナドニアル大キナ戸。—近松、博多小女郎浪枕「暖簾ハヅシ、おほどヲシメテ、墨クログロニ貸シ屋フダ」。
おほ・どう (…)(全平)名。〔…胴〕 つづみノ稱ヘ。胴ノ大キナコシラヘノモノ。
△おほどか (…)(第二上)根。〔おだやかト異體同種〕 ユルヤカ。‖オホマカ。‖オホヤウ。‖オホザツパ。—枕ノ草紙「アナガマガマト招キカクレド、君知ラズ顔ニテおほどかニテ居タマヘリ」。
△おほどか・に (…)(…)副。 前ノ副詞體。
△おほ・どく (…)(第三上)自動、四段、又、自動、

下二。取リシマリガ無イ。—「おほどけタルコワザマニテ」。
△おほ・ど・こ (…)(第一上)名。〔大床〕 棺ノソトガコヒ。‖クワク(椁)。
△おほ・とし (…)(…)名。〔大年〕 ぐわんねんノ古言。—日本紀「元年(訓、オホトシ)」。
おほ・どし (…)(…)名。〔…〕 おほみそかト同ジ語。
△おほ・とち (…)(全平)名。 をとこべしノ一名。
△おほと・びと (…)(第三上)名。〔おもとびとノ音便〕 ムカシノ官名。じじゆうト同ジモノ。—官位令「侍從(訓、オホトビト)」。
△おほと・なぶら (…)(第四上)名。〔大殿油〕〔となぶらハとの(殿)あぶら(油)ノ略〕 古代禁裏ナドニツケタトモシビノ稱ヘ。—枕ノ草紙「ココヒ定メント おほとなぶら近クマ井リテ夜フクルマデナン讀マセタマヒケル」。
△おほ・とねり (…)(第三上)名。〔…舍人〕 ムカシノ官名。ハジメ左右各八百人、後世減ジテ且ツ合シテ四百人。分番、宿直、容儀ナドノコトヲ司ドルモノ(ことねりノ對)。
△おほとねり・の・つかさ (…)(…)名。〔…寮〕 昔ノつかさノ名。中務省ノ屬。おほとねりニツイテノイツサイノコトヲ取リ扱フ。モトハ左ト右トノ二ツガアリ後世一ツトナル。相當ハ從五位ノ上カラ大初位ノ上マデ。唐名宮闈局。所屬ノ人數、頭一人、助一人、大允一人、少允一人、大屬一人、少屬一人、大舍人(始メ八百人、後四百人)、使部二十八、直丁二人、
△おほとねり・の・つかさ・の・かみ (…)(第三、及、第九上)名。〔…頭〕 昔ノ官名。おほとねりのつかさノ長官。相當ハ從五位ノ上。

唐名、宮闈令。數ハ一人。
△おほ・との (…)(全平)名。〔大殿〕 古言。禁裏ノ寢殿。
おほ・との (…)(第三上)名。〔…〕 スベテ、貴人ノ當主、又ハ當主カラ目上ニアタルモトノ當主ノ尊稱。
△おほとの・あぶら (…)(第五上)名。〔…油〕 おほとなぶらト同ジモノ。
††△おほとの・ごもり (…、第五ゴ)(第四上)名。〔…籠もり〕 オホトノゴモルコト。—源氏「アルトキニハおほとのごもりスグシテ」。
△おほとの・ごもル (…)(第六上)自動、四段。〔…る〕〔おほとの(大殿)とこもる(籠)ノ義〕 ねる(寢)ノ敬語(多ク主上ニ限ツテイフ)。
△おほとの・ほがひ (第二オ、第六ガ)(…)名。〔大殿禱ひ〕 昔シ、殿ナドニ火災ソノ他ノ禍ヒノ無イノヲ禱ツタコト。—古語拾遺「オホトノホガヒ」。
おほ・どほり (…、第四オ)(第三上)名。〔…通り〕 市中ニアルヒロイ道。‖オホヂ。‖ダイダウ。
○おほとも・の (…)(全平)枕。〔…伴の〕 みつ、たかナドニカカル枕詞。
△おほ・ともひ (…、第五イ)(第三上)名。〔辨〕〔お(御)たまひ(給)ノ義〕 昔ノ官名。べん(辨)ト同ジモノ。—和名抄「於保止毛比」。
おほ・とり (…)(全平)名。〔大鳥〕 (一)△スベテ、鶴、鸛、鳳ナド、神聖ニ見エルヤウナ類ノ鳥ノ古言。 (二)又鳥ノ名。莊子ニアルぼう(鵬)ノ一名。
おほ・とりとまらず (…)(第五上)名。〔大黄遣〕 草ノ名。ことりとまらずノ類ヒ。トゲガ多クアルモノ。‖ヘビノボラズ。
○おほとり・の (…)(全平)枕。〔…の〕 は(羽)

ニカカル枕詞。
△おほ・どル (…)(第二上)自動、下二。〔おほどくノ異體同種〕 (一)ヒロガリミダレル。‖末ガ散ル。 (二)オホドク。
△おほな・おほな (…、第五オ)(第一上)副。 おふなおふなト同ジ語。
おほ・なげだし (第二オ、第四ゲ)(第三上)名。〔大投げ出し〕 ぬひばりノ一種。縫ヒ針ノ中デハ最モ長ク、キハメテ手ガタイ物ヲ縫フトキニツカフ。‖ザフキンバリ。
△おほな・ご (第二オ、第四ゴ)(…)名。〔凡子〕〔おほな(凡)こ(子)ノ義〕 普通ノ人ノ子。‖イヤシイ身分ノ子。—萬葉集「おほなごガヲチカタノベニ苅ル萱ノ束ノ間ダニモ吾レワスレメヤ」。
おほ・なだい (第二オ)(…)名。〔大名題〕 脚本ニイフ語。狂言ノ名目ノキハメテオモモシク出來タモノ。—戲場新話「今二ノカハリ狂言ノおほなだい、イツニテモ傾城ト字ヲ名題ノ上ニ置クコト」。
おほ・なほび (…、第四オ)(…)名。〔…直日〕 昔ノ曆ニイフ語。禍ヒヲ福ニスル日。
△おほなむち・の・すくなひこな (…)(第八上)名。〔大已少彦〕 日本ノ昔ノ神ノ名。今出雲ノ國杵築ノ宮ニ鎭座サレルモノ。御名ハ五ツアリ、即チおほなむち、又ノ名ハおほくにぬし、又ノ名ハあしはらしきをたま、又ノ名ハやちほこ、又ノ名ハうつしくにたま。古傳ニ、此神ニヨツテ日本ノ國ガ作ラレタト云フ。—萬葉集「おほなむちすくなひこなガ造ラシシ妹背ノ山ヲ見ラクシヨシモ」。
△おほ・なめ (…)(第四上)名。〔大嘗め〕 だいじやうゑト同ジモノ。

おほ・なめ (…)(…)名。〔…膁背〕 馬具ノ名。古言、なめ。今イフはだつけノ一名。
おほ・なら (…)(第三上)名。〔…楢〕 木ノ名。ならノ木ノ一種。
おほ・にがな (…、第四ガ)(第四上)名。〔…苦菜〕 草ノ名。にがなノ一種。
▲おほにごろ (第二オ)(…)名。 魚ノ名。ふなノ一種。いをト同ジモノ。
△おほ・にへ (…、第四エ)(全平)名。 (一)〔大贄〕〔おほ(大)にへ(贄)ノ義〕 だいじやうゑノ一名。 (二)〔苞苴〕 ツト。‖アラマキ。—和名抄「於保迩倍」。
おほ・にら (第二オ)(…)名。〔大韮〕 草ノ名。にらノ一種。八月ゴロ根ヲ植エ、一月ニ至リ分ケテ植エル。葉ハ中空デ、ホソイねぎノ葉ニ似、香ヒモねぎト同ジク、二月ウス紫ノ小サナ花ガ咲ク。蜜ト摺ツテヤケドニ塗レバ甚ダ能クナホスト云フ。
▲おほ・ぬけ (…)(…)名。〔…抜け〕 昔ノ芝居モノノ隱語。錢六十四文ノ異名。
○おほぬさ・の (…)(第三上)枕。〔…幣の〕 ひくて(引手)ニカカル枕詞。
△おほ・ね (…)(…)名。〔大根〕 野菜ノ名。だいこんノ古言。
●おほ・ね (…)(第一上)名。〔…〕 事ノ起コリ。
△おほね・むし (…)(第三上)名。〔大稻蟲〕〔おほ(大)ね(稻)むし(蟲)ノ義〕 いなむしト同ジモノ。—和名抄「於保禰無之」。
おほ・のあざみ (…)(第四上)名。〔…野薊〕 草ノ名。のあざみノ一種。
△おほのか (…)(第二上)根。 おほどかト同ジ語。
△おほのか・に (…)(…)副。 前ノ副詞體。
おほ・のざく (…、第四ギ)(第三上)名。〔大

△おほば (…)(第一上)名。(祖母)。(おほ(大)はは(母)ノ約)。 祖母。
おほばいぼたのき (…)(第六上)名。(大葉水蠟樹) 木ノ名。いぼたのきノ一種。葉ノ大キイモノ。
おほばうまのすずくさ (…、第九グ)(第八上)名。(…馬の鈴草) 草ノ名。うまのすずくさノ一種。葉ノ大キイモノ。
おほばかし (…、第四ガ)(第四上)名。(…樫) 木ノ名。かしノ一種。あかがしト同ジモノ。
おほばがらし (…)(…)名。(…芥子) 草ノ名。からしなノ一種。葉ガ大キクテ、カラミノ少イモノ。
おほばきすみれ (第二オ)(第五上)名。(…黃菫) 草ノ名。すみれノ一種。あふひすみれニ似テ葉ハ大キイモノ。
おほばくさふぢ (…)(…)名。(…藤) ふぢノ一種。くさふぢノ葉ノ大キイモノ。
おほばこ (…)(全平)名。(…子)=(車前草)(おほ(大)ば(葉)こ(子)ノ義) 草ノ名。道バタニ能ク生ヘル。春ノ始メ苗カラ莖ガ出、ソダテバ葉ノ長サハ三四寸、綠色デコバン形ヲシ、夏ミドリノ花ガ咲ク。此草ノ葉ヲ採テ殺シタ蛙ノ上ニカブセ、打テバ蛙ガヨミガヘルトテかへるばトイフ名ガアル。=オンバコ。―和名抄「大葉子、蝦大故」。―蜻蛉日記「おほばこノ神ノタスケヤ無カリケン、契リシコトヲ思ヒカヘルベ」。
△おほばこ・の・かみ (…)(第七上)名。(…の神) おほばこノ葉カラ蛙ガ生キカヘル所カラ其ヲシギナ所ヲ神ト見立テタモノ。
おほばこんろんさう (…、第八ソ)(第六上)名。(大葉崑崙草) 草ノ名。こんろんさうノ一種。葉ノ大キナモノ。

おほはしだな (…)(第四上)名。(大橋棚) おほせいろうだなト同ジモノ。
おほばしほがまさう (…、第五オ、第六カ、第八ソ)(第七上)名。(…鹽竈草) 草ノ名。しほがまぎくノ一種。
おほばしようま (第二オ、第四、五合)(第四五上)名。(…升麻) 草ノ名。しようまノ一種。葉ノ大キイモノ。=キケンショウマ。
おほはしりう (…)(全平)名。(大橋流) 日本ノ假名ノ書體ノ一種。石川丈山ノ門人大橋長左衛門ノ子隆慶カラ始マル。
おほばすのき (…)(第四上)名。(…葉臼の木)(すのきハうすのきノ略)。 灌木ノ名。うすのきノ一種。
おほばせんきゆう (…、第六、七合)(…)名。(…川芎) 草ノ名。せんきゆうノ一種。葉ガキハメテ大キイモノ、せんきゆうト同ジク藥ニナル。
おほばたちつぼすみれ (…)(第八上)名。 草ノ名。たちつぼすみれノ一種。葉ノ大キイモノ。
おほはだぬぎ (…、第六キ)(第六上)根。(大肌脫ぎ) 肌ヲ多クアラハシテ脫グコト。―近松、吉野都女楠「オメイテ入ラントスル所ニ又太郎おほはだぬぎ棒ヒッサゲ、ツットト出デ」。
おほばたねつけばな (第二オ)(第七上)名。(…葉種付け花) 草ノ名。たがらしノ一種。葉ノ大キイモノ。=ヤマタネツケバナ。
おほばち (…)(全平)名。(…蜂) 蟲ノ名。やまばちノ一名。
おほばちどめぐさ (…、第七グ)(第六上)名。(…血止め草) 草ノ名。ちどめぐさノ一種。葉ノ大キイモノ。
おほばつめくさ (第二オ)(第五上)名。(…爪草) 草ノ名。せきちくノ屬。はこべニ似テ葉ノ大キイモノ。=イハツメクサ。
おほばとねりこ (…)(第六上)名。(…秦皮) 木ノ名。とねりこノ一種。葉ノ大キイモノ。=ヤチダモ。=シホヂ。
おほばな・の・いよかづら (…)(第八上)名。(大花の伊豫葛) 草ノ名。いよかづらノ一種。大キナ花ガ咲ク。
おほ・はなわらび (…)(第五上)名。(…蕨) 草ノ名。しだノ屬。はなわらびノ類ヒ。
おほば・の・ありどほし (…、第八オ)(全平)名。(大葉の有り通し) 草ノ名。ありどほしノ一種。葉ノ大キナモノ。=ルリダマ。
おほば・の・みぞほほづき (第七上)名。(…溝酸漿) 草ノ名。みぞほほづきノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほば・の・みやまきけまん (第九上)名。(…の深山黃菫) 草ノ名。みやまきけまんノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほば・の・やへむぐら (…、第六エ、第八グ)(全平)名。(…八重葎) 草ノ名。やへむぐらノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほば・の・よつばむぐら (第二オ)(第八上)名。(…四葉葎) 草ノ名。よつばむぐらノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほば・の・ゐのもとさう (…、第九ソ)(全平)名。(…井の本草) 草ノ名。ゐのもとさうノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほ・はば (…)(第四上)根。(大幅) 布帛ヲ測ル時ニイフ語。幅ノ大キクアルモノ。近ゴロデハおほはばハ普通ニこはばノ倍ニアタル(ちゆうはば、こはばノ對)。―西鶴、一代女、「帶ハ唐織リノおほはばニ緋ヂリメンノ二タノモノ」。

おほばはなせきしやう (…、第九ヨ、第八、九合)(第六上)名。(…葉花石菖) 草ノ名。せきしやうノ一種。葉ガ大キイモノ。=イハシヤウブ。
おほばみみなぐさ (第二オ、第七グ)(…)名。(…耳無草) 草ノ名。みみなぐさノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほばやどりぎ (第二オ、第七ギ)(全平)名。(…宿り木) 草ノ名。やどりぎノ一種。葉ノ大キナモノ。
おほばゆきざさ (第二オ)(第五上)名。(…雪笹) 草ノ名。ゆきざさノ一種。葉ノ大キナモノ。
++おほばらひ (…、第五イ)(全平)名。(大祓ひ) 昔シ六月、十二月ノ二期、スベテ一年二回、各ソノ月ノ三十日ニ親王以下群臣ガ殘ラズ朱雀門ニ會シテ行フマツリ。卜部ニ祝詞ヲ讀マセ、ソレデ邪氣ヲ攘フトイフ。今日六月ノハたいないくぐりトイフ名ニ爲ツテ、カタシロダケ殘ル。
おほはらめ (第二オ)(…)名。(…原女) 山城アタリデ薪ヲ賣リニ市中ナドニ出ル女。モト同國、大原ノ里カラ出タ故ノ名。一種ノ風習トシテ頭上ニ薪ヲ戴キ、「黑木召セ！」ト云ツテ步ク。今、アヤマツテをはらめ、又ハおはらめトイフ。
おほばりゐ (…)(第三上)名。(…針藺) 草ノ名。ゐ(藺)ノ一種。葉ガ針ノヤウニスルドクテ大キナモノ。
おほばわうせい (…、第四ヲ)(第四上)名。(…葉黃精)=(白及黃精) 草ノ名。なるこゆりノ類ヒ。
おほばわうれん (…)(…)名。(…黃連) 草ノ名。わうれんノ一種。葉ノ大キナモノ。=ツマワウレン。

おほばをみなへし (第二オ、第七エ)(第六上)名。(…女郎花) 草ノ名。をみなへしノ一種。葉ノ大キナモノ。=マルバキンレイカ。=エゾキンレイカ。
おほばん (…)(全平)枕。(大版) ばん(版)ガ大キクアルコト。(こばんノ對)。―「おほばんノ半紙」。
おほばん (…)(…)名。(…判) ムカシノ金貨ノ名。形チハこばんト同ジ楕圓デ、價ヒハ丁度こばんノ七兩二分ニアタル(こばんノ對)。
おほばん (…)(…)名。(…鷭) 鳥ノ名。ばんノ一種。ばんヨリ稍大キク、嘴ハ白ク、雄ハ額ニ白イ肉ノ瘤ガ有リ、脚ハ色ガ黑クテばんノヨリ短ク、雌ハ小サクテ瘤ガ無イモノ。=カハガラス。
おほばん (…)(…)名。(…番) (一)ムカシ、鎌倉時代ニ諸國ノ武士ガアタル京都ノ警護ノトナヘ。(二)おほばんぐみノ略。
おほばんがしら (…、第五ガ)(第五上)名。(…頭) スベテ、おほばんぐみノ頭タルベキ身分ノトナヘ。
おほばんぐみ (第二オ、第五グ)(全平)名。(…組み) 德川氏ノ時、江戶、京、大坂ノ三大城ヲ戍ッタ武士ノ總名。
おほ・はんげ (…、第五ゲ)(第三上)名。(…半夏) 草ノ名。はんげノ一種。
おほばんせき (第二オ)(…)名。(…番席) 德川氏ノ時ノ制、はたもとノ格式ノ一ツ。持チ高二千石未滿、廩米二百俵マデノモノ。
++おほひ (第二オ、第三イ)(第二上)名。(被=覆=蓋=掩)ひ) (一)オホフコト。(二)カブセルモノ。=オホフモノ。=カブセ。
△おほひ (…)(…)名。 草ノ名。うまごやしノ古言。―和名抄「於保比」。
おほ・びき (…)(全平)名。(大引き) 家ノユカシタナドヘ橫ニワタス木ノ稱ヘ。
おほ・ひごぐさ (…、第四ゴ、第五グ)(第四上)名。(…肥後草) 草ノ名。かさすげニ似タモノ。ひごぐさノ一種。
△おほひ・どの (第二オ、第三イ)(第三上)名。(…炊殿) 昔ノ禁裏ニアッタ所ノ名。飯ヲ炊クトコロ。
△おほひ・の・かみ (…)(…)名。(…頭) 昔ノ官名。おほひのつかさノ長官。相當ハ從五位ノ下。數ハ一人。唐名、大倉令、又導官令。
△おほひ・の・つかさ (…)(…)名。(…寮) 昔シノ官名。おほひれうト同ジモノ。
おほ・ひやくにち (…、第三、四合)(第三、四上)名。(…百日) 芝居ノかつらノ名。ひやくにちかつらノキハメテ大キク、毛ノ長クノビタモノ。
おほ・ひら (第二オ)(全平)名。(…平) おほひらわんノ略。
●おほ・びら (…)(…)根。 アラハニシテ更ニ構ハヌコト。=ムキダシ。―「おほびらニ物語ッテ平氣デ澄マス」。
おほ・ひらわん (…)(第四上)名。(大平椀) 大キクヒラタイわん(椀)。
△おほ・びる (…)(第三上)名。(…蒜) 草ノ名。にんにくノ古言。―和名抄「於保比流」。
おほ・ひれあざみ (…)(第五上)名。(…領巾薊) 草ノ名。あざみノ一種。
おほひ・れう (第二オ、第三イ、第四リヨ合)(第三上)名。(大炊寮)(おほひハおほ(大)いひ(飯)ノ約)。 昔ノ官名。宮內省ノ被管。

御領地ノ田カラ得タ穀類ヲツカサドリ、ソレヲ禁中ノ食ニ備ヘルモノ。相當ハ從五位ノ下カラ大和位ノ上マデ。唐名、大倉署。所屬ノ人數、頭一人、助一人、允一人、大屬一人、少屬一人、大炊部六十人、使部二十人、直丁二人、駈使丁三十人。—職員令「大炊寮」。

おほ・びろま　（第二オ）（……）名。〔……廣間〕　德川氏ノ時ニアッタ江戸城ノ內ノザシキノ稱ヘ。コゝニ列席シ得ベキ諸侯ハ薩摩、仙臺、熊本、福岡、安藝、長門、佐賀、因幡、備前、津、阿波、土佐、久留米、秋田、松江、米澤、盛岡、柳川、筑後、二本松、弘前、城主津輕氏、嚴原城主宗氏、越中富山城主前田氏、加賀大聖寺城主前田氏、前橋、明石、高須、西條、守山、府中（常陸）、石見濱田城主松平氏等、ソノ最下級ハ大抵六萬石。柳ノ間ヅメノ大名ヅ、四品以上ニ叙セラレレバ皆ココニ列席シ得ル。

おほフ　（……）（第三ウ）（第二上）他動、四段。〔被ル＝蓋＝掩＝覆ふ〕　（一）スベテ、上ヘカケル。—カブセル。—カウムラセル。—蒿葉、鏡、鏡女王、「玉クシゲおほふヲ休ミアケユケバ、君ガ名ハアレドワガ名シヲシモ」。（二）カクス。—ツツム。「罪ヲおほふ」。

●おほふう　（第二オ）（第一上）根。〔大風〕　オゴッタアリサマデアルコト。—ソングイ。—オホヘイ。

おほふかし　（……）（第三上）名。〔……蒸かし〕　フカシタさつまいもノ稱ヘ。薩摩時代ニツカシタ語。—寛天見聞記「又昔シハ燒キ芋ト云フ物無シ。寛政ノコロヨリおほふかしトテサツマイモヲ蒸シテ賣リシヲ始メトス」。

おほふく　（……）（全平）名。〔……福〕　元日ノ朝ノ祝ヒノ名。ウメボシヲ入レタ茶湯。

○おほふね・の　（……）（……）枕。〔……升の〕　おもひたのみ、めたりのやま、つもりのうら、たゆたふみれば、ゆらゆらと、かとりのうみナドニ掛カル枕コトバ。〔海ノ上ハおほふねヲ顧ミニスルトイフ所カラおもひたのみト掛カリ、船デヲタルモノ故わたりノやまト掛カリ、船ハ波ニタユタフ故つもりト掛カリ、船ハユラユラユラユラト掛カリ、船ニモノ故たゆたふト掛カル」

おほふりそで　（……）（第三上）名。〔……振り袖〕　昔シ延喜天和ノ頃迄主ニ行ハレタふりそでノ大キナモノノ稱ヘ。ソデダケノ長サ一尺五寸アッタト云フ。—西鶴「若風俗」「おほふりそでノ女ニ思ヒ掛ケラレ、シヽ目ヲ詰メテかぞとりヲ詰メテ見ラルルト」。

△おほふ　（……）（第一上）名。〔……當〕　祭リノ名。だいじやうゑト同ジモノ。

おほふね　（……）根。〔……柄〕　オホフウ。

おほふうノ轉デアラウ。おほふうハ言ヘヌ。

◎思フニコレハおほふねヲ休ミアケユケバ、君ガ名ハアレドワガ名シヲシモ」ノ「柄」トスル說モ多クスゴイ意味ノ場合ニツカフ。—オホマドキ。—「鐘ノ音ナヤムおほまがとき、知死期ト見エテツク息モサギリトナッテ朦朧タリ」。

△おほまつぎみ　（……）（第五ギ）（第四上）名。〔……司〕　昔ノ司ノ名。だいぐうじノ一名。

おほみや・びと　（……）（第四上）名。〔……人〕　スベテオホミヤ即チ禁中ニ仕ヘル人ノ總名。—「モモシキノおほみやびとハイトマアレヤ、櫻カザシテケフモ暮ラシツ」—安部宗任、「アヅマニテ梅ノ花トハ見ツレドモおほみやびとハ何トイフラン」。

おほみやすみれ　（……）（第六上）名。〔大深山菫〕　草ノ名。すみれノ一種。多ク山ニ生ヘル。

△おほみら　（……）（全平）名。〔雉〕〔みらハにらト異體同種〕　古言。らつきようノ一名。

おほみち　（……）（第三上）名。〔大古〕　ゴクノムカシ。—タイコ。—ヲヤウコ。

おほむこぎ　（……、第四ギ）（……）名。〔……麥〕　穀物ノ名。むぎト同ジモノ。

○おほむね　（……）（全平）名。〔大旨—概〕〔おほよそ（ん）むね（旨）ノ義〕　ダイタイノ主意。

おほむね・いり　（……）（全平）名。〔……副〕〔……〕〔前ノ語カラ轉ヲ下〕　オホヨソ。—ダイテイ。—ダイリヤク。—「おほむね皆愚物」。

おほむらじ　（……）（第三上）名。〔大連〕　日本ノ上古ノ官職ノ名。おほおみト相伴ナッテ恰度後世ノ左右大臣ト同ジ位ナ格式デアッタモノ。

おほむら・の　（……）（第一上、又、第三上）名。〔……日〕　二百餘ノ一斤。

●おほめ　（……）（全平）根。〔……〕　監督ヲユルヤカニスルコト。「おほめニ見テオク」。

△おほめかし　（……）（第四上）形。「おほおほしト異體同種」。　タシカデナイ。—ハッキリシナイ。—枕ノ草紙「イカデナホ少シおほめかしく、ほのぼのとしたるに、ありあけの月ハ、いとおもしろし」。

△おほやけ　（……）（第一上）名。〔……官〕　政府、朝廷ナドノ稱ヘ。—「おほやけニ仕ヘマツル」。

おほやけごと　（……）（第一上）名。〔……公事〕　政治ノ事。

おほやけごと・びと　（……）（第二オ、第六ゴ）（第七上）名。〔大政人—參議ノ一名—和名抄「參議、於保萬豆利古止比止」。

おほやまざき　（……）（第三上）名。〔……禍時〕　おほまがときト同ジ語。

++△おほやまはし　（……）（第四ア）（……）根。〔……回し〕　今云フおほまはりト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「アキナヒ物ノ宰領トナリ、おほやまはしノ船ニ乘リテ今度ハシメテ下ダリ」。

++おほやまはり　（……）（……）根。〔……り〕　道ナド盤クマハッテ行クコト（ちかみちノ對）。

++おほやまはり　（……）（……）名。〔……〕　芝居デ役者ガ行フたてノ一ツ。スベテ、大キク廻ッテ戰フコト。—たて參考。

おほやまへ　（……、第四ニ）（全平）名。〔……前〕　神前、佛前ナドノ敬語。—ヒロマヘ。—「大神ノおほまへニマウサク」。

おほやまめ　（第二オ）（全平）名。〔大豆〕　蔓草ノ名。並ノまめト同ジモノ。—ダイヅ。

おほやまんおゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……饅頭〕　おほまんぢゆうじころノ轉。

おほやまんぢゆう・じころ　（……）（第八上）名。〔……饅〕　兜ノしころノ一種。饅頭ノ形チニ盛リアゲテ拵ヘタモノ。

△おほやまんぢころ　（第二オ）（第五上）名。〔大政所〕　攝政、關白ナドノ母ノ尊稱。

△おほやみ　（……）（全平）接頭。〔大御—おほ（大）み（御）ノ義〕　スベテ物ゴトヲ尊ンデイフトキニ用ヰタ古言。—「おほみ歌」。—「おほみアカシ」。—「おほみ神」。—「おほみケ」。

△おほやまかし　（……）（……）名。〔……燈し〕　神佛ナドニ奉ル燈明ノ尊稱。—和名抄「於保

△おほやまつりごとびと　（第二オ、第六ゴ）（第七上）名。〔大政人—參議ノ一名—和名抄「參議、於保萬豆利古止比止」。

おほやまざき　（……）（第三上）名。〔……禍時〕　おほまがときト同ジ語。

++△おほやまはし　（……、第四ア）（……）根。〔……回し〕　今云フおほまはりト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「アキナヒ物ノ宰領トナリ、おほやまはしノ船ニ乘リテ今度ハシメテ下ダリ」。

++おほやまはり　（……）（……）根。〔……り〕　道ナド盤クマハッテ行クコト（ちかみちノ對）。

++おほやまはり　（……）（……）名。〔……〕　芝居デ役者ガ行フたてノ一ツ。スベテ、大キク廻ッテ戰フコト。—たて參考。

おほやまへ　（……、第四ニ）（全平）名。〔……前〕　神前、佛前ナドノ敬語。—ヒロマヘ。—「大神ノおほまへニマウサク」。

おほやまめ　（第二オ）（全平）名。〔大豆〕　蔓草ノ名。並ノまめト同ジモノ。—ダイヅ。

おほやまんおゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……饅頭〕　おほまんぢゆうじころノ轉。

おほやまんぢゆう・じころ　（……）（第八上）名。〔……鍾〕　兜ノしころノ一種。饅頭ノ形チニ盛リアゲテ拵ヘタモノ。

△おほやまんぢころ　（第二オ）（第五上）名。〔大政所〕　攝政、關白ナドノ母ノ尊稱。

△おほやみ　（……）（全平）接頭。〔大御—おほ（大）み（御）ノ義〕　スベテ物ゴトヲ尊ンデイフトキニ用ヰタ古言。—「おほみ歌」。—「おほみアカシ」。—「おほみ神」。—「おほみケ」。

△おほやまかし　（……）（……）名。〔……燈し〕　神佛ナドニ奉ル燈明ノ尊稱。—和名抄「於保

△おほやまつりごとびと　（第二オ、第六ゴ）（第七上）名。〔大政人—參議ノ一名—和名抄「參議、於保萬豆利古止比止」。

おほやまざき　（……）（第三上）名。〔……禍時〕　おほまがときト同ジ語。

++△おほやまはし　（……、第四ア）（……）根。〔……回し〕　今云フおほまはりト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「アキナヒ物ノ宰領トナリ、おほやまはしノ船ニ乘リテ今度ハシメテ下ダリ」。

++おほやまはり　（……）（……）根。〔……り〕　道ナド盤クマハッテ行クコト（ちかみちノ對）。

++おほやまはり　（……）（……）名。〔……〕　芝居デ役者ガ行フたてノ一ツ。スベテ、大キク廻ッテ戰フコト。—たて參考。

おほやまへ　（……、第四ニ）（全平）名。〔……前〕　神前、佛前ナドノ敬語。—ヒロマヘ。—「大神ノおほまへニマウサク」。

おほやまめ　（第二オ）（全平）名。〔大豆〕　蔓草ノ名。並ノまめト同ジモノ。—ダイヅ。

おほやまんおゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……饅頭〕　おほまんぢゆうじころノ轉。

おほやまんぢゆう・じころ　（……）（第八上）名。〔……鍾〕　兜ノしころノ一種。饅頭ノ形チニ盛リアゲテ拵ヘタモノ。

△おほやまんぢころ　（第二オ）（第五上）名。〔大政所〕　攝政、關白ナドノ母ノ尊稱。

△おほやみ　（……）（全平）接頭。〔大御—おほ（大）み（御）ノ義〕　スベテ物ゴトヲ尊ンデイフトキニ用ヰタ古言。—「おほみ歌」。—「おほみアカシ」。—「おほみ神」。—「おほみケ」。

△おほやまかし　（……）（……）名。〔……燈し〕　神佛ナドニ奉ル燈明ノ尊稱。—和名抄「於保

△おほやまつりごとびと　（第二オ、第六ゴ）（第七上）名。〔大政人—參議ノ一名—和名抄「參議、於保萬豆利古止比止」。

おほやまざき　（……）（第三上）名。〔……禍時〕　おほまがときト同ジ語。

++△おほやまはし　（……、第四ア）（……）根。〔……回し〕　今云フおほまはりト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「アキナヒ物ノ宰領トナリ、おほやまはしノ船ニ乘リテ今度ハシメテ下ダリ」。

++おほやまはり　（……）（……）根。〔……り〕　道ナド盤クマハッテ行クコト（ちかみちノ對）。

++おほやまはり　（……）（……）名。〔……〕　芝居デ役者ガ行フたてノ一ツ。スベテ、大キク廻ッテ戰フコト。—たて參考。

おほやまへ　（……、第四ニ）（全平）名。〔……前〕　神前、佛前ナドノ敬語。—ヒロマヘ。—「大神ノおほまへニマウサク」。

おほやまめ　（第二オ）（全平）名。〔大豆〕　蔓草ノ名。並ノまめト同ジモノ。—ダイヅ。

おほやまんおゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……饅頭〕　おほまんぢゆうじころノ轉。

おほやまんぢゆう・じころ　（……）（第八上）名。〔……鍾〕　兜ノしころノ一種。饅頭ノ形チニ盛リアゲテ拵ヘタモノ。

△おほやまんぢころ　（第二オ）（第五上）名。〔大政所〕　攝政、關白ナドノ母ノ尊稱。

△おほやみ　（……）（全平）接頭。〔大御—おほ（大）み（御）ノ義〕　スベテ物ゴトヲ尊ンデイフトキニ用ヰタ古言。—「おほみ歌」。—「おほみアカシ」。—「おほみ神」。—「おほみケ」。

△おほやまかし　（……）（……）名。〔……燈し〕　神佛ナドニ奉ル燈明ノ尊稱。—和名抄「於保

△おほやまつりごとびと　（第二オ、第六ゴ）（第七上）名。〔大政人—參議ノ一名—和名抄「參議、於保萬豆利古止比止」。

おほやまざき　（……）（第三上）名。〔……禍時〕　おほまがときト同ジ語。

++△おほやまはし　（……、第四ア）（……）根。〔……回し〕　今云フおほまはりト同ジ語。—淺井了意、東海道名所記「アキナヒ物ノ宰領トナリ、おほやまはしノ船ニ乘リテ今度ハシメテ下ダリ」。

++おほやまはり　（……）（……）根。〔……り〕　道ナド盤クマハッテ行クコト（ちかみちノ對）。

++おほやまはり　（……）（……）名。〔……〕　芝居デ役者ガ行フたてノ一ツ。スベテ、大キク廻ッテ戰フコト。—たて參考。

おほやまへ　（……、第四ニ）（全平）名。〔……前〕　神前、佛前ナドノ敬語。—ヒロマヘ。—「大神ノおほまへニマウサク」。

おほやまめ　（第二オ）（全平）名。〔大豆〕　蔓草ノ名。並ノまめト同ジモノ。—ダイヅ。

おほやまんおゆう　（……、第五、六合）（第三上）名。〔……饅頭〕　おほまんぢゆうじころノ轉。

おほやまんぢゆう・じころ　（……）（第八上）名。〔……鍾〕　兜ノしころノ一種。饅頭ノ形チニ盛リアゲテ拵ヘタモノ。

△おほやまんぢころ　（第二オ）（第五上）名。〔大政所〕　攝政、關白ナドノ母ノ尊稱。

△おほやみ　（……）（全平）接頭。〔大御—おほ（大）み（御）ノ義〕　スベテ物ゴトヲ尊ンデイフトキニ用ヰタ古言。—「おほみ歌」。—「おほみアカシ」。—「おほみ神」。—「おほみケ」。

△おほやまかし　（……）（……）名。〔……燈し〕　神佛ナドニ奉ル燈明ノ尊稱。—和名抄「於保

ほめかしく」。

●おほめかし（…）（第二オ）（第三上）名。 褒シ
クメカスコト。―ワルク身ヲ飾ルコト。

△おほめかス（…）他動、四段。 ホノメカス。
―諷スル。

△おほめク（第三上）自動、四段。 アキラカ
デ無イ。―ホノメグ。―ハッキリトシナイ。
―拾遺集「イカデカト思フ心ノアルトキ
ハおほめくサヘゾ嬉シカリケル」。

おほめつけ（…）（第二オ）（…）名。（大目附け）
徳川氏ノ時ノ官名。 モッパラ諸大名ノ監
督ヲスル目付ケ役。

おほもと（…）（第四上）名。（大本）
ゴトノ第一ノモト。―オホキ。―タイホン。

△おほもとゆひ（…）（第六イ）名。（…元結
ひ） もとゆひノ一種。 後世名もとゆ
ひト名付ケタモノ。色ドッテ赤白其他イ
ロイロ美クシクシタモノ。―イレモトユ
ヒ。―クシヤウモトユヒ。―コモトユヒ。

おほもん（…）（第一上）名。（…門） 第一
ノオモテモン。―正門。―オモテモン。

おほや（…）（…）名。（…屋） （一）おもやノ
一名。（二）△いへぬと第二解義ノ一名。―
サハイニン。

◎此第二解義ハ今オホカタ癈語トナル。

おほやう（…）（第二ヨ）（全平）根。（…様）
（一）オホカタ。―タイリャク。（二）オホマ
カ。

おほやかす （第二オ）（第四上）名。（…矢數）
射術ノ語。三十三間堂ノトホシ矢ノ數ノ
稱ヘ。―「おほやかす 淺岡五兵衛ハ五十七
トスデ」。☞とほしや參考。

おほやがら（…、第四ガ）（第三上）名。（…
幹） 草ノ名。 やがらノ一種。―ウキヤ
ガラ。

△おほよめ（…）（第一上）名。（大嫁―（頭婿））
兄ノツマノ一名。―アニヨメ。―和名抄「於
保與女」。

おほよもぎ（…、第五ギ）（第三上）名。（…
蓬） 草ノ名。よもぎノ一種。

おほらうか （第二オ、第三ロ）（…）名。（…廊
下） 昔シ徳川氏ノトキ江戸城中ニアツ
タさしきノ一ツ。 將軍ノ親族ニアタル大
名ガ遊ニ着席スル。即チ、尾張、紀伊、水戸
ノ三家及ビ其嫡子、加賀、越前、津山、上野、
矢田、吉井氏等。

△おほらか （第二オ）（第二上）名。（多らか）
（一）おほ（多）カラ轉ジタモノ。 タクサン。
―サッパリ。―「おほらかニ思ヒ
止マル」。

○おほらかス （全平）他動、四段。（…ら）（…す）
（おすハおそばかすナドノかす） おほ
らすト同ジ語。

△おほらかに （第二オ）（第二上）副。（多）らか
に） 前ノ副詞體。

○おほらス （第三上）他動、四段。（…ら）（…す）
（一）オボレサセル。 （二）オチコマセル。―
フケラセル。 （三）（第一解義カラ轉ジテ）
秘メテ損ジサセル。―萬葉集「シラ玉ヲ手
ニハマカズテ痛ニノミオケリシ人ヲ玉お
ほらする」。

○おほル （第二上）自動、下二。（…る） （一）ス
ベテ流動體ノ中ニオチイッテ浮カビ得ナ
クナル。 （二）スベテ流動體ノ中ニオチイ
ッテ其タメニ死ヌ。 （三）フカクハマリコ
ム。―フケル。―「酒ニおぼれテ浮キ世ヲ知
ラズ」。

おぼろうさう （第二オ、第五ソ）（全平）名。
（大瑠璃草） 草ノ名。るりさうノ一種。

△おぼれ （第三上）名。（老耄れ）（おい老ぼれ
（老）ノ略」 年ガヨッテボンヤリトナル
コト。

●おぼれ・させル （第五上）他動、二。（溺れさ
せる） おぼらすノ近體。

おぼれ・じに （第三上）名。（…死に） 流動
體ノ中ニオチテ死ヌコト。

●おぼれル （…）自動、二。（…る） 前ノ轉。
近體。

おぼろ （全平）根。（朧―朧）（おぼろ（根）
異體同種） ハッキリトセズ、アイマイ
デアルコト。―ボンヤリ。―ホンノリ。―ホ
ッスリ。―「おぼろノ人カゲ」。

おぼろ（…）名。（…） （一）海老ノ身ヲスッ
テ味ヲ付ケタモノ。（二）鰻ノ名ドコロ。極メテソトマハ
リニナッテ周圍ニ金ノ輪ナドハメラレテ
アル部分ノ稱ヘ。―和名抄「於保和」。

おぼろ（…）（第二オ）（全平）名。（大輪―（輞））
クルマノ輪ノ名ドコロ。極メテソトマハ
リニナッテ周圍ニ金ノ輪ナドハメラレテ
アル部分ノ稱ヘ。―和名抄「於保和」。

おぼろく（…）（第二オ）（全平）名。（…朧）
しかごノ一種。ころくノ變。昔シ六トイ
フむしかごノ名人ガ作リ出シタモノデ、
普通ニ鈴蟲ナドヲ入レル。其小形ナノヲ
ころくト云ヒ、大形ナノヲおぼろくトイ
フ。

○おぼろ・げ （第四ゲ）（…）根。（朧氣）
充分タシカデナクアルコト。―ボンヤリ。―拾遺集「逢フコト
フタシカ。―ボンヤリ。―拾
ハカタワレ月ノ雲ガクレ、おぼろげニ
ハ人ノ戀ヒシキ。（二）又、おぼろげならず
トイフ語ヲ略シテ云フ語。―「おぼろげニ
世ヲ去リテ」。

おぼろげ・に （…）（…）副。（…に） 前ノ副
詞體。

おぼろ・づき （第三上）名。（朧月） ボンヤ
リトシタ月。オモニ春ノ夜ノ月ナドニイ
フ。

おぼろ・づきよ （第五上）名。（…夜） オボ
ロ月ノアル夜。オモニ春ノ夜ナドニイフ。
所所雲ノ濃淡ナドアル場合ニイフ。―
オボロヅクヨ。

○おぼろ・づくよ （…）名。（…） 前ノ轉。

おぼろ・どうふ （第四上）名。（朧豆腐） と
うふノ一種。 椀ノ中デコリカタマラセタ
モノ。

おぼろ・に （全平）副。（…に） おぼろ（根）
ノ副詞體。

○おぼろ・ぶね （第四上）名。（…船） 朽チ果
テタ船。ツナギステナドシテ水ナドガ侵
シ入ッタモノ。―ステヲブネ。―「浪花ガタ
葦間ノ月ノおぼろぶね、カスミテ見ユル
春ノアケボノ」。

おぼろ（…）（第二オ）（全平）名。（大輪―（輞））
クルマノ輪ノ名ドコロ。極メテソトマハ
リニナッテ周圍ニ金ノ輪ナドハメラレテ
アル部分ノ稱ヘ。―和名抄「於保和」。

おぼろ・わきざし （…）（第二オ）（全平）名。（…脇差し）
わきざしノ一種。 ナミナミノ脇差ショリ
ソクリヲ大ガタニシタモノ。―西鶴、若風
俗「ヌキザメノおぼわきざし、素足ニワラ
ザウリ履キテ」。

△おぼわた （…）（全平）名。（…曲）（おぼ（大）わ
た（曲）ノ義） いりえノ一名。

おぼわた （…）（…）名。（…綿） 蟲ノ名。
キハメテ小サナモノ。ぶゆニ似テ身ニ一
種ノ白イ綿ノヤウナモノヲ負フ。秋ノス
ニ飛ブ。

おぼわらは （…、第五ワ）（第三上）名。（…
童） 髪ガトケテ甚ダシク亂レタノヲ
形容シテイフ語。―ランパツ。―ミダレガ

おほやけ （第二オ）（全平）根。（公）（おほ（大）
やけ（屋）ノ義） 表ダッタコト。―ヒソカ
デ無イコト。

○おほやけ （…）（…）名。（…） （一）朝廷又ハ
政府ノ一名。―源氏「おほやけノカタメト
ナリテアメガシタヲ助クルカタニテ見レ
バ」。（二）轉ジテ天子ノ一名。―源氏「おほ
やけゴト（…、第五コ）第四上）名。（…
事） 禁中ノ政治、節會ナドスベテ重ダ
ッタコトノ總名。―クジ。

○おほやけざた （第二オ）（全平）名。（…沙汰）
オモダッタコト。―政府ノ手ヲワヅラハ
スコト。―オモテザタ。

○おほやけばら （…）（第四上）名。（…腹）
ウハベニアラハシテ腹ヲ立ツコト。

○おほやけびと （…）（…）名。（…人） オホ
ヤケ（第一解義）ニ使ヘル人。―タクワンジン。―オホミヤヒ
ト。―ヤクニン。

おほやしま （…）（第三上）名。（大日本國ノ一名。即チおほやまととよあ
きつしまガ一ツ、四國ガ一ツ、隱岐、佐渡、
淡路、筑紫、壹岐、對馬ガ各一ツヅツ、併セ
テ八ツノ嶋嶋。

△おほやすみどの （…）（全平）名。（大殿―（寢））
昔シノ御殿ノ名。だいどころノ一種。 やす
ノ。

おほやま・かたばみ （…）（…）名。（…）
酢漿） 草ノ名。かたばみノ一種。

おほやま・はこべ （…）（…）名。（…）
草ノ名。はこべノ一種。

おほやま・ふすま （…）（第六上）名。（…襖）
草ノ名。せきちくノ屬。

おほやま・りんだう （…、第七ド）（第五上）
名。（…龍膽） 草ノ名。 りんだうノ一
種。

おほやま・れんげ （第二オ、第七ゲ）（…）名。
（…蓮華―（天女花）） 水ノ名。もくれん
ノ一種。

○おぼユ （第二上）他動、下二。（覺ゆ） （一）
自身ノ心ニオモハレル。―新古今集「吹ク
風ニハナタチバナヤ香フラン、ムカシ
おぼゆるケフノ庵カナ」。―「思ヒヤレ、何ヲ忍
ブト無ケレドモ、昔シおぼゆるアリケノ
月」。（二）心ニトメル。―記憶スル。―心ニワ
スレヌ。

○おぼゆび （…）（全平）名。（大指―（拇）） 今
イフおやゆび。手足ノ指ノ中ノ一番フト
イモノ。―オヤユビ。―オホオヨビ。

おぼゆみ （…）（…）名。（…弓―（弩）） 甚
ダ大キナ弓ノ名。並ノ弓ト造リガチガフ。
ハシキニヨッテ射ル仕掛ケデ、丁度矢ヲ
ツガヘタヤウナ形デ、中ニ滯ノアル水ヲ
張リ、其水ノミヅノ中ニ矢ヲ入レ、手ヲヒ
ノクルハヌヤウニシテ發スルモノ。―ド
キユウ。―和名抄「於保由美」。

おぼよそ （…）（…）副。（…凡―凡）） アラ
マシ。―タイテイ。―タイガイ。―タイリヤ
ク。―タイヨウ。―後撰集「絶エ
ヌルト見レバアリヌル白雲ノイトおぼよ
そニ思ハズモガナ」。

○おぼよそびと （…）（第四上）名。（…人）
世上ノ普通ノ人。―アタリマヘノ人。―ボ
ンニン。

○おぼよそのつ （…）（第三上）枕。（大淀のつ（津）、たのむ、おぼせ、ナドニカカル枕詞。

ミ。—近松『釋迦如來誕生會』「吉祥女モおほわらはニナッテ戰ヒ」。

++おほわらひ　（第二オ、第五イ）（第三上）名。盛ヲタカクシテ笑フコト。

〔大笑ひ〕　（……）名。（……）　甚ダシク世ニアザミ笑ハレルコト。—モノワラヒ。—「世ノおほわらひトナル」。

おほゐ　（……）（第一上）名。（大鬨）　草ノ名ふとぬト同ジモノ。

△おほゐぐさ　（……、第四グ）（第三上）名。（……草）　今イフおぐさト同ジモノ。　古言。—清輔、「カハチドリ啼クヤ河邊ノおほゐぐさ霜ウヂオホヒ、ヒトヨ寢サセヨ」。

おほゐもり　（第二オ）（……）名。（大蠟蠋）　蟲ノ名。やもりノ類ヒ。形チハやもりニ能ク似、腦ノ上カラ背ニ掛ケテ肉ノトゲノヤウナモノガアリ、頸ハ長ク足モ長ク、身ハ青ク、大キイノハ一尺バカリニモ育ツ。尾ハ殆ンド身ト同ク、劇毒ガアッテ咬マレレバ容易ニナホラヌ。頸ハ時間ニ因ッテ色ヲ變ヘ、或ヒハ赤ク、或ヒハ紫ニ、或ヒハ茶ニナルトイフ所カラ支那デハ異名十二時蟲トモイフ。實際ハ樺ト青ト、赤ト黃トノ四色ニ變ハルヨリホカ變化シナイ。

おほゑんじゆ　（……、第五六合）（……）名。（……槐）木ノ名。いぬゑんじゆノ一名。

△おほを　（……）（第一上）名。（……緒）　鷹ノ足ニックル紐ノ稱ヘ。—和名抄、「犢鼻（おほを大）を答ノ類」　大キナをか（丘）ノ古言。

おほをしどり　（……）（第四上）名。（大鴛鴦）（紫鴛鴦）　鳥ノ名。をしどりノ一種。をしどりヨリハ大キク紫色ノモノトイフ。

おほをそどり　（……）（……）名。　鳥ノ名。おほをそどりト同ジモノ。

おほをとこ　（……）（第三上）名。（大男）　ガラノ大キナ男。—「おほをとこ總身ニ智惠ガマハリカネ」。

△おほをば　（……）（……）名。（……）　（第一上）名。（……小母）（從祖母）ノ義」　祖父母ノ姉マタハ姉。—ジュウソボ。

おほをんな　（……）（第三上）名。（……女）　ガラノ大キナ女。

△おほん　（第二オ）（第二上）接頭。（大御）　人ノ居ルマヘ、或ヒハ其人ノ居ル所ナドノ敬語。—ゴゼン。—源氏「アナガチニおほんダカラ」。

●おほん　（……）感。（自目）　バラヒノ聲。えへんヨリハ少シ澁マシテイフ時ノ聲。—「其席ヲおほんデウメル半可通」。

△おほんそ　（第二オ）（……）名。（……）　上其他スベテダフトイ日本紀『繙衣訓』オホンソ」。

△おほんへ　（……）（……）名。（おほん大）ニ（へ、賛）ソ音便。　（おほんへ）ト同ジモノ。

△おまし　（……）名。（御座し）（おます）ノ轉　主上ナドノオマスベキ所—枕ノ草紙、「日ノおましノ方ニオモノマ非ル足オトタカシ」。

△おましまス　（第四上）他動。（……坐す）　おはしますト同ジモノ。

△おまス　（第二上）自動四段。（……坐す）　古言。あり、ゐるナドノ敬語。

▲おまス　（第一上）自動。（……）　前ト同ジ語。今オモニ京坂ノ方言トナル。—手柄岡持、後者昔物語、「おまんずしハ賓層ノコロヨリト覺ユ、京橋、中橋、阿滿ガベニトイフヤウニ、居所ノ地ニヨリテおまんずしトイヒタルナルベシ」。

▲おまんま　（……）名。（「まんまハ飯ノ延」）　主ニ關東デ子供ナドガイフ語。めしノ一名。

△おまんまおくれ　（第五上）名。（「おまんまヲおくれ（御呉レ）ト口ニイフ處カラ付イタ名」）　東京ノ俚語。とじきノ一名。

おみ　（第一上）名。（臣）（おほ大）み（身）ノ畧」（一）△スベテ君ニツカヘル人。—シンカ。—ケライ。—シン。（二）又、かばねノ名。上古ハ上等ナ格式デおほおみニコレカラ撰ベル。後世第六等トナル。（かばね參考。）

△おみ　（……）名。（使主）　上古ノかばねノ名。（かばね參考。）

△おみ　（金平）代。（御身）　おんみト同ジ語。オモニ男子ニ對シテイフ。—三世相錦繡文章、「イヤイヤ百兩ト取リキメタ上ハ是非トモ此金ハおみノフトコロへ」。

おみ　（……）接頭。（大御）　おほみ（大御）ノ畧。—「おみヌ」。—「おみオヒ」。

△おみな　（第三上）名。（老女）（おい（老）な（女）ノ義」　ちうおよト同ジモノ。

△おみの・こ　（第一上）名。（臣の子）　タダノおみ（第一解義）ト同ジモノ。

△おみやう・じ　（第三ヨ、第二、三合）（第二、三上）名。　おんやうじ（陰陽師）ノ音ヲ讀ミツヅケタモノ。

▲おみやうにち　（……）（……）名。（御明日）　陸前ノ國細倉邊ノ方言。明日ノ敬語。—「マタおみやうにち參リマス」。

▲おみル　（金平）自動。一「神酒ヲおみきトイフ所カラ無理ニ轉ジテモノ」。（一）フルマヒ酒、又ハ祝ヒ酒ニ酔フ。（二）スマテ、酒ニ酔フ。—「おみつたツラデ千鳥足」。

◎此語ハオモニ東京ノ花柳社會ニノミ用非ル。

○おみ　（第一上）自動。下二。（應む）　オソレル。—オクスル。—ビクビクスル。—「おめズ、オクセズ、ソトヨリテ」。

△おむがし　（第三ガ）（第三上）形。　ヨロコブ。—クレシク思フ。

▲おむず　（第二上）名。（御娘）（お（御）むすめ（娘）ノ畧」　（一）人ノ娘ヲ敬シテイフ語。（二）（轉ジテ）スベテ若イ女ヲ指シテイフ語。オモニ眞面目デナク、多少狎レフザケタ意味デツカフ俚語。近松、博多小女郎浪枕、「おむずガ着ルモノニ有リ合ハセタ紬子三本、縮子五本」。　西京ノ方言。おしめ（襁褓）ノ略」

▲おむら　（……）名。　德川時代ノ奥女中ナド名。—新井白蛾、牛馬問、「おむらトモ、赤ムラサキトモイフコトハ昔シ紫式部之ヲ食ヒケルニ、夫ノ右衛門佐宣孝ホカヨリ歸リ之ヲ見テ、イヤシキモノヲ食ヒ侍リシト笑ヒケルニ、式部取リアヘズ『日ノ本ニハヤラセタマフイハシミヅ雨ノメトシテ非ル姿ナドヲ形容シテイフ語。』ト讀ミケレバ、右衛門佐ハヅカシガリ、夫ヨリ此名ハジマル」。

△おめ　（……）副。（……と）　前ト同ジ語。

△おめ・がはり　（（第三ガ、第四ソ））（……）名。（おめ（面）ノ轉」　昔シノアヅマコトバ。

おもがはりノ訛リ。

おめくり　（（第三ク））（第二上）名。（御回り）　（一）昔ノ禁裏デ云ッタ語。至尊ノ方ノ方ニ奉ル御菜。（二）▲今主ニ京坂ノ方言。飯ノオカズ。—オマハリ。（三）++又、犬ノ玉子ヤキ。—オムレット。

◎コレヲ金平ノ調子ニイフノハ轉訛ノアマリ甚シイモノ。ナルベクハ原音ニ近イ第一上ノ方ガ宜シイ。次ギノおむれつとモ同樣。

おむれつと　（第四遍）（……）名。　前ト同ジモノ。

おむろ・やき　（金平）名。（……燒き）　やきものノ一種。京都御室カラ出ルモノ。

△おめ・あし　（……）名。（……）（面）あし（足）ノ義」　病氣ノ名。足ガ腫レルモノ。脚氣ノタグヒ。—和名抄、「甕於賓阿志。此間云古比、又云臭濕地其人多甕」。

おめい・かう　（（第四コ））（……）名。（御影講）（おみ（天御）えい（影）く（供）ノ訛リ」　（一）みえいくト同ジモノ。—新井白蛾、「女中ノ言葉ニ鰯ヲおめいくトモイフコトハ昔シ紫式部之ヲ食ヒケルニ、夫ノ右衛門佐宣孝ホカヨリ歸リ之ヲ食ヒ侍リシト笑ヒケルニ、式部取リアヘズ『日ノ本ニハヤラセタマフイハシミヅ雨ノメトシテ非ル姿ナドヲ形容シテイフ語。』ト讀ミケレバ、右衛門佐ハヅカシガリ、夫ヨリ此名ハジマル」。

△おめ・がはり　（（第三ガ、第四ソ））（……）名。（おめ（面）ノ轉」　昔シノアヅマコトバ。

おもがはりノ訛リ。

おめくり　（（第三ク））（第二上）名。（御回り）　（一）昔ノ禁裏デ云ッタ語。至尊ノ方ノ方ニ奉ル御菜。（二）▲今主ニ京坂ノ方言。飯ノオカズ。—オマハリ。（三）++又、犬ノ

ナル。…セキダムシ＝ワラヂムシ。―和名抄「蛔蟲、一名蛔蟘和名於女無之」。

●おめし（…名。「…召し」）〔おハ敬語。めしハ體ノ名。〕（一）人ノ着物ノ尊稱。

●おめし（…名。「…召し」）〔おハ敬語。めしハ體ノ名。〕（一）人ノ着物ノ尊稱。

△おも（第一上）名。〔阿母〕　古言。母ト同ジ語。

◎世界ノ言語ニアル普通ノ特質トシテ世界各國何レニモまみ、む、め、もノ五音ノ中ヲ以テハはトイフ發音ノ現スノガ極メテ多數デ、之ニ漏レル例外ハマコトニ少ナイ。コトニありやん人種ニ至ッテハ非然トヨクいくデモ、らてんデモ、じやあまんデモ、すらばにつくデモ、げるちつくデモ何レモ皆同ジ體ヲナスコト、即チ、さんすくりつとデまあたらてんデまあてる、古代ノはんがりやデむかたまあてる、今ノ英デまさる、今ノ日耳曼デむつてるトイフヤウナ類、更ニ轉シテ東洋ノ各種族ニ至ッテモ同ジク不思議ニ此ノ發音ノ束縛ヲハ免レル事ガ爲ラレヌ。「支那デハ母音（むう）」琉球デハ「おも（…）名。（面）」

△おも（…）名。（面）　古言。

おもがた（…）名。（面形）　古言。顔ノカタチ。―カホツキ。

おもかぢ（第三上）名。（重舵）　（一）舟ヲ動カストキニイフ語。（二）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクロアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもがた（…）（全平）名。（面形）　古言。顔ノカタチ。―カホツキ。

おもかぢ（第三上）名。（重舵）　（一）舟ヲ動カストキニイフ語。（二）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノ動カストキニイフ語。（一）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人

おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人

△おもじ（第二上）形。（重じ）〔おも（重）ヲ働カセタルノ意。〕（一）オモアルシクアル。―「おもおもしイ」。

おもし（…）形。（…し）〔昔シ天照皇大神ノ近體。

おもしろイ（第四上）形。（面白い）　おもしろしニ對シテ、洒落カラ出テタトキ、始メテおもしろいト同義。東京ノ俚語。

おもしろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモシロアル度合ヒ。

おもたし（第二上）名。（面重し）〔おも（面）たか（高）ノ轉ジテ、顔ガ高クアル意ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　氷草ノ名。葉ハ能クくわセタルマデ遊ビヲヂシタマフナル。

おもたし（…）名。（…し）　おもたしノ近體。

おもだか（…）名。（澤瀉）〔おも（面）たか（高）ノ轉。即チ葉ノ表ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　水草ノ名。葉ハ能クくわセ小サク、夏ノ始メ根ヲ出ネニ似、稍痩セテ小サク、夏ノ始メ根ヲ出シ、後チ三瓣ノ白イ花ガ咲ク。根ニ出來ル

ノ名。おもはりト同ジモノ。（四ケ又子供ナド鞠ヲモテアソブ時ニイフ語。鞠ガハヅンデ地ニ下ニ戻ルマデノアヒダ一ト又ビ或ハ二タ度身ヲマハシテヤガテ其漸ク戻ッテ來タ鞠ヲツクコト。

●おめし（…名。「…召し」）〔おハ敬語。めしハ體ノ名。〕（一）人ノ着物ノ尊稱。

（二）又、おめしちりめん（第四上）名。（…縮緬）〔昔シ公方ガ召サレルモノトノ義デツケタモノ。スベテ上等ナちりめんノ稱ヘ。

おめしなんど（…）根。（…納戸）　染メ色ノ一ツ。おめしちりめんニおなんど色ヲ掛ケタ一種ノモノ。―奥女中袖餝、「御使ヒ罷、オナカ井、夏冬トモ染メ色おめしなんど一ト品ノコト」。

●おめにかかる（第五上）自動、一（御目に掛かる）　人ニ逢フ敬語。―アヒタテマツル。―エッスル。

●おめにかける（…）他動、二（…ける）　人ニ見セルノ敬語。―見セタテマツル。

△おめむし（第二上）名。（…蟲）〔おめ（…むし（蟲）ノ義〕　蟲ノ名。今ノわらぢむしノ古言。夏カラ秋ニカケテジメジメシタ所ノ塵ノ中ナドニ出來ルモノ。形チハイビツナリデ扁ク、大キイノハ五六分ニ至ル。甲ハ有ッテモ飛ブコトハ出來ズ、少シ臭氣ガ有ル。脊ノ中ハ蒜ノヤウニ高ク、横ニ一種ノ縞ガアリ、足ハ多ク、尾ハ二本。總身ハウス黒ニ薄ガキノカカッタ色デ、更ニ人ノ害ヲナサズ、極メテオトナシク、常ニオヂオヂトシテ居ルタメニおめむしト云フ名モック。支那ノ昔ノ說デハ此蟲ハ申ノ日ニナレバ往來ヲトホルトイフ。藥トスレバ、打チ身ノ妙藥トナル。…セキダムシ＝ワラヂムシ。―和名抄「蛔蟘、一名蛔蟘和名於女無之」。

●おめる（…）自動、二（…ける）　見セルノ敬語。―見セタテマツル。

△おめむし（第二上）名。（…蟲）〔おめ（…むし（蟲）ノ義〕　蟲ノ名。今ノわらぢむしノ古言。夏カラ秋ニカケテジメジメシタ所ノ塵ノ中ナドニ出來ルモノ。形チハイビツナリデ扁ク、大キイノハ五六分ニ至ル。甲ハ有ッテモ飛ブコトハ出來ズ、少シ臭氣ガ有ル。脊ノ中ハ蒜ノヤウニ高ク、横ニ一種ノ縞ガアリ、足ハ多ク、尾ハ二本。總身ハウス黒ニ薄ガキノカカッタ色デ、更ニ人ノ害ヲナサズ、極メテオトナシク、常ニオヂオヂトシテ居ルタメニおめむしト云フ名モック。支那ノ昔ノ說デハ此蟲ハ申ノ日ニナレバ往來ヲトホルトイフ。藥トスレバ、打チ身ノ妙藥トナル。

ナル。…セキダムシ＝ワラヂムシ。―和名抄「蛔蟘、一名蛔蟘和名於女無之」。

●おめし（…名。「…召し」）〔おハ敬語。めしハ體ノ名。〕（一）人ノ着物ノ尊稱。

（二）又、おめしちりめん（第四上）名。（…縮緬）〔昔シ公方ガ召サレルモノトノ義デツケタモノ。スベテ上等ナちりめんノ稱ヘ。

おめしなんど（…）根。（…納戸）　染メ色ノ一ツ。おめしちりめんニおなんど色ヲ掛ケタ一種ノモノ。―奥女中袖餝、「御使ヒ罷、オナカ井、夏冬トモ染メ色おめしなんど一ト品ノコト」。

●おめにかかる（第五上）自動、一（御目に掛かる）　人ニ逢フ敬語。―アヒタテマツル。―エッスル。

●おめにかける（…）他動、二（…ける）　人ニ見セルノ敬語。―見セタテマツル。

△おめむし（第二上）名。（…蟲）〔おめ（…むし（蟲）ノ義〕　蟲ノ名。今ノわらぢむしノ古言。夏カラ秋ニカケテジメジメシタ所ノ塵ノ中ナドニ出來ルモノ。形チハイビツナリデ扁ク、大キイノハ五六分ニ至ル。甲ハ有ッテモ飛ブコトハ出來ズ、少シ臭氣ガ有ル。脊ノ中ハ蒜ノヤウニ高ク、横ニ一種ノ縞ガアリ、足ハ多ク、尾ハ二本。總身ハウス黒ニ薄ガキノカカッタ色デ、更ニ人ノ害ヲナサズ、極メテオトナシク、常ニオヂオヂトシテ居ルタメニおめむしト云フ名モック。支那ノ昔ノ說デハ此蟲ハ申ノ日ニナレバ往來ヲトホルトイフ。藥トスレバ、打チ身ノ妙藥トナル。

△おもかげ（（第四ケ）（…）名。（面影）〔おも（面）かげ（影）ノ義〕　（一）オモザシ。―カホツキ。―ガンショク。（二）轉ジテ、標子。―カタチ。―スガタ。―小町「おもかげノカハラデ年ノツモレカシ、タトヒ命ニカギリアリトモ」。―萬葉集、家持「タカマドノ野邊ノカホバナおもかげニ見エツツイモガ忘レカ子ツル」。

△おもかし（（第二カ）（…）形。　おむがしト

（三四七）

問ジ時。

△おもがた（（…）（全平）名。（面形）　古言。顔ノカタチ。―カホツキ。

おもかぢ（第三上）名。（重舵）　（一）舟ヲ動カストキニイフ語。（二）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人

△おもじ（第二上）形。（重じ）〔おも（重）ヲ働カセタルノ意。〕（一）オモアルシクアル。―「おもおもしイ」。

おもし（…）形。（…し）〔昔シ天照皇大神ノ近體。

おもしろイ（第四上）形。（面白い）　おもしろしニ對シテ、洒落カラ出テタトキ、始メテおもしろいト同義。東京ノ俚語。

おもしろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモシロアル度合ヒ。

おもたし（第二上）名。（面重し）〔おも（面）たか（高）ノ轉ジテ、顔ガ高クアル意ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　氷草ノ名。葉ハ能クくわセタルマデ遊ビヲヂシタマフナル。

おもたし（…）名。（…し）　おもたしノ近體。

おもだか（…）名。（澤瀉）〔おも（面）たか（高）ノ轉。即チ葉ノ表ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　水草ノ名。葉ハ能クくわセ小サク、夏ノ始メ根ヲ出ネニ似、稍痩セテ小サク、夏ノ始メ根ヲ出シ、後チ三瓣ノ白イ花ガ咲ク。根ニ出來ル

おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノ動カストキニイフ語。（一）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノ動カストキニイフ語。（一）舟ヲ右ヘ向ケルトキノ舵ノ取リカタ（とりかぢノ對）。

（二）轉ジテ舟ノ名ドコロ。右ノふなばたノ稱ヘ（とりかぢノ對）。

++おもがはり（第三カ、第四ワ）（…）名。（面變はり）　スベテおもざしノカハルコト。―河東節、狂女草枕、「櫛セヌ髪ノカタヨリニ、ヨリモ逢ハヌ親ト子トおもがはりセバイカナラン」。

++△おもざらひ（第三キ、第五イ）（…）名。（…嫌ひ）　人ノオモテヲ見テ其オモテニヨッテ嫌フコト。今云フひとみしりノ類ヒ。―夫木集、知家「世ノ中ハイハケナキ子ノおもざらひ、ミシガナキニゾ音ゾ泣カレケル」。

▲おもくろイ（第四上）形。（…黒い）〔おもしろしニ對シテ、洒落カラ起コッタ語。〕おもしろいト同義。東京ノ俚語。

▲おもくろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

○おもげ（（第三ケ、全平）根。（重氣）げハうつくしげナドノげ）　オモクアルシクアルコト。―「おもげニ見ユル花ノツユ」。

おもさ（…）名。（…さ）　オモクアル度合ヒ。

おもざし（第二上）名。（面差し）〔ざしハえだざしナドノざし〕　顔ダチノヤウス。―カホダチ。―「ドコヤラ親トおもざしノ似タ子」。

●おもさま（…）副。（思樣）　おもふさまノ略。

△おもし（全平）名。（重し）　（一）スベテ物ヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人ノオモヲ制シツケルタメノモノ。―オシ。（二）人

△おもじ（第二上）形。（重じ）〔おも（重）ヲ働カセタルノ意。〕（一）オモアルシクアル。―「おもおもしイ」。

おもし（…）形。（…し）〔昔シ天照皇大神ノ近體。

おもしろイ（第四上）形。（面白い）　おもしろしニ對シテ、洒落カラ出テタトキ、始メテおもしろいト同義。東京ノ俚語。

おもしろ・さ（第三上）名。（…さ）　オモシロアル度合ヒ。

おもたし（第二上）名。（面重し）〔おも（面）たか（高）ノ轉ジテ、顔ガ高クアル意ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　氷草ノ名。葉ハ能クくわセタルマデ遊ビヲヂシタマフナル。

おもたし（…）名。（…し）　おもたしノ近體。

おもだか（…）名。（澤瀉）〔おも（面）たか（高）ノ轉。即チ葉ノ表ニ模樣ノヤウナ物ガ高クアル故ノ名〕　水草ノ名。葉ハ能クくわセ小サク、夏ノ始メ根ヲ出ネニ似、稍痩セテ小サク、夏ノ始メ根ヲ出シ、後チ三瓣ノ白イ花ガ咲ク。根ニ出來ル

〔お(御)もてあそび(玩弄)ノ轉〕　子供ガモテアソブベキモノ。—テアソビ。—モテアソビ。—モチアソビ。—アソビモノ。—グワンラウブツ。

おもちやや　(〔第三(四合)〕)〔全平〕名。〔……屋〕　おもちやヲ賣ル家。

△おもづら　(……名。〔龜頭〕)〔おも(面)つら(列)ノ義〕　おもがいノ古言。—和名抄、「龜頭、於毛賀比」。

○おもて　(〔第三上〕)名。(〔面〕)〔おも(面)て(手)ノ義〕　(一)顔。—オモ。—ツラ。—枕ノ草紙、「ナドサハ聽セシニカ？　スベテおもてサヘ赤ミテゾ思ヒ亂ルルヤ？」　(二)おもてがたノ畧。

◎おもてもふらず。—(ワキ見モシナイ)。

◎おもてヲおこす。—(面目ヲホドコス。—メイヨニナル)。　◎おもてヲかす。—(其人ノ面前ニ於テ事ヲ行フ。主ニ諫メルナドノトキニイフ)。

おもて　(……名。(〔表〕)(〔前ノ語カラ轉ジテ〕)　(一)スベテ、アラハデアル所。—外面。—ソト。—ソトガハ。—ウハベ。—ソトツラ。—ヘウメン(うらノ對)。—萬葉集、「アラ山ノコノテガシハノフタおもて、兎ニモ角ニモサテアケ人カナ」。　(二)(轉ジテ家ノ中デ客ナド引キウケル所ノ稱ヘ(奥ノ對)。—「おもてヒロマ」。　(三)オホヤケ。—オモテムキ。　(四)ヒいふところト云フ義ヲシメシテ、地名ノ下ニツヅク語。—「京都おもて」。—「江戸おもて」。　(五)▲光線後ノ隱語。婦人ノ一名(オモニ色情ニ關シタ場合ヒニイフ)。—西鶴、一代女、「アルジ興サメテ返事モナシ。スコシ笑ミテおもてノキラニハ無キモノト」。

おもて　(全平)名。(〔重傷〕)　オモイ傷。—フカデ。—ジユウシヤウ。

++△おもて・おこし　(第四上)名。(〔面起こし〕)　名譽ニナルコト。

△おもてがた　(〔第四ガ〕)(〔第三上〕)名。(……形)　古言。メンガタ。—メン。

++おもて・がへ　(……。〔第五エ〕)……名。(表換へ)　疊ノオモテヲ取リ換ヘルコト。

おもて・ぐち　(〔第四グ〕)(……)名。(……口)　オモテ(表、第一解義)ニアタル出入リノ口。—西鶴、「若風俗、今ノ都室町通リニおもてぐちモサノミ廣カラヌ家造リヲ」。

おもてざた　(第五上)名。(……沙汰)　オホヤケザタ。

△おもて・だうぐ　(〔第四ド〕、〔第六グ〕)(第四上)名。(〔面道具〕)　鼻、口、目、眉ナド、スベテ顔イッサイニ附屬スベキモノノ稱ヘ。今單ニだうぐトノミイフ。—西鶴、一代女、「年ハ十五ヨリ十八マデ。當世顔ハ少シ丸ク、色ハ薄ハナザクラニシテ、四ツ不足ナク揃ヘテ」。

おもて・だツ　(……)自動、四段。(表立つ)　ホヤケ沙汰ニナル。

おもて・ちやうもと　(〔第五ヨ〕、〔第六グ〕)(第四上)名。(……帳元)　芝居ノ表口ニ居テ帳場ヲ預カル人ノ稱ヘ。—戲場新話、「ヲテヅクリノ作者、樂屋頭取、おもてちやうもと」。

おもて・どほり　(〔第五オ〕)(……)名。(……通り)　(一)表ニナッタ往來。(二)スベテ、オモテ向キノ對。—近松、吉野都女楠、「おもてもんノ酒クササ、鼻ガモゲテイニマスル」。

おもて・やぐら　(〔第五グ〕)(第四上)名。(……櫓)　舊幕ノ末、深川仲町ニアッタ女郎屋ノ一種。裏ニ子供屋ヲオキ、家ヲバオモテニカマヘタモノ(うらやぐらノ對)—寛天見聞記、「おもてやぐら、ウラヤグラ、裏ツギトモニ價ヒ壹一歩二朱、夜一歩」。

おもと　(全平)名。(〔萬年青〕)　草ノ名。葉ハ根カラ群ッテ出、厚クカタク、綠フカク、斑ノ入ッタノモアリ、四時常ニ同ジ色ヲ現シ、夏ノコロ玉子イロノ花ヲ付ケ、ヤガテ赤クテほほづきニ似タウルハシイ實ガアマタ群ラガリ生ル。舊幕ノスエカラ主ニ盆栽トシテキハメテ能ク行ハレ、非常ナ高價ヲ以テ賣買スルコトトナル。イロイロ種類ハ多イ。

△おもと　(第二上)名。(御許)　昔シノ敬語。御座アル邊トノ義。後世ノごんトオナジモノ。

△おもと　(……代。(……))　昔シノ語。對稱ニツカフ。親ンデ云フ場合ヒニ用ヰル。—オコト。—オンミ(オモニ婦人ニイフ)。—枕ノ草紙、「女房ノツボネナル人ヲサヘアノおもと君ナド云ヘヤメヅラカニウレシト思ヒテ、喚ムルコトヅイミジキ」。

△おもと・びと　(〔第三上〕)名。(〔侍從〕)(〔お(御)もと(許)びと(人)ノ義〕　(一)スベテ貴人ノソバ近ク仕フマツル人。—オンバ。—オモトマチギミ。　(二)ジシユウ。

△おもと・おもちぎみ　(〔第六ギ〕)(第五上)名。(……)　前トオナジ語。

△おもな　(第一上、又第三上)形。(〔面無〕)　おもなしノ略。—「サナガラおもなノ有リ樣ニテタヨタヨト出デテ」。

おもなが　(〔第四ガ〕)(第一上)複。(……長)　顔ナドノ稍長ミノアルコト(おもぶくらノ對)。

△おもなさ　(……名。(……無さ))　オモナクアル度合ヒ。

△おもなし　(……形。(……し))　人ニアハセルベキオモテモ無イ。—ハヅカシイ。—面目ナイ。—オモハユシ。

△おもなる　(〔第三上〕)自動、下二。(〔面馴る〕)　見ナレル。—新古今集、長家、年ヲ經テスムベキヤドノ池水ハ星アヒノ影モおもなれニケリ」。—同、六條左大臣、「朝ゴトノ鏡ノカゲニおもなれテ雪見ニトシモイソガレヌカナ」。

おもに　(全平)名。(重荷)　目カタノツヨイ荷。—負擔ノ出來ニクイモノ。

◎おもにに小づく。—(イトド荷ノアル上ニ又更ニ他ノ荷ノ添ハルコト。一旦有ルモノヲ控ヘテ更ニ其上ニ二重ノモノガ附ケ加ハル場合ヒニイフ)。

おもに　(第一上)副。(重に(主)に)　モッパラ。—主トシテ。—ソレノミ。

○おもねル　(〔第三上〕)自動、四段。(〔面ねル〕)　へツラフ。—オモネル。—ツヰショウスル。

△おもの　(全平)名。(御物)　主上ナドノスベテ御。—枕ノ草紙、「御おもの」。

おもの・がな　(……名。(……棚))　御膳ノタナ。

おもはく　(〔第三ワ〕)(第二上)名。(思はく)(〔おもふ(思)ノ延〕)　カンガヘ。—ショウアン。—思フトコロ。

○おもはし　(……)(……)形。(思はし)(〔おもふ(思)ノ延〕)　(一)スベテ思フベクアル。　(二)(轉ジテ)好イヤウニ思ハレル。—西鶴、「一代女、おもはしカラヌ河内津ノ國里ザトヲメグリ」。

●おもはしイ　(……)(第四上)形。(……い)　前ノ近體。

おもはし・さ　(第三上)名。(……さ)　クアル度合ヒ。

●おもはせ・ぶり　(……)(第六上)名。(思はせ振り)　サウアリサウニ思ハセテサウナクアルコト(惡意ハ含マズニ)。—「おもはせぶりナ時鳥」。—三升屋二三治、夜番、「おもはせ心ヲ酌メトシラセン」。

○おもひ・いだス　(……)(第二上。及、第五上)他動、四段。(……出だす)　おもひうづトオナジ語。

草紙、「女房ノツボネナル人ヲサヘアノおもと君ナド云ヘヤメヅラカニウレシト思ヒテ、喚ムルコトヅイミジキ」。

△おもと・びと　(〔第三上〕)名。(〔侍從〕)(〔お(御)もと(許)びと(人)ノ義〕　(一)スベテ貴人ノソバ近ク仕フマツル人。—オンバ。—オモトマチギミ。　(二)ジシユウ。

△おもと・おもちぎみ　(〔第六ギ〕)(第五上)名。(……)　前トオナジ語。

△おもな　(第一上、又第三上)形。(〔面無〕)　おもなしノ略。—「サナガラおもなノ有リ樣ニテタヨタヨト出デテ」。

おもなが　(〔第四ガ〕)(第一上)複。(……長)　顔ナドノ稍長ミノアルコト(おもぶくらノ對)。

△おもなさ　(……名。(……無さ))　オモナクアル度合ヒ。

△おもなし　(……形。(……し))　人ニアハセルベキオモテモ無イ。—ハヅカシイ。—面目ナイ。—オモハユシ。

△おもなる　(〔第三上〕)自動、下二。(〔面馴る〕)　見ナレル。—新古今集、長家、年ヲ經テスムベキヤドノ池水ハ星アヒノ影モおもなれニケリ」。—同、六條左大臣、「朝ゴトノ鏡ノカゲニおもなれテ雪見ニトシモイソガレヌカナ」。

おもに　(全平)名。(重荷)　目カタノツヨイ荷。—負擔ノ出來ニクイモノ。

◎おもにに小づく。—(イトド荷ノアル上ニ又更ニ他ノ荷ノ添ハルコト。一旦有ルモノヲ控ヘテ更ニ其上ニ二重ノモノガ附ケ加ハル場合ヒニイフ)。

おもに　(第一上)副。(重に(主)に)　モッパラ。—主トシテ。—ソレノミ。

○おもねル　(〔第三上〕)自動、四段。(〔面ねル〕)　思ヒコム。—思ヒ入ル。

○おもはゆ・さ　(……名。(〔面覩さ〕))　オモハユク(覩)ノ義。　ハヂカガヤカシイ。—面目ナイ。—オモテブセデアル。—ハヅカシイ。

おもひ　(〔第三ノ〕)(第二上)名。(〔思ヒ(戀)ノ義〕)　(一)思フコト。—カンガヘ。—ショウアン。—アンジヨリ。—カンジヤウ。　(二)感ジ。—「イタイおもひ」。　(三)スキヤウ。—オシハカリ。—スキサツ。

おもひ　(……)(……)名。(……)　喪ニ籠モッタ中。—「親ノおもひ」。—「妻ノおもひ」。

おもひ　(……)(……)第一上)名。(〔念ひ〕)　シッテン。—ウラミ。—「おもひヲカケル」。

おもひ・あかス　(……)(第二上)他動、四段。(思ひ明かす)　フカク思ッテ經過スル(年、月、日、夜ナドヲ)。

おもひ・あたル　(……)(……)他動、四段。(……當たる)　(一)考ヘック。　(二)オモヒアハセル。

○おもひ・あはス　(……。〔第五ワ〕)(……他動、下二。(……合はす)　コレト其レト丁度ヨク合ッタト思ヒナサレル。—オモニ一ツノ事實ガ以前ニアリ、更ニ一ツノ事實ガ後ニアラハレタ場合ヒニイフ。

●おもひ・あはせル　(……)(第六上)他動、二。(……せる)　前ノ近體。

おもひ・あまル　(……)(第二上)自動、四段。(思ひ餘る)　考ヘックセヌホドデアル。—「ウキ人ヲ　おもひあまれバ　涙ニモセメテ心ヲ酌メトシラセン」。

○おもひ・いだス　(……)(第二上。及、第五上)他動、四段。(……出だす)　おもひうづトオナジ語。

○おもひ・いづ (……)(……)他動、下二。〔…出づ〕 オモヒダス。

○おもひ・いル (……)(第二上)自動、四段。〔…入る〕 フカク思フ。＝考ヘニシヅム。

おもひ・いれ (……)(全平)名。〔…れ〕 心ニ思フトコロガ外面ナドニアラハレル樣子。—「カナシキおもひいれ」。—「ヨロコバシキおもひいれ」。

おもひ・おク (……)(第二上)他動、四段。〔思ひ措く〕 心ヲノコス。＝オモヒノコス。

おもひ・おこス (……)(……)他動、四段。〔…起こす〕 おもひいづト同ジ語。

おもひ・おもひ (……、第六イ)(第四上)根。〔……思ひ〕 メイメイノ思フトコロデアルコト。

おもひおもひ・に (……)(……)副。〔…に〕 前ノ副詞體。

おもひ・がけず (第三イ、第四ガ)(……)副。〔思ひ懸けず〕 おもひよらずト同ジ語。

●おもひ・がけ・なイ (……)(第六上)形。〔…無い〕 おもひがけなしノ近體。

おもひ・がけ・なさ (……)(第五上)名。〔…さ〕 思ヒガケナクアル度合ヒ。

○おもひ・がけ・なシ (……)(……)形。〔…し〕 前カラサウアラウト思ッテ井ヌ。＝思ヒマウケヌ。＝アングワイデアル。

おもひ・がは (……、第五ワ)(第二上)名。〔…川〕 オモヒヲ川ニ見タテタ語。多ク歌ニツカフ。—伊勢物語、「おもひがはは絶エズ流ルル水ノ泡モウタカタ人ニ逢ハデ消エメヤ」。

おもひ・かへス (第三イ、第五エ)(第二上)他動、四段。〔思ひ返す〕 思ヒヲ改メル。＝思ヒナホス。

おもひ・きり (第三イ)(全平)名。〔…切り〕 思ヒキルコト。＝ミキリ(第一解義)。

おもひ・きル (……)(第二上)他動、四段。〔…る〕 念ヲタツ。＝ダンネンスル。

おもひ・きつて (……、第五遁)(……)副。〔…つて〕 カタクココロザシテ。＝心ヲ定メテ。—「おもひきつて行フ」。

◎此おもひきつてヲおもひきるトシテ言海デハおもひきる(他動四段)ノ第二解義トシタモノノ、少シ面白クナイ。此言葉ハ今日副詞トシテ使フヨリホカ他ニ道ハ無イ故ニ、ココデハ全クノ副詞體ヲ爲サセテ置ク。

おもひ・ぐさ (……、第四グ)(……)名。〔…草〕 草ノ名。きせるさうノ一名〔たばこヲおもひぐさト云フ緣ニヨッテ付イタ名〕。

おもひ・ぐさ (……)(……)名。〔…〕〔くさハあそびぐさナドノくさ〕 思ヒノタネヲくさトシテイフ語。一說、又りんだうノ一名トモ云フ。古歌ナドニ多ク用井テアル。—新古今集、和泉式部、「野ベ見レバ尾花ガモトノおもひぐさ、枯レユク冬ニナリゾシニケル」。

○おもひ・ぐま・なさ (……)(……)(第六上)名。〔思ひ隈無さ〕 思ヒグマナクアル度合ヒ。

○おもひ・ぐま・なシ (……)(……)形。〔…し〕 思ヒガクマナク行キワタラヌ。＝心ニトマラヌラシイ。—源氏、「櫻ユヱ風ニ心ノサワグカナ、おもひぐまなき花ト見ル見ル」。—後撰集、俊蔭、「イヅカタニ打チカクレッツ見ヨトテカおもひぐまなく人ノナリユク」。—拾玉集、慈鎭、「おもひぐまノ人ハ中中無キモノヲ、哀レニ犬ノ主ヲ知リヌル」。

○おもひ・ぐるシ (……)(第五上)形。〔思ひ苦し〕 こころぐるしト同ジ語。

○おもひぐるし・さ (……)(……)名。〔…さ〕 思ヒグルシクアル度合ヒ。

○おもひ・ご (第三イ、第四ゴ)(第二上)名。〔思ひ子〕 愛シテ井ル子。＝アイシ。

おもひ・こみ (第三イ)(全平)名。〔…込み〕 思ヒコムコト。＝ミコミ。

おもひ・こム (……)(第二上)自動、四段。〔…む〕 シカト心ヲ付ケル。＝考ヘイル。＝オモヒイル。

++おもひ・ざし (……)(……、又第五上)名。〔思ひ差し〕 酒ノ飲ミカタノ語。其人ト目アテヲサダメテ杯ヲサスコト。—太平記、「イザヤ最後ノサカモリシテ自害ノおもひざしセントテ」。

▲おもひ・さま (第二上)副。〔…樣〕 信濃ノ方言。おもふさまノ訛リ。

おもひ・しづム (……)(……)自動、四段。〔…沈む〕 フカク考ヘコム。＝考ヘニシヅム。

++○おもひ・じに (……)(……)名。〔…死に〕 思ヒシヅンデ遂ニ死ヌコト。＝コガレジニ。

▲おもひ・しま (……)(……)副。 信濃ノ方言。おもひさまノ轉。

おもひ・しル (……)(……)他動、四段。〔思ひ知る〕 ツクヅクト心ニアタル。—定家、「アサ露ノ庭ノモミヂ葉おもひしれオノガシタナル皆ノ心ヲ」。—一條院、「コヨヒコソおもひしるラメニシキギノ千束ヲ待チシ心ナガサヲ」。

++おもひ・すぐし (……、第五グ)(全平)名。〔…過ぐし〕 思ヒスグスコト。＝思ヒスゴシ。

おもひ・すぐス (……)(第二上)他動、四段。〔…す〕 思ヒスゴス。

++おもひ・すごし (第三イ、第五ゴ)(全平)名。〔思ひ過ごし〕 思ヒスゴスコト。＝思ヒスグシ。

おもひ・すごス (……)(第二上)他動、四段。〔…す〕 其カギリヲ超エテ思フ。＝トリコ

シグラウスル。＝思ヒスグス。

●おもひ・だス (第三イ)(……)他動、一。〔思ひ出す〕 一度有ッタコトヲ更ニ心ニ思ヒウカベル。＝考ヘダス。＝思ヒイヅ。＝思ヒイダス。＝オモヒオコス。

おもひ・たち (……)(全平)名。〔…立ち〕 (一)思ヒタツコト。 (二)オモヒツキ。＝クフウ。＝シユカウ。—「おもひたちノヨシアシ」。

おもひ・たツ (第二上)自動、四段。〔…つ〕 アラタニ思ヒハジメル。＝オモヒツク。

おもひ・つき (……)(全平)名。〔…付き〕 考ヘツキ。＝オモヒタチ(第二解義)。＝クフウ。—蜀山人、俗耳鼓吹、「ナンダ、ナンダト問ハレテ、おもひつきノコトヲイフ、是ナリ」。

おもひ・つク (……)(第二上)他動、四段。〔…〕 (一)考ヘヲオコス。 (二)カンガヘガ付ク。 (三)戀ヒハジメル。＝戀ヒハジメル。—西鶴、一代女、「マタ戀クフ蟲アリテ、フルキ我レニおもひつきテ、ナサケ重ネテ」。

おもひ・つめル (……)(……)他動、二。〔思ひ詰める〕 思ヒコンデ限リノトコロマデ思フ。＝トリツメル。

○おもひ・で (……)(第四上)名。〔…出〕 (一)以前ノコトヲ思ヒダスコト。我レト吾ガ心ヲナグサメル意ヲ含ム。—「アラザラン此世ノホカノおもひでニ今ヒトタビノ逢フゴトモガナ」。 (二)〔轉ジテ〕將來ノコトヲイフ語。心ノトドクコト。—「おもひでオロソカナラズ」。

おもひ・ど (……)(……)名。〔思ひ所〕〔どハところノ略〕 思フトコロ。＝思フベキトコロ。—「涙ニクレテおもひどモナシ」。

△おもひ・どち (……)(第二上)名。〔…達〕〔どちハともどちナドノどち〕 おもふどちト同ジ語。

△おもひ・とぢむ (……)(……)他動、四段。〔…閉ぢむ〕 思ヒトマル。＝思ヒヤム。

++△おもひ・どり (……)(……)名。〔…取り〕 酒ノ飲ミ方ノ語。ワガ目ザシテ思フ人カラサカヅキヲトルコト(おもひざしノ對)。—曾我物語、「思ヒザシ、おもひどり其後ハ亂緋ニナル」。—同、「其サカヅキおもひどり申サン」。

++おもひ・なし (……)(全平)名。〔…做し〕 思ヒナスコト。＝思ヒハカッテカウデアルト定メルコト。＝カリサダメ。—源氏、「御キハマサリテおもひなしメデタク、人モ得オトシメ聞コエタマハネバ」。

おもひ・なス (……)(第二上)他動、四段。〔…す〕 思ヒサッシテカウデアルト定メル。＝カリサダメル。＝カテイスル。

おもひ・なほス (……、第五オ)(……)他動、四段。〔思ひ直す〕 考ヘナホス。＝思ヒヲアラタメル。＝思ヒカヘス。

○おもひ・ね (第三イ)(全平)名。〔…寐〕 深ク思ヒナガラ寢ルコト。—「おもひねノ夢」。

○おもひ・の・いへ (……、第六エ)(第六上)名。〔…の家〕〔法華經ニアル句、「三界無安猶如火宅」カラ出タ語〕 三界ノ火宅ノ稱ヘ。—拾遺集、「世ノ中ニ牛ノ車ノナカリセバおもひのいへヲイカデ出デマシ」。

○おもひ・の・いろ (……)(……)名。〔…色〕 クレナ井ゾメニシタ衣ノ名。—古今集、「耳ナシノ山ノクチナシ得テシガナ、おもひのいろノシタ染メニセシ」。

おもひ・のこス (……)(第二上)他動、四段。〔思ひ殘す〕 心ヲノコス。＝思ヒオク。

○おもひ・の・たま (……)(第六上)名。〔念ひの珠〕〔漢語「念珠」ヲ訓讀シタモノ〕 じゆずノ一名—背柏、「後ノ世ヲおもひのたまノ緒ヲヨワミ」。

○おもひ・の・つゆ (……)(第五上)名。〔思ひの露〕 なみだノ異名。オモニ歌ニヨム。

おもひ・の・ほか (……)(第四上)根。〔…外〕 アングワイ。＝イグワイ。

おもひのほか・に (……)(……)副。〔…に〕 前ノ副詞體。

○おもひのまま・に (……)(……)副。〔…に〕 前ト同ジ語。

○おもひ・の・まま (……)(第六上)副。〔思ひの儘〕 心ニ思フママ。＝オモフサマ。

おもひ・ば (……)(第二上)名。〔思ひ羽〕 ツルギバ(ヲシドリノ)。

○おもひ・びと (……)(……)名。〔…人〕 思ヒヲ掛ケタ相手ノ人。＝コヒビト。

○おもひ・まうク (第三イ、第四モ)(……)他動、下二。〔…設く〕 アラカジメ考ヘテオク。＝豫期スル。

●おもひ・まうけル (……)(……)他動、二。〔…ける〕 前ノ近體。

おもひ・まはス (第三イ、第五ツ)(……)他動、四段。〔思ひ回す〕 アチコチ色色ニ思フ。＝思ヒメグラス。

○おもひ・みだル (第三イ)(……)自動、下二。〔…亂る〕 思ヒクルシム。＝ワクワクスル。

●おもひ・みだれル (……)(第六上)自動、二。〔…れる〕 前ノ近體。

おもひ・みル (……)(第二上)他動、上一。〔思ひ見る〕 思ヒアタル。＝思ヒダメス。＝オモンミル。

おもひ・めぐらス (……、第五グ)(……)他動、四段。〔…連らす〕 思ヒマハス。—枕ノ草紙、「トクトクタダおもひめぐらさデ涙花津モ何モフト覺エンヲトセメサセタマフ

ニ」。

○おもひ・もの　（（第二イ））（第五上二名。〔……者〕（轉義）愛妾。―貞女白無垢ト此ホカニおもひものヲカクシテ通ヒシガ、妻ノ女房ウラミルコトナシ」。

++おもひ・やり　（（……））（金平）名。〔……遣り〕（想像）思ヒヤルコト。―サッシ。―おもひやりノアル慈善者」。

おもひ・やル　（（……））（第二上）他動、四段。〔……る〕他ノ上ヲサゾトオシハカッテ慮ミオモフ。―「おもひやれ、ナニヲ忍ブトナケレドモ昔シオボユル アリアケノ月」。―枕ノ草紙、「マシテ差シアタリタランコソおもひやらルレ」。

おもひ・やル　（（……））（第二上）自動、四段。〔想ひ遣る〕心ヲヤル。―思ヒヲハラス。―「おもひやるベキ行クカタモナシ」。

○おもひ・よス　（（……））（……）他動、下二。〔思ひ寄す〕カンガヘヲソレニ傾ケル。

●おもひ・よせル　（（……））（……）他動、二。〔……せる〕前ノ近體。

おもひ・よらず　（（……））（……）副。〔……らず〕不意ニ。―思ヒガケズ。―アングワイニ。

おもひ・よル　（（……））（……）他動、四段。〔……る〕思ヒアタル。

おもフ　（（第二ウ））（第二上）他動、四段。〔思―想―懐―念―憶―慮ふ〕（一）物ノコトワケヲ探リ知ルタメニ心ノ智慧ヲハタラカセル。―カンガヘル。―シアンスル。―シリヨスル。―「低頭シテ道ヲおもふ」。（二）〔轉ジテ〕コトニ心ニ或ル目的ニ注グ。―「友ヲおもふ異國ノ天」。（三）又、轉ジテ〕愛スル。―心ニカケテ大事ニ思フ。―「家ヲ捨テ、國ヲおもふ」。

△おもぶき　（……）名。　古言。おもむきノ轉。

△おもぶく　（第三上）他動、下二。　おもむく（他動）ノ古體。

△おもぶくれ　（第五上）根。〔面脹ら〕　しもぶくれトオナジ語。

おもふさま　（（第三ウ））（第二上）副。〔思ふ樣〕心ニ思フトホリニ。―オモフママ。―オモヒサマ。―オモヒシマ。―近松、釋迦如來誕生會「吉祥女這ヒヨリ、乘ツカカリ、おもふさまニイレ。―近松、釋迦如來誕生會「吉祥女這ヒヨリ這ヒヨリ、乘ツカカリ、おもふさまニサシドホシ」。

○おもふ・ぶせ　（金平）根。〔面伏せ〕　而目ナクアルコト。―オモブセ。

おもふ・に　（（第三ウ））（第二上）副。　考ヘテ見ルトコロ。―思慮ヲメグラスニ。―「おもふニ然ラズ」。

○おもへ・らく　（（第三エ））（第三上）副。〔思へらく＝（以爲）〕〔らく＝ハい〈らくナドノらく〉〕思フニハ。―「おもへらく、コレマガツミニ

△おもぼス　（（第三オ））（第三上）他動、段。四。〔思ほす〕〔おぼすノ延〕　おもふノ敬語。―源氏、「ワリナクおもほしナオボシメス。―源氏、「ワリナクおもほしマカデサセタマヒツ」。

○おもぼて　（第三上）名。〔面熱り〕　怒リ、ニクミ、悲シミ、恥デナドシテ顏ノホテルコト。

△おもほユ　（……）自動、下二。〔思ゆ（被）ノ義〕　思ヒ得ラレル。―思ハルベキモノ。―「おやカタ」。―「ワザハヒノおや」。（四）身ニ取ッテ恩ノ有ル人。―「命ノおや」。（五）スベテ、ソレカラ物ガ殖エルベキモノ。―「おや芋」。（六）スベテ、小サナモノニ對スル大キナモノ。―「おや文字」。

おや　（……）感。　今日最モ普通ニ行ハレル一ツ。スベテ、意外ノ事ナドデ驚キ、呆レナドシタ場合ヒニ出ス聲。或ヒハソレホドデナクトモ、スベテ際ダタセテイフ場アヒニモ用井ル。―近松、心中二枚「正月七日神前ニ於テ、おやー」オツ

△おもぼて　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

○おもぼろ　（第四上）根。〔徐〕　シヅカ。―オダヤカ。―ソロカ。

○おもむろ・に　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

○おもむろ・もち　（第二上）名。〔面地〕〔おも（面）もち（持）ノ義〕　カホツキ。―メンショク（オモニ內心ノアラハレダヤウスニツイテイフ）。―「恐レタルおももち」。

おも・や　（第一上）名。〔母屋〕　（一）家ノ最モ中央ニアル棟ノ下ナドノ處ノ名。（二）〔轉ジテ〕住マヒナドニスベキ家（なかやナドノ對）。

△おも・やう　（（第三ヨ））（金平）名。〔面樣〕　カホツキノ樣子。―カホダチ。―オモザシ。―リサマ。

おもむき　（第二上）名。〔趣き〕　（一）コトワケ。―シユイ。―ヤウス。―イミ。―「御手紙ノおもむき」。（二）其物事ニ存スル、好イ性質。―フウヰン。―ガチ。―「おもむきノアル畫」。

おもむク　（第三上）自動、四段。〔……赴く〕〔おも（面）むく（向）ノ義〕　（一）ソノ向クベキ方ヘ向ク。（二）ソノ行ク方ヘススミ行ク。☆ゆく參考。

おもんズ　（第二上）名。他動、さ變。〔重んず〕〔おもみすノ音便、漢語ヨミカラ來タ語〕　タフトブ。―尊重スル。―大事ニスル（オモニ人物ナドニイフ）。

おもんばかり　（……）又、金平名。〔思ん料り＝慮り〕　オモンバカルコト。

おもんばかル　（第二上）他動、四段。〔……る〕〔おもひ（思）はかる（料）ノ義〕　カンガヘハカル。

おもんみル　（第四上）他動、上一。〔思ん見る＝惟る〕〔おもひ（思）みる（見）ノ義〕　カンガヘコロミル。

○おもむろ　（第四上）根。〔徐〕　シヅカ。―オダヤカ。―ソロカ。

○おもむろ・に　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

○おもも・もち　（第二上）名。〔面地〕〔おも（面）もち（持）ノ義〕　カホツキ。―メンショク（オモニ內心ノアラハレダヤウスニツイテイフ）。―「恐レタルおももち」。

おも・や　（第一上）名。〔母屋〕　（一）家ノ最モ中央ニアル棟ノ下ナドノ處ノ名。（二）〔轉ジテ〕住マヒナドニスベキ家（なかやナドノ對）。

△おも・やう　（（第三ヨ））（金平）名。〔面樣〕　カホツキノ樣子。―カホダチ。―オモザシ。―

「おもやうサナガラ父トタガハズ」。

おも・やく　（金平名。〔重役〕　オモイ役目。―デユウヤク。

◎コノ語大方廣語トナル。

おもゆ　（……）名。〔……湯〕　極メテウスイ粥。仮ノスウプ。湯ヨリヤヤ重重シイトテノ名。

△おもら・か　（第二上）根。〔重らか〕〔らかハきよらかナドノらか〕　重クアルラシクアルコト。「おもらかト異體同種」。

△おもら・かに　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

おもり　（……）名。〔……り＝（錘）〕〔おもるノ名詞體〕　（一）スベテ、輕イモノニ對シ、他ニ平均ヲ保タセルタメニスルモノ。釣リ綫、魚ノ網ナドニ多クツケル。（二）秤リノ附屬品。掛ケラレル品ノ他ノ一方ニ添ヘテソノ物トノ重サヲ平均ニスルモノトナヘ。

△おもら・か　（第二上）根。〔重らか〕〔らかハきよらかナドノらか〕　重クアルラシクアルコト。「おもらかト異體同種」。

△おもら・かに　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。

おもり　（……）名。〔……り＝（錘）〕〔おもるノ名詞體〕　（一）スベテ、輕イモノニ對シ、他ニ平均ヲ保タセルタメニスルモノ。釣リ綫、魚ノ網ナドニ多クツケル。（二）秤リノ附屬品。掛ケラレル品ノ他ノ一方ニ添ヘテソノ物トノ重サヲ平均ニスルモノトナヘ。

△おも・うか　（第二上）根。〔重うか〕〔おもらかト異體同種〕　スベテ、オモオモシクアルラシクアルコト。

△おもりか・に　（……）副。〔……に〕　前ノ副詞體。おもル　（金平）名。自動、四段。〔……る〕　（一）目カタガオモクナル。（二）ツルクナル。―危篤ニナル（病氣ニイフ）―源氏、「ヒビニおもりタマヒテ、タダ五六日ノホドニ、イト弱ウナレバ」。

△おも・わ　（第三上）名。〔面曲〕〔わハうらわナドノわ〕　タダノおも（面第一解義トオナジモノ。―「タダナラヌおもわ」。―「オヤノおもわノナツカシキカナ」。

++○おも・わすれ　（……）名。〔……忘れ〕　他ノ顏ヲ見ワスレルコト。

おや　（第二上）名。〔親〕〔おい（老）ノ轉〕　（一）自身ヲ產ンデクレタ人。ソノ男ヲちトイヒ、女ヲハはトイフ。（二）スベテ、子ヲ持ッテ非ル人。―「ヤシナヒおや」。（三）スベテ、頭ダッモノ。―「おやカタ」。―「ワザハヒノおや」。（四）身ニ取ッテ恩ノ有ル人。―「命ノおや」。（五）スベテ、ソレカラ物ガ殖エルベキモノ。―「おや芋」。（六）スベテ、小サナモノニ對スル大キナモノ。―「おや文字」。

おや　（……）感。　今日最モ普通ニ行ハレル一ツ。スベテ、意外ノ事ナドデ驚キ、呆レナドシタ場合ヒニ出ス聲。或ヒハソレホドデナクトモ、スベテ際ダタセテイフ場アヒニモ用井ル。―近松、心中二枚「正月七日神前ニ於テ、おやー」オツ

△おもぼす　（……）副。〔……らず〕　不意ニ。―思ヒガケズ。―アングワイニ。

おもぼス　（（第三オ））（第三上）他動、段。四。〔思ほす〕〔おぼすノ延〕　おもふノ敬語。―源氏、「ワリナクおもほしマカデサセタマヒツ」。

おもぼて　（第三上）名。〔面熱り〕　怒リ、ニクミ、悲シミ、恥デナドシテ顏ノホテルコト。

△おもぼユ　（……）自動、下二。〔思ゆ（被）ノ義〕　思ヒ得ラレル。―思ハルベキモノ。―「おやカタ」。―「ワザハヒノおや」。（四）身ニ取ッテ恩ノ有ル人。―「命ノおや」。（五）スベテ、ソレカラ物ガ殖エルベキモノ。―「おや芋」。（六）スベテ、小サナモノニ對スル大キナモノ。―「おや文字」。

おや　（……）感。　今日最モ普通ニ行ハレル一ツ。スベテ、意外ノ事ナドデ驚キ、呆レナドシタ場合ヒニ出ス聲。或ヒハソレホドデナクトモ、スベテ際ダタセテイフ場アヒニモ用井ル。―近松、心中二枚「正月七日神前ニ於テ、おやー」オツ

△おもぼす　（……）副。〔……らず〕　不意ニ。―思ヒガケズ。―アングワイニ。

おもぼス　（（第三オ））（第三上）他動、段。四。〔思ほす〕〔おぼすノ延〕　おもふノ敬語。―源氏、「ワリナクおもほしマカデサセタマヒツ」。

おもぼて　（第三上）名。〔面熱り〕　怒リ、ニクミ、悲シミ、恥デナドシテ顏ノホテルコト。

△おもぼユ　（……）自動、下二。〔思ゆ（被）ノ義〕　思ヒ得ラレル。―思ハルベキモノ。―「おやカタ」。―「ワザハヒノおや」。（四）身ニ取ッテ恩ノ有ル人。―「命ノおや」。（五）スベテ、ソレカラ物ガ殖エルベキモノ。―「おや芋」。（六）スベテ、小サナモノニ對スル大キナモノ。―「おや文字」。

おや　（……）感。　今日最モ普通ニ行ハレル一ツ。スベテ、意外ノ事ナドデ驚キ、呆レナドシタ場合ヒニ出ス聲。或ヒハソレホドデナクトモ、スベテ際ダタセテイフ場アヒニモ用井ル。―近松、心中二枚「正月七日神前ニ於テ、おやー」オツ

モノヲ掛ケタモノ。

おやとまめ（第三上）名。（……豆）　ソラマメトエンドウトヲイリマゼタ豆。

++おやころし（……）名。（親殺し）　五虐ノ一ツ。親ヲコロスコト。—近松、釋迦如來誕生會「おやころしハ五虐ノ第一、五天竺ノ王位ニタツベキカ」。

おやざと（第二上）名。（……里）　我ガ親ノ家。スベテ家ヲハナレテ仲所ニ居ルモノガ吾ガ親ノ家ヲ指シテイフ語。—オヤモト。—西鶴、諸風俗「年ヒサシク一條村雲ノ御所ニ宮ヅカヒシテおやざとノカラ臼ノオトモ今ハ玉琴ニ開キカヘ」。

△おやじ（全平）形。　古言。おなじ（同）ノ轉。—「心おやじき我ガ身ナレドモ」。

おやしらず（第二上）根。（親知らず）　親ヲシラヌコト。予供ナド人ニ呉レラレテ金ク父母ノ顔ヲ見シラズニアル場合ヒニイフ。—「おやしらずデ貰ツタ此子」。

おやしらず（……）名。（……）　（一）△おやしらずばノ略。（二）スベテ、波ウチギハナドノ極メテ危險ナトコロ。

おやしらずば（第五上）名。（……齒）　人ノ齒ノ一種。三十二枚ノ中ノ四枚ノモットモオソク生ヘルモノ。何レモ上下二枚ヅツ、共ニ普通ノ齒ノキハメテ奥ノ限リノ所ニアル。多クハ二十前後ニ近ヅイテカラ生ヘル。予モ年ヲトリ、親ガ口中ノ世話ナドセヌコロ生ヘル故、親モソレヲ知ラヌトノ義。

▲おやだま（全平）名。（親玉）　俚語。カシラダツ人。—カシラ。—ヲサ。—ダイチヤウ。—眞顔、鳩八幡豆ト徳利ニ是ハヨホドノコジツケナレドモ、おやだまノナサルルコト故イヅレモ妙妙トオホメ申シテオキケル」。

おやだま（……）名。（……）　（一）△おやしらずノ轉。（二）スベテ、波ウチギハナドノ一種。牛又馬ノ皮デ張リ竹ナドデヘリヲトリ、箱ノ形ニ拵ヘタ鞘トイフ。—和漢三才圖會「皮鞘（訓、オヨギブネ）」。

およぐ（（第三グ）（第二上）自動、四段。（泳ぐ）　水中ニ浮イテ行ク（動物ニ限ッテイフ）。

△およし（全平）副。　古言。およそ（凡）ト同ジ語。

およすく（第三上）自動、下二（およいおい（老）ノ轉）　年ノ進ムマヽ賢クナル。—マセル（子供ニイフ）。—源氏、「此御子ノおよすけモテオハスル御カタチハヘアリガタク珍ラシキマデ見エタマフヲ」。

およそ（全平）副。（凡）（おほよそノ畧）　ダイガイ。—オホカタ。—ガイリヤク。—ダイリヤク。

△およづれ（……）名。（妖）　古言。イツハルコト。—アヤシイコトバ。—不思議ナ事實。

△およづれごと（（第五コ）（……）名。（……言））　前ト同ジ語。

△およな（第一上）名。　おうな（老女）ト同ジモノ。

△および（……）名。　ゆびト同ジ語。

および（全平）名。（及び）　カノトドクコト。—「およびナキ勢ヒ」。

および（……）接。（……）　コレト其レト共ニ。—ナラビニ。—「花および月」。—「山および河」。

およびごし（（第四コ）（……）根。（……腰）　カラダハ其レダケノ用意ヲセズ、手ダケサキヘ出シテコトヲ行ハウトスルコト。—「およびごしノヤリソコナヒ」。

およぶ（……）自動、四段。（及ぶ）　（一）到着スル。—トドク。—「雲ニおよぶ」。（二）勢力ナドガ一樣ニナル。—「勢ヒおよばず」。

おやぶね（……）名。（……船）　船ノ一種。牛又馬ノ皮デ張リ竹ナドデヘリヲトリ、箱ノ形ニ拵ヘタ鞘トイフ。—和漢三才圖會「皮船（訓、オヨギブネ）」。

およぐ（（第三グ）（第二上）自動、四段。（泳ぐ）　水中ニ浮イテ行ク（動物ニ限ッテイフ）。

△およし（全平）副。　古言。およそ（凡）ト同ジ語。

およすく（第三上）自動、下二（およいおい（老）ノ轉）　年ノ進ムマヽ賢クナル。—マセル（子供ニイフ）。—源氏、「此御子ノおよすけモテオハスル御カタチハヘアリガタク珍ラシキマデ見エタマフヲ」。

およそ（全平）副。（凡）（おほよそノ畧）　ダイガイ。—オホカタ。—ガイリヤク。—ダイリヤク。

△およづれ（……）名。（妖）　古言。イツハルコト。—アヤシイコトバ。—不思議ナ事實。

△およづれごと（（第五コ）（……）名。（……言））　前ト同ジ語。

△およな（第一上）名。　おうな（老女）ト同ジモノ。

△および（……）名。　ゆびト同ジ語。

および（全平）名。（及び）　カノトドクコト。—「およびナキ勢ヒ」。

および（……）接。（……）　コレト其レト共ニ。—ナラビニ。—「花および月」。—「山および河」。

およびごし（（第四コ）（……）根。（……腰）　カラダハ其レダケノ用意ヲセズ、手ダケサキヘ出シテコトヲ行ハウトスルコト。—「およびごしノヤリソコナヒ」。

およぶ（……）自動、四段。（及ぶ）　（一）到着スル。—トドク。—「雲ニおよぶ」。（二）勢力ナドガ一樣ニナル。—「勢ヒおよばず」。

おやぶね（……）名。（……船）　船ノ一種。牛又馬ノ皮デ張リ竹ナドデヘリヲトリ、箱ノ形ニ拵ヘタ鞘トイフ。—和漢三才圖會「皮船（訓、オヨギブネ）」。

およぐ（（第三グ）（第二上）自動、四段。（泳ぐ）　水中ニ浮イテ行ク（動物ニ限ッテイフ）。

△およし（全平）副。　古言。およそ（凡）ト同ジ語。

およすく（第三上）自動、下二（およいおい（老）ノ轉）　年ノ進ムマヽ賢クナル。—マセル（子供ニイフ）。—源氏、「此御子ノおよすけモテオハスル御カタチハヘアリガタク珍ラシキマデ見エタマフヲ」。

およそ（全平）副。（凡）（おほよそノ畧）　ダイガイ。—オホカタ。—ガイリヤク。—ダイリヤク。

△およづれ（……）名。（妖）　古言。イツハルコト。—アヤシイコトバ。—不思議ナ事實。

△およづれごと（（第五コ）（……）名。（……言））　前ト同ジ語。

△およな（第一上）名。　おうな（老女）ト同ジモノ。

△および（……）名。　ゆびト同ジ語。

および（全平）名。（及び）　カノトドクコト。—「およびナキ勢ヒ」。

および（……）接。（……）　コレト其レト共ニ。—ナラビニ。—「花および月」。—「山および河」。

およびごし（（第四コ）（……）根。（……腰）　カラダハ其レダケノ用意ヲセズ、手ダケサキヘ出シテコトヲ行ハウトスルコト。—「およびごしノヤリソコナヒ」。

およぶ（……）自動、四段。（及ぶ）　（一）到着スル。—トドク。—「雲ニおよぶ」。（二）勢力ナドガ一樣ニナル。—「勢ヒおよばず」。

おやぶね（……）名。（……船）　船ノ一種。牛又馬ノ皮デ張リ竹ナドデヘリヲトリ、箱ノ形ニ拵ヘタ鞘トイフ。—和漢三才圖會「皮船（訓、オヨギブネ）」。

およぐ（（第三グ）（第二上）自動、四段。（泳ぐ）　水中ニ浮イテ行ク（動物ニ限ッテイフ）。

△およし（全平）副。　古言。およそ（凡）ト同ジ語。

およすく（第三上）自動、下二（およいおい（老）ノ轉）　年ノ進ムマヽ賢クナル。—マセル（子供ニイフ）。—源氏、「此御子ノおよすけモテオハスル御カタチハヘアリガタク珍ラシキマデ見エタマフヲ」。

およそ（全平）副。（凡）（おほよそノ畧）　ダイガイ。—オホカタ。—ガイリヤク。—ダイリヤク。

△およづれ（……）名。（妖）　古言。イツハルコト。—アヤシイコトバ。—不思議ナ事實。

△およづれごと（（第五コ）（……）名。（……言））　前ト同ジ語。

△およな（第一上）名。　おうな（老女）ト同ジモノ。

△および（……）名。　ゆびト同ジ語。

および（全平）名。（及び）　カノトドクコト。—「およびナキ勢ヒ」。

および（……）接。（……）　コレト其レト共ニ。—ナラビニ。—「花および月」。—「山および河」。

およびごし（（第四コ）（……）根。（……腰）　カラダハ其レダケノ用意ヲセズ、手ダケサキヘ出シテコトヲ行ハウトスルコト。—「およびごしノヤリソコナヒ」。

およぶ（……）自動、四段。（及ぶ）　（一）到着スル。—トドク。—「雲ニおよぶ」。（二）勢力ナドガ一樣ニナル。—「勢ヒおよばず」。

薄荷）草ノ名。はくかノ一種。近ゴロ舶來シタモノ。

おらんだ・びゆ（第四上）名。〔…菖蒲〕草ノ名。ふうちさうノ一種。近ゴロ舶來シタモノ。

おらんだ・みつば（第五上）名。〔…三つ葉〕草ノ名。みつばノ一種。普通ノみつばヨリハ葉ガ稍コハク、緑ガ深ク、香氣ノツヨイモノ。西洋料理ナドニツカフ。‖キヨマサニンジン。

おらんだ・もみ（…）名。〔…樅〕木ノ名。もみノ一種。こうやうさんノ一名。

おり（第二上）名。〔織り〕織ルコト。‖織ルシカタ。‖織ツタテギハ。‖「おりノヨシアシ」。

おり（全平）名。〔澱ニ近ク〕〔おり（降）ノ義〕スベテ洗動體ノ中ノソコノ方ニ沈ンダ物ノ稱ヘ。‖ヌドミ。‖チンデンブツ。

おり・いろ（…）名。〔織り色〕スベテ絲ヲ染メテカラ織ツタおりものノイロ（そめいろノ對）。

○おり・たつ（…）自動、四段。〔下り立つ〕（一）下ニ行ク。（二）シタシク行フ。「おりたちテ、カカヅラヒテイクカモアラズ」。

おりもの（…）名。〔織り地〕オリモノノ地。

おり・て（第三上）名。〔…手〕スベテ機ヲオル人。—延喜、中務省式「織手（訓、オリテ）」。

++おり・のぼり（全平）名。〔下り上り〕（一）オリルコトトノボルコト。（二）主ニ京郷ト江戸トノ間ヲ往復スルコトニ付イテイッタ昔シノコトバ。（三）〔轉ジテ〕スベテ、道中。—近松、博多小女郎浪枕「寛リカヒノタメ筑前ヘハ毎年ノおりのぼり」。（一）オリテ非ル。（二）〔轉ジテ〕位ヲユヅル（主上ニイフ）。—「おりゐノミカド」。

おる（第一上）他動、四段。〔織る〕機ニヨッテ絲ヲカケ、其絲ヲ或ヒハ縦横、或ハ十文字ニ打チチガヘテ織リ地ニックル。—古今集、貫之「タレシカモトメテおりツル春ガスミ立チカクスラン山ノサクラヲ」。

（二）高イ所カラユルヤカニ低イ所ヘツックダル。‖サガル。—源氏「ムスビツル心モ深キモトユヒノコキ紫ノ色シアセズバ」ト奏シテ長階ヨリおりテ舞踏シタマフ」。（三）△スベテ位ヲサガル。‖ヤメル。—枕ノ草紙「職人おりタル人ムカシハ御前ナドイフコトモセズ」。（三）コリアツマル。‖オク。「露おる」。

▲おる（全平）名。かるた（第一解義）ノ語。マルイ形チノ描イテアル札ノ名。

おるがん（第一上）名。〔…英語、Organ〕舶來ノ樂器。大小種種ノ管ヲナラベ、ふいごノ仕掛ケニヨッテ其クダニ空氣ヲ送リコミ、色色ノ音ヲ出シ得ルモノ。今學校デ唱歌ヲ教ヘルトキニ主トシテラッカヒ、又くりすと教ノ寺院デハモッパラツカフ。‖オルゴル。‖フウキン。（二）又、轉シテ英語、Accordionノ義」おるがん（第一解義）ノ小サナモノ。普通ニハ提灯ノヤウナツクリニシ、左右ニ各押シテ音ヲ出スベキ疣ノヤウナモノヲ二十グラ非ヅツ置キ、雙方ノ手ニ掛ケテ持チ、其疣ノヤウナモノヲ押シ、マタ離シテ種種ノ音ヲ出スモノ。ツマリおるがん（第一解義）ヲヤッシテ小サク拵ヘタモノ。‖アッコルヂョン。‖ハンドオルガン。‖テフウキン。

おるどる（…）自動、上一。〔……る〕（全平）名。〔おらんだ語（第二ゴ）〕

●おるる（全平）名。〔下り〕（一）オリルコト。‖降ノ近體。

△おりゐ・のみかど（全平）名。〔…居の御門〕位ヲユヅッテ降リラレタ主上。‖センドウ。‖ダジャウクワウ。

△おり・ゐル（全平）自動、上一。〔……る〕

Orgel」（一）△西洋カラ舶來ノ樂器、今イフおるがん。（二）※誤ッテ英語、Music Box」又一種ノ樂器。箱ノ中ニトグノアルまりんどるヲオキ、傍ニ鋼鐵ノ櫛ノヤウナモノヲ設キ、時計ト同ジ仕掛ケニヨッテ其しりんどるガ廻轉シ、しりんどるノ表面ニアルトグガ櫛ノ齒ト相觸レ其櫛ノ齒ニ大小ノアルタメ色色ノ音ガ出、巧妙ナ樂ヲ奏スル機械。‖ミユヂックボックス。

おれ（全平）代。〔自〕〔おのれ（自）ノ畧〕。（一）▲俚語。自稱ノ代名詞。‖ワレ。‖オラ。‖オイラ（今多ク下等人ノ口ニイフ）。（二）△又、古代ノ俚語。八ヲイヤシメテ云フトキノ語。—「おれナドガ何ナルベキ」。

おれえふ（第二上）名。〔英語、Oliveノ音ヲ讀ミ誤ッタモノ〕木ノ名。かんらんノ一名。

おれえふ・ゆ（全平）名。おれえふカラ取ッタ油。オモニ藥ニツカフ。

△おれおれし（第四上）形。〔おれハおいほれ（老醜）ノ略カ、或ヒハうろ（空）ノ轉カ？〕ウツトリトスル。‖氣ガ拔ケタラシイ。

△おれ・もの（…）名。〔前ノ語カラ出來タモノ〕ウツトリシタ人。

おれんじ（第二上）名。〔英語、Orangeノ轉訛〕密柑ノ一名。

++○おろ・おろ（第一上）副。〔おろハうろ（空）ノ轉〕スベテ、力無ク充分モノダリヌヤウナ體ヲ形容スル語。‖オドオド。—「翁おろおろモノガダル樣ノ」。（二）轉ジテ泣キ聲ニナル體ヲ形容シテイフ語。—「おろおろ泣ク」。

○おろおろ・と（…）副。前ト同ジ語。

おろおろ・なみだ（第五上）名。オロオロト涙ニナルコト。‖「語ルモイフモおろおろなみだ」。ヨソニハ降ラヌ時雨ナリ。

おろか（第一上）根。（愚）か。〔おろハうろ（空）ノ轉。さんすくりつと語、あろきや（Alokya）。梵語、又、あろきや、皆愚ノ義〕スベテ、オロス、オロソカ、理解、判斷ソノ他ノ能力ニ於テ缺ケ居ルコト。‖バカ。‖アハウ。‖手落チノアルコトトノボルコト。‖オロソカ。

おろか（疎）ノ副詞。（…）おろか（愚）ノ副詞。（…）おろか（疎）ノ副詞。（愚）かに（…）副。（…）おろか（愚）ノ副詞體。

おろし（第三上）名。（一）スベテ、オロス（疎）コト。（二）おろしうり（第五上）名。〔卸し賣り〕商ヲ請ケ賣リ人ニ問ン屋カラおろしぐすり（第四ダ）（第四上）名。〔下ろし藥〕隨胎サセルタメノ毒藥。—三世相錦繡文章、「ソリヤ月ヨドミノおろしぐすりダ」。

●おろし（全平）根。〔卸し並み〕商品ノウリチガ御シチト同ジクラ非ニヤスクアルコト。

おろしね（…）名。〔…値〕品物ヲオロシニスルトキノアタヒ。

おろす（第二上）他動、四段。〔（下—降）ろす〕（一）高イ處カラ低イ處ヘ靜カニ移ス。（二）沈メヤル。—千鹿集、俊惠「イハおろす方コソ無ケレ、伊勢ノ海、シホセニカカル海人ノツリヲモ」。（三）〇去ラセル。‖オトス。‖貶ス。—「位ヨリおろす」。（四）ソシリクダス。—「コキおろす」。（五）低ヘ方ヘ吹ク風ニイフ。—「山ヨリおろす風」。（六）歪レテサゲル（幕、簾ナドヲ）。（七）剃ル（髮ノ毛ヲ）。—「御ぐシおろさセタマヒシ後ハ」。（八）〔切ッテ下ヘクダス義〕キリハラフ（枝ヲ）。（九）磨リ、コナス（ヤスリ、又ハ砥デ）。（九）スリ、ツブス。—「ワサビヲおろす」。（十）押シ磨ッテ細カクスル（藥研デ）。（十一）ハシメテ用ヰル（新ラシイモノヲ）（十二）胎内ノ兒ヲ、時ナラヌニ、又ハ無理ニ或ヒハ命ヲ失ハセテ生マレサセル。‖ダタイサセル。（十三）〔卸ス〕オロシウリヲスル。

△おろせ（第一上）名。大坂ノムカシノ方言。かごかきノ一名。—近松、心中二枚繪草紙、「九間ノおろせガアゲセンノ殘リモ今日ハスッキリト」。

おろそか（第二上）根。〔疎そか〕おろか（疎）トオナジ語。

おろそか・に（…）副。〔…に〕前ノ副詞體。

++△おろ・ねぶり（第三上）名。〔疎眠り〕コシ眠ルコト。‖ウタタネ。—「おろねぶりシ非タマフ」。

▲おろろク（…）自動、一。會津、米澤邊ノ方言。アグラヲカク。

◎ヒラタク、ヤスラカニ居ルトノ義ニ「ろ

くニ居ル」トノ語ガ有ル處カラ考ヘレバ、或ヒハソレラヲ原トシテコノ語モ出來タノデ無カラウカ？　年山紀聞ナドニ見エル丈六居ノ轉カトイフ說ハ稍イカガハシイ。

△おわりよ　（第二上）感。　子供ノ泣キ聲。—西鶴、一代女、「子供ノ面影…九十五六ホドモ立チナラビ、聲ノアヤギレモ無クおわりよおわりよト泣キヌ」。

◎此語タダ西鶴ニノミ見エル。其ヨミ方、りよガ合スルモノモノカ、ドウカ、マダ分カラヌママ、決定ハ他日ニユヅルコトトシタ。

おつ　（（第二逼））（全平）感。　スベテ、急ナ場合ヒニ發スル聲。—八犬傳、「おつトオメイテ斫リカカレバ」。

▲おつ・かあ　（……）（第三上）名。　俚語。　おかさまノ轉。　嚮導時代ノ末ゴロ殊ニ盛ンニ行ハレ、明治以後ヤヤヤク廢レカカル。　蔑妓ナドガ母ヲ呼ブニハ一時ハ殊ニ此語ニカギルヤウデアッタ。

++▲おつ・かけ　（……）（全平名、（追つ掛け）　人力車夫ノ語。　辻待チシテ客ヲ引クコト。—「おつかけニ出ラアフレル」。

●おつかけ・おつかけ　（……、（第六逼）（第三、及、第七上）副。（……（追つ掛け）　ソレカラソレト急ニ引キツヅイテ。

++▲おつかけ・すり　（……）（第六上）名。（……摺り）　おひかけすりノ轉訛。

●おつ・かけル　（……）（第四上）他動、二。　おひかけるノ訛。

▲おつか・なイ　（……）（……）形。　オモニ、武藏ノ近傍デイフ方言。オンロシイ。—コハイ。—近松、心中二枚繪草紙、「オヤ、おつかない」。—三世相錦繡文章、「イヤ、おつかねえヒトンビ」。

おつかない　ハ、ソノ語ガ有ル處カラ考ヘレバ、或ヒハソレラヲ原トシテコノ語モ出來タノデ無カラウカ？　年山紀聞ナドニ見エル丈六居ノ轉カトイフ說ハ稍イカガハシイ。

△おわりよ　（第二上）感。　子供ノ泣キ聲。—西鶴、一代女、「子供ノ面影…九十五六ホドモ立チナラビ、聲ノアヤギレモ無クおわりよおわりよト泣キヌ」。

◎此語タダ西鶴ニノミ見エル。其ヨミ方、りよガ合スルモノモノカ、ドウカ、マダ分カラヌママ、決定ハ他日ニユヅルコトトシタ。

おつ　（（第二逼））（全平）感。　スベテ、急ナ場合ヒニ發スル聲。—八犬傳、「おつトオメイテ斫リカカレバ」。

▲おつ・かあ　（……）（第三上）名。　俚語。　おかさまノ轉。　嚮導時代ノ末ゴロ殊ニ盛ンニ行ハレ、明治以後ヤヤヤク廢レカカル。　蔑妓ナドガ母ヲ呼ブニハ一時ハ殊ニ此語ニカギルヤウデアッタ。

++▲おつ・かけ　（……）（全平名、（追つ掛け）　人力車夫ノ語。　辻待チシテ客ヲ引クコト。—「おつかけニ出ラアフレル」。

●おつかけ・おつかけ　（……、（第六逼）（第三、及、第七上）副。（……（追つ掛け）　ソレカラソレト急ニ引キツヅイテ。

++▲おつかけ・すり　（……）（第六上）名。（……摺り）　おひかけすりノ轉訛。

●おつ・かけル　（……）（第四上）他動、二。　おひかけるノ訛。

▲おつか・なイ　（……）（……）形。　オモニ、武藏ノ近傍デイフ方言。オンロシイ。—コハイ。—近松、心中二枚繪草紙、「オヤ、おつかない」。—三世相錦繡文章、「イヤ、おつかねえヒトンビ」。

▲おつかな　（……、（第五、ガ）（第五上）根。（……刀）　早速ニカタナヲ取ルコト（急激ナ場合ヒナドニイフ）。—「おつとりがたなデ馳セツケル」。

○おつとり・がたな　（……、（第五、ガ）（第五上）根。（……刀）　早速ニカタナヲ取ルコト（急激ナ場合ヒナドニイフ）。—「おつとりがたなデ馳セツケル」。

○おつとり・こみ　（（第二逼））（第三上）他動、下二。（追つ取り込む）　追ヒツメテカコム。

●おつとり・こめル　（……）（……）他動、二。（……める）　前ノ近體。

おつとり・まく　（……）（……）他動、四段。（……巻く）　追ヒツメヲ取リマク。—近松、博多小女郎浪枕、「兼ネテアヒヅノ小屋ノモノ、十手ヒッサゲ、クルクルトおつとりまき」。

おつ・とル　（……）（……）他動、四段。（押つ取る）　サソクニ手ニトリアゲル。—近松、博多小女郎浪枕、「背付ケコレニト差シ出ダス、おつとつてサラリト讀ミ」。

おつ・ばらフ　（……、（第五ウ）（第四上）他動、一。（追つ拂ふ）　おひはらふヲ强メテイフ

（三五七）　おんが

ヘニハおつとととナドイッテ、五ヒニ讓リアフ所カライフ」。＊おつと（副）參考。

●おつ・と　（……）（……）副。　仕掛ケテ躊躇スルトキナドニ急激ナ思想ヲ云ヒアラハス語。—「おつとドッコイ」。—「おつとマチガッタ」。—近松、博多小女郎浪枕、「おつとコナタへ來タマヘト亭主ニ連レタ立チマハル」。

▲おつ・とう　（……）（（第四上）副。（押つ取り）　スグ。—ソノママ。—「おつとり役ニ立ッ」。

◎此語東京デハ全クイハヌ。

△おつとり・がい　（（第二逼、第五コ、第七ガ）（……）名。（……拜）　「おつとりハおつとりがたなノおつとり」。　ザヨット差シタカうがい。シカッメラシク差サスタグヒ。—天和笑委集、「おつとりがい、マキエ櫛」。

おつとり・がたな　（……、（第五、ガ）（第五上）根。（……刀）　早速ニカタナヲ取ルコト（急激ナ場合ヒナドニイフ）。—「おつとりがたなデ馳セツケル」。

○おつとり・こム　（（第二逼））（第三上）他動、下二。（追つ取り込む）　追ヒツメテカコム。

●おつとり・こめル　（……）（……）他動、二。（……める）　前ノ近體。

おつとり・まク　（……）（……）他動、四段。（……巻く）　追ヒツメヲ取リマク。—近松、博多小女郎浪枕、「兼ネテアヒヅノ小屋ノモノ、十手ヒッサゲ、クルクルトおつとりまき」。

おつ・とル　（……）（……）他動、四段。（押つ取る）　サソクニ手ニトリアゲル。—近松、博多小女郎浪枕、「背付ケコレニト差シ出ダス、おつとつてサラリト讀ミ」。

おつ・ばらフ　（……、（第五ウ）（第四上）他動、一。（追つ拂ふ）　おひはらふヲ强メテイフ

（三五七）　おんが

ヘニハおつとととナドイッテ、五ヒニ讓リアフ所カライフ」。＊おつと（副）參考。

●おつ・と　（……）（……）副。　仕掛ケテ躊躇スルトキナドニ急激ナ思想ヲ云ヒアラハス語。—「おつとドッコイ」。—「おつとマチガッタ」。—近松、博多小女郎浪枕、「おつとコナタへ來タマヘト亭主ニ連レタ立チマハル」。

▲おつ・とう　（……）（（第四上）副。（押つ取り）　スグ。—ソノママ。—「おつとり役ニ立ッ」。

◎此語東京デハ全クイハヌ。

△おつとり・がい　（（第二逼、第五コ、第七ガ）（……）名。（……拜）　「おつとりハおつとりがたなノおつとり」。　ザヨット差シタカうがい。シカッメラシク差サスタグヒ。—天和笑委集、「おつとりがい、マキエ櫛」。

おつとり・がたな　（……、（第五、ガ）（第五上）根。（……刀）　早速ニカタナヲ取ルコト（急激ナ場合ヒナドニイフ）。—「おつとりがたなデ馳セツケル」。

○おつとり・こム　（（第二逼））（第三上）他動、下二。（追つ取り込む）　追ヒツメテカコム。

●おつとり・こめル　（……）（……）他動、二。（……める）　前ノ近體。

おつとり・まク　（……）（……）他動、四段。（……巻く）　追ヒツメヲ取リマク。—近松、博多小女郎浪枕、「兼ネテアヒヅノ小屋ノモノ、十手ヒッサゲ、クルクルトおつとりまき」。

おつ・とル　（……）（……）他動、四段。（押つ取る）　サソクニ手ニトリアゲル。—近松、博多小女郎浪枕、「背付ケコレニト差シ出ダス、おつとつてサラリト讀ミ」。

おつ・ばらフ　（……、（第五ウ）（第四上）他動、一。（追つ拂ふ）　おひはらふヲ强メテイフ

（三五八）　おんが

譯。—近松、釋迦來誕生會、「無事デ歸ルヲ手柄ニセヨトマクリ出シ、おつぱらひ」。

●おつ・ぴらげル　（……、（第五ケ）（第三上）他動、二。（押つ廣げる）　おしひろげノ意味ヲ强メテイフ語。

おん　（全平）名。（音）（漢語、いんノ呉音）　—「天おん」。—「神おん」。

おん　（第一上）名。（恩）　漢語。　メグミ。—「天おん」。—「神おん」。

おん・あい　（……）名。（愛）　漢語。（一）メグミ。（二）轉ジテ、コマヤカナサケ。—「おんあい執着ノサカヒ」。

おん・がく　（（第三ガ））（第一上、又、全平）名。（音樂）　漢語。（一）スベテ、オイロニ由ッテ諧フベキウタヒ物ノ稱ヘ。—ナリモノ。—ガクヒ。（二）轉ジテ、寺ニ屬シテ讀ミ物ノ稱ヘ。—「おんがくヲ愛ス」。（三）轉ジテ、寺ニ屬シテ讀ミ物ノ稱ヘ。—「おんがくノ稱ヘ。笙、篳篥ナド、ソノ一種ノ樂器ヲ奏スルモノ。（三）又、芝居デツカフなりものノ一種。笛ト篳篥ト太鼓ヲ用ヰル。

おんがく・か　（（第三ガ））（第四逼））（全平）名。　漢字音。　オンガク專門ノ人。—オンガクシャ。

おんがく・しや　（（第三ガ、第五、六合））（第五、六上）名。（……者）　漢字音。前トオナジモノ。

++おんがへし　（（第二逼、第四エ））（第三上）名。（恩返し）　受ケタメグミヲカヘスコト。

▲おんがつ・か　（（第三ガ、第四逼））（全平）名。　ヲかつぱる。

おんがく・かノアヤマリ。

おんぎ　（（第二ギ））（……）名。（（恩誼））　漢語。

おん（恩）ト同ジ語。　おんぼ多ク用ヰス。

おんぎ　（（……））（……）名。（（音義））　漢語。コトバノ音ト意味ト。

おんぎふ　（（第四ウ））（第一上）名。（（恩給））　漢語。（一）オナサケノメグミ。（二）（轉ジテ）オモニ明治以後ノ官制ニイフ語。永ラク仕官ナドシテ老年ニナッテ退イタ後、其功勞ノ報酬トシテ政府カラ特別ニ金ナドタマハルコトノ稱ヘ。

おんぎやう　（（第四ョ、第二、四合））（……）名。（（音響））　漢語。音トヒビキ。—ヒビキ。—オト。

おんぎよく　（（第二ギ、第二、四合））（……）名。（……曲）　漢字音。スベテ鳴リモノニ合ハセテ謠フベキウタヒ物ノ稱ヘ。—西鶴、置キ土產「シノビゴマヒカセラレシガ、又モ無キおんぎよく。是ヲ役者ノ九兵衛ガ御指南ウケテ學ビシ」。—寛文十一年版、垣上徒

カフなりものノ一種。笛ト篳篥ト太鼓ヲ用ヰル。天人ノ出入リナドニ用ヰル。

おんがく　（（第二逼））（第一上）名。（……學）　漢字音。スベテ辭音ニ關スルコトヲ取リ調ベル學問。物理學ノ一派。

おんがく・か　（（……、第四逼））（全平）名。（……樂家）　漢字音。オンガク專門ノ人。—オンガクシャ。

おんがく・しや　（（第三ガ、第五、六合））（第五、六上）名。（……者）　漢字音。前トオナジモノ。

++おんがへし　（（第二逼、第四エ））（第三上）名。（恩返し）　受ケタメグミヲカヘスコト。

▲おんがつ・か　（（第三ガ、第四逼））（全平）名。　ヲかつぱる。

おんがく・かノアヤマリ。

おんぎ　（（第二ギ））（……）名。（（恩誼））　漢語。

おん（恩）ト同ジ語。　おんぼ多ク用ヰス。

おんぎ　（（……））（……）名。（（音義））　漢語。コトバノ音ト意味ト。

おんぎふ　（（第四ウ））（第一上）名。（（恩給））　漢語。（一）オナサケノメグミ。（二）（轉ジテ）オモニ明治以後ノ官制ニイフ語。永ラク仕官ナドシテ老年ニナッテ退イタ後、其功勞ノ報酬トシテ政府カラ特別ニ金ナドタマハルコトノ稱ヘ。

おんぎやう　（（第四ョ、第二、四合））（……）名。（（音響））　漢語。音トヒビキ。—ヒビキ。—オト。

おんぎよく　（（第二ギ、第二、四合））（……）名。（……曲）　漢字音。スベテ鳴リモノニ合ハセテ謠フベキウタヒ物ノ稱ヘ。—西鶴、置キ土產「シノビゴマヒカセラレシガ、又モ無キおんぎよく。是ヲ役者ノ九兵衛ガ御指南ウケテ學ビシ」。—寛文十一年版、垣上徒

然草』轟タク、おんぎよくシタハシ」。

おん・ぐう　((第三グ)(第三上)名。((恩遇))　漢語。ナサケヲカケテノ取リ扱ヒ。—イウタイ。—「一死年来ノおんぐうニ答ヘントス」。

おん・げい　(第一上)名。((……恵))　漢語。メグミ。

おん・こ　(……)根。(恩顧)　漢語。(一)フカクナサケヲ蒙ムルコト。—「おんこノ郎黨長谷部信連」。

▲おんこ　(……)名。　あらの語。木ノ名。いちゐノ一名。—オッコ。

おん・ざうし　((第三ア)(第三上)名。(御曹司)(一)△スベテ堂上家ノ子息ノ敬語。マダヘヤズミノ者ニ限ル。(二)轉ジテ後世オモニ源家嫡流ノヘヤズミノ子供ノ稱ヘ。—「おんざうし為朝」。「おんざうし牛若」。

△おんし　(第一上)名。(御師)　おし(御師)ト同ジモノ。

おんし　(……又、金平)名。((恩賜))　漢語。ナサケニヨッテタマハルコト。目ウヘカラ貰ッタ物ヲ深ク心ニアリガタク思ッテ井ル場合ヒナドニイフ。—菅家、「恩賜御衣猶在此、捧持日拝餘香」。

▲おんじき　(第一上)名。((飲食))(漢語いんしよくノ呉音」　飲ミ物ト食ヒモノト。モッパラ僧侶ノ語トシテ行ハレル。—「百味ノおんじき前ニウヅタカク」。

おんしゃ　((第三、四合))(…)名。(恩赦)(しゃハ漢語ゆるすトノ義」　漢字音。ナサケニヨッテ罪ヲユルスコト。—「おんしやニアフ」。

おんしゃう　((第四ヨ、第三、四合))(…)名。(恩賞)　漢語。ハウビ。—近松、吉野都女楠、「天皇ヲ押シ込メ、尊氏ヨリおんしゃうヲ受ケントスレバ」。

おんじゃう　((……))(全平)名。((音聲))(じゃうハ漢字音、せいノ呉音」　漢語。人ノコエ。—オンセイ。—「大おんじやう」—「おんじやうガイイ」。

おんしゃく　((第三、四合))(第一上)名。(恩借)　漢字音。ナサケニヨッテコシラヘタ借リ。

おん・じゅ　((第三、四合))(…)名。((欲酒))(漢字音、いんじゅノ呉音」　漢語。酒ヲ飲ムコト。オモニ佛教ノ語トシテイフ。五戒ノ一ッ。

おんしらず　(第三上根。(恩知らず)　恩ヲ知ラヌコト。—「おんしらずノ人間」。

おんしん　(第一上)名。((音信))(漢語いんしんノ呉音」　オトヅレ。—ダヨリ。—インシン。

◎此語オホカタ癈語トナル。

おん・じん　(第三上)名。(恩人)　漢字音。恩ヲカケタ呉レタ人。

おんず　(第一上)名。(ず)(英語 Ounce ノ轉)モト英國ノ秤リノ目ノ名。今、日本デモ藥ソノ他ノモノニ普通ニツカフ。相當ハ日本ノ七匁五分四厘。

おん・せい　(…)名。((音聲))　今、東京デ主ニイフ語。

おんせ　(…)名。(御んせ)(御んの字)　正ニヨク相應スル、或ハモットモヨロシイナドノ義ヲ現ス語。オモニ東京デイフ「スベテヨロシイモノニハおんト云フ字ヲ添ヘルト云フ意味カラ云ヒナシタモノ」。—「五錢ノ丁場ニ六錢ヤレバおんのじゃ。シテッカフ。此辭書ニツカフ「平」「上」ノ類。

おん・てん　(…)名。((恩典))　漢語。メグミ。—「おんてんニアフ」。

おん・でん　(全平)名。(隱田)(漢字音、いんでんノ呉音」　隱シテ租稅ナドヲ納メズ、押領シテ置ク田ノ稱ヘ。

おん・と　(第一上)名。(音頭)(とハ漢語とう(頭)ノ轉訛」　漢字音。スベテ二人以上デ歌ナドウタフトキ一人ガ先ヅ頭ダッテ調子ヲ取ルコト。

○おん・と　(…)名。(……吐)　漢語。驛ノ出シカタ。—「おんど朝明ヨドマズ」。

おん・とく　(…)名。(恩徳)　漢語。オンタク。

おん・どく　(全平)名。(音讀)　漢字音。漢字ヲ其音デ讀ムコト(くんどくノ對)。

おんど・とり　(第三上)名。(…頭取り)　おんど(音頭)ヲトルメル人、マダ、ソノコト。

▲おんとも　(第一上)代。(おんハわれ(我)ノ轉。ソレ故本當ノ假名ハをんデ無ケレバナラヌ」　ワレワレドモ(今モ九州ノ方言トシテ殘ル)。—近松、博多小女郎浪枕、「おんともガ二十七ノ年薩摩モノト喧嘩シタ話、ソンデヤナカバン、開カッシャレ」。

▲おんなし　(全平)形。　今、東京デ主ニイフ語。おなじ(同ノ轉。—谷峨、傾城買二筋道、「ワタシノ着物ガイツデモおんなしナリデ居イスヲ云フコトデオストサ」。

▲おんなべ　(…)名。(よなべノ轉)　信濃ノ方言。よなべノ一名。

●おん・のじ　(第三上)根。(御んの字)　正ニヨク相應スル、或ハモットモヨロシイナドノ義ヲ現ス語。オモニ東京デイフ「スベテヨロシイモノニハおんト云フ字ヲ添ヘルト云フ意味カラ云ヒナシタモノ」。—「五錢ノ丁場ニ六錢ヤレバおんのじゃ。此辭書ニツカフ「平」「上」ノ類。

明治二十五年九月廿三日印刷
同　年九月廿四日出版

【上製第參卷】
【定價金五拾錢】

版權所有

美妙齋藏版
●内に發行者
●の姓名を檢印
●の住所を檢印

編纂兼發行者　東京府士族　山田武太郎　府下神田區平永町九番地
印刷者　同　同柳原河岸第十四號地　田中正造
印刷所　同同　同志社活版所
發行所　東京市神田區平永町九番地山田美妙方　日本大辭書發行所
特約發賣所　同神田區裏神保町七番地　書肆明法堂
同　日本橋區大傳馬町二丁目二十二番地　書肆文昌堂

官報號外

同　　謹　　印　　刷　　發　　行

印刷者　江　啟　勳

印刷所　日本大藏省印刷局

發行所　大藏省

發行日　昭和二十五年十二月九日

（定價金五圓）